Printia LASER

B5WY-0561-03 Z0

Printia LASER XLシリーズ

オンラインマニュアル

ページプリンタ XL-5770/5370

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IntranetWare、NetWare は、米国ノベル社の登録商標です。
Adobe、Acrobat および Reader は、アドビシステムズ社の商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

●ＶＣＣＩ適合基準について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
ただし、ページプリンタは突入電源が大きいため、その仕様を満足する交流無停電電源装置等をご使用ください。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●漏えい電流自主規制について

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

●電源高調波について

本製品は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

●国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

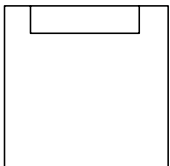
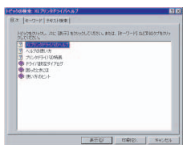
●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

●レーザ規格について

本製品は、危険なレーザ光を出さない「クラスⅠ」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタ XL-5770/5370 をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
XL-5770 は最大 30 ページ／分、XL-5370 は最大 25 ページ／分の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しく取り扱い、本プリンタを有効にご利用ください。

2004 年 4 月

マニュアルの種類

本プリンタでは、次のマニュアルを用意しています。目的に応じて参照してください。

	取扱説明書 プリンタの設置と運用について、基本的なことを説明した印刷物です。
	オンラインマニュアル（PDF） 添付の CD-ROM 内に PDF ファイルとして収められています。 本製品の設置・運用に必要な手順および本プリンタの持つすべての機能について説明しています。
	オンラインヘルプ 「オンラインヘルプ」では、プリンタドライバのプロパティ、および添付ソフトウェアの各機能について調べることができます。ヘルプを参照するには、次の 2 つの方法があります。 ・[?] をクリックする ・各画面にある［ヘルプ］ボタンをクリックする

マニュアルの構成

本プリンタのマニュアルの構成を以下に説明します。

取扱説明書

目　次		内　容
第１章	お使いになる前に	この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいこと、およびプリンタを設置し、プリンタが正しく動作することを確認するまでの手順について説明します。
第２章	日常の操作	この章では、本プリンタで印刷するうえで必要となる操作、プロセスカートリッジの交換およびプリンタの清掃など、プリンタを使用するうえで日常的に必要な操作について説明します。
第３章	困ったときは	この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。
付録		ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

オンラインマニュアル

目　次		内　容
第１章	お使いになる前に	この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。
第２章	プリンタ設置の準備	この章では、プリンタを設置し、プリンタが正しく動作するまでの概要を説明します。
第３章	プリンタ本体の設置	この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。
第４章	オプションの装着	本プリンタのオプションには、給紙トレイ、プリンタ RAM モジュール、両面ユニット、および拡張給紙ユニットがあります。 この章では、これらの取り付けかたについて説明します。
第５章	ネットワークを利用せずにプリンタを接続する	この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。
第６章	ネットワークを利用してプリンタを接続する	この章では、ネットワークを使用して、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。
第７章	プリンタ共有の設定	この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

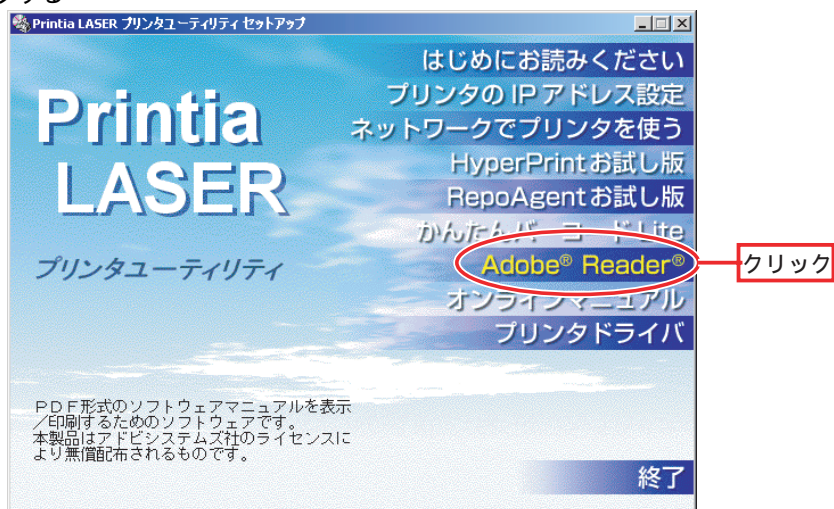
目　次		内　容
第８章	日常の操作	この章では、本製品で印刷するうえで必要となる操作について説明します。
第９章	オペレータパネルの操作	この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。
第 10 章	プリンタドライバの機能と利用方法	この章では、プリンタドライバの詳細と機能の利用方法について説明しています。
第 11 章	ログ機能	この章では、印刷実行の履歴を管理したり、プリンタのトナーカートリッジや定着器の交換時期などの情報を管理するログ機能について説明します。
第 12 章	プリンタ管理機能 (Printianavi ネットワークマネージャ)	この章では、Printianavi ネットワークマネージャの使いかたについて説明します。Printianavi ネットワークマネージャを使用すると、ネットワークに接続された XL プリンタの状態監視、および環境設定を、パソコンから行うことができます。
第 13 章	Web サーバ機能（Printia LASER Internet Service）	この章では、Printia LASER Internet Service の使いかたについて説明します。 Printia LASER Internet Service では、Web ブラウザから、インターネットや LAN（TCP/IP）に接続された XL プリンタに関して次のことができます。 ・プリンタの状態を参照する ・ネットワークに関する設定を変更する
第 14 章	ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加	この章では、ネットワークソフトウェアのインストール方法とネットワークポートの追加について説明します。
第 15 章	日常のメンテナンス	この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。
第 16 章	用紙について	この章では、本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。
第 17 章	困ったときは	この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。
付録		ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されている CD-ROM に、PDF ファイルとして収録されています。
PDF ファイルの内容を参照するには、「Adobe Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Adobe Reader」がインストールされていない場合は、本製品添付の CD-ROM からインストールしてください。

●Adobe Reader のインストール

オンラインマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンに Adobe Reader（6.0 またはそれ以降）があらかじめインストールされていることが必要です。
添付の CD-ROM から次の手順で Adobe Reader 6.0 をインストールすることができます。

1. 添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら［Adobe Reader］をクリックする

Adobe Reader 6.0 インストーラが起動します。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。

ガイド

・ダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の「Adreader」フォルダにある「Adrdr60j.exe」をダブルクリックし、インストールを行ってください。
・Adobe Reader6.0 がインストールできない場合は、エクスプローラで CD-ROM の「Adreader」フォルダにある「Ar51jpn.exe」をダブルクリックし、Acrobat Reader5.1 のインストールを行ってください。
・Adobe Reader は PDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Adobe Reader 6.0 は、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
・最新版の Adobe Reader の入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
　　アドビシステムズ社　URL：http://www.adobe.co.jp

●オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Adobe Reader がインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

Printianavi インストーラが自動的に起動します。

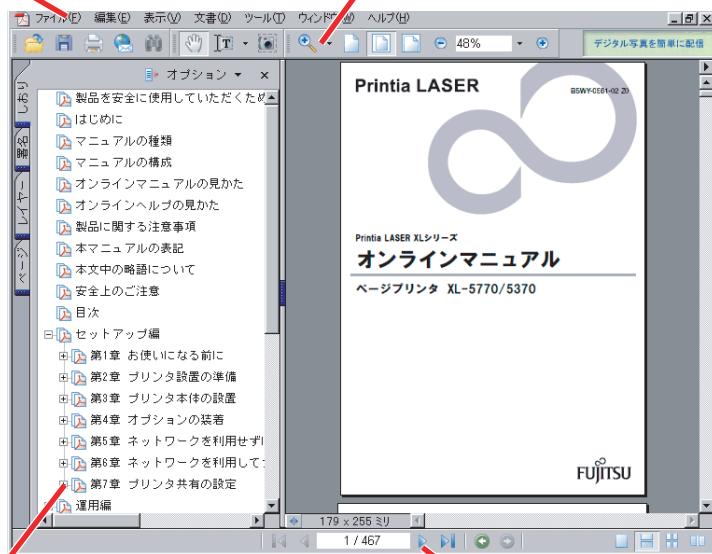
ガイド

Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラで CD-ROM の直下の xlsetup.exe（CD-ROM ドライブが D:のときは「D:\xlsetup.exe」）を実行するか、CD-ROM の「Manual」フォルダにある「Index.pdf」をエクスプローラから開いてください。

2 ［オンラインマニュアル］をクリックする

Adobe Reader が起動し、オンラインマニュアルの表紙が表示されます。

3 「XL-5770/5370」をクリックする

以下の画面が表示されます。

しおり

見出しをクリックすると、そのページを表示します。

⊞が表示されている場合、これをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

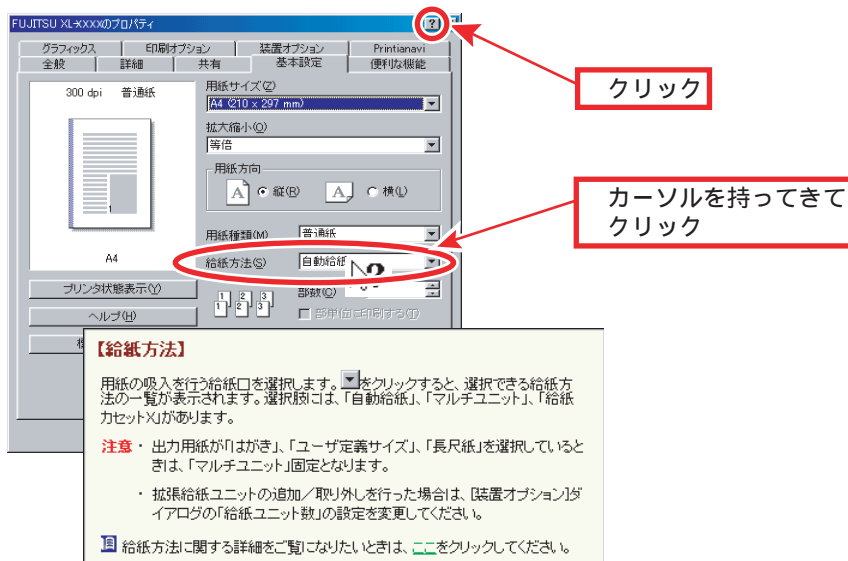
ステータスバー

▷をクリックすると次のページを表示します。

オンラインヘルプの見かた

オンラインヘルプを参照する方法を、以降に示します。

● [?] をクリックする

ダイアログの右上にある?をクリックするとカーソルの形が?に変わります。
その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。
（例）給紙方法についてのヘルプをみる場合

●各ダイアログにある［ヘルプ］ボタンをクリックする

［ヘルプ］ボタンは以下のダイアログにあります。

・[基本設定］ダイアログ

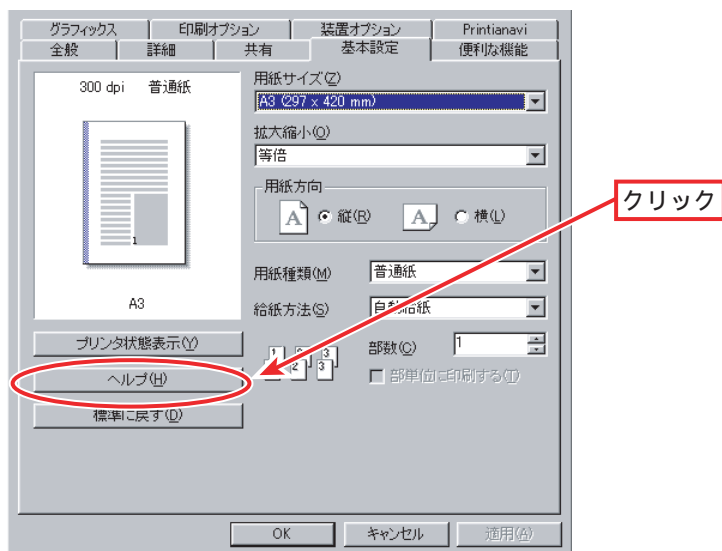
・[便利な機能］ダイアログ

・[グラフィックス］ダイアログ

・[印刷オプション］ダイアログ

・[装置オプション］ダイアログ

・[Printianavi］ダイアログ

（例）［基本設定］ダイアログのヘルプを見る場合

利用方法については、ヘルプの［目次］の「ヘルプの使いかた」を参照してください。

製品に関する注意事項

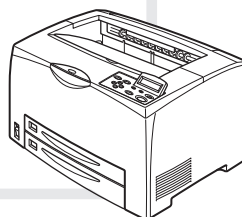
ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳細は、本文をよくお読みになったうえで本プリンタを正しくお使いください。

製品寿命（耐用期間）について

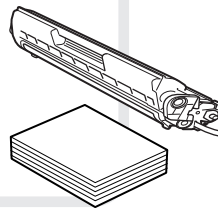
本プリンタの耐用期間（寿命）は、以下のいずれか早いほうです。

- 60万ページ印刷（A4サイズ横送り）
- 5年（8時間/日）
  *24時間で運用する場合、装置寿命は5年の1/3になります。

注)耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。

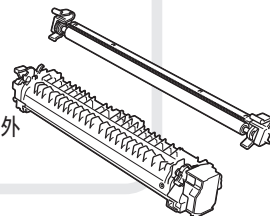
参照「プリンタの基本仕様」（426ページ）参照

サプライ品（消耗品）について

プロセスカートリッジや用紙などは、本プリンタ専用の純正サプライ品をお使いください。
非純正サプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

参照「サプライ品一覧（432ページ）参照

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は以下になります。

- 定着器　10万ページ
- 用紙搬送ロールキット　20万枚印刷
- 転写ロール　20万枚印刷

上記は、A4サイズ横送り/片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。

オンラインマニュアルについて

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されているCD-ROMに、PDFファイルとして収録されています。

参照「オンラインマニュアルの見かた」（7ページ）参照

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本プリンタに関するお問合せをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンを聞かれる場合があります。
プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。

参照「プリンタドライバのバージョンを確認する方法」（456ページ）参照

本マニュアルの表記

本マニュアルでは、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

お願い	本製品を正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。
ガイド	本製品を使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。
参照	本書内で参照していただきたい参照先を示します。

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

・Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise Edition → Windows Server 2003
・Microsoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Home Edition → Windows XP
・Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server → Windows 2000
・Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0、Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 → Windows NT4.0
・Microsoft® Windows® Millennium Edition → Windows Me
・Microsoft® Windows® 98 → Windows 98
・Microsoft® Windows® 95 → Windows 95
・Microsoft® Internet Explorer → Internet Explorer
・Netscape® Communicator → Netscape
・Adobe® Reader → Adobe Reader
・Adobe® Acrobat® Reader → Acrobat Reader

- Windows 98 および Windows Me→Windows 98/Me
- Windows 2000 および Windows Me→Windows 2000/Me
- Windows 95、Windows 98 および Windows Me→Windows 95/98/Me
- Windows 98、Windows Me および Windows 2000→Windows 98/Me/2000
- Windows 2000 および WindowsNT4.0→Windows 2000/NT4.0
- Windows XP および Windows Server 2003→Windows XP/Windows Server 2003
- Windows 2000、Windows XP および Windows Server 2003→Windows 2000/XP/Windows Server 2003
- Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP および Windows Server 2003→Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003
- Windows Me、Windows 2000、Windows XP および Windows Server 2003→Windows Me/2000/XP/Windows Server 2003
- Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 および Windows NT4.0→Windows 95/98/Me/2000/NT4.0
- Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP および Windows Server 2003→Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

警告	
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⦸で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

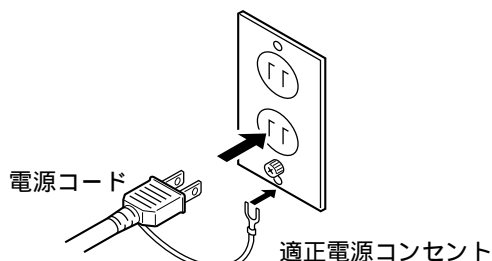
安全上のご注意

●プリンタ設置および移動時のご注意

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td>プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。
感電・火災の原因となります。</td></tr>
<tr><td>湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。</td></tr>
<tr><td>電源プラグは、交流 100V、15A 専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。本機定格電源は 100V、10A となっています。</td></tr>
<tr><td>添付の電源コード以外は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。</td></tr>
<tr><td>プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因となります。</td></tr>
<tr><td>ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。
火災の原因となります。</td></tr>
<tr><td>延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。
異常な発熱や火災の原因となります。</td></tr>
<tr><td>次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。
・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）</td></tr>
<tr><td>梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。
感電・火災の原因となります。</td></tr>
</table>

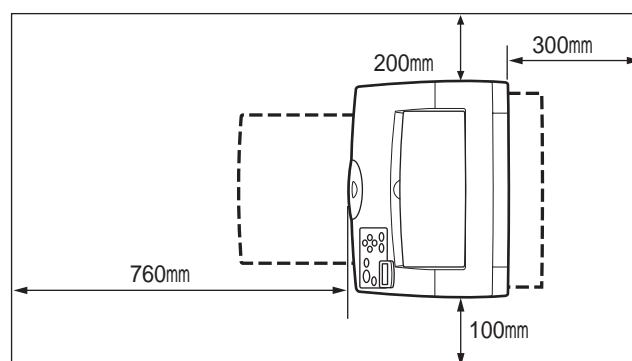
警告

	電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ずいずれかに取り付けてください。アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は、ハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。 **・電源コンセントのアース線** **・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの** **・接地工事（第３種）を行っている接地端子** アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

	パラレルケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。 感電の原因となります。
	オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 感電・火災・故障の原因となります。

	近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。 入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

⚠ 注意

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高温によりカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

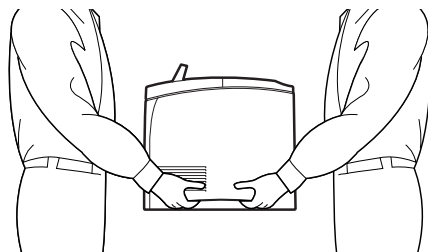
プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から 200㎜ 以上離して設置してください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。
プリンタの上部には、日常の操作に必要な 350㎜ 以上のスペースを確保してください。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、けがや故障の原因となることがあります。

プリンタは重さ約 37kg（フルオプション、消耗品を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

	プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約20kgあります。プリンタを動かす場合は必ず２人以上で持ち運んでください。 **プリンタを持ち上げるときは、プリンタの左右にあるくぼみをしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。** 落下によりけがの原因となることがあります。
	プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。 **作業は足元に十分注意して行ってください。** 電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●プリンタ使用時のご注意

	プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。 感電・火災の原因となります。
	開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。 感電・火災の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、加工しないでください。 重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、過熱したりすると、電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。 そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。修理はハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。
	異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。 そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。 故障の修理は、ハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。
	カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源を入れたりしないでください。 感電・火災の原因となります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 火災の原因となります。

	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。

	ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザ光漏れにより失明する恐れがあります。
	プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。 感電・火災の原因となります。

	電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。 そのまま使用すると、火災の原因となります。
	取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

警告

	万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 **煙が消えるのを確認して、ハードウェア修理相談センター（457 ページ）に修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。** 異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
	万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。 そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
	プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。 そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。
	使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。 熱がこもり、火災の原因となることがあります。
	プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。 プラグが変形し、火災の原因となることがあります。
	プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。 プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

	電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。 火災・故障の原因となることがあります。
	つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。 紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないで、直ちに電源を切り、ハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。
	つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。 けがの原因となることがあります。
	つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。 けがの原因となることがあります。

	「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対触れないでください。 やけどの原因となることがあります。

	１カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。 **・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。** **・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。** **・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。** **・電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。** **・アース線は取り付けられていますか。** なお、異常がある場合はハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。

	長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電・火災の原因となることがあります。
	プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

	用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。 指を挟み、けがをする原因となることがあります。

●プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意

<table>
<tr><td></td><td>プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。
火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。
参照　「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（457 ページ）参照</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>トナーは目や口に入らないように注意してください。
プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。</td></tr>
</table>

目次

セットアップ編

運用編

トラブル編

セットアップ編

第１章

お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

1.1　本機の特長

本機の特長を示します。

高速で高品位な印刷

XL-5770 は最大 30 ページ/分、XL-5370 は最大 25 ページ/分の高速での印刷が可能です。また、1200dpi の高解像度で印刷できます。

３つのポートに対応

USB[*1]、パラレル、LAN の３つのポートを標準装備しています。さらに、HTTP プロトコルを使用した IPP（Internet Printing Protocol）印刷も可能です。

*1：キーボードやマウス、モデムなどの周辺機器とパソコンを結ぶデータ送路の規格の１つです。

高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア

プリンタドライバの設定により、N-up 印刷や拡大縮小印刷など、さまざまな印刷が可能です。また、ネットワークソフトウェアにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタの管理を実現します。

さまざまな用紙サイズに対応

定形では、最大 A3 サイズの用紙への印刷が可能です。また、はがき、ユーザ定義サイズ(長尺紙を含む)といったさまざまな種類の用紙への印刷も可能です。

便利な機能

給紙カセットごとに、自動給紙の指定（有効／無効）が可能です。

優れた拡張性

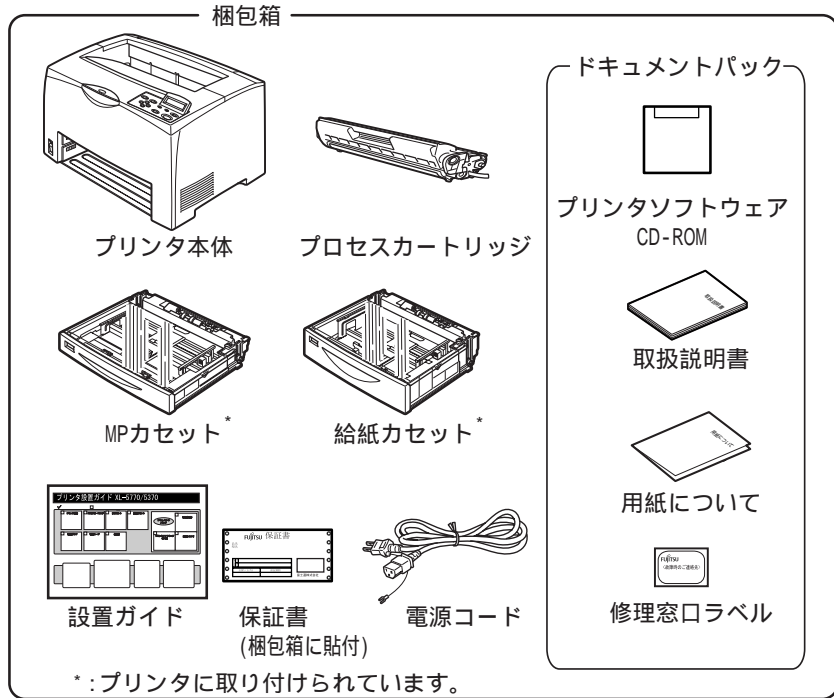
次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。

- 両面ユニットを取り付けることにより、用紙の両面に印刷することができます。
- 拡張給紙ユニットを 2 段まで取り付けることができ、最大 1500 枚の用紙をセットすることができます。

各種ユーティリティを添付

プリンタの状態を監視する「Printianavi ネットワークマネージャ」、小冊子の印刷ができる「HyperPrint お試し版」、ワープロ感覚で帳票を作成できる「RepoAgent お試し版」、パソコンでバーコード印刷ができる「かんたんバーコード Lite」を添付しています。

1.2 製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。
※プリンタは、必ず２人以上で持ち運んでください。

お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(パラレルケーブル、USB ケーブル)は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。

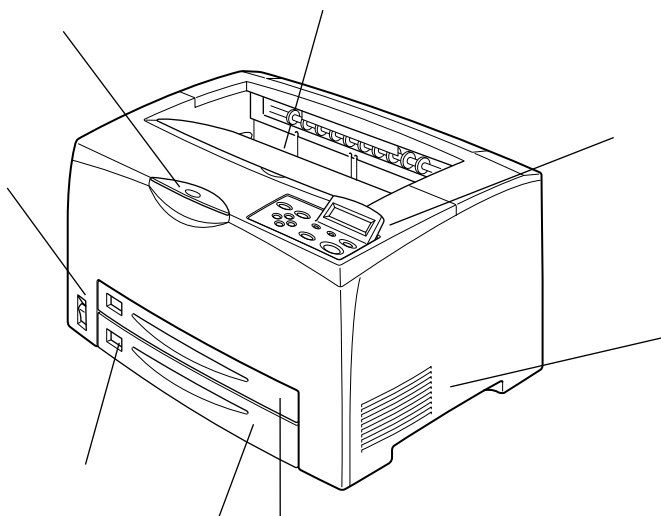
参照　「プリンタケーブル」（73 ページ）参照

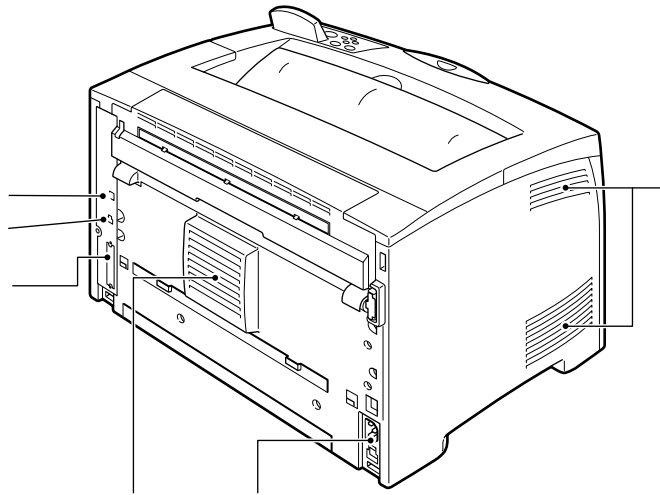
ガイド

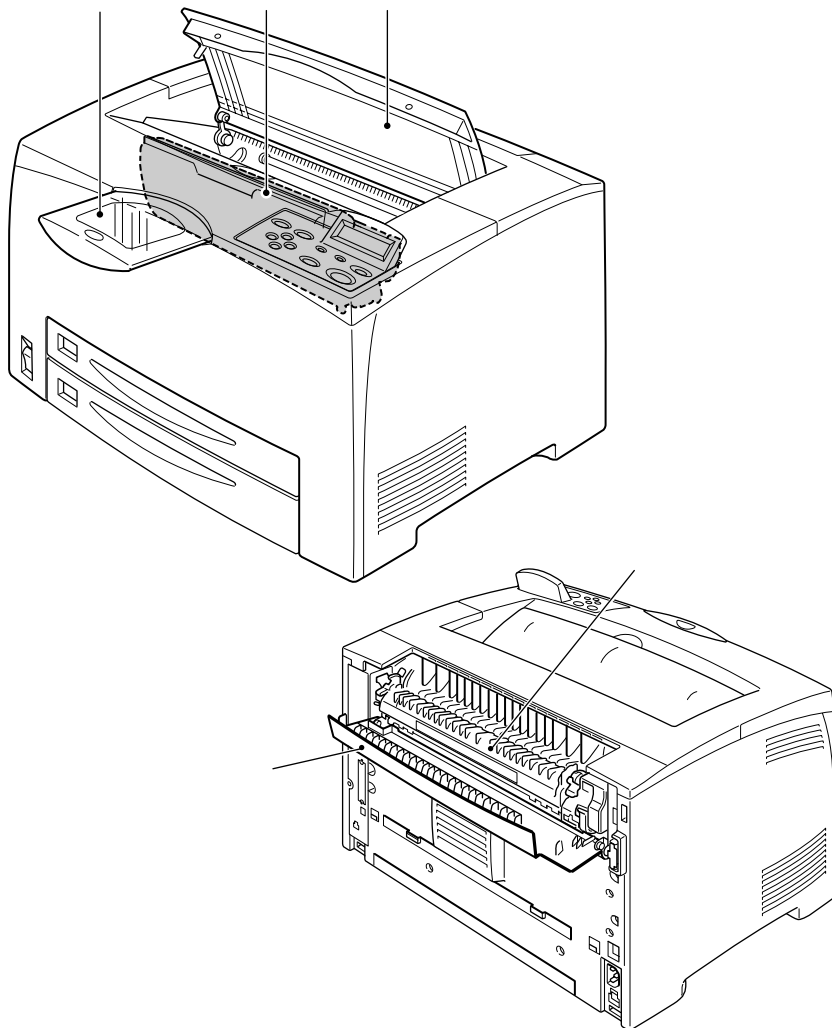
移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

1.3 各部の名称と機能

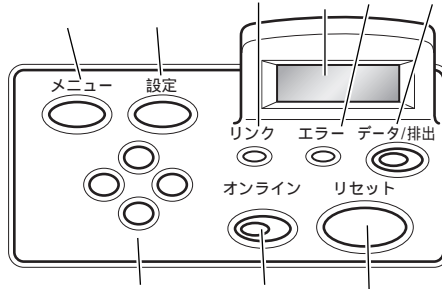
本製品の主要各部の名称と機能について説明します。

●前 面

①	排紙部	印刷された用紙がおもて面を下にして排出されます。
②	オペレータパネル	操作に必要なスイッチと、メッセージが表示される液晶ディスプレイがあります。
③	通風口	プリンタ内部の加熱を防ぐため、熱が放出されます。通風口をふさがないでください。
④	MP カセット	はがき～A3 サイズの用紙（普通紙）を 150 枚までセットします。 * 給紙トレイ（オプション）を購入した場合は、この位置に取り付けます。
⑤	給紙カセット	A5～A3 サイズの用紙を、250 枚までセットします。
⑥	サイズ表示	カセットの用紙サイズを示す用紙サイズラベルをセットします。
⑦	電源スイッチ	電源を入／切します。
⑧	排紙トレイ	A4 サイズより大きな用紙を印刷するときに引き出します。

●背 面

①	通風口	プリンタ内部の加熱を防ぐため、熱が放出されます。通風口をふさがないでください。
②	電源コードコネクタ	電源コードを差し込むコネクタです。
③	USB ケーブルコネクタ	プリンタとパソコンを USB インタフェースで接続するためのコネクタです。
④	LAN ケーブルコネクタ	プリンタを LAN 経由で接続するためのコネクタです。
⑤	パラレルケーブルコネクタ	プリンタとパソコンをパラレルインタフェースで接続するためのコネクタです。

●内 部

①	排紙トレイ	A4 サイズより大きな用紙に印刷する場合に引き出します。排紙どめを立てて使用してください。
②	プロセスカートリッジ	感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成される機構です。
③	上部カバー	プロセスカートリッジを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。
④	定着器	用紙にトナーを定着させる機構です。プリンタ使用時は、高温になっているので手を触れないように注意してください。
⑤	背面カバー	つまった用紙を取り除くときに開きます。

1.4 オペレータパネル

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

①	メニュースイッチ	プリンタをメニューモードにします。メニューモードでは、プリンタに関する各種の設定を行います。 メニューモードを終了するときにも使用します。	
②	設定スイッチ	メニューモードのときに、選択した値を有効にします。また、印刷中止の確認など、プリンタが一時停止している印刷を続行します。	
③	リンクランプ	ネットワークと接続されている状態かどうかを知らせます。	
		点灯	ネットワークと接続されていることを示します。
		消灯	ネットワークと接続されていないことを示します。
④	液晶ディスプレイ	プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。（1 行 16 文字の 2 段に表示されます。）	
⑤	エラーランプ	プリンタの異常を知らせます。	
		点灯	プリンタでエラーが発生していることを示します。
		消灯	プリンタが正常に印刷できる状態であることを示します。
⑥	データランプ／ 排出スイッチ	データランプは、印刷データの受信状態を次のように知らせます。 また、排出スイッチは未処理のデータがある場合、スイッチを押すと強制的に印刷を行います。	
		点灯	プリンタ内にデータが残っている場合です。
		点滅	データをパソコンから受信中です。
		消灯	データがない状態です。
⑦	▲▼◀ ▶ スイッチ	メニューモードのときに、設定項目および設定値の選択に使用します。	
⑧	オンラインランプ/ オンラインスイッチ	オンラインランプは、プリンタが印刷できる状態かどうかを次のように知らせます。なお、オンラインスイッチを押すと、「オンライン」「オフライン」が切り替わります。	
		点灯	印刷できる状態、または印刷中です。
		点滅	印刷データを受信中です。
		消灯	印刷できない状態です。
⑨	リセットスイッチ	印刷を中止します。また、テスト印刷（連続印刷）を中断します。	

参照　「メニュー」「▲」「▼」「◀」「▶」の各スイッチについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（209 ページ）参照

1.5　添付ソフトウェア（CD-ROM）のご紹介

添付 CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」には、プリンタをより快適に使用するために便利な各種のソフトウェアが収録されています。
これらのソフトウェアは、次のダイアログ(Printianavi インストーラ)からインストールできます。Printianavi インストーラは、添付 CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットすると自動的に表示されます。

ガイド

Printianavi インストーラが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。

Printianavi インストーラの各メニューからは、次の操作が行えます。

項 目	操作内容
はじめにお読みください	CD-ROM のソフトウェアについて留意事項を表示します。
プリンタの IP アドレス設定	Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2 を起動します。 参照 「IP アドレス設定ユーティリティ 2 による設定」(130 ページ)参照
ネットワークでプリンタを使う	Printianavi ネットワークポートモニタ、Printianavi ネットワークマネージャ、Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2 をインストールします。 参照 「付録 Printianavi の機能概要」(450 ページ)参照 参照 「第 14 章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」(313 ページ)参照
HyperPrint お試し版	HyperPrint お試し版をインストールします。 参照 「付録 HyperPrint の概要」(452 ページ)参照
RepoAgent お試し版	RepoAgent お試し版をインストールします。 参照 「付録 RepoAgent の概要」(453 ページ)参照
かんたんバーコード Lite	かんたんバーコード Lite をインストールします。 参照 「付録 かんたんバーコード Lite の概要」(454 ページ)参照
Adobe Reader	オンラインマニュアルなどの PDF 形式のファイルを表示するための Adobe Reader をインストールします。 参照 「オンラインマニュアルの見かた」(7 ページ)参照
オンラインマニュアル	オンラインマニュアル(PDF 形式)を表示します。 参照 「オンラインマニュアルの見かた」(7 ページ)参照
プリンタドライバ	Printia XL プリンタドライバをインストールします。 参照 「第 5 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」(97 ページ)参照 「第 6 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」(125 ページ)参照

第 2 章

プリンタ設置の準備

この章では、プリンタを設置し、プリンタが正しく動作するまでの概要を説明します。

2.1 設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

・いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
　温度:10～32℃　　湿度:15～85%RH
　温度 32℃以上のときは湿度 70%RH 以下、湿度が 85%RH 前後のときは温度 28℃以下でご使用ください。(ただし、結露しないこと。)
　冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

・サーバ接続などによりプリンタの 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策(耐震対策、煙感知機、温度センサーなど)が施された場所に設置してください。
　また、防災管理者(警備員、管理人など)が建物内に待機していることも必要です。

・プリンタを前後左右に 5°以上傾けないでください。
　トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

・プリンタは凹凸のない、平らな場所に設置してください。
　斜行等により印字ズレが大きくなったり、故障の原因となったりします。

・ラジオの雑音、テレビやディスプレイ(CRT)のチラツキやゆがみなど電波や磁気による障害が発生し、原因が本プリンタであると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ(CRT)の距離を離してみる。
- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ(CRT)の位置や向きを変えてみる。
- プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ(CRT)の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

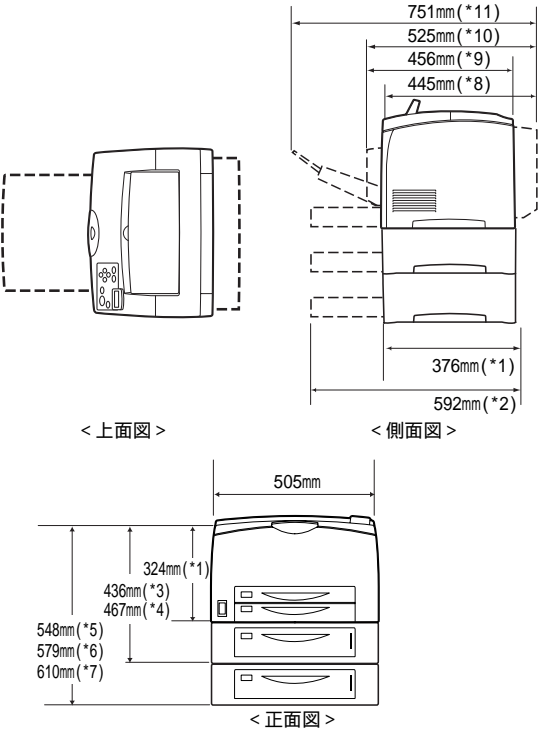
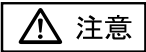
・化学薬品や油分を、使用または保管している環境では使用しないでください。故障の原因となります。

・プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
　電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

お願い

－超音波加湿器をご使用のお客様へ－
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。
ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

2.2　プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

*1　:標準構成時
*2　:給紙カセット延長時
*3　:拡張給紙ユニット-A(250枚)を1段搭載時
*4　:拡張給紙ユニット-B(550枚)を1段搭載時
*5　:拡張給紙ユニット-A(250枚)を2段搭載時
*6　:拡張給紙ユニット-A(250枚)と拡張給紙ユニット-B(500枚)を搭載時
*7　:拡張給紙ユニット-B(550枚)を2段搭載時
*8　:両面ユニット搭載時
*9　:給紙トレイ搭載時
*10 :給紙トレイと両面ユニットを搭載時
*11 :給紙トレイ使用時

⚠ 注意

火災	プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。 参照　「安全上のご注意」（14 ページ）参照
けが	設置する台は、プリンタの足全体が十分に載る大きさのものを準備してください。

2.3 プリンタの設置からインストールまで

プリンタの設置から印刷するために必要な設定までの流れを説明します。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なります。次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

ガイド

・接続、運用形態は、お使いの環境に合わせて以下を目安に選択してください。
- パラレルケーブル/USB ケーブルで接続
  １台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。
  より速く印刷したい場合は、USB ケーブルによる接続をおすすめします。
- LAN ケーブルで接続
  プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。
  LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。

・サーバ経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。

取扱説明書　「第1章 お使いになる前に」
オンラインマニュアル 「第3章 プリンタ本体の設置」
プリンタ本体を印刷できる状態まで設置します。最初にこの設置を行ってください。
本図の見かた
参照するマニュアルについて
取扱説明書、オンラインマニュアルのどちらかを参照してください。
オンラインマニュアルを参照してください。
マークについて
添付CD-ROMに入っているプリンタドライバが必要な操作です。
「第4章 オプションの装着」
給紙トレイや両面ユニット、拡張給紙ユニットを装着する場合に参照します。
パラレル /USB
「第5章 ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」
プリンタおよびパソコンに必要な接続や設定をします。
パラレルまたはUSB
ネットワークを利用せずにプリンタと接続
「第7章 プリンタ共有の設定」
管理者/サーバ
クライアント
クライアント
プリンタを複数台のパソコンで使用
「第6章 ネットワークを利用してプリンタを接続する」
管理者/サーバ
LAN、LPR
クライアント
クライアント
インターネット
IPP
クライアント
ネットワークを経由してプリンタを利用する場合に参照します。
ネットワークを利用してプリンタと接続
LAN

第 3 章

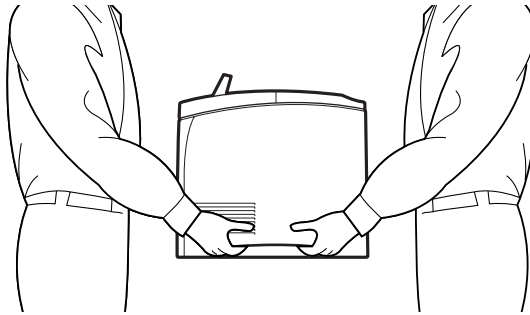
プリンタ本体の設置

この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。

3.1　梱包品の確認

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品の確認（梱包されている製品）」に記載してあります。

3.2　本体の取り出し

1. 梱包箱を開け、プロセスカートリッジを取り出す
2. ビニール袋を取り外す
3. プリンタの左右下部のくぼみを持ち、水平に保ちながら取り出す

お願い
本体は約 20kg の重さがあります。必ず 2 人以上の人数で図の取っ手を持ち、背中や腰を痛めないように注意して運んでください。
また本プリンタは前面側よりも背面側のほうが重くなっています。運搬する場合は、重さの違いに注意してください。

4. 水平でしっかりした机などの上に静かに置く

3.3　固定テープ、保護シートの取り外し

プリンタ各部に貼られている固定テープおよび保護シートを取り外し、プリンタ内部の緩衝材を取り除きます。

3.4 オプション品の取り付け

お願い

・以下のオプション品は、プロセスカートリッジや用紙を取り付ける前に、プリンタ本体に取り付けてください。
  - 給紙トレイ
  - 両面ユニット
  - 拡張給紙ユニット

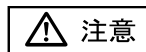
各オプション品の取り付けは、第 4 章の目的の項目を参照してください。

参照 「給紙トレイの取り付けかた」（80 ページ）参照
参照 「両面ユニットの取り付けかた」（84 ページ）参照
参照 「拡張給紙ユニットの取り付けかた」（90 ページ）参照

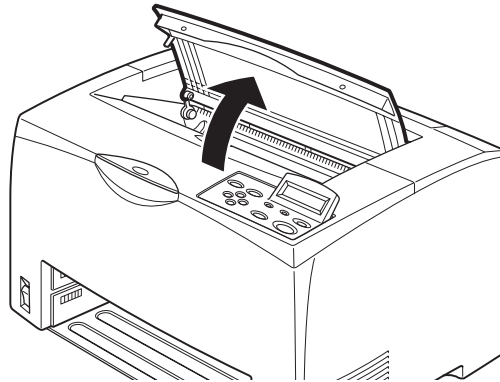
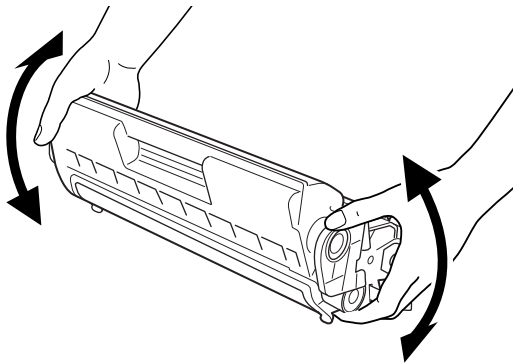
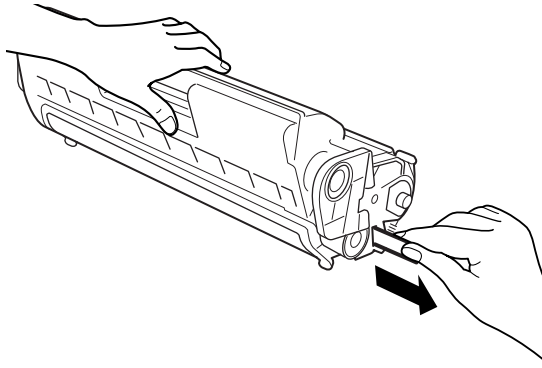
3.5 プロセスカートリッジの取り付け

次の手順で、プロセスカートリッジを取り付けます。

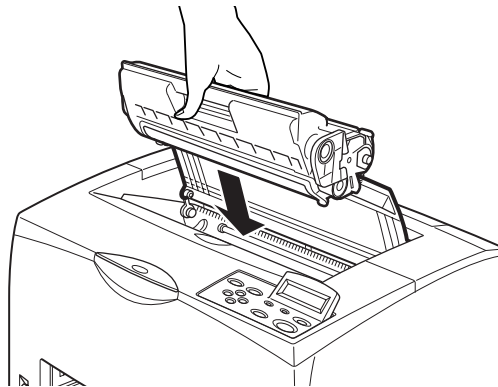
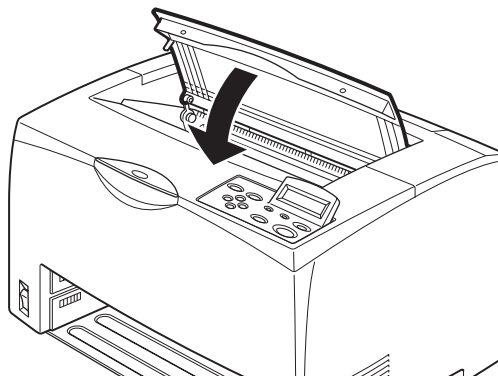
お願い

- 直射日光や強い光に当てないでください。
- プロセスカートリッジの取り付け作業は、強い光の当たる場所を避け、できるだけ 5 分以内で終了してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- 感光体(ドラム)の表面には絶対に手を触れないでください。

故　障	プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

「プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意」(21 ページ)参照

1 上部カバーを開く

2 プロセスカートリッジを梱包袋から取り出し、図のように 7〜8 回振る

3 トナーシールを引き抜く

お願い

- トナーシールを引き抜くときは、プロセスカートリッジを平らな場所に置き、トナーシールを水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。トナーシールの全長は、67㎝ です。
- トナーシールを引き抜いたあとは、プロセスカートリッジを振ったり、プロセスカートリッジに衝撃を与えたりしないでください。

4 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部の溝に静かに挿入する

5 上部カバーを閉じる

3.6 電源を入れる

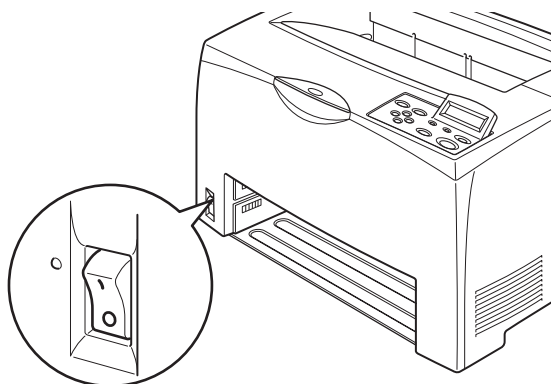
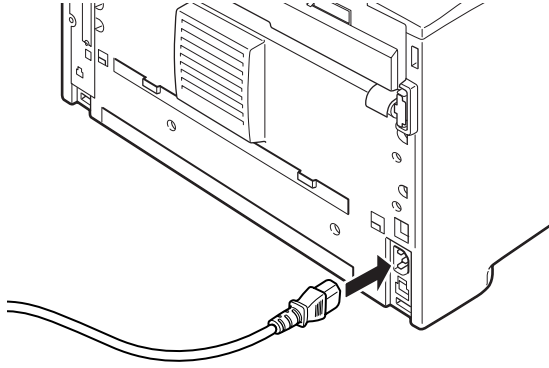
電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

3.6.1　電源コードの接続

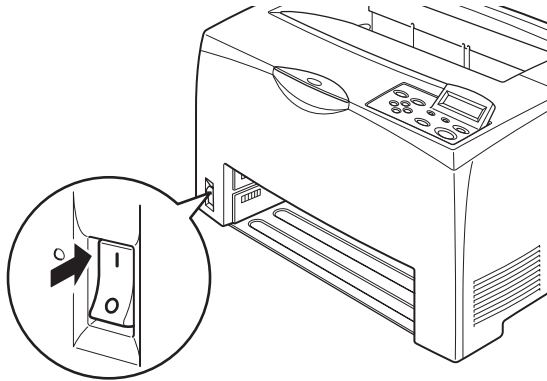
次の手順で、電源コードを接続します。
本プリンタの電圧定格値は、AC100V です。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

⚠ 警告

感　電	電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「○」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。
火　災	電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。
感　電	危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。 ・ガス管（火災や爆発の危険があります） ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です） ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）
感　電	プリンタや他の機器の上にプリンタを載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因となります。

1 スイッチがオフ（「○」側）であることを確認する

2 電源コードをプリンタ背面にある電源コードコネクタに差し込む

3 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

3.6.2　電源スイッチをオンにする

電源スイッチを「｜」側に倒して電源を入れる

3.6.3　プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認

電源を入れると、オペレータパネルの「オンライン」「リンク」「データ」「エラー」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイの表示が次のように切り替わります。

表示	説明
ショキシンダ゛ンチュウ	初期診断中を示します。
↓	
ＸＬ－ＸＸＸＸ **Ｖｅｒ　Ｘ．Ｘ　　　　ＹＹＭＢ**	ファームウェアのバージョン、 メモリの総容量を示します。
↓	
ファーム ロード゛チュウ ××××××××××××	ファームロード中を示します。 下段にMACアドレスを表示します。
↓	初期化動作およびファームロード動作に約30秒程度かかりますので、そのままお待ちください。
オンライン	

※カセットが未装着の場合、下段に「カセットカクニン」と表示されます。

参照　オペレータパネルが上記の表示にならないときは、
「オペレータパネルのエラーメッセージ」（388 ページ）参照

3.7 給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする

ここでは、給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする手順について説明します。

お願い

- 長尺紙は、MP カセット、給紙カセット、拡張給紙ユニット（オプション）からは印刷できません。オプションの給紙トレイを装着して印刷してください。

参照　「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照

- 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、オプションの給紙トレイをご使用ください。
- 給紙カセット、MP カセットは、必ずフタを閉めてご使用ください。フタを閉めずに使用した場合、給紙カセット、MP カセットの出し入れに支障をきたすことがあります。

ガイド

異なるサイズの用紙を、同時に１つの給紙カセットにセットすることはできません。

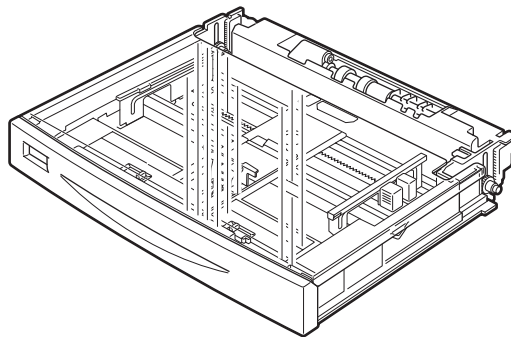
3.7.1 A4 サイズまでの用紙をセットする

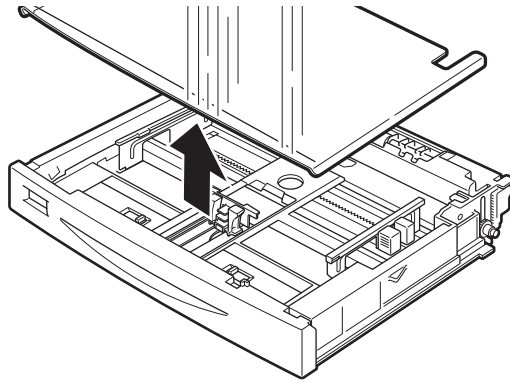
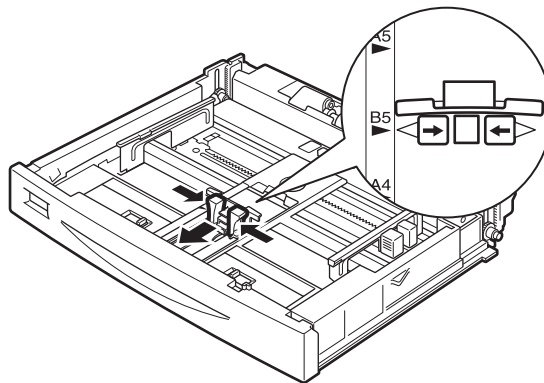
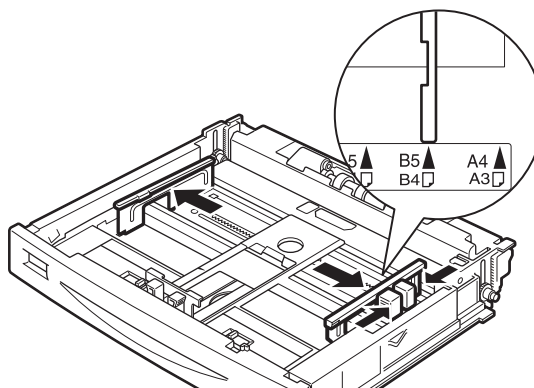
ここでは、B5 サイズの用紙を給紙カセットにセットする手順を例に説明します。

ガイド

MP カセットおよび拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする場合も給紙カセットと同じ手順でセットできます。

1. 給紙カセットを平らな場所に置く

ガイド

給紙カセットがプリンタにセットされている場合は、カセットをプリンタから引き抜いてください。

2 カセットのフタを取る

3 縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる

4 右側の横ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる

5 紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にしてセットする

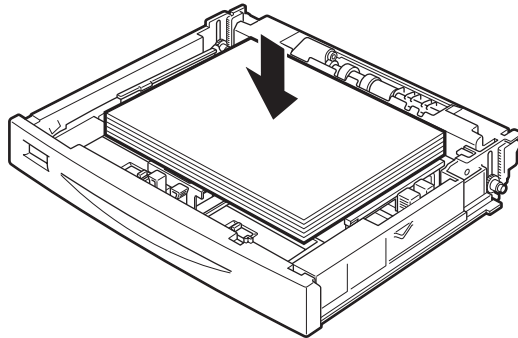
横ガイドに用紙が乗り上げないようにします。また、カセットの底にある板が上がっているときには、押し下げてから用紙をセットします。

お願い

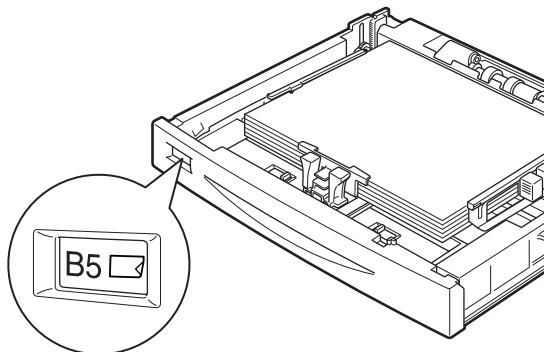
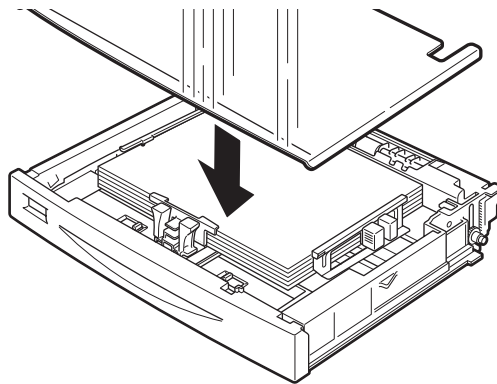
・折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。

・最大積載可能枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は、セットしないでください。

・横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因となることがあります。

ガイド

給紙カセットに収容できる枚数は、約 250 枚（64g/㎡の場合）です。

6 セットした用紙に合わせて、用紙サイズラベルを差し替える

用紙の向きは、用紙の短辺が横になるようにセットしたときが「縦」、用紙の長辺が横になるようにセットしたときが「横」になります。

7 給紙カセットのフタを閉める

8 プリンタの奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込む

お願い
給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

3.7.2 MP カセットにはがきをセットする

ここでは、MP カセットにはがきをセットする手順について説明します。

ガイド
MP カセットからはがきに印刷する場合、用紙をセットした後に、オペレータパネルの設定が必要になります。

1 MP カセットにはがきをセットする

参照 「A4 サイズまでの用紙をセットする」(57 ページ)参照

ガイド
MP カセットにはがきをセットする手順は、給紙カセットに用紙をセットする手順と同じです。

2 オペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

↓「メニュー」

メニュー
▶システム　　インサツ　　▼

3 「▶」スイッチを 2 回押して「インサツ　セッテイ」を表示する

↓「▶」を2回押す

```
メニュー
▶インサツ　　セッテイ　　　▼
```

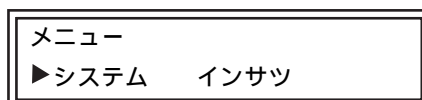
4 「▼」スイッチを押して「キュウシ　グチ」と表示する

↓「▼」

```
　インサツ　　セッテイ
▶キュウシグ゛チ　　　　　▲▼
```

5 「▶」スイッチを 2 回押して「MP　ハガキモード」と表示する

↓「▶」を2回押す

```
　インサツ　　セッテイ
▶MP　ハガ゛キモード゛　　▲
```

6 「▼」スイッチを押して「*OFF」と表示した後「▶」を押して「ON」を表示する

↓「▼」

```
　MP　ハガ゛キモード゛
▶*　OFF　　　　　　　▲
```

↓「▶」

```
　MP　ハガ゛キモード゛
▶　ON　　　　　　　　▲
```

7 「ON」と表されているのを確認し、「設定」スイッチを押す

↓「設定」

```
　MP　ハガ゛キモード゛
▶*　ON　　　　　　　▲
```

8 設定が終わったら、「オンライン」スイッチを押し、MP ハガキモードを有効にする

3.7.3 MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする

ここでは、MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする手順について説明します。

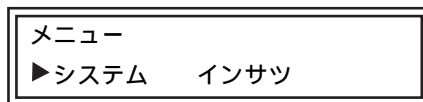
ガイド

初めて MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする場合は、手順1のみを行ってください。

1 MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする

参照　「A4 サイズまでの用紙をセットする」（57 ページ）参照

ガイド

MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする手順は、給紙カセットに用紙をセットする手順と同じです。

2 オペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

↓「メニュー」

```
メニュー
▶システム　　インサツ　　　　▼
```

3 「▶」スイッチを 2 回押して「インサツ　セッテイ」を表示する

↓「▶」を2回押す

```
メニュー
▶インサツ　　セッテイ　　　　▼
```

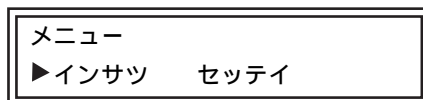
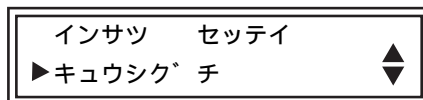
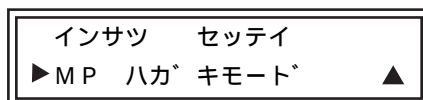
4 「▼」スイッチを押して「キュウシ　グチ」と表示する

↓「▼」

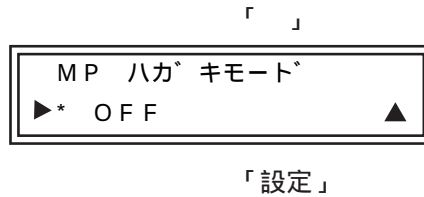
```
　インサツ　　セッテイ
▶キュウシグ゛チ　　　　　　　▲▼
```

5 「▶」スイッチを 2 回押して「MP　ハガキモード」と表示する

↓「▶」を2回押す

```
　インサツ　　セッテイ
▶MP　ハカ゛キモート゛　　　　▲
```

6 「▼」スイッチを押して「*OFF」と表示されていることを確認し、「設定」スイッチを押す

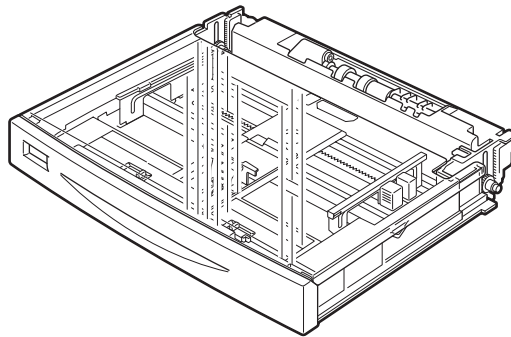
↓「▼」

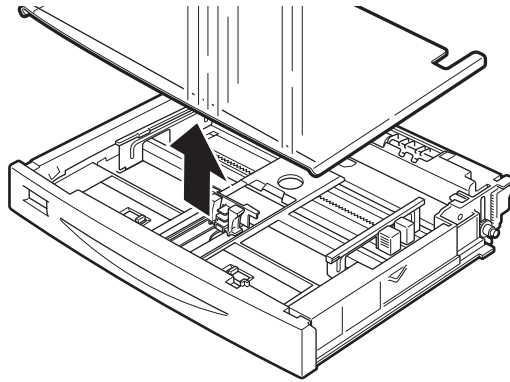
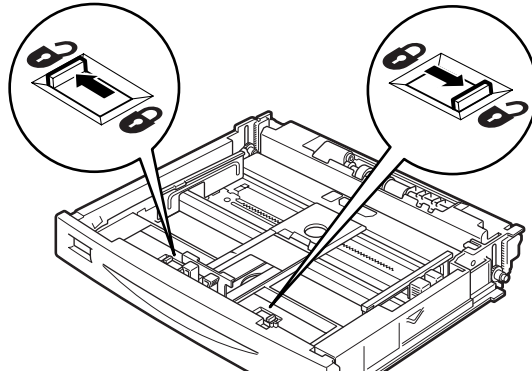
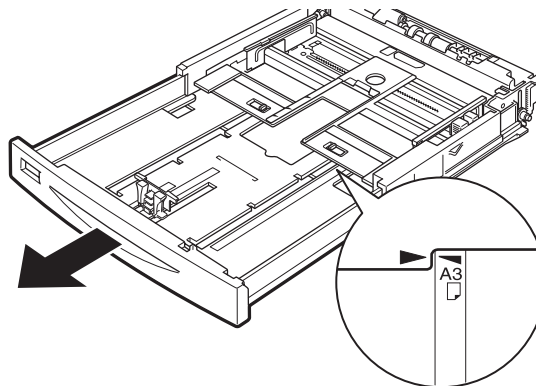
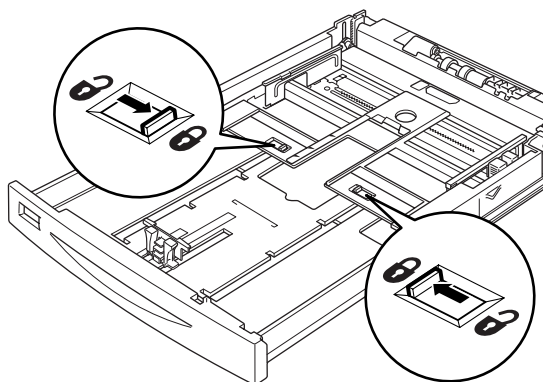
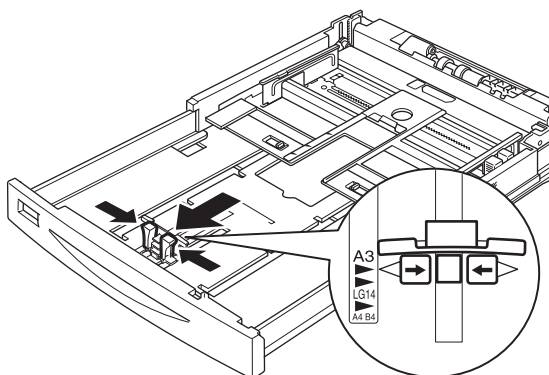
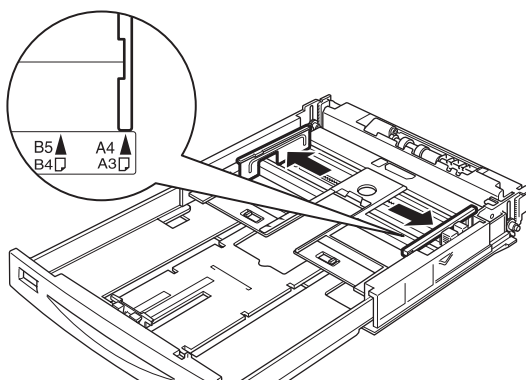
↓「設定」

7 「オンライン」スイッチを押す

3.7.4　A4 サイズより大きい用紙をセットする

ここでは、A3 サイズの用紙を給紙カセットにセットする手順について説明します。

ガイド
MP カセットおよび拡張給紙ユニット（オプション）に用紙をセットする場合も給紙カセットと同じ手順でセットできます。

1 給紙カセットを平らな場所に置く

ガイド
給紙カセットがプリンタにセットされている場合は、カセットをプリンタから引き抜いてください。

2 カセットのフタを取る

3 カセットの左右の突起部を外側に動かしてロックを解除する

4 カセットの持ち手部分を持って、延長部を用紙サイズまで手前に引き出す

5 カセットの左右の突起部を内側に動かしてロックする

6 縦ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる

7 右側の横ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせる

8 用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を上にしてセットする

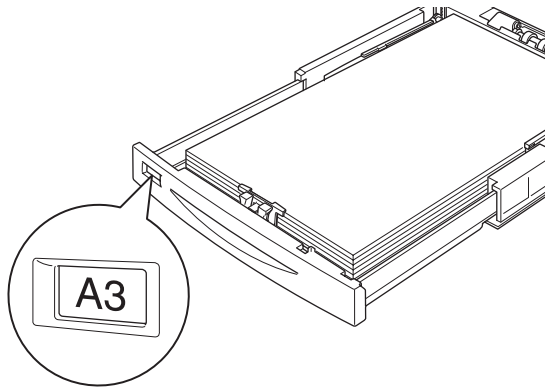
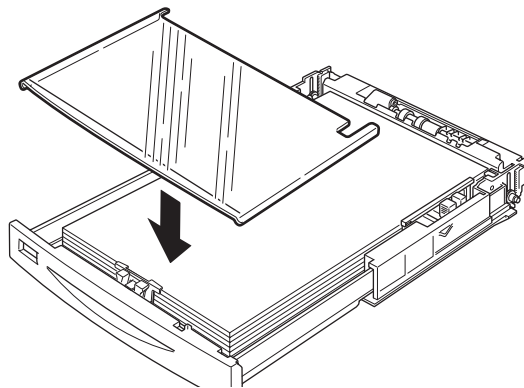
横ガイドに用紙が乗り上げないようにします。また、カセットの底にある板が上がっているときには、押し下げてから用紙をセットします。

お願い

- 折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。
- 最大積載可能枚数または用紙上限線を超える枚数の用紙は、セットしないでください。
- 横ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。横ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因となることがあります。

ガイド

給紙カセットに収容できる枚数は、約 250 枚（64g/㎡の場合）です。

9 セットした用紙に合わせて、用紙サイズラベルを差し替える

10 給紙カセットのフタを閉める

11 プリンタの奥に突き当たるまで、給紙カセットをしっかりと押し込む

お願い

給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。

3.8 設定の一覧を印刷する

次の操作で設定の一覧を印刷し、プリンタが正しく動作することを確認します。

1 印刷可能状態であることを確認する

次のいずれかの状態であることを確認します。

・オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されている

・オペレータパネルに「オフライン」と表示されている

・オペレータパネルに「セツデン」と表示されている

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

↓「メニュー」

```
メニュー
▶システム　　インサツ　　　　▼
```

3 「▼」スイッチを押す

↓「▼」

```
　システム　　インサツ
▶セッテイ　ノ　インサツ　　　▲
```

4 「設定」スイッチを押す

設定の一覧の印刷が開始されます。

↓「設定」

印刷開始

5 印刷状態を確認する

参照　正常に印刷されないときは、「第 17 章　困ったときは」（369 ページ）参照

↓

印刷終了

↓

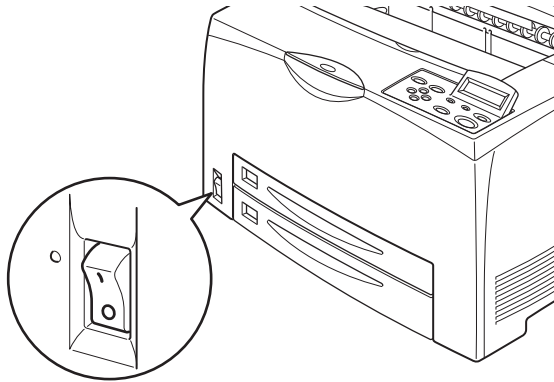
```
　システム　　インサツ
▶セッテイ　ノ　インサツ　　　▲
```

6 「メニュー」スイッチを押して、印刷可能状態に戻す

↓「メニュー」を押す

```
オンライン
```

3.9　電源を切る

電源を切るときは、電源スイッチをオフ（「○」側）に倒します。

電源が切断されると、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

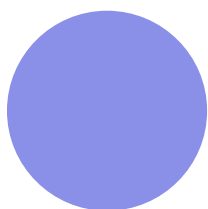
印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

参照　「紙づまりになったとき」（370 ページ）参照

以上でプリンタ本体の設置は完了です。目的に合わせて次の設定に進んでください。

参照　「第 5 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（97 ページ）参照
参照　「第 6 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（125 ページ）参照

第 4 章

オプションの装着

本プリンタのオプションには、プリンタ RAM モジュール、給紙トレイ、両面ユニット、および拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

4.1 オプション品のご紹介

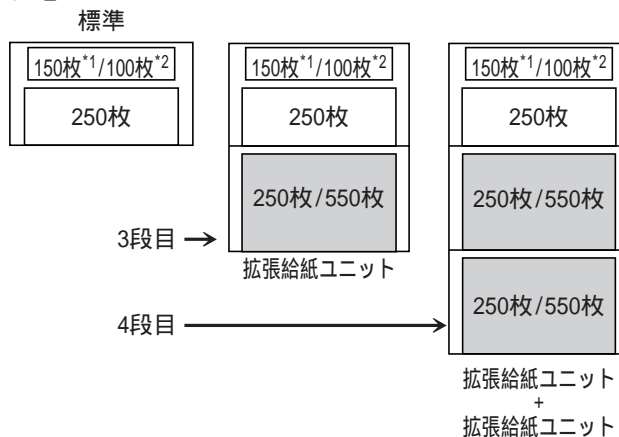
本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

4.1.1 給紙トレイ

品名	型名	内容
給紙トレイ	XL-FT10W1	1 段目のマルチユニットにセットして使用します。用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合、および長尺紙に印刷する場合は、給紙トレイをご使用ください。なお、給紙トレイと MP カセットを同時に取り付けることはできません。

4.1.2 拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット -A	XL-EF25W1	3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。(LB315　給紙カセット（A3 ユニバーサル 250 枚）添付)
拡張給紙ユニット -B	XL-EF55W1	3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。(LB315　給紙カセット（A3 ユニバーサル 550 枚）添付)

●形態

*1：MPカセットを使用した場合
*2：給紙トレイ（オプション）を使用した場合

ガイド

- 異なるサイズの用紙を、同時に１つの給紙カセットにセットすることはできません。
- 印刷中でも、用紙が走行していない給紙カセットであれば、印刷を停止することなく用紙をセットすることができます。

4.1.3　両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPW1	両面印刷用のユニットです。

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、A3、A4 横、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター横サイズの用紙を両面印刷できるようになります。

4.1.4　プリンタ RAM モジュール

本プリンタには、次のプリンタ RAM モジュールのいずれかを搭載することができます。

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール-64MB	XL-EM64M5	RAM を 64MB 搭載したメモリモジュールです。
プリンタ RAM モジュール-128MB	XL-EM128M5	RAM を 128MB 搭載したメモリモジュールです。

●用途

プリンタ RAM モジュールの容量を増やすことにより印刷速度が速くなり、さらに、印刷保証範囲も増えます。

参照　印刷保証範囲については、「●プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲」（72 ページ）参照

●プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲

搭載されている RAM の容量によって、印刷できる用紙サイズが異なります。これらの関係を次の表に示します。

	32MB（プリンタ RAM モジュールなし）						96MB/160MB（プリンタ RAM モジュールあり［64MB/128MB］）					
用紙サイズ/解像度	片面			両面			片面			両面		
	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi	300 dpi	600 dpi	1200 dpi
A3	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B4	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Legal	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
Letter	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A4	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
B5	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
A5	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
はがき	◎	◎	◎	—	—	—	◎	◎	◎	—	—	—
ユーザ定義サイズ	◎	◎	○	—	—	—	◎	◎	◎	—	—	—
長尺紙	◎	—	—	—	—	—	◎	—	—	—	—	—

◎：どんなデータも確実に印刷できます。

○：データの内容によって印刷できない場合があります。（プロテクトモード使用時は印刷できません。）

—：本設定では印刷できません。

解像度：プリンタドライバの［グラフィックス］ダイアログの「解像度」で設定します。

参照　プロテクトモードについては「[印刷オプション]ダイアログ」（243 ページ）参照

参照　「[グラフィックス］ダイアログ」（242 ページ）参照

4.1.5 プリンタ LAN アダプタ

本製品内蔵のプリンタ LAN ポートは、次の規格(プロトコル)に対応しています。

・100BASE-TX/10BASE-T(TCP/IP)

IPX/SPX プロトコルを利用する場合は、次のプリンタ LAN アダプタをご使用ください。

品名	型名	内容
プリンタ LAN アダプタ	FM-LNA110	100BASE-TX/10BASE-T に対応した LAN アダプタです。NetWare 3.1xJ、IntranetWare、NetWare5 に対応しています。

4.1.6 プリンタケーブル

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

・本製品にはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売ケーブルをお使いください。

・以下の長さのシールドケーブルをお使いください。

パラレルインタフェースケーブル：1.5m 以下

USB ケーブル：5m 以下

別売ケーブルは以下のものが用意されています。

●パラレルインタフェースケーブル

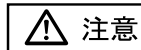
品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMV-CBL712	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。
プリンタケーブル	FMS-CBL711	PRIMERGY GRANPOWER 5000 シリーズに接続できます。

●USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2	Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応していますが、本プリンタとの接続時は USB1.1 で動作します。

4.2 オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

⚠ 警告	感　電	オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因となります。

⚠ 注意	け　が	オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。 指定された場所以外のネジを外すと、ケガや故障の原因となることがあります。

お願い

オプション品の取り付け、取り外しを行う際は、必ず電源を切った状態で作業してください。

4.3 プリンタ RAM モジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

⚠ 警告	感　電	プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

お願い

静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。

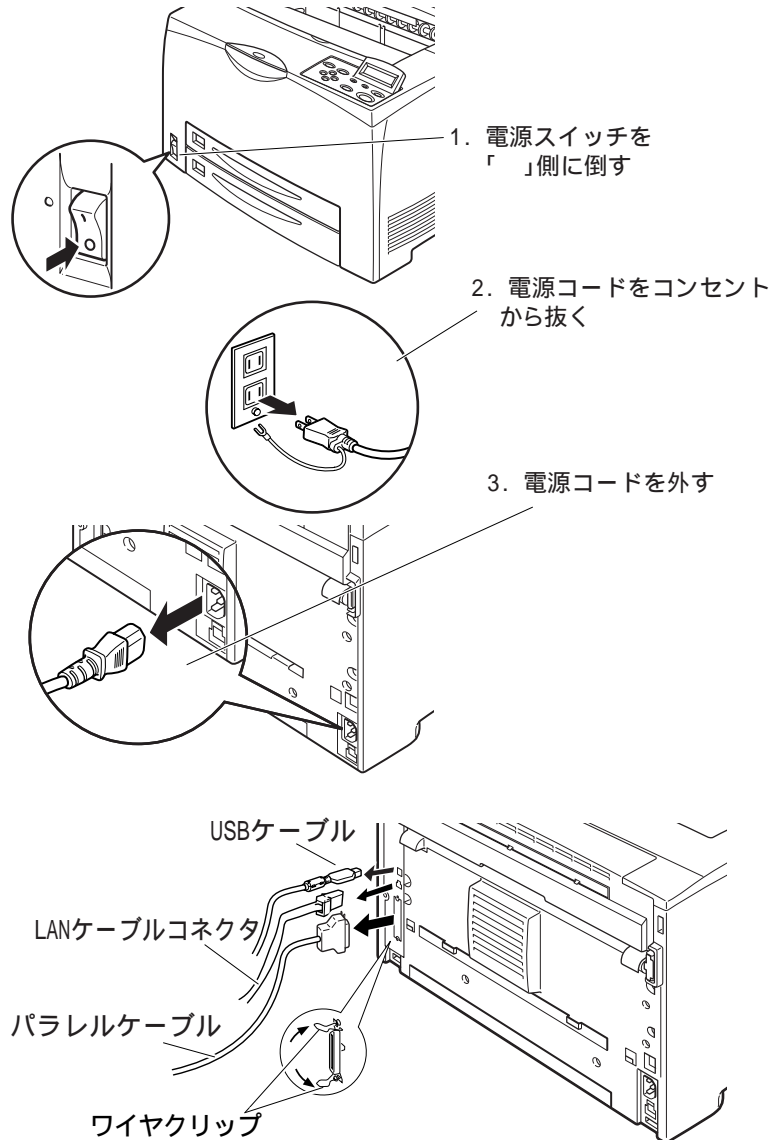
・本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
・モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
・モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

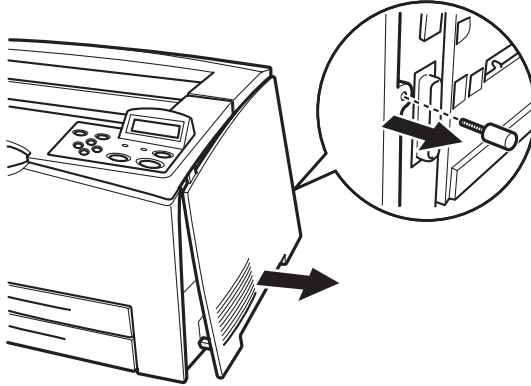
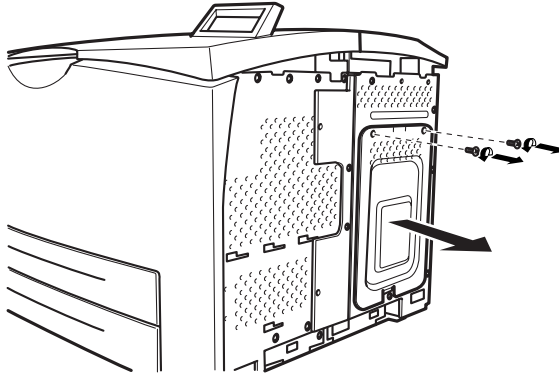
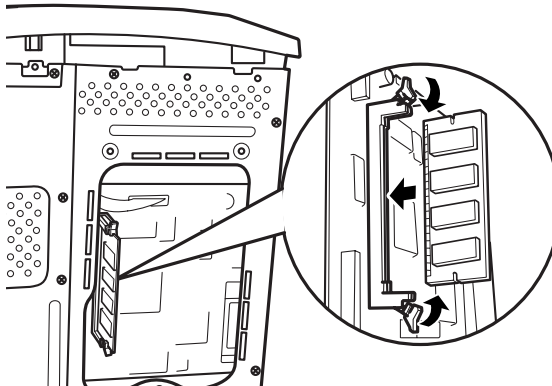
4.3.1 プリンタ RAM モジュールを取り付ける

プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

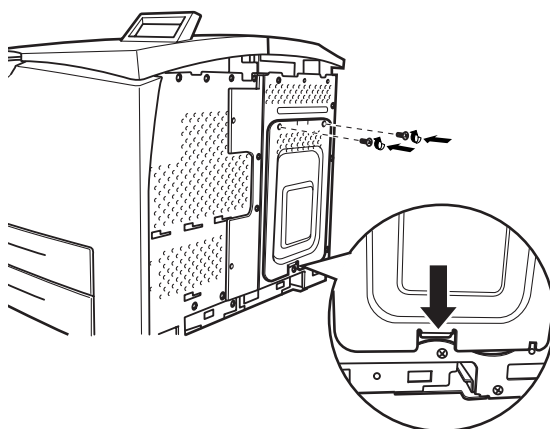
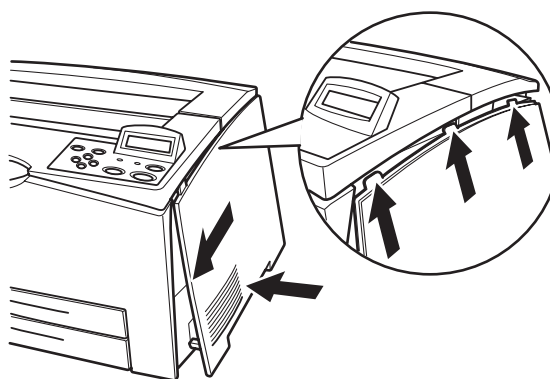
1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 サイドカバーを外す

背面のネジを外したあと、サイドカバー下部を外側にずらすようにして外します。

3 ネジ 2 か所をドライバーを使って外し、パネルを外す

4 コネクタ両端のレバーを開き、プリンタ RAM モジュールの向きに注意し、コネクタの溝に合わせてゆっくりと差し込む

お願い

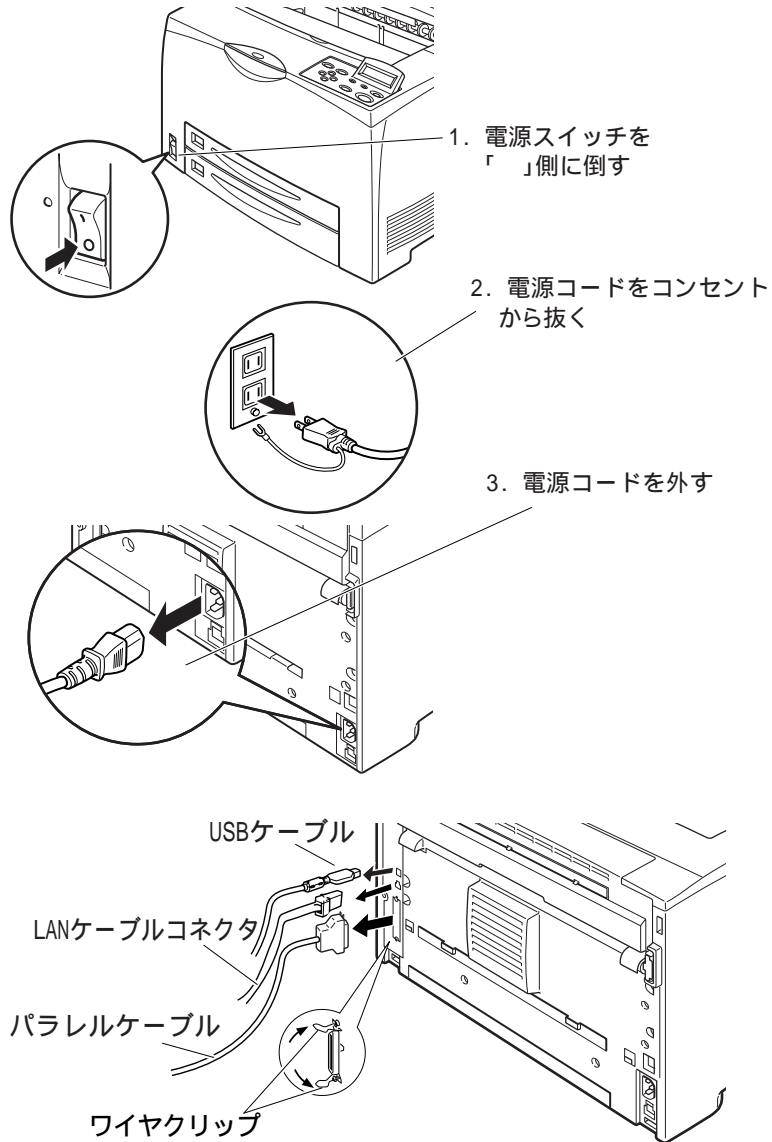
プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには十分注意してください。

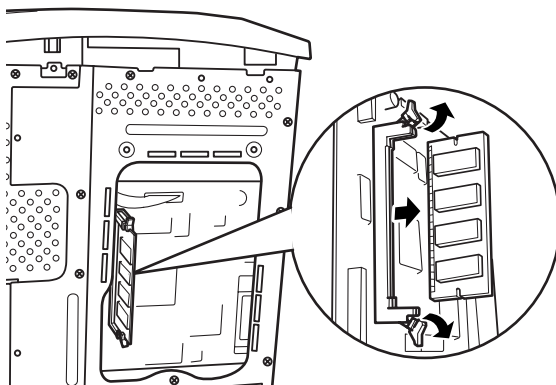
5 パネル下部の突起部をプリンタ内部に入れてから、ネジ（2 本）で固定する

6 下側のツメをプリンタ本体の穴に差し込んでからプリンタ本体に沿って前側にスライドさせて、オプションカバーを取り付ける

ガイド

メモリを増設したときは、電源を投入し、オペレータパネルの液晶ディスプレイの下段に表示される「メモリ ヨウリョウ」でメモリの総容量を確認します。メモリを増設したときは、「96MB」または「160MB」と表示されます。

4.3.2 プリンタ RAM モジュールを取り外す

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 左右のレバーを指で開き、手前に引き抜く

参照　コントロールボックスカバーの外しかたや取り付けかたは、「プリンタ RAM モジュールを取り付ける」（75 ページ）参照

4.4 給紙トレイの取り付けかた

オプションの給紙トレイをプリンタに取り付けると、手差し印刷ができるようになります。

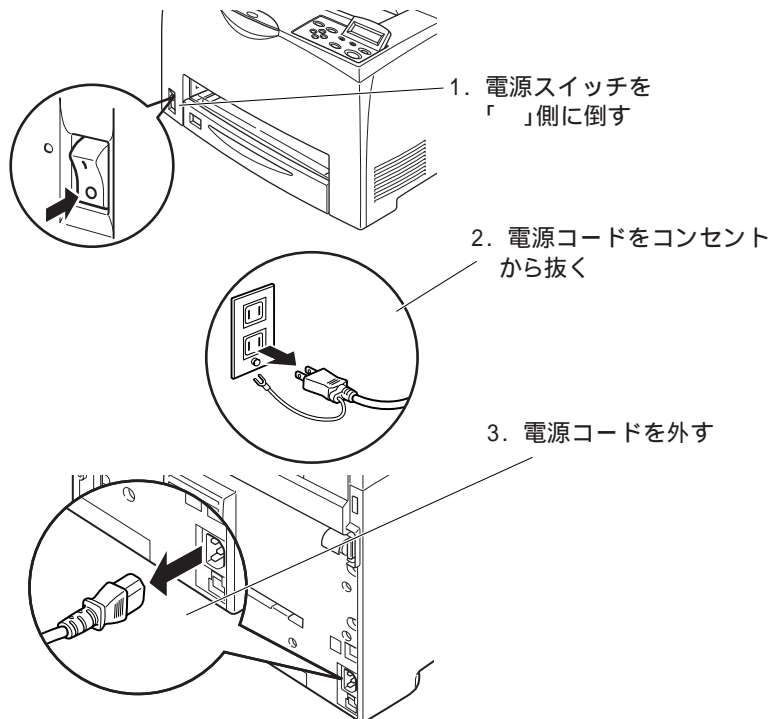
⚠ 警告	感　電	給紙トレイを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

4.4.1 給紙トレイを取り付ける

給紙トレイは、次の手順で取り付けます。

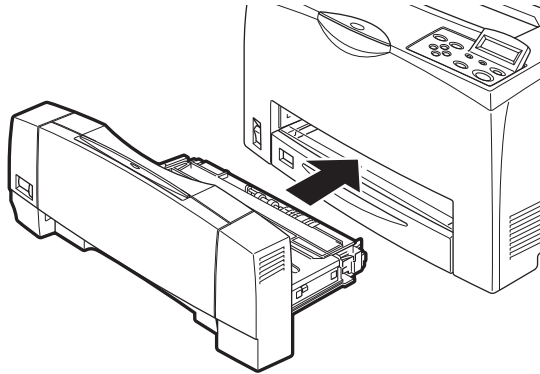
1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

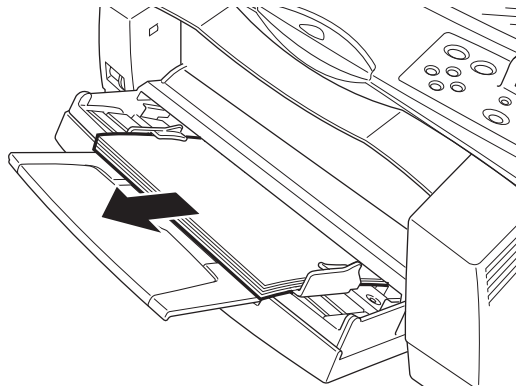
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

給紙トレイをプリンタの奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

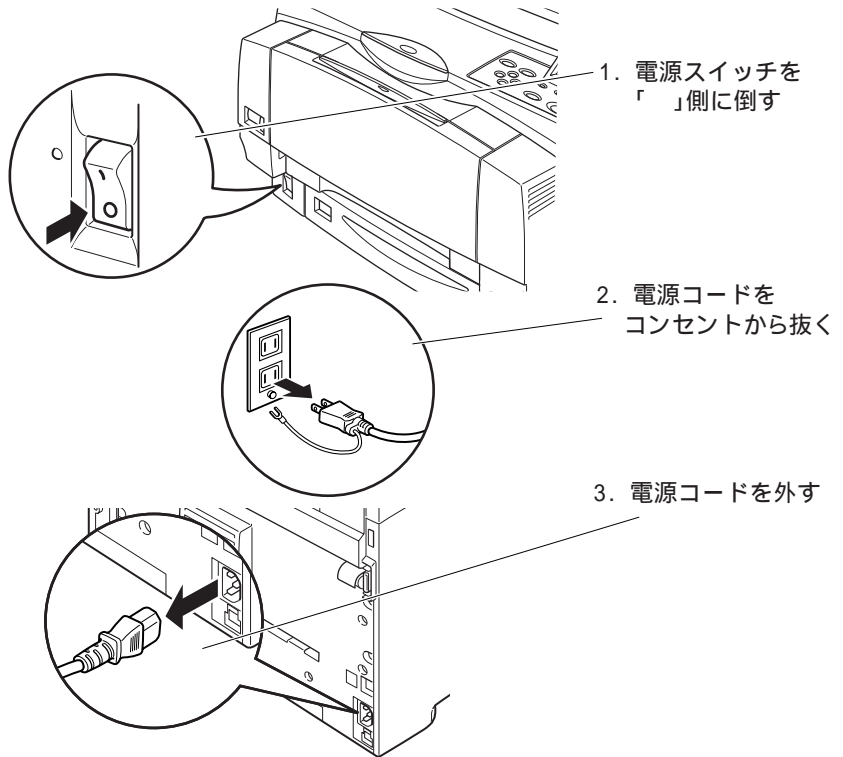
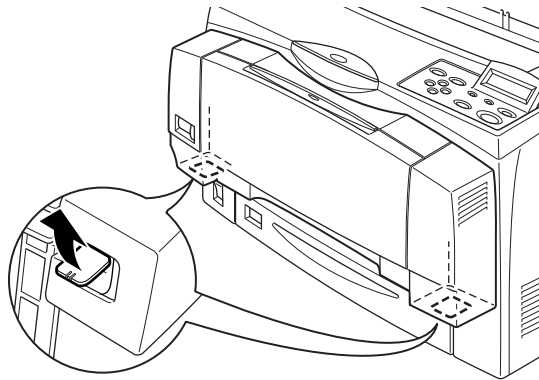
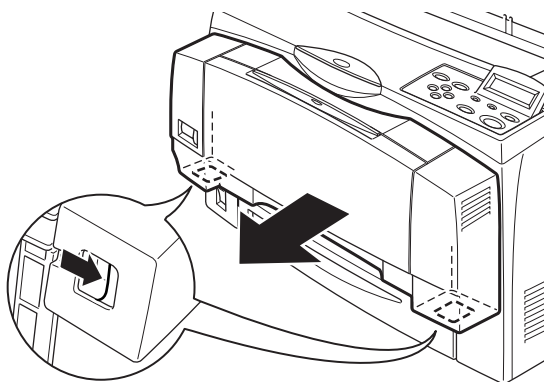
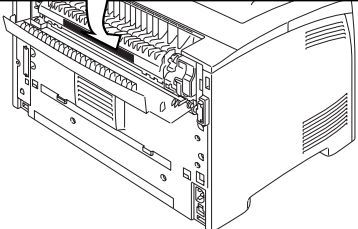
お願い

・給紙トレイ下部のユニット部分が奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

・給紙トレイが正しく取り付けられていないと、給紙トレイが認識されず、電源投入後にオペレータパネルに「MP カクニン」と表示されます。この場合、プリンタの電源を切り、給紙トレイを正しく取り付けてください。

4.4.2 給紙トレイを取り外す

給紙トレイは、次の手順で取り外します。

1 給紙トレイに用紙がセットされているときは用紙を取り出し、用紙セット部を閉じる

2 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

3 給紙トレイ下部の左右にあるカバーを外す

4 給紙トレイの左右裏側にあるレバーを広げ、手前に引き抜く

お願い

プリンタを使用する場合、マルチユニットに、MP カセットまたは給紙トレイのいずれかを装着してください。

4.5 両面ユニットの取り付けかた

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、次のサイズの用紙を両面印刷できるようになります。

A3、A4 横、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター横

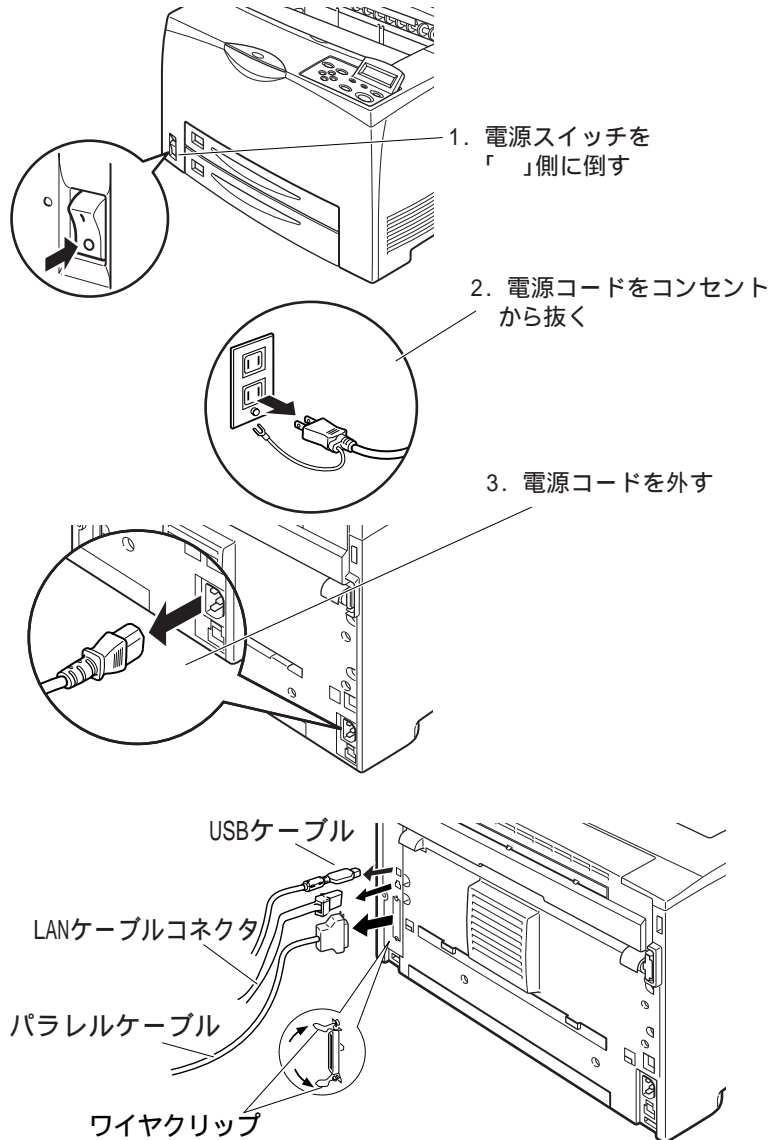
⚠ 警告	感　電	両面ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

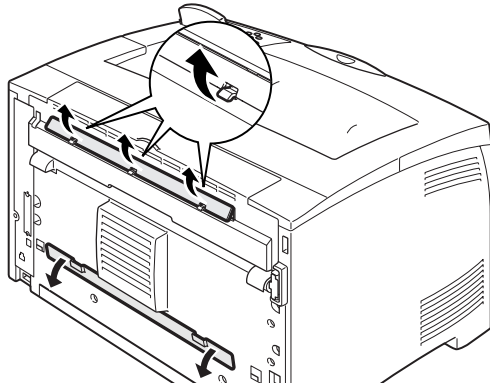
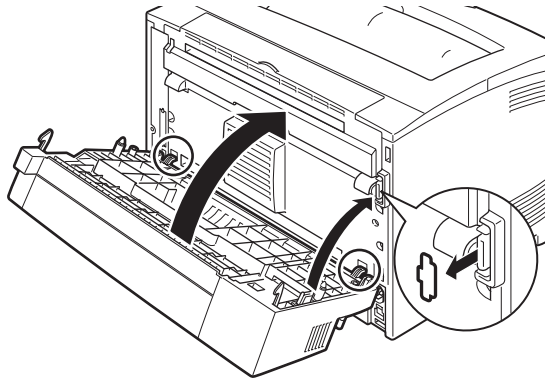
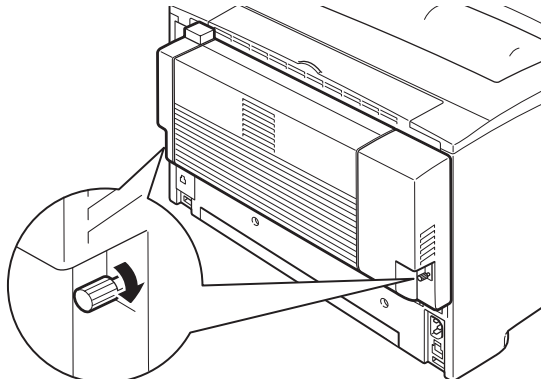
⚠ 注意	やけど	「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。 やけどの原因となることがあります。 警告ラベル

4.5.1 両面ユニットを取り付ける

両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

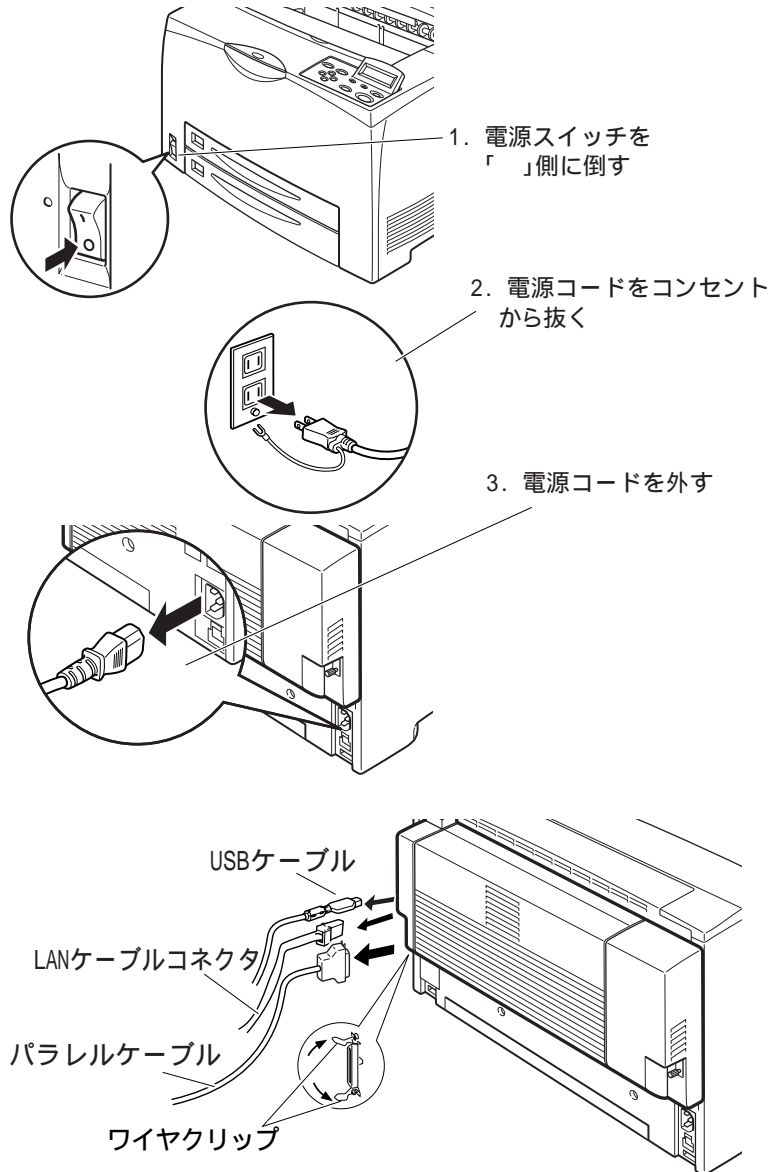
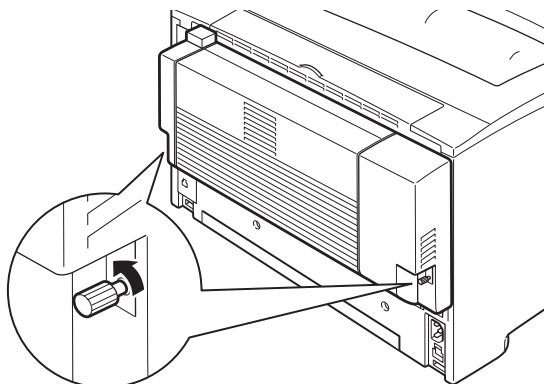
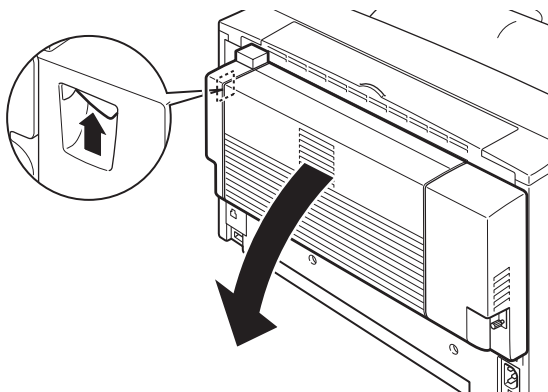
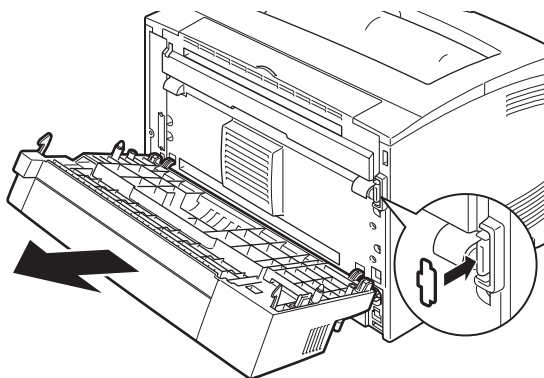
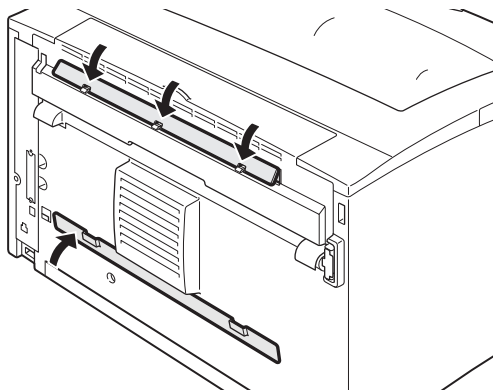
1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 プリンタ背面にある両面ユニット取り付け用カバー（2 か所）を外す

お願い
取り外したカバーは、両面ユニットを取り外す際に必要となります。紛失しないよう、大切に保管してください。

3 両面ユニットを取り付ける
背面右上にある両面ユニット用のコネクタカバーを外し、突起部(2 か所)をプリンタ背面の穴(2 か所)に合わせて取り付ける

4 両面ユニットに添付しているネジで、両面ユニットの左右 2 か所を固定する

4.5.2 両面ユニットを取り外す

両面ユニットは、次の手順で取り外します。

1 プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す

両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、プリンタの電源を切り、電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、および LAN ケーブルを外します。

2 両面ユニット左右 2 か所のネジをゆるめる

3 両面ユニットを手で支えながら左側面上部にあるレバーを上げてロックを外し、両面ユニットの上部をプリンタから外す

4 両面ユニットを持ち上げるようにしながら、両面ユニット左右の突起部をプリンタ背面の穴から外す

5 両面ユニット取り付け時に外して保管しておいたカバーを、プリンタ背面（2か所）にカチッと音がするまで押し込む

4.6 拡張給紙ユニットの取り付けかた

本プリンタに取り付けることができる拡張給紙ユニットには、拡張給紙ユニット-A（A3 ユニバーサル・250 枚）と拡張給紙ユニット-B（A3 ユニバーサル・550 枚）があります。プリンタへの取り付け/取り外しかたや用紙のセットのしかたは、どちらの拡張給紙ユニットの場合も同様です。
本製品には、最大 2 段まで取り付けることができます。

参照　拡張給紙ユニットの取り付け形態については、
「オプション品のご紹介」（70 ページ）参照

⚠ 警告

感　電	拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

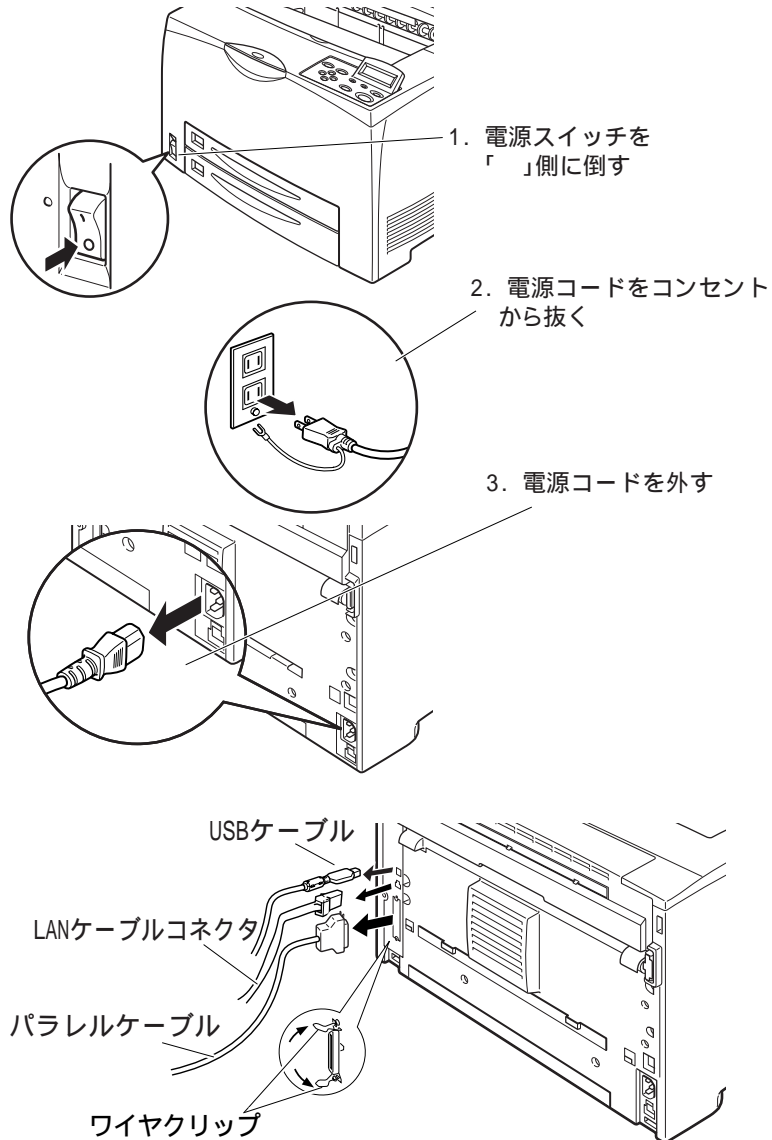
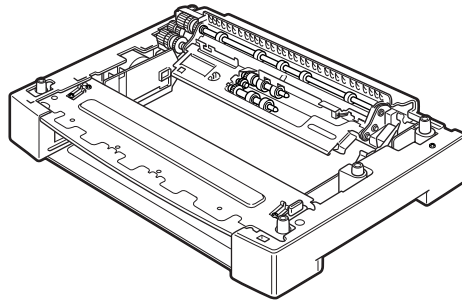
⚠ 注意

故　障	拡張給紙ユニットは、本製品用の製品を取り付けてください。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因となります。
け　が	・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つける恐れがあります。 ・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。 ・本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 20kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ本体のくぼみをしっかり持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

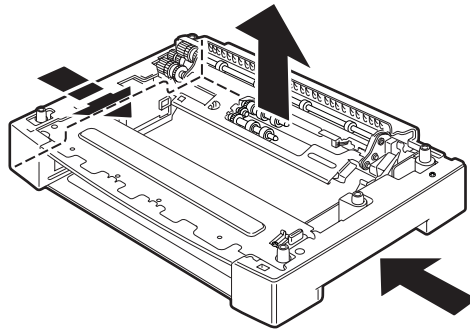
4.6.1 拡張給紙ユニットを取り付ける

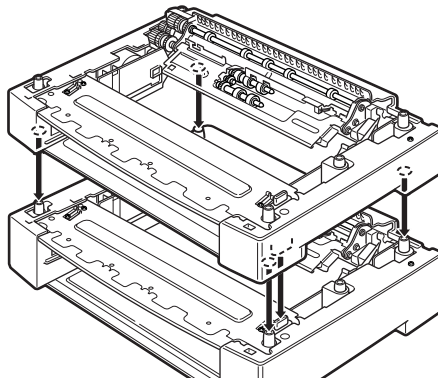
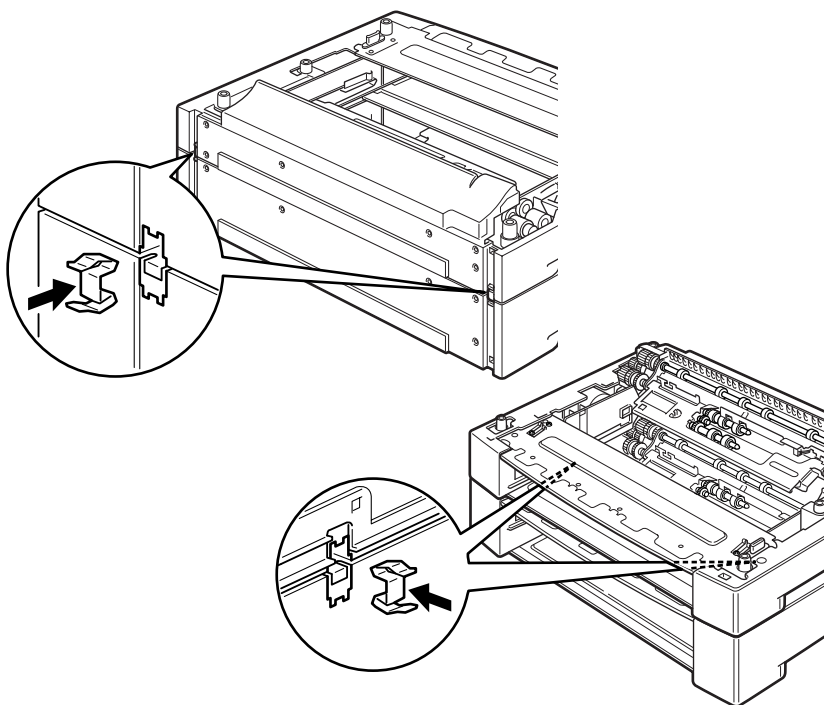
拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

1 プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す

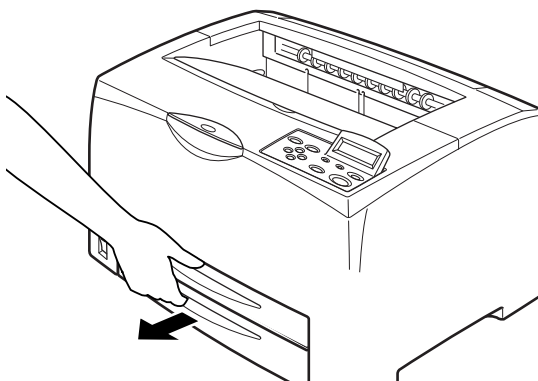
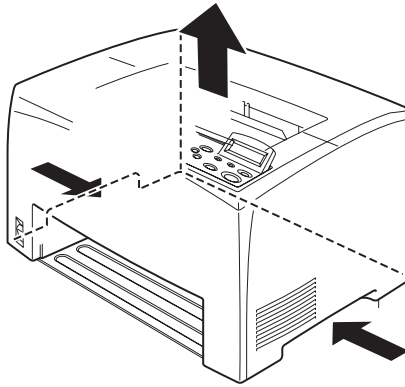
プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブルおよび USB ケーブルを外します。

❷ 下段に取り付ける拡張給紙ユニットを平らな場所に置く

お願い

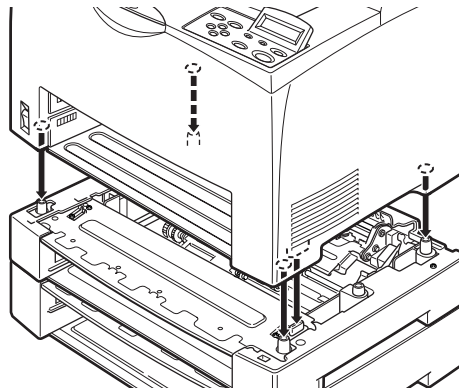
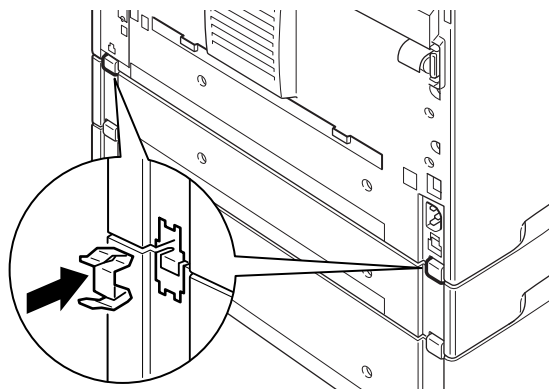
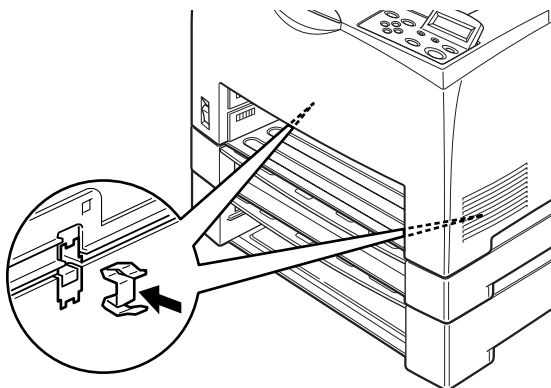
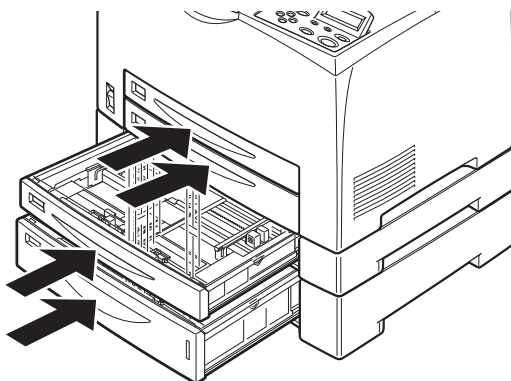
取り付ける拡張給紙ユニットが 1 段しかない場合は、❻へ進んでください。

❸ 上段に取り付ける拡張給紙ユニットの横を持って、持ち上げる

❹ 上下の拡張給紙ユニットの前面と後面の角を合わせる

下段の給紙ユニットの四隅にあるガイドピンが、上の拡張給紙ユニットの底面にある穴に入るようにしてください。

5 拡張給紙ユニットの内部 2 か所、後部 2 か所の差し込み部に添付の固定クリップを押し込み、拡張給紙ユニットどうしを固定する

お願い

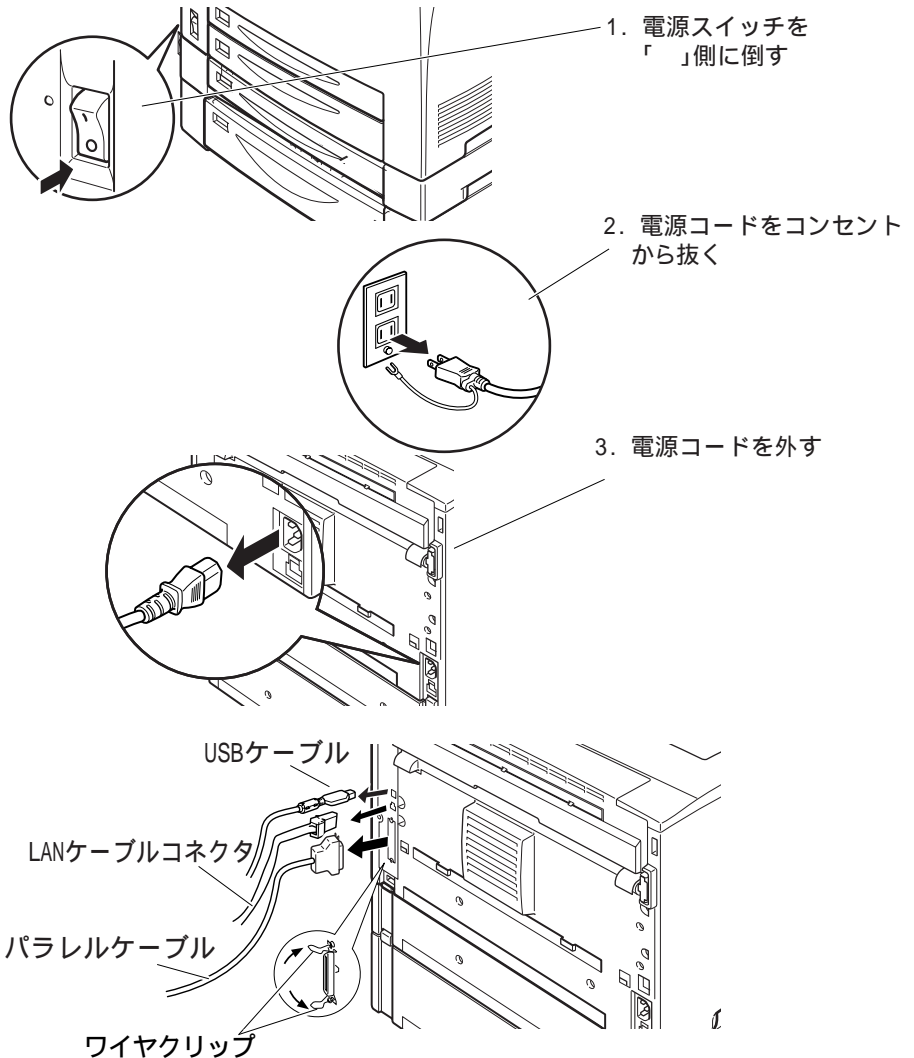
拡張給紙ユニットを 2 段以上設置する場合は、拡張給紙ユニットどうしをしっかりと取り付けてから、プリンタ本体と接続してください。

6 プリンタ本体に取り付けられているカセットを引き抜く

7 プリンタ下部のくぼみを持ち、プリンタを持ち上げる

8 プリンタを拡張給紙ユニットの上にゆっくりおろす

プリンタと拡張給紙ユニットの角を合わせます。次に給紙ユニットの四隅にあるガイドピンをプリンタ底面の穴に入れます。

9 プリンタの内部 2 か所、後部 2 か所の差し込み部に添付の固定クリップを押し込み本体と拡張給紙ユニットを固定する

10 プリンタ本体から取り外したカセットと拡張給紙ユニットのカセットを、奥に突き当たるまで押し込む

4.6.2 拡張給紙ユニットを取り外す

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 取り付けと逆の手順で、拡張給紙ユニットを取り外す

第 5 章

ネットワークを利用せずにプリンタを接続する

この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。

5.1 パソコンとの接続方法

パソコンとプリンタの接続方法、およびプリンタドライバのインストール手順は、パソコンがサポートしているインタフェースによって異なります。

●パラレルインタフェースによる接続

参照 「パラレルインタフェースによる接続とインストール」（100 ページ）参照

・パソコン
双方向パラレルインタフェースをサポートする PC/AT 互換機

・OS
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版

・セットアップ方法
インストーラによるセットアップ(Windows 95/98/Me/NT4.0/2000)
プラグアンドプレイによるセットアップ(Windows XP/Windows Server 2003)

●USB による接続

参照 「USB による接続とインストール」（108 ページ）参照

・パソコン
USB インタフェースを内蔵する PC/AT 互換機

・OS
Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 日本語版

・セットアップ方法
プラグアンドプレイによるセットアップ

お願い
本ドライバは他機種のプリンタで使用することはできません。また同様に、他機種用のドライバを本プリンタで使用することはできません。

ガイド

お使いのパソコンが USB に対応している場合は、［デバイスマネージャ］ダイアログに USB のホストコントローラと「USB ルートハブ」が表示されます。

［デバイスマネージャ］ダイアログは、次の操作で表示します。

・Windows 98/Me
［マイコンピュータ］－［コントロールパネル］－［システム］－［デバイスマネージャ］タブを開き、［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］の下を確認

・Windows 2000
［マイコンピュータ］－［コントロールパネル］－［システム］－［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックして[デバイスマネージャ]ダイアログを開き、［USB (Universal Serial Bus) コントローラ］の下を確認

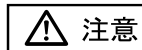
・Windows XP/Windows Server 2003
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］を開き、「関連項目」の中から［システム］－［ハードウェア］－［デバイスマネージャ］タブを開き、［USB (Universal Serial Bus)コントローラ］の下を確認

5.2　パラレルインタフェースによる接続とインストール

セントロニクス準拠のパラレルインタフェースにパソコンを接続する手順と、このときのプリンタドライバのインストールについて説明します。

5.2.1　パソコンとの接続

プリンタにパソコンを接続するときの注意事項と手順を説明します。

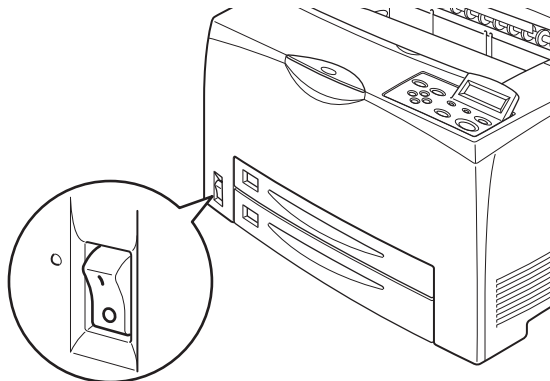
警告	感　電	パラレルケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

注意	故　障	ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。 誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

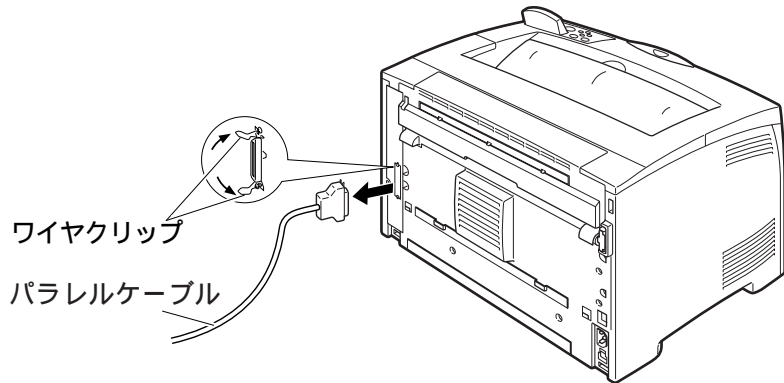
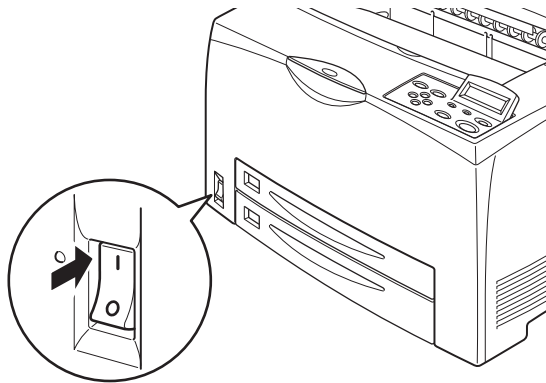
お願い

- パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- 本プリンタには、パラレルケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。

  参照　「プリンタケーブル」（73 ページ）参照
- USB との同時接続はできません。

1 電源スイッチを「○」側に倒し、プリンタの電源を切断する

パソコンの電源も切断してください。

2 パラレルケーブルをプリンタ背面にあるパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定する

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

3 電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れる

4 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

Windows がすでに起動している場合は、必ず再起動してください。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 をお使いの場合は、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されたら［キャンセル］をクリックし、「プリンタドライバのインストール(セントロ接続：Windows 95/98/Me/NT4.0/2000)」（102 ページ）に進んでください。

Windows XP/Windows Server 2003 をお使いの場合は、「プリンタドライバのインストール(セントロ接続：Windows XP/Windows Server 2003)」（105 ページ）に進んでください。

OS が Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンしてください。

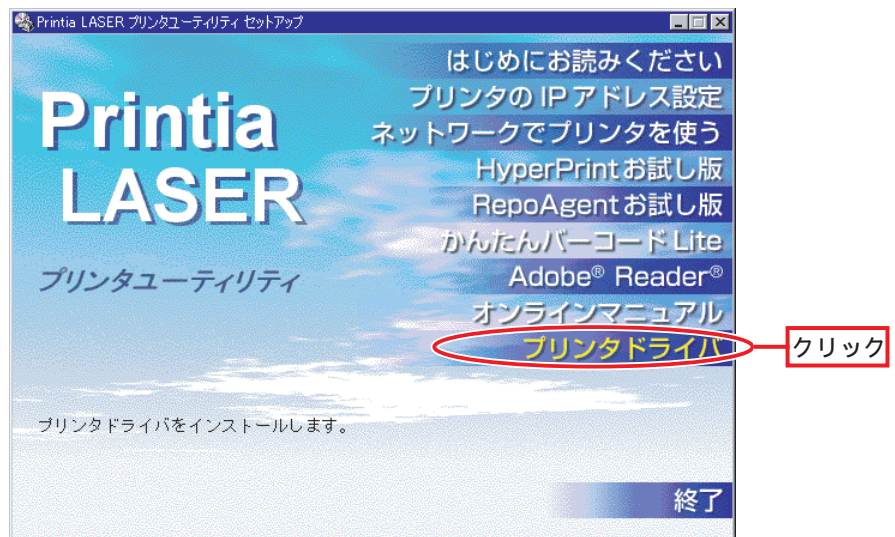
5.2.2　プリンタドライバのインストール（セントロ接続：Windows 95/98/Me/NT4.0/2000）

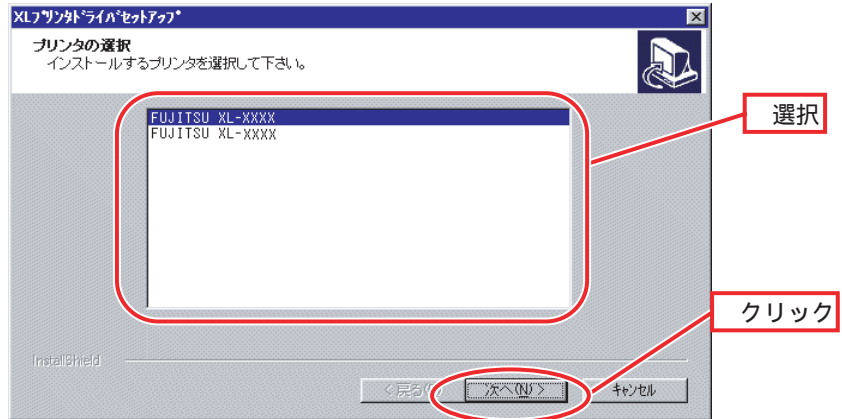
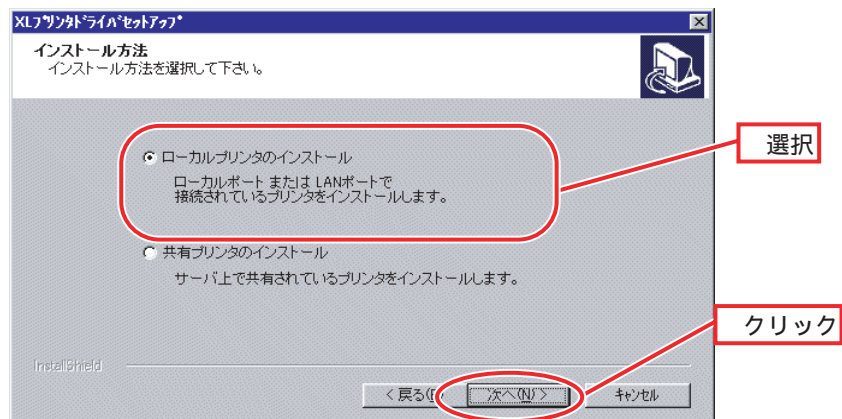
ここでは、添付の CD-ROM に収められているインストーラを使用して、サーバまたは管理者のパソコンに必要なソフトウェアおよびプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

ガイド

Windows 起動後、プラグアンドプレイにより「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されることがあります。このときは［キャンセル］をクリックしてください。

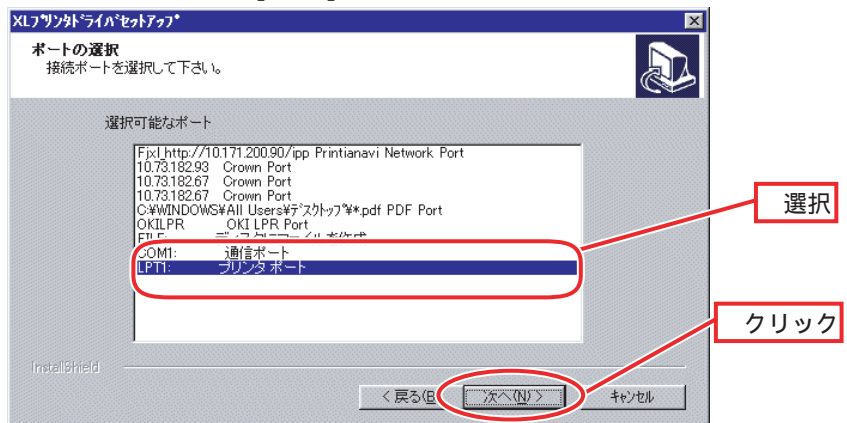
1. 添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら［プリンタドライバ］をクリックする

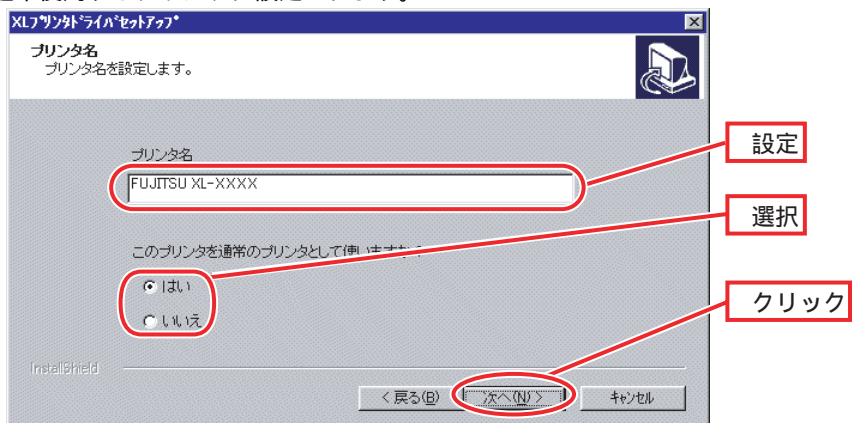
ガイド

上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。

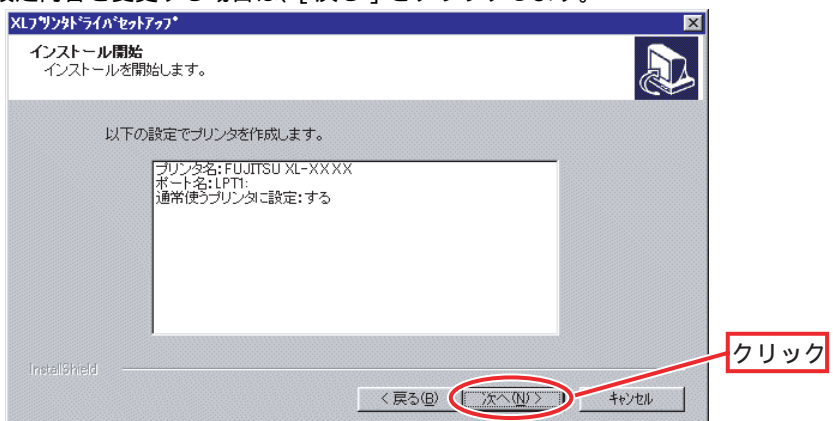
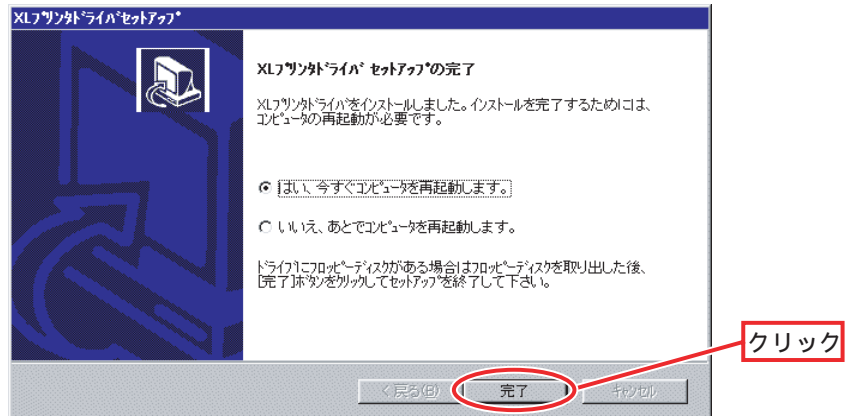
2 プリンタを選択し、［次へ］をクリックする

3 「ローカルプリンタのインストール」を選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

「共有プリンタのインストール」は、サーバ経由で印刷する場合に選択します。サーバとして共有する場合、ここでは「ローカルプリンタのインストール」を選択してプリンタドライバをインストールした後、プリンタを共有する設定をしてください。

参照　「第 7 章　プリンタ共有の設定」（165 ページ）参照

4 「LPT1：」を選択し、［次へ］をクリックする

5 プリンタ名を設定し、通常使用するプリンタとするかどうか選択して［次へ］をクリックする

すでにインストールされているプリンタがない場合は、「いいえ」を選択しても通常使用するプリンタに設定されます。

6 設定内容に問題がなければ、［次へ］をクリックする

設定内容を変更する場合は、［戻る］をクリックします。

7 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックする

以降は必要に応じて各章を参照してください。

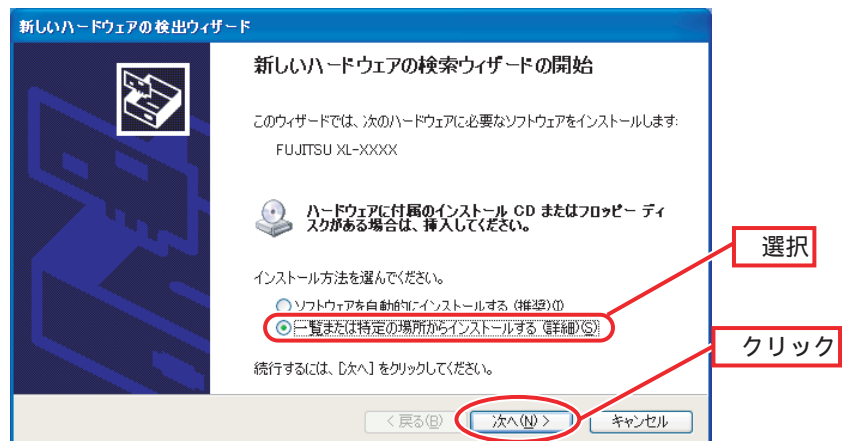
参照　実際に印刷したいときは、「第 8 章　日常の操作」（181 ページ）参照

参照　インストールがうまくいかなかったときは、「第 17 章　困ったときは」（369 ページ）参照

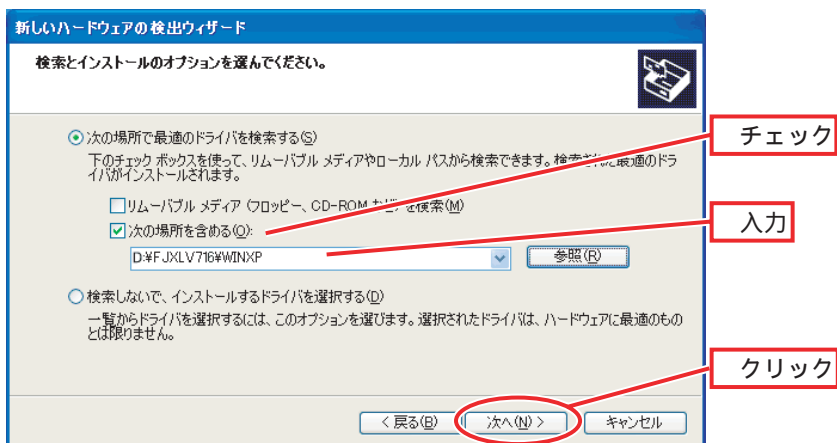
5.2.3　プリンタドライバのインストール（セントロ接続：Windows XP/Windows Server 2003）

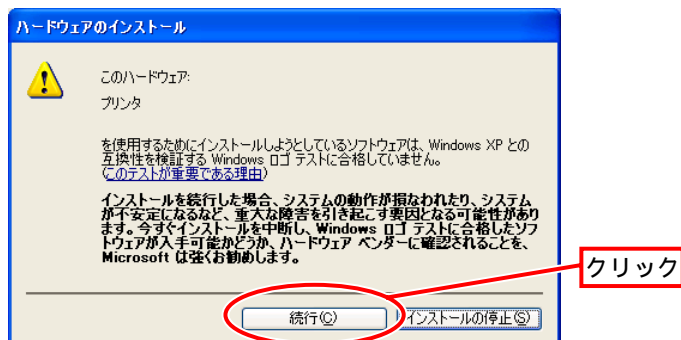
Windows XP/Windows Server 2003 のときに、プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

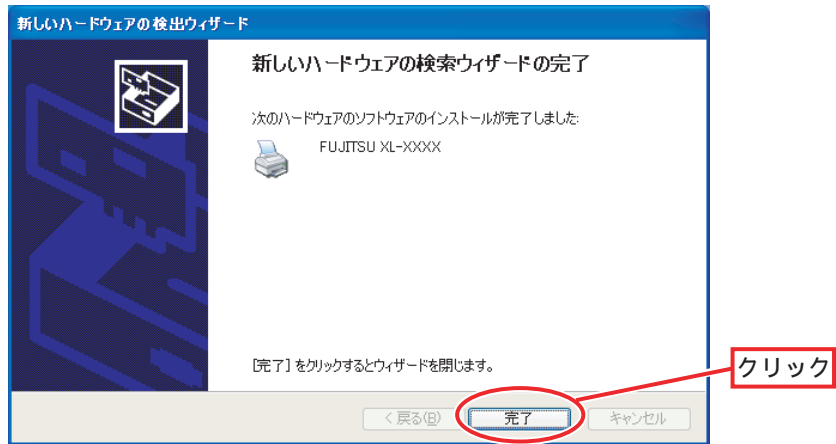
ガイド
管理者権限でログオンしてください。

1 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、［次へ］をクリックする

2 添付の CD-ROM をセットする

CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」のダイアログが自動的に起動した場合は、［終了］を選択して閉じてください。

3 「次の場所を含める」を☑にし、「D:\FJXLV716\WINXP」（CD-ROM ドライブが D:の場合）を入力し、［次へ］をクリックする

ガイド

環境によっては次のダイアログが表示される場合があります。
「説明」を参照して該当する「場所」を選択し、［次へ］をクリックしてください。

・次のダイアログが表示されたときは、［続行］をクリックしてください。

4 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックする

5 ［スタート］－［シャットダウン］を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

ガイド
通常使うプリンタに設定する場合には［スタート］－［プリンタと FAX］を選択し、［FUJITSU XL-XXXX］アイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニュー－［通常使うプリンタに設定］を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照 実際に印刷したいときは、「第 8 章　日常の操作」（181 ページ）参照

参照 インストールやテスト印刷がうまくいかなかったときは、「第 17 章　困ったときは」（369 ページ）参照

5.3 USB による接続とインストール

USB インタフェースにパソコンを接続する手順と、このときのプリンタドライバのインストールについて説明します。

5.3.1 パソコンとの接続

プリンタにパソコンを接続するときの注意事項と手順を説明します。

お願い

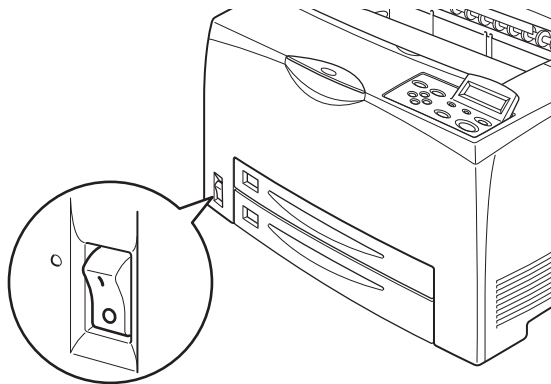
- Windows 3.1/95 から Windows 98/Me へアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。
- Windows 95/NT4.0 では動作しません。
- パソコンとプリンタの接続に使用する USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- 本プリンタと接続した USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- パラレルとの同時接続はできません。

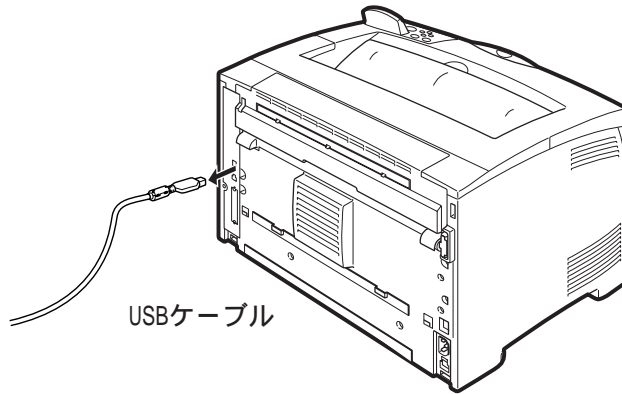
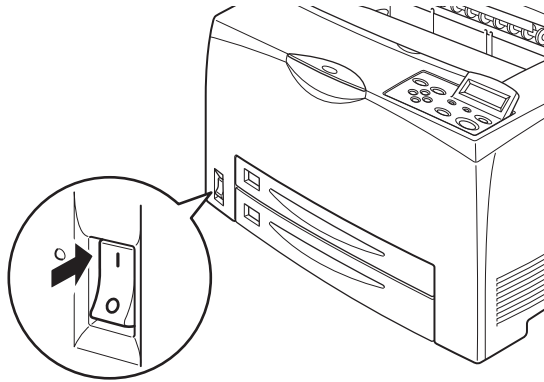
ガイド

- USB1.1 に準拠した USB ケーブルを用意してください。
  ただし、USB2.0 のケーブルを使用しても、本プリンタとの接続時は USB1.1 で動作します。
- USB ケーブルは本製品には添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。

  参照　「プリンタケーブル」（73 ページ）参照

1 電源スイッチを「○」側に倒し、プリンタの電源を切断する

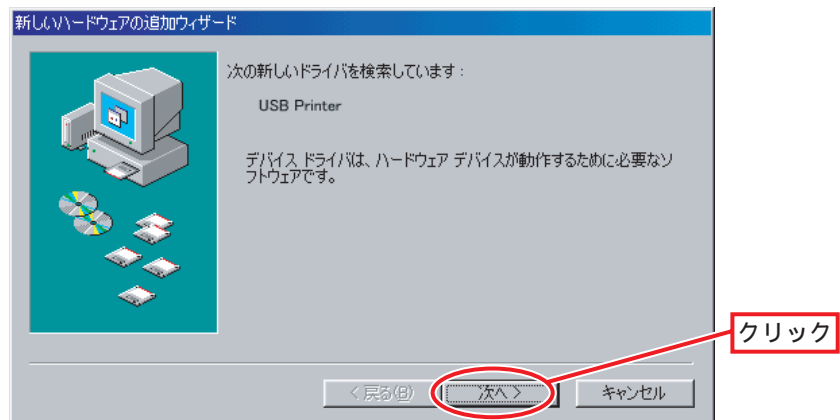
パソコンの電源も切断してください。

2 USB ケーブルをプリンタ背面にある USB ケーブルコネクタに差し込む

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

3 電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れる

4 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

Windows 98 をお使いの場合は、
「プリンタドライバのインストール（USB によるプラグアンドプレイ：Windows 98）」（110 ページ）に進んでください。
Windows Me をお使いの場合は、
「プリンタドライバのインストール（USB によるプラグアンドプレイ：Windows Me）」（115 ページ）に進んでください。
Windows 2000 をお使いの場合は、
「プリンタドライバのインストール（USB によるプラグアンドプレイ：Windows 2000）」（119 ページ）に進んでください。
Windows XP/Windows Server 2003 をお使いの場合は、
「プリンタドライバのインストール（USB によるプラグアンドプレイ：Windows XP/Windows Server 2003）」（122 ページ）に進んでください。
OS が Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンしてください。

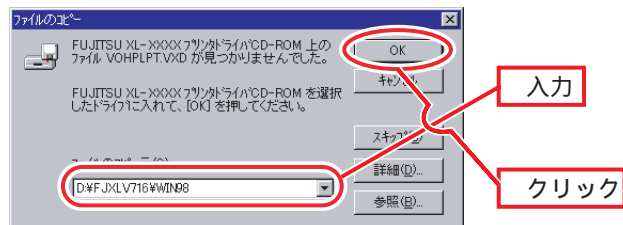
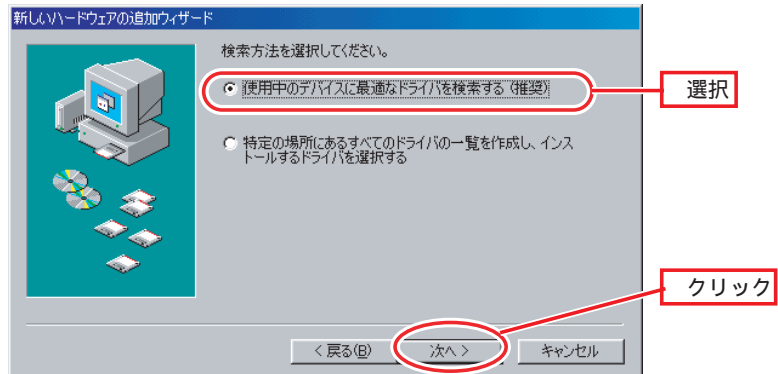
5.3.2　プリンタドライバのインストール　（USB によるプラグアンドプレイ：Windows 98）

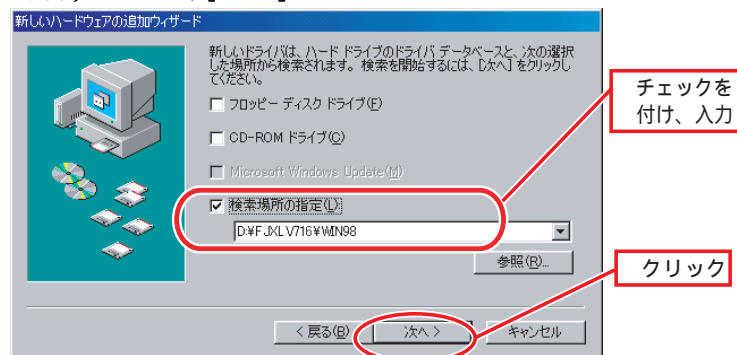
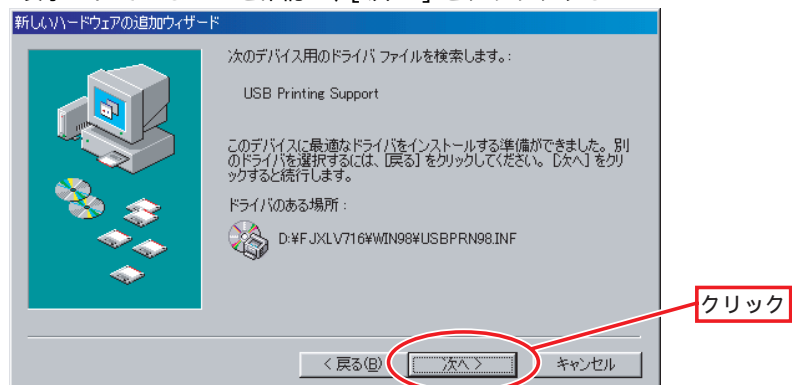
Windows 98 のときに、プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

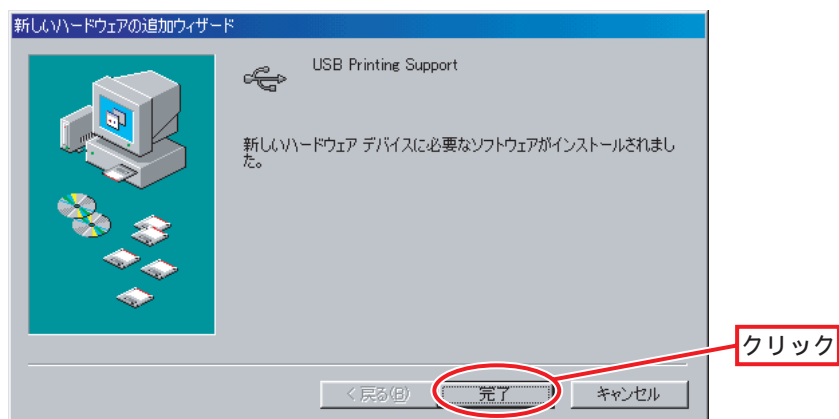
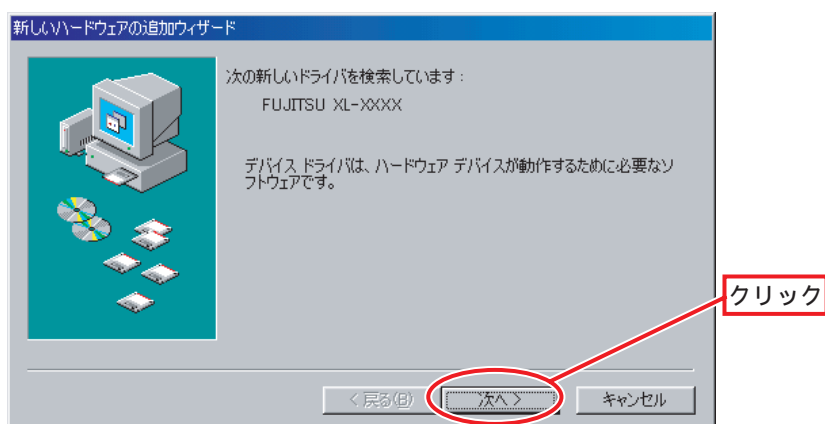
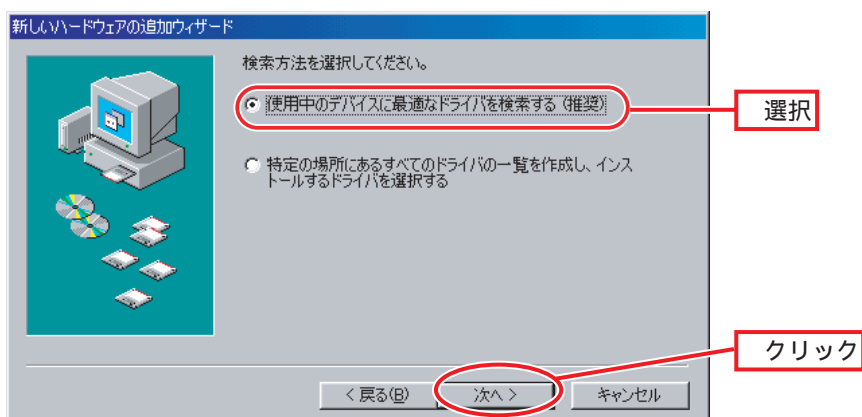
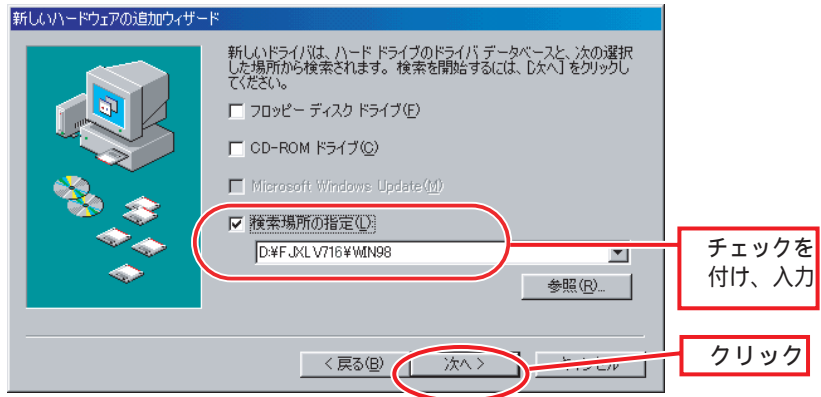
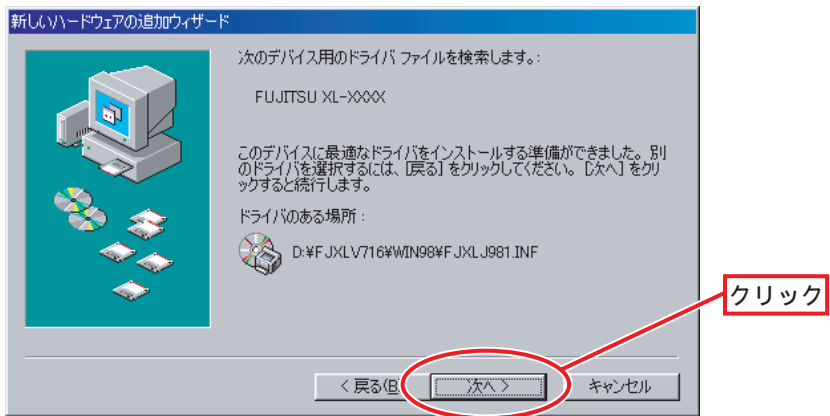
1 ［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリックする

ガイド

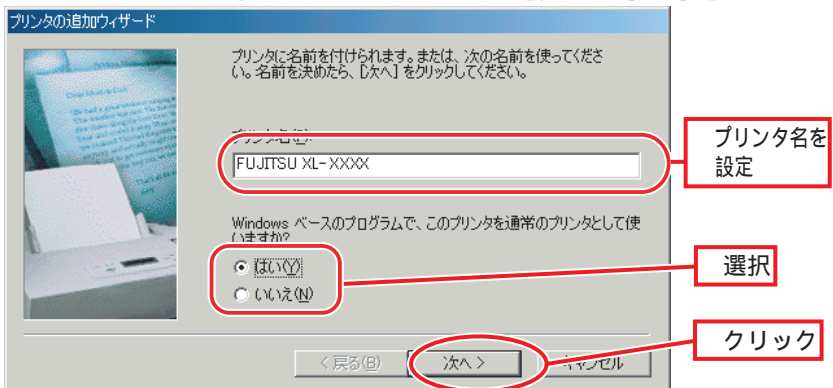
［ディスクの挿入］が表示されたときは、次の操作をしてください。

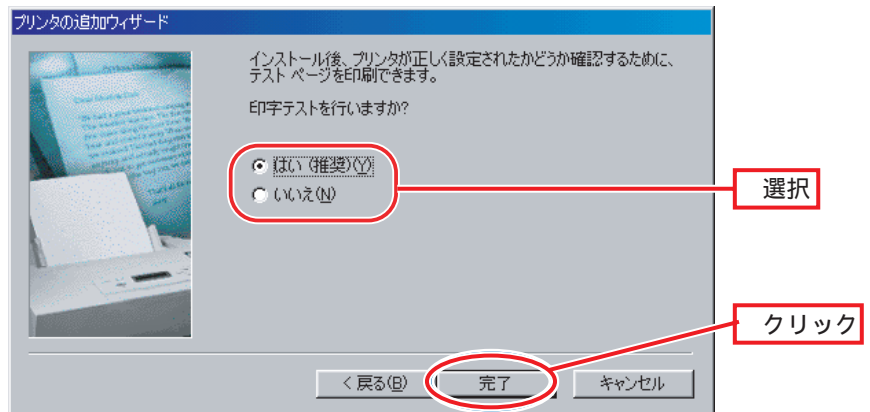
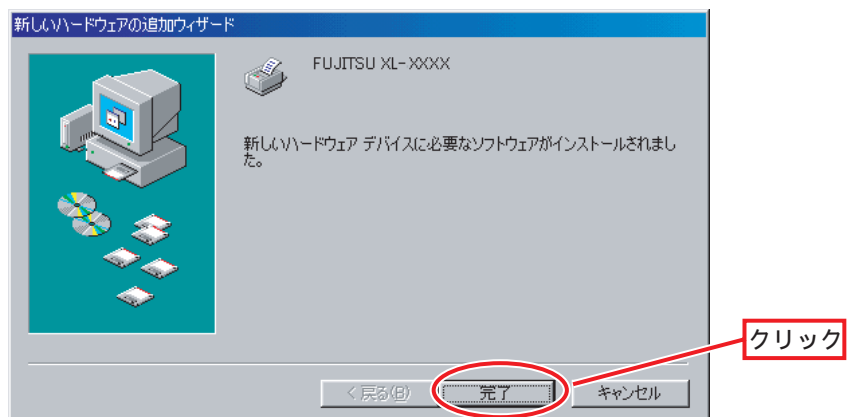
①添付の CD-ROM をセットし、［OK］をクリックします。
　CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」のダイアログが自動的に起動した場合は、［終了］を選択して閉じてください。

②［ファイルのコピー元］に「D:\FJXLV716\WIN98」（CD-ROM ドライブが D:の場合）と入力し、［OK］をクリックします。

2 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨)］を選択し、［次へ］をクリックする

3 添付の CD-ROM をセットする

4 ［検索場所の指定］を☑にし、「D：\FJXLV716\WIN98」（CD-ROM ドライブが D：の場合）と入力し、［次へ］をクリックする

5 「次のデバイス用のドライバファイルを検索します：USB Printing Support」と表示されていることを確認し、［次へ］をクリックする

6 インストールが終了したら、［完了］をクリックする

USB ケーブルに接続しているプリンタが自動的に検出されます。

7 ドライバ名を確認し、［次へ］をクリックする

8 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックする

9 ［検索場所の指定］を☑にし、「D:\FJXLV716\WIN98」（CD-ROM ドライブが D: の場合）と入力して［次へ］をクリックする

10 「このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました」と表示されることを確認し、［次へ］をクリックする

11 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、［次へ］をクリックする

ガイド

プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」となります。

12 プリンタの接続を確認するためにテスト印刷を行うときは「はい」、行わない場合は「いいえ」を選択し、[完了] をクリックする

13 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、[完了] をクリックする

14 [スタート] ― [Windows の終了] を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

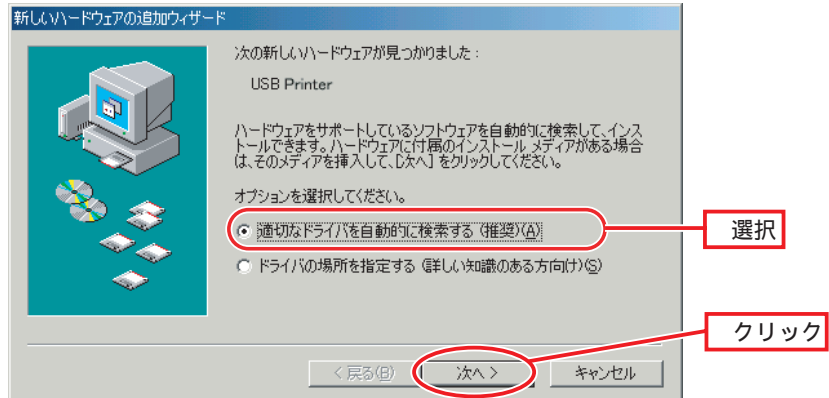
以降は必要に応じて各章を参照してください。

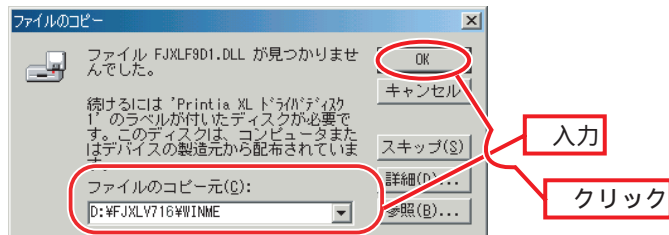
参照　実際に印刷したいときは、「第 8 章　日常の操作」(181 ページ) 参照

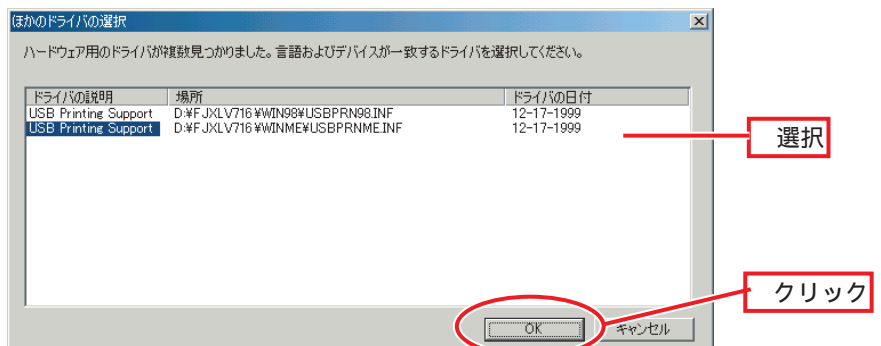
参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったときは、「第 17 章　困ったときは」(369 ページ) 参照

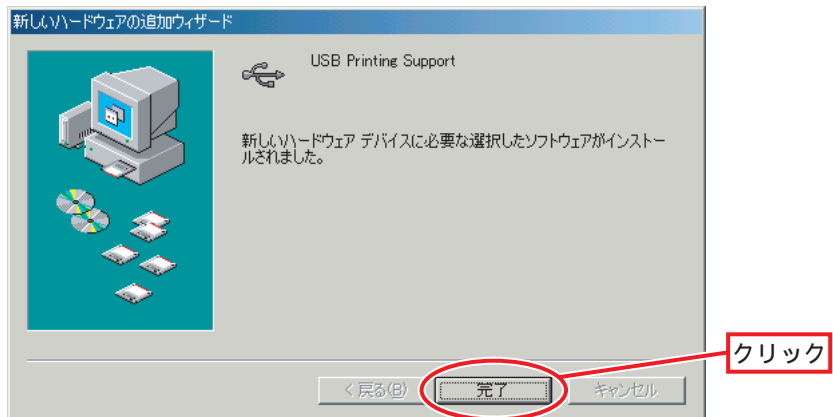
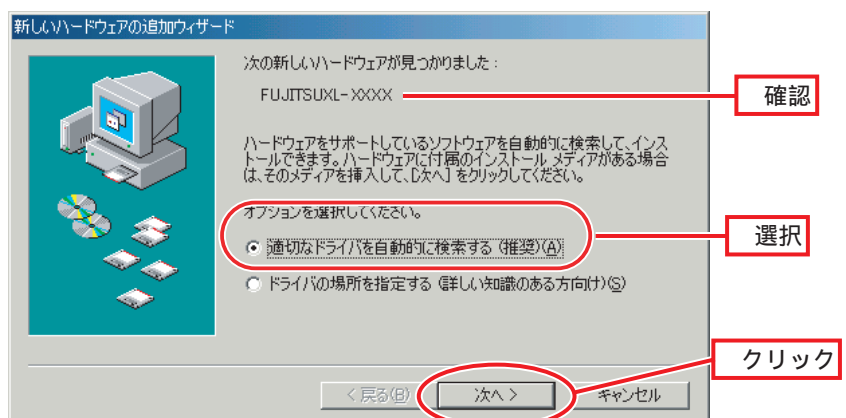
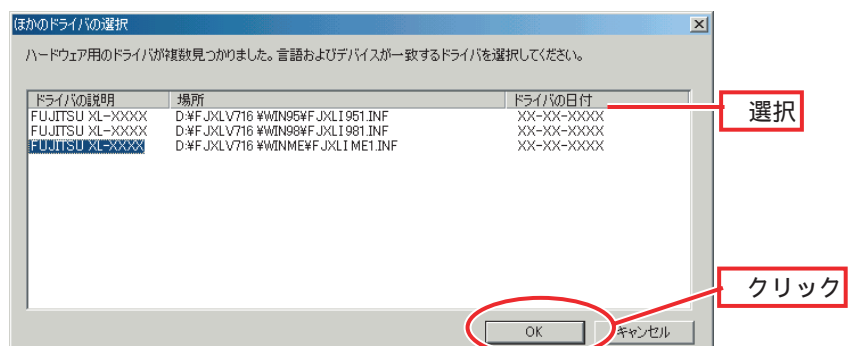
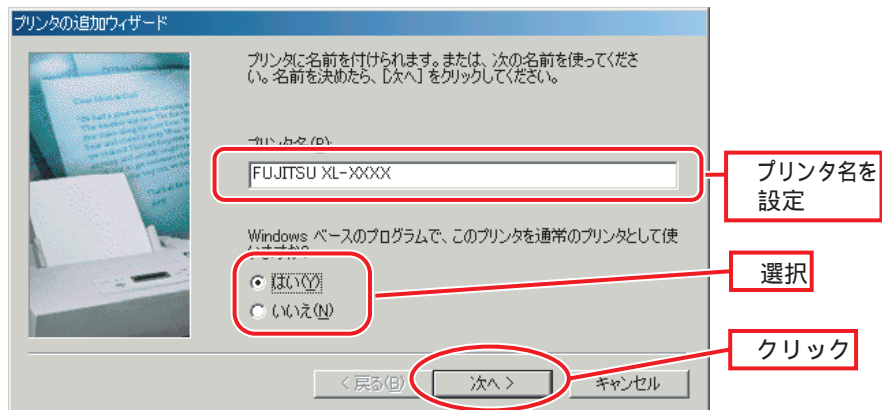
5.3.3　プリンタドライバのインストール（USB によるプラグアンドプレイ：Windows Me）

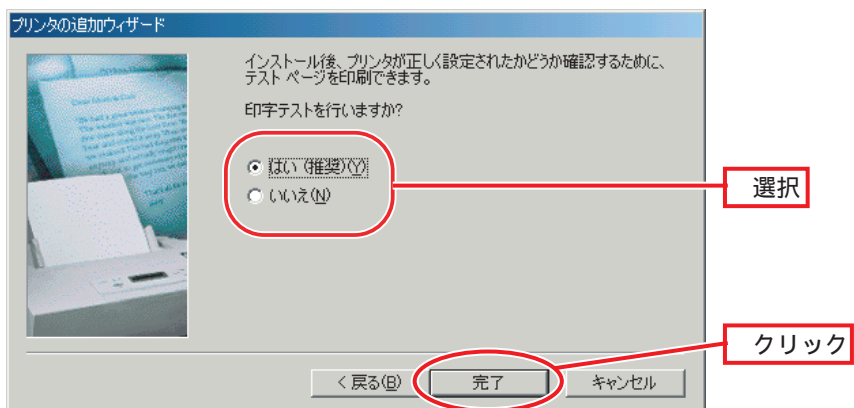
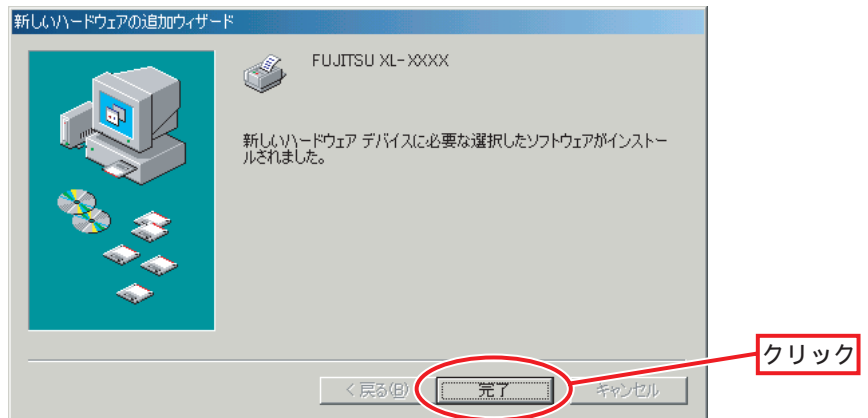
プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

1　［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されたら、添付の CD-ROM をセットし、［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択して、［次へ］をクリックする

ガイド

・［ファイルのコピー］が表示されたときは、次の操作をします。添付の CD-ROM をセットし、［ファイルのコピー元］に「D:\FJXLV716\WINME」（CD-ROM ドライブが D:の場合）と入力し、［OK］をクリックします。

・CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」のダイアログが自動的に起動した場合は、［終了］を選択して閉じてください。

2　［ほかのドライバの選択］が表示されたら、「場所」が［D:\FJXLV716\WINME\USBPRNME.INF］（CD-ROM ドライブが D:の場合）のドライバを選択し、［OK］をクリックする

3 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックする

USB ケーブルに接続しているプリンタが自動的に検出されます。

4 装置名を確認し、［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択して［次へ］をクリックする

5 ［ほかのドライバの選択］が表示されたら、「場所」が［D:\FJXLV716\WINME\FJXLIME1.INF］（CD-ROM ドライブが D:の場合）のドライバを選択し、［OK］をクリックする

6 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、［次へ］をクリックする

ガイド
プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」となります。

7 プリンタとの接続を確認するためにテスト印刷を行うときは、「はい」、行わないときは「いいえ」を選択し、［完了］をクリックする

8 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックする

9 ［スタート］－［Windows の終了］を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照　実際に印刷したいときは、「第 8 章　日常の操作」（181 ページ）参照

参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったときは、「第 17 章　困ったときは」（369 ページ）参照

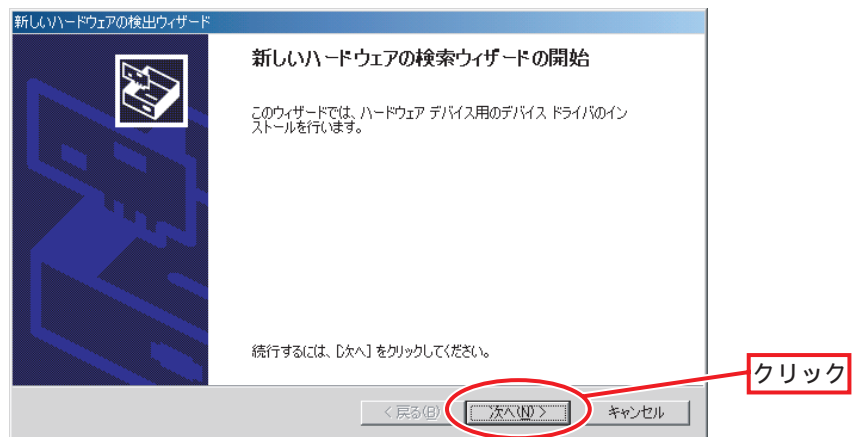
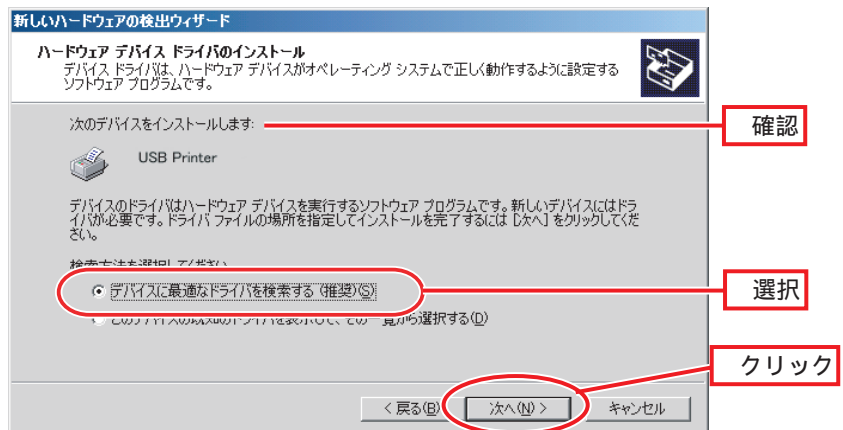
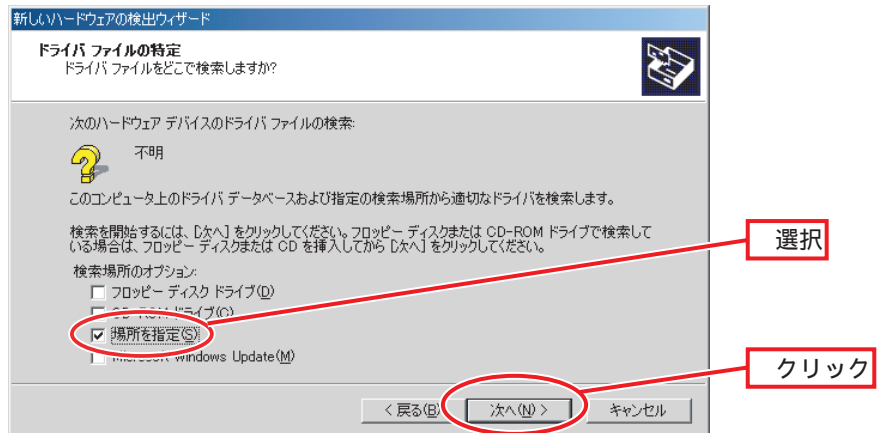
5.3.4　プリンタドライバのインストール（USB によるプラグアンドプレイ：Windows 2000）

プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

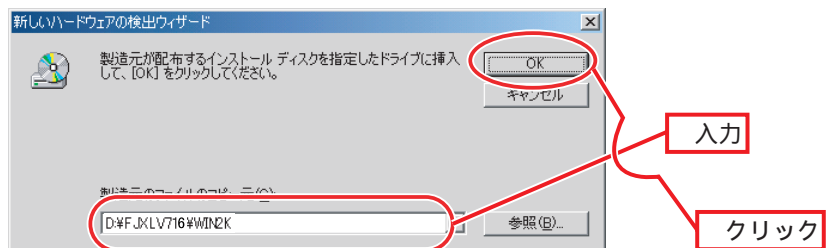
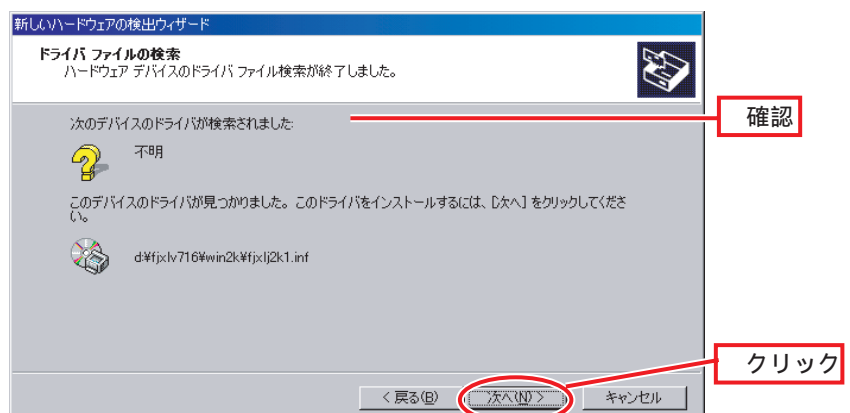
ガイド

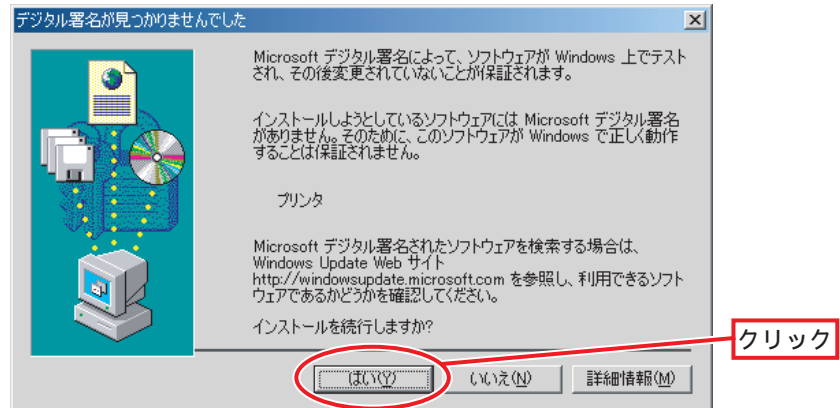
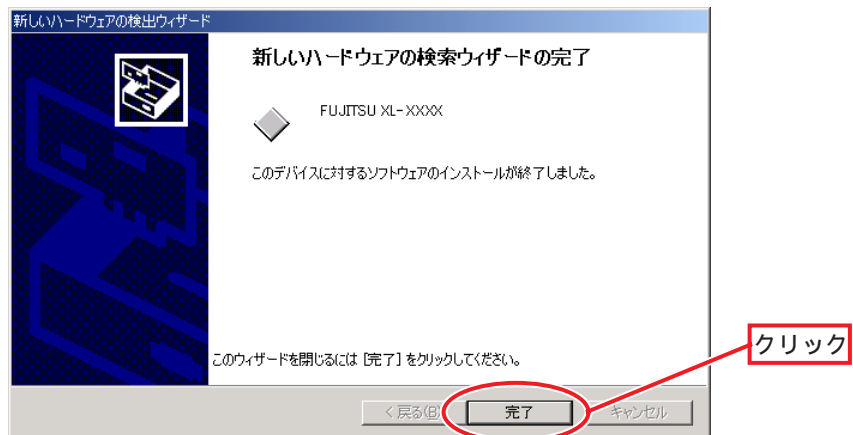
Windows 2000 のときは、管理者権限でログオンしてください。

1 ［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されたら、［次へ］をクリックする

ダイアログが表示されるまでに 1〜2 分間かかることがあります。

2 「次のデバイスをインストールします」と表示されていることを確認し、［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択して［次へ］をクリックする

3 ［場所を指定］を☑にし、［次へ］をクリックする

4 添付の CD-ROM をセットする

CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」のダイアログが自動的に起動した場合は、［終了］を選択して閉じてください。

5 ［製造元のファイルのコピー元］に「D:\FJXLV716\WIN2K」（CD-ROM ドライブが D:の場合）と入力し、［OK］をクリックする

6 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されていることを確認し、［次へ］をクリックする

ガイド

次のダイアログが表示されたときは、[はい]をクリックしてください。

7 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、[完了] をクリックする

8 [スタート] ― [シャットダウン] を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

ガイド

通常使うプリンタに設定する場合には [スタート] ― [設定] ― [プリンタ] の順に選択し、[FUJITSU XL-XXXX] アイコンを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照　実際に印刷したいときは、「第 8 章　日常の操作」(181 ページ) 参照

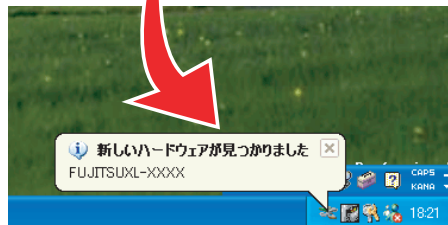
参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったときは、「第 17 章　困ったときは」(369 ページ) 参照

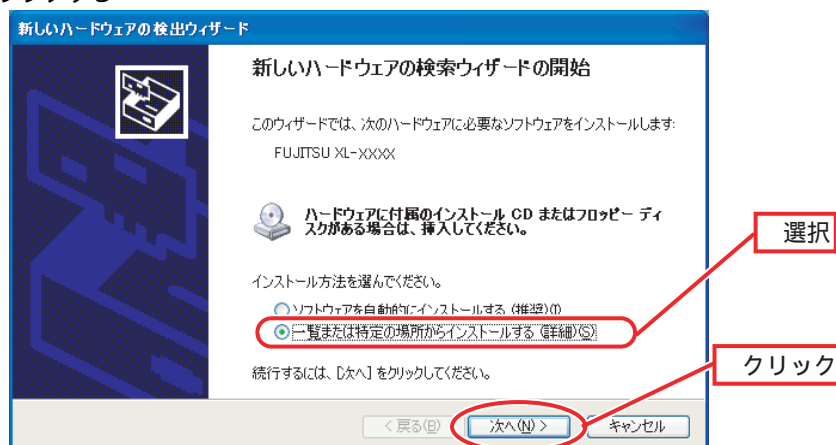
5.3.5　プリンタドライバのインストール
(USB によるプラグアンドプレイ : Windows XP/Windows Server 2003)

プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

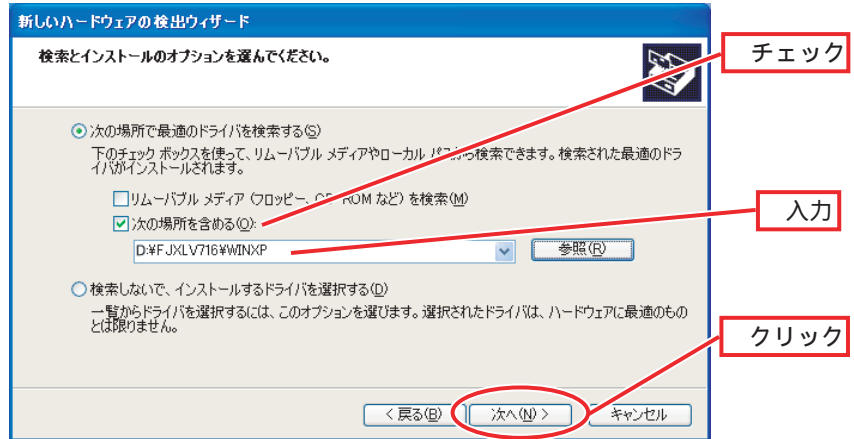
ガイド

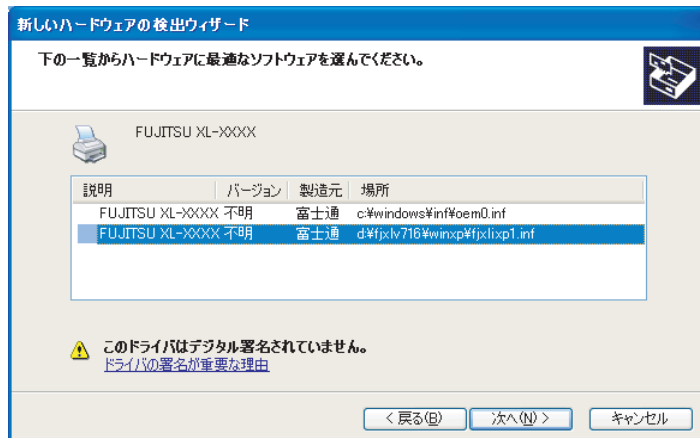
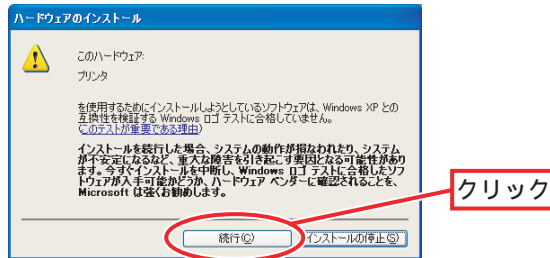
Windows XP/Windows Server 2003 のときは、管理者権限でログオンしてください。

USB ポートにプリンタを接続し、プリンタとパソコンの電源を入れると、次のダイアログが表示され、プラグアンドプレイによる USB ドライバのインストールが始まります。

以降の手順に従ってプリンタドライバをインストールしてください。

1 「一覧または特定の場所からインストールする (詳細) を選択し、［次へ］をクリックする

2 添付の CD-ROM をセットする

CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」のダイアログが自動的に起動した場合は、[終了] を選択して閉じてください。

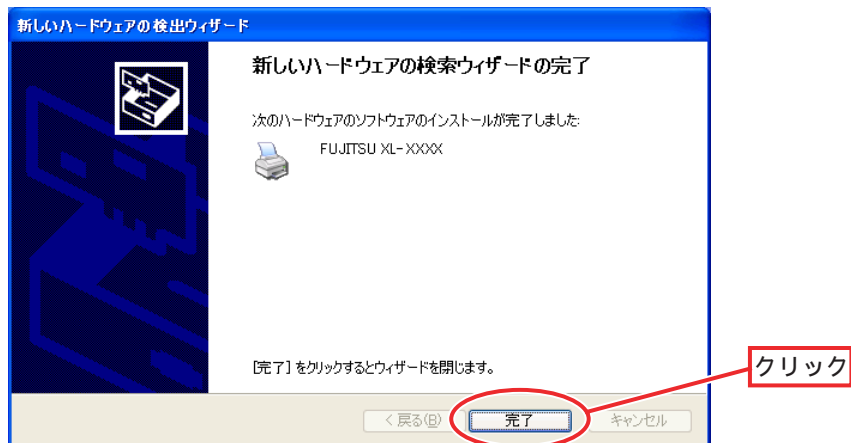
3 「次の場所を含める」を☑にし、「D:\FJXLV716\WINXP」(CD-ROM ドライブが D:の場合) を入力し、[次へ] をクリックする

ガイド

- **1** で「ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)」を選択した場合、次のダイアログが表示されます。
「D:\FJXLV716\WINXP\FJXLFXP1.INF」を選択し、[次へ] をクリックしてください。

・次のダイアログが表示されたときは、［続行］をクリックしてください。

4 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックする

5 ［スタート］－［シャットダウン］を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

ガイド

通常使うプリンタに設定する場合は、［スタート］－［プリンタと FAX］を選択し、［FUJITSU XL-XXXX］アイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニュー－［通常使うプリンタに設定］を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照　実際に印刷したいときは、「第 8 章　日常の操作」（181 ページ）参照

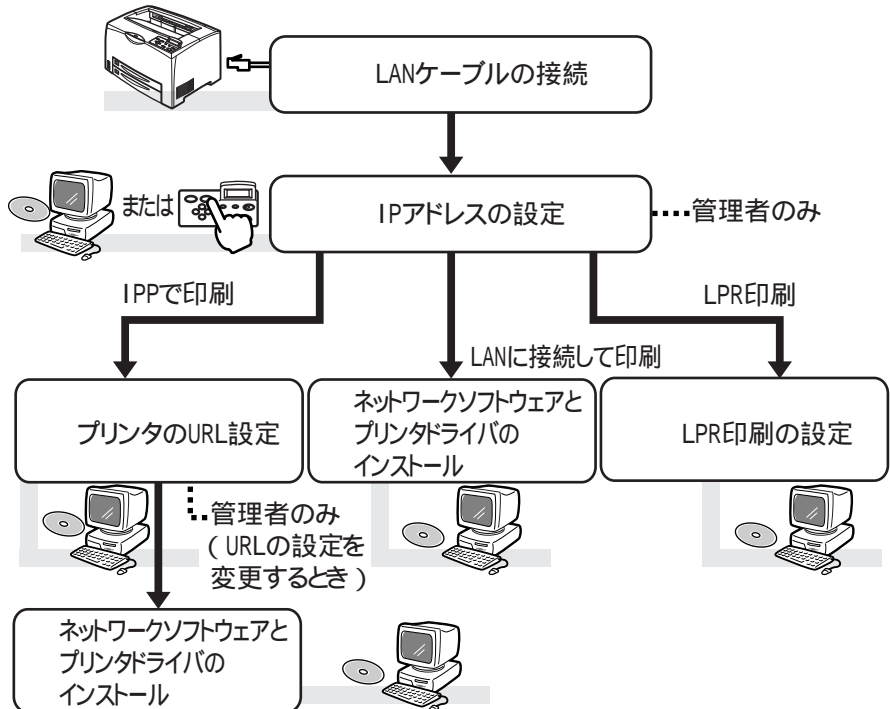
参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったときは、「第 17 章　困ったときは」（369 ページ）参照

第 6 章

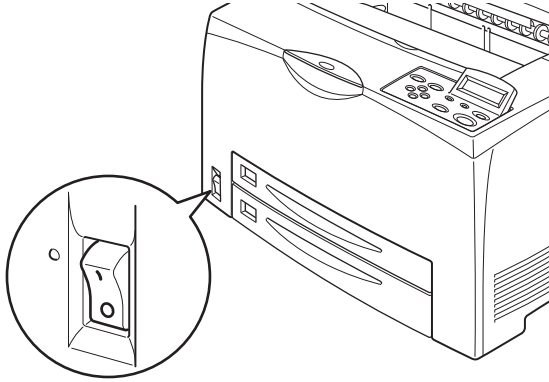
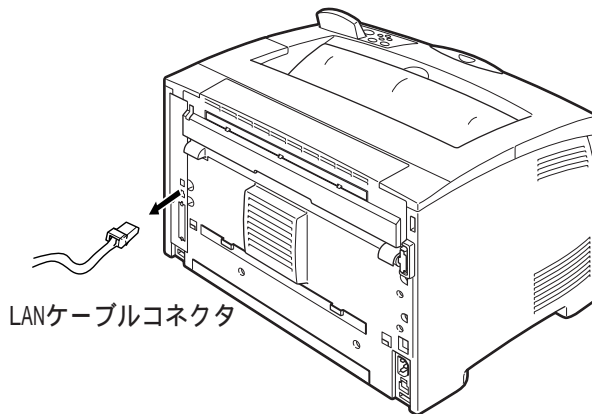
ネットワークを利用してプリンタを接続する

この章では、ネットワークを使用して、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。

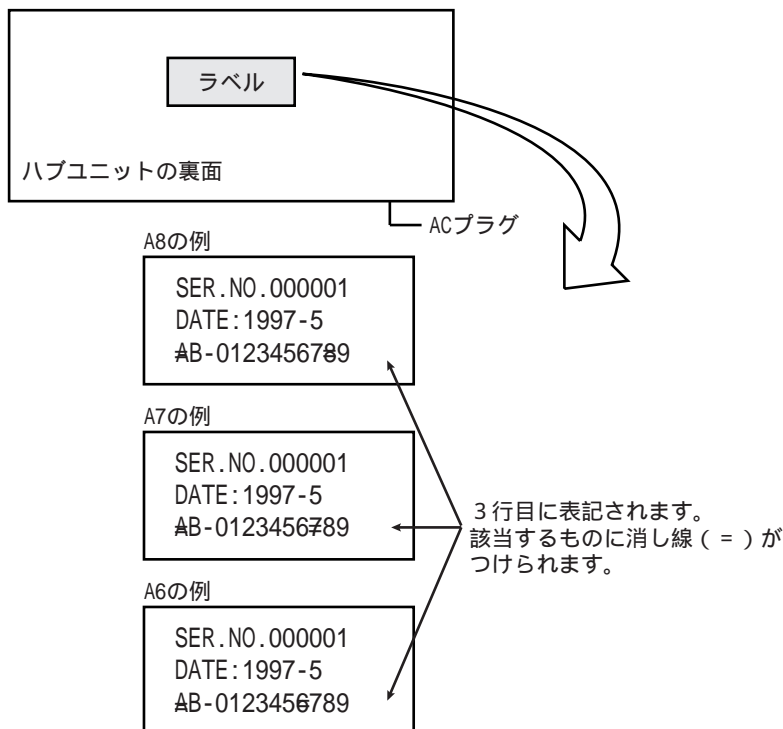
6.1 LAN による接続とインストール

プリンタに LAN ケーブルを接続して印刷する場合には、以下の方法があります。
・LAN に接続して印刷
・インターネットを利用した IPP による印刷
・LPR 印刷
プリンタに LAN ケーブルを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順は、以下のとおりです。

6.2 LAN ケーブルの接続

プリンタをネットワークに接続する手順について説明します。
プリンタをネットワーク経由で接続するときは、ハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー5 のツイストペアケーブルをご使用ください。

1 プリンタの電源の切断（電源スイッチが「○」側）を確認する

2 プリンタ背面にある LAN ケーブルコネクタに LAN ケーブルを接続し、電源を入れる

6.2.1 LAN に接続するときの注意事項

- LAN ケーブルをハブユニットに接続した場合に、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方の Ethernet タイプを同じ規格に設定してください。
  本プリンタの Ethernet タイプは、「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタの Ethernet タイプは、メニューモードの［初期設定］－［LAN 設定］にある「Ethernet タイプ」で変更します。本製品の「10Mbps」は、「Half」です。
  参照　メニューモードについては、
  「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」（209 ページ）参照
  ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。
- ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  - ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
  - ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、ハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご相談ください。

  ラベルの見かたを次の図に示します。

6.2.2 パソコンと LAN の両方に接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN 経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう 1 台のパソコンをパラレルポートまたは USB ポートに接続することができます。
パラレルポートまたは USB ポートと、LAN ポートの両方にプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

・ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。

・片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは使用できません。２つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
Printianavi を利用している場合、一方のパソコンから印刷中のときは、もう一方のパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
一方のパソコンからの印刷が終了すると、もう一方のパソコンからの印刷を自動的に再開します。

・Printianavi および Printianavi ネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンから LAN 経由で同時印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。

・片方のポートで未印刷データがある場合、もう一方のポートには切り替わりません。

お願い
パラレルポートまたは USB ポートから印刷している間は、プリンタから LAN ケーブルを抜き差ししないでください。

参照　ポートの切り替え時間については、「第 9 章 オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」の「ポート設定」の「タイムアウト時間」（212 ページ）参照

6.3 IP アドレスの設定

ここでは、本プリンタに IP アドレスを設定する方法について説明します。

6.3.1 設定方法の種類

本製品に IP アドレスを設定する方法には、次の 3 つがあります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

・IP アドレス設定ユーティリティ 2 による設定
添付の CD-ROM に収められているネットワークソフトウェアを使用して、IP アドレスを設定します。

・オペレータパネルによる設定
プリンタのオペレータパネルから直接操作します。
プリンタ単体で設定することができます。

・DHCP によるアドレス自動取得
プリンタの電源投入時に DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得します。
DHCP サーバのある環境では、最も簡単な方法です。

6.3.2 IP アドレス設定ユーティリティ 2 による設定

ここでは、添付の CD-ROM に収められている IP アドレス設定ユーティリティ 2 を利用してプリンタに IP アドレスを設定します。
IP アドレス設定ユーティリティ 2 を利用すると、次のことができます。

・ネットワーク接続プリンタの一覧表示
ネットワークに接続されている XL プリンタを自動検索し、一覧で表示します。

・IP アドレスの割り当て
一覧画面より選択したプリンタに対し、IP アドレスの割り当てを行います。

(1)　準 備

IP アドレスを設定する前に、次のことを確認してください。

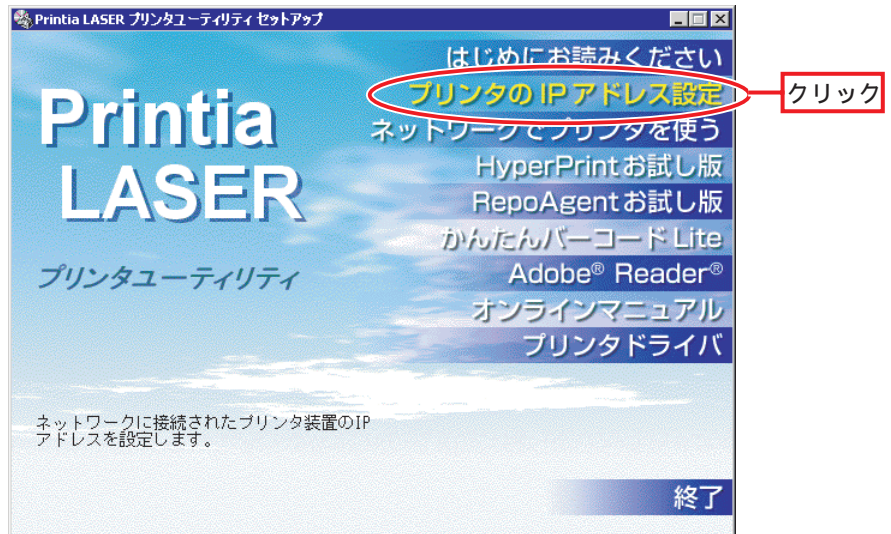
確認事項	内　容
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	プリンタをネットワーク上に接続してください。

ガイド
ネットワークソフトウェア 2 が[プリンタ管理者向けセットアップ]を選択してインストールされた場合は、[スタート] ― [プログラム] (*)― [Printianavi] ― [ネットワークソフトウェア 2] ―[IP アドレス設定ユーティリティ 2]をクリックし、起動できます。
* Windows XP、Windows Server 2003 の場合は[すべてのプログラム]をクリックします。

(2)　IP アドレスの設定手順（1 台のプリンタを接続する場合）

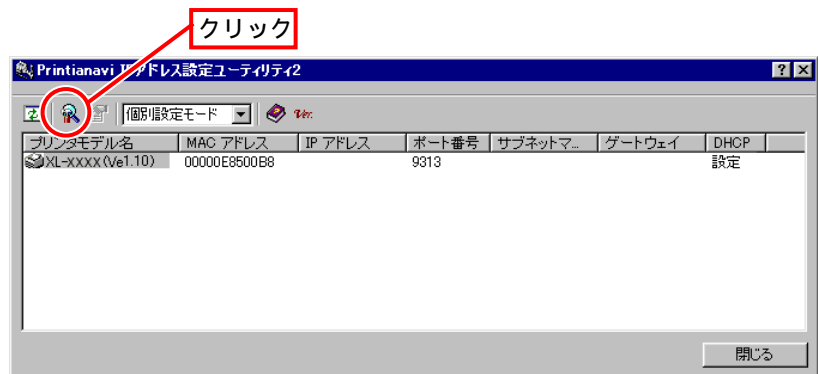
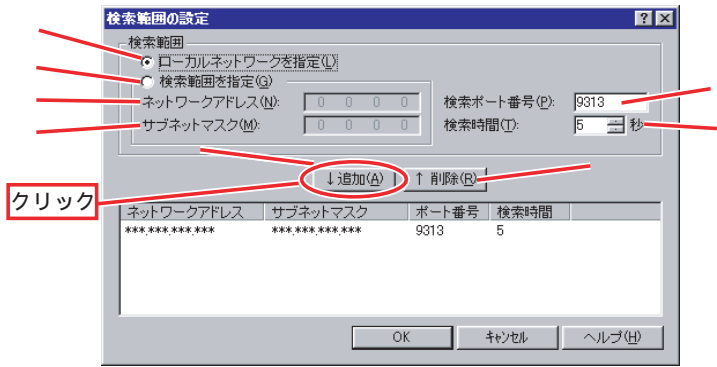
●設定手順

プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

1 添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら［プリンタの IP アドレス設定］をクリックする

ガイド
上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。

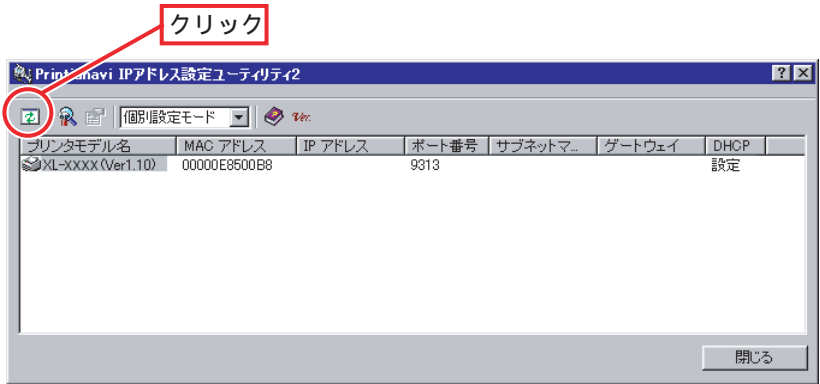
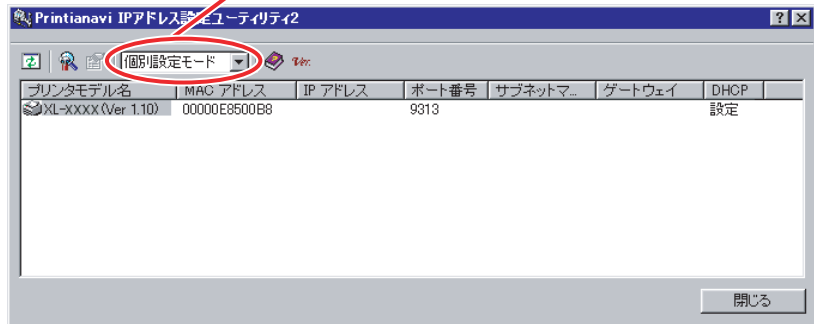
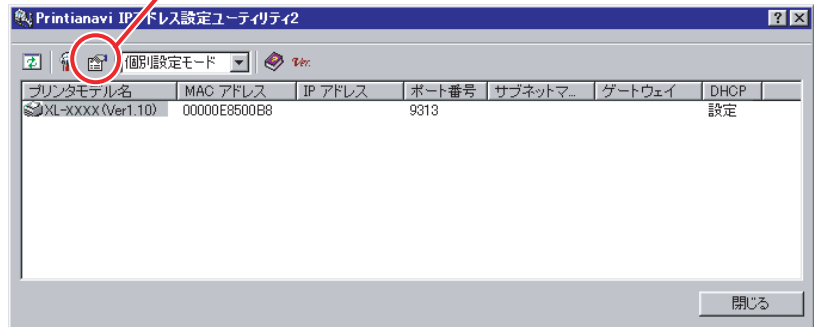
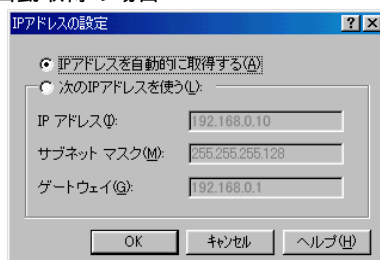
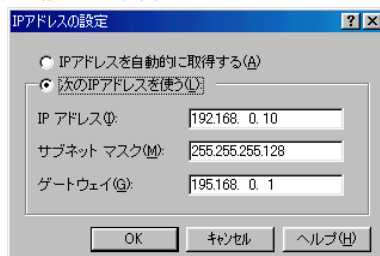
2 必要に応じて検索範囲を設定する

1 の操作でネットワークに接続されている XL プリンタを自動検索し、一覧表示します。（①のダイアログ）
次の手順で、ネットワークに接続されているプリンタの検索範囲を設定することができます。検索範囲を設定しない場合は、3 に進んでください。

①一覧画面の をクリックする

②検索範囲を入力し［追加］をクリックする

①	ローカルネットワーク	ローカルネットワークの設定を行う場合に選択を指定します。
②	検索範囲を指定	検索範囲の設定を行う場合に選択します。
③	ネットワークアドレス	プリンタの検索範囲に追加するネットワークアドレスを指定します。「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。
④	サブネットマスク	プリンタの検索範囲に追加するサブネットマスクを指定します。「255.255.255.255」は指定できません。
⑤	検索ポート番号	プリンタの検索範囲に追加するポート番号を指定します。 設定範囲：1～65535　初期設定：9313
⑥	検索時間	プリンタの検索時間（タイムアウト時間）を設定します。 設定範囲：5～30 秒　初期設定：5 秒
⑦	［追加］ボタン	①～⑥で指定した内容を、アドレスリストに追加します。すでに登録されているアドレスを指定した場合は、無効です。
⑧	［削除］ボタン	アドレスリストで選択した項目を削除し、①～⑥に反映します。

ガイド

- ローカルネットワークを追加する場合、「検索ポート番号」と「検索時間」のみ入力することができます。
- ローカルネットワーク（＊＊＊．＊＊＊．＊＊＊．＊＊＊）の最後の 1 つを削除することはできません。

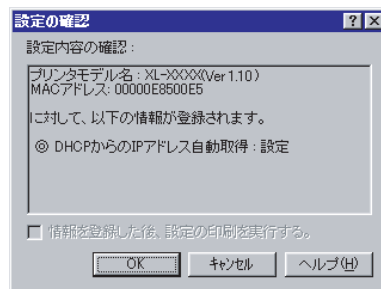
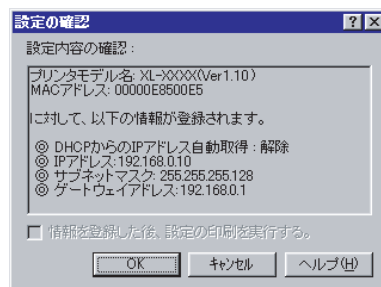
③［OK］をクリックした後、をクリックする

3 「個別設定モード」が選択されていることを確認する

4 プリンタの一覧から IP アドレスを設定するプリンタを選び、 をクリックする

5 IP アドレスを設定し、[OK] をクリックする

・自動取得の場合

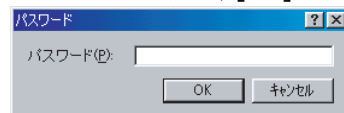
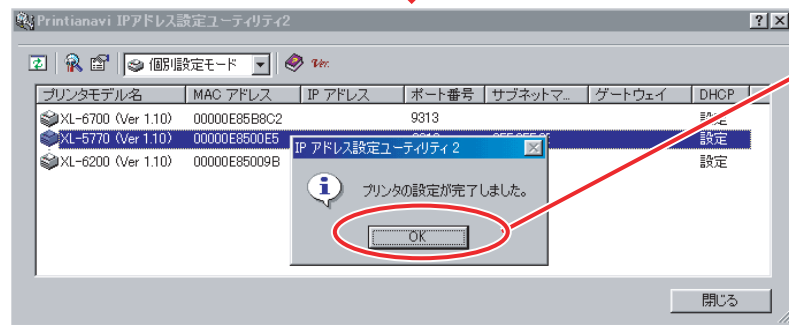
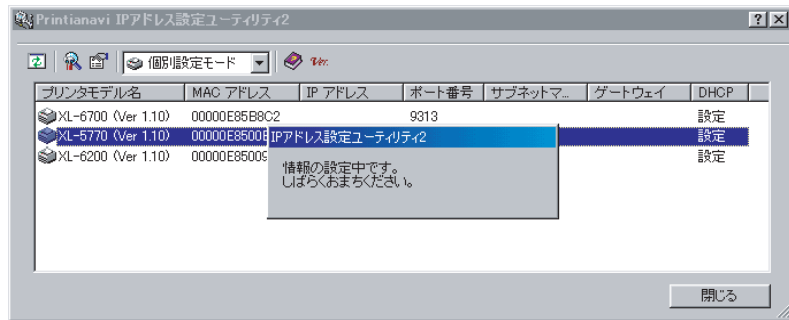
・手動設定の場合

手動設定を選択したときは、各アドレスを指定します。ゲートウェイは省略できます。「IP アドレス」と「サブネットマスク」の入力には、次の制限があります。

IP アドレス	「0.0.0.0」、「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。
サブネットマスク	「255.255.255.255」および空白を含むアドレスは指定できません。

6 次のダイアログが表示されたら内容を確認し、［OK］をクリックする

・自動取得の場合

・手動設定の場合

ガイド

・プリンタにパスワードを設定していると、次のダイアログが表示されます。パスワードを入力し、［OK］をクリックしてください。

7 設定中ダイアログに続いて［設定完了］ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする

ガイド

- 6 までの操作の後、「プリンタからの通信が異常となりました」と表示されたときは、設定が正しく行われていません。設定内容を確認し、再度設定し直してください。
- 通信が行えない場合は、設定した値が正しくありません。プリンタの LAN 設定を初期化し、再度設定し直してください。
  LAN 設定の初期化は、次の操作で行います。
  ①「メニュー」スイッチを押してプリンタをメニューモードにします。
  ②「▶」スイッチを押して「ショキ　セッテイ」画面を表示します。
  ③「▼」スイッチを 1 回、「▶」スイッチを 3 回押し、「カンリ／ショキカ」と表示させます。
  ④「▼」スイッチを押して、「LAN ショキカ」と表示させます。
  ⑤「▼」スイッチを押して「ジッコウ」と表示させ、「設定」スイッチを押します。

  「ショキカ　シマス」の表示に続いて、「オンライン」と表示されれば、初期化は完了です。

以上で IP アドレスの設定は完了です。

参照　LAN による印刷を行いたいときは、「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（148 ページ）参照

参照　IPP による印刷を行いたいときは、「プリンタの URL 設定（IPP のみ）」（145 ページ）参照

参照　LPR 印刷を行いたいとき（Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5）は、「LPR 印刷の設定」（157 ページ）参照

(3)　IP アドレスの設定手順（複数台のプリンタを接続する場合）

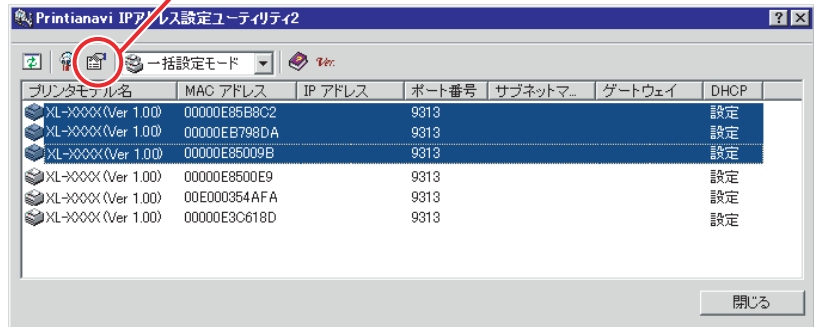
複数台のプリンタの IP アドレスをまとめて設定するときは、IP アドレス設定ユーティリティ 2 を一括設定モードにします。一括設定モードでは、ローカルネットワーク内のプリンタの IP アドレスを設定することができます。
プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

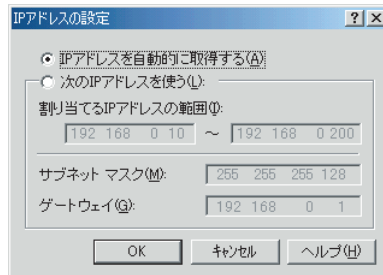
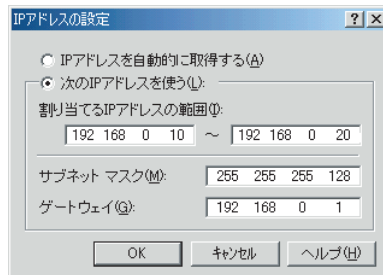
1 添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら［プリンタの IP アドレス設定］をクリックする

ガイド
上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。

2 「一括設定モード」を選択する

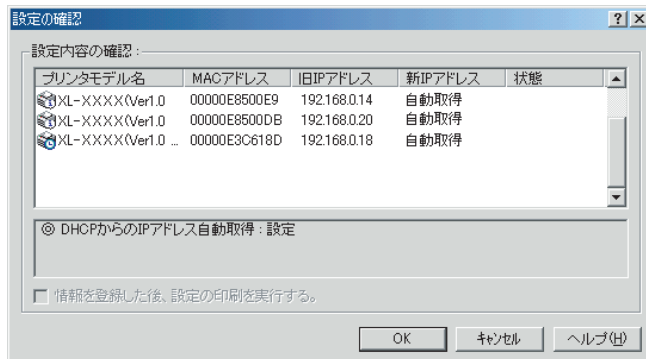
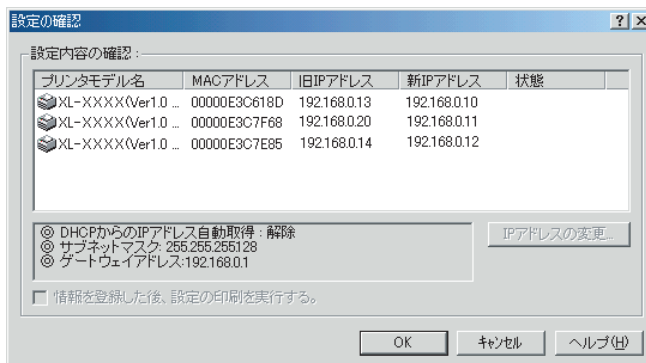
3 [Shift] または [Ctrl] を押しながら、設定するプリンタをクリックする

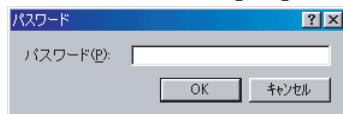
4 プリンタを選択した状態で をクリックする

5 IP アドレスを設定し、［OK］をクリックする

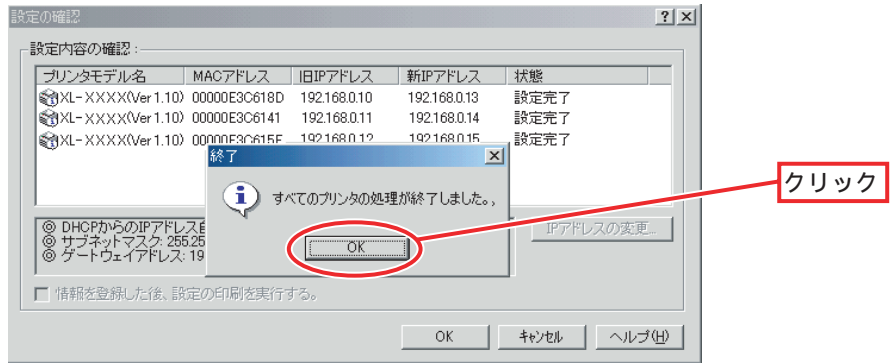
・自動取得の場合

・手動設定の場合

手動設定を選択したときは、割り当てる IP アドレスの範囲を指定します。ゲートウェイは省略できます。

割り当てる IP アドレスの範囲	・「0.0.0.0」、「255.255.255.255」および空白を含む IP アドレスは指定できません。 ・終了アドレスは、開始アドレスより大きな値を指定してください。 ・終了アドレスが開始アドレスのセグメント外となるときは、設定できません。 ・IP アドレスの範囲よりプリンタ数が多いときは、設定できません。
サブネットマスク	「255.255.255.255」および空白を含む IP アドレスは指定できません。

6 次のダイアログが表示されたら内容を確認し、[OK] をクリックする

・自動取得の場合

・手動設定の場合

ガイド

・設定内容の確認リストに表示されている「新 IP アドレス」を変更する場合は、変更するプリンタを選択して［IP アドレスの変更］をクリックします。
・プリンタにパスワードを設定していると、次のダイアログが表示されます。パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

［変更完了］ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックする

ガイド

- ❻までの操作の後、「プリンタからの通信が異常となりました」と表示されたときは、設定が正しく行われていません。設定内容を確認し、再度設定し直してください。
- 通信できない場合は、設定した値が正しくありません。プリンタの LAN 設定を初期化し、再度設定し直してください。
  LAN 設定の初期化は、次の操作で行います。
  ①「メニュー」スイッチを押してプリンタをメニューモードにします。
  ②「▶」スイッチを押して「ショキ　セッテイ」画面を表示します。
  ③「▼」スイッチを 1 回、「▶」スイッチを 3 回押し、「カンリ／ショキカ」と表示させます。
  ④「▼」スイッチを押して、「LAN ショキカ」と表示させます。
  ⑤「▼」スイッチを押して「ジッコウ」と表示させ、「設定」スイッチを押します。
  「ショキカ　シマス」の表示に続いて、「オンライン」と表示されれば、初期化は完了です。

以上で IP アドレスの設定は完了です。

参照　LAN による印刷を行いたいときは、「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（148 ページ）参照

 IPP による印刷を行いたいときは、
「プリンタの URL 設定（IPP のみ）」（145 ページ）参照

参照　LPR 印刷を行いたいとき（Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5）は、「LPR 印刷の設定」（157 ページ）参照

6.3.3 オペレータパネルによる設定

ここでは、プリンタのオペレータパネルで IP アドレスを設定する方法について説明します。

(1) 準備

プリンタのオペレータパネルで IP アドレスの設定をする前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。

(2) 設定方法

1 プリンタの電源を入れ、「オンライン」表示にします。

ガイド
印刷可能状態のまま 1 分(初期値)経過すると、プリンタは節電モードになり、液晶ディスプレイに「セツデン」と表示されます。

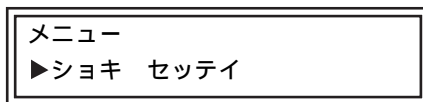
2 プリンタをメニューモードにし、「DHCP ジドウシュトク」を表示する
オペレータパネルでのスイッチ操作により、プリンタを IP アドレス設定の DHCP 自動取得モードにします。

①「メニュー」スイッチを押してプリンタをメニューモードにします。

印刷可能状態
↓「メニュー」

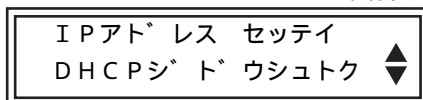
メニュー
▶システム　インサツ　▼

②「▶」スイッチを押して「ショキ　セッテイ」を表示します。

↓「▶」

③「▼」スイッチを 2 回押して「DHCP ジドウシュトク」を表示します。

↓「▼」を2回押す

ＩＰアドﾞレス　セッテイ
ＤＨＣＰジﾞドﾞウシュトク　▲▼

↓「▼」

❸ DHCP 自動取得を設定/解除する

「▶」または「◀」スイッチを押して「カイジョ」と表示させます。「設定」スイッチを押すと「＊」が表示され、値が設定されます。初期設定は「＊セッテイ」です。

↓「▶」または「◀」

↓「設定」

❹ IP アドレスを設定する

①「▲」スイッチを押して次の表示にします。

↓「▲」

②「▶」スイッチを押して「IP アドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。

↓「▶」スイッチ

③「▶」または「◀」スイッチを押して IP アドレスを変更するブロック（IP アドレス 1〜4）を選択して「▲」「▼」スイッチで値を設定します。

↓「▶」または「◀」

④各ブロックすべてを設定したら「設定」スイッチを押し、カーソルが＊に移動しているのを確認します。（この操作では、IP アドレスはまだ反映されません。）

↓「設定」

※IPアドレスは設定例です。

サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して手順①の表示に戻した後「▶」「◀」スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で②〜③の操作を行ってください。

5 設定を終了する

設定が終わったら「メニュー」スイッチを押し、プリンタに設定値を反映させます。

これにより、装置は初期化され、オンライン状態に戻ります。

以降の操作は、接続・運用形態に合わせて進んでください。

参照　LAN による印刷を行いたいときは、「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（148 ページ）参照

参照　IPP による印刷を行いたいときは、「プリンタの URL 設定（IPP のみ）」（145 ページ）参照

参照　LPR 印刷を行いたいとき（Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5）は、「LPR 印刷の設定」（157 ページ）参照

6.3.4 DHCP によるアドレス自動取得

ここでは、DHCP によって IP アドレスを自動的に取得する方法について説明します。

(1)　準備

IP アドレスを取得する前に、次のことを確認してください。

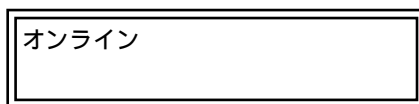
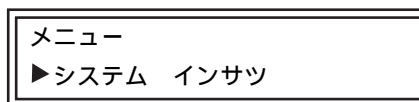
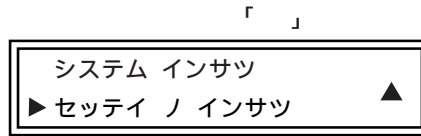
確認事項	内　容
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	DHCP サーバとプリンタを、ネットワーク上に接続してください。

(2)　設定方法

設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、ネットワークプリンタとして設定するために必要な情報を印刷します。

①印刷可能状態であることを確認する

オペレータパネルの液晶ディスプレイに「オンライン」、「オフライン」または「セツデン」のいずれかのメッセージが表示されていることを確認します。

オンライン

②「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

↓「メニュー」

メニュー
▶システム　インサツ　▼

③「▼」スイッチを押す

↓「▼」

システム インサツ
▶ セッテイ ノ インサツ ▲

④「設定」スイッチを押す

設定の一覧の印刷が開始されます。

↓「設定」

印刷開始

↓

⑤印刷状態を確認する

参照　正常に印刷されないときは、「第 17 章　困ったときは」（369 ページ）参照

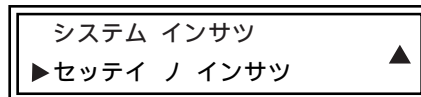
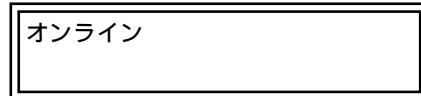
印刷終了

↓

システム インサツ
▶セッテイ ノ インサツ ▲

⑥「メニュー」スイッチを押して、印刷可能状態に戻す

↓「メニュー」を押す

オンライン

ガイド

DHCP による取得ができるまでの時間は、ネットワーク環境によって異なります。取得できたかどうかは、オペレータパネルで確認できます。

参照　「メニューモードの項目一覧」の「保守メニュー（IP アドレス表示）」（217 ページ）参照

2 設定の一覧を確認し、必要ならばプリンタ側の設定を行う

次の設定になっているか確認します。

項　目	設定値
ネットワーク基本情報	TCP/IP プロトコル=有効
IP アドレス設定	DHCP 自動取得=設定

ガイド

工場出荷時の初期設定は上記の値になっていますので、通常、設定は不要です。

参照　設定が必要な場合は、「第 9 章 オペレータパネルの操作」（205 ページ）参照

3 DHCP サーバの設定を行う

DHCP マネージャを開いて［スコープ］の［作成］を選択し、次の項目を設定してください。

・開始アドレス

・終了アドレス

・サブネットマスク

・リース期間(無期限を推奨)

4 設定が終わったら、［スコープ］をアクティブにします。

割り当てる IP アドレスを固定したいときは、続けて［スコープ］の［予約の追加］を選択し、次の項目を設定します。

・IP アドレス
　設定したい IP アドレス

・一意の ID
　MAC アドレス(設定の一覧のネットワーク基本情報に印刷されています。半角英数字 12 文字で入力してください。)

・クライアント名
　任意の名前
　設定が終わったら、［追加］を選択して終了します。

5 プリンタの電源を再投入する

プリンタがネットワークに接続されていることを確認し、電源を入れ直してください。

以上で、DHCP によるアドレスの自動取得は終了です。
以降の操作は、接続運用形態に合わせて進んでください。

参照　LAN による印刷を行いたいときは、「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（148 ページ）参照

参照　IPP による印刷を行いたいときは、「プリンタの URL 設定（IPP のみ）」（145 ページ）参照

参照　LPR 印刷を行いたいとき（Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5）は、「LPR 印刷の設定」（157 ページ）参照

6.4 プリンタの URL 設定（IPP のみ）

インターネットに接続されたプリンタに直接印刷を行うには、IPP を使用します。IPP では、プリンタを URL で指定します。URL の初期設定は、「http://IP アドレス/ipp」に設定されています。
変更が不要な場合は、「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（148 ページ）に進んでください。
プリンタの URL 設定には、次の 2 種類の方法があります。
・Web ブラウザからの変更
・Printianavi ネットワークマネージャからの変更

ガイド

Printianavi ネットワークマネージャは、あらかじめインストールしておく必要があります。

参照　Printianavi ネットワークマネージャによる変更方法は、「第 12 章 プリンタ管理機能（Printianavi ネットワークマネージャ）」（269 ページ）参照

ここでは、Web ブラウザからの変更方法を説明します。

6.4.1 準　備

設定の前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
Web ブラウザ	プリンタの URL の設定や確認に使用します。 あらかじめ Netscape 4.0 以上、または Internet Explorer 4.0 以上の製品版 Web ブラウザをインストールしておいてください。
プリンタの IP アドレス設定	プリンタに IP アドレスを設定しておきます。 参照　設定方法については、「IP アドレスの設定」（130 ページ）参照
プリンタの URL	IPP ポートの印刷先に指定するプリンタの URL です。 プリンタの URL は、次のどちらかの書式で指定します。（日本語/英数字を含め半角 63 文字または全角 31 文字以内） なお、プリンタの URL に含まれる IPP プリンタ名には、任意の名前を指定してください。（初期設定は「ipp」です。） ・DNS サーバにプリンタのホスト名を登録してあるとき 書式：「プリンタのホスト名＋ドメイン名」＋「/」＋「IPP プリンタ名」 例：xlprn.xxx.fujitsu.com/xlprn1 （プリンタのホスト名＋ドメイン名が xlprn.xxx.fujitsu.com、IPP プリンタ名が xlprn1 のとき） ・DNS サーバにプリンタのホスト名を登録していないとき 書式：「プリンタ IP アドレス」＋「/」＋「IPP プリンタ名」 例：192.168.0.11/xlprn1 （プリンタの IP アドレスが 192.168.0.11、IPP プリンタ名が xlprn1 のとき）

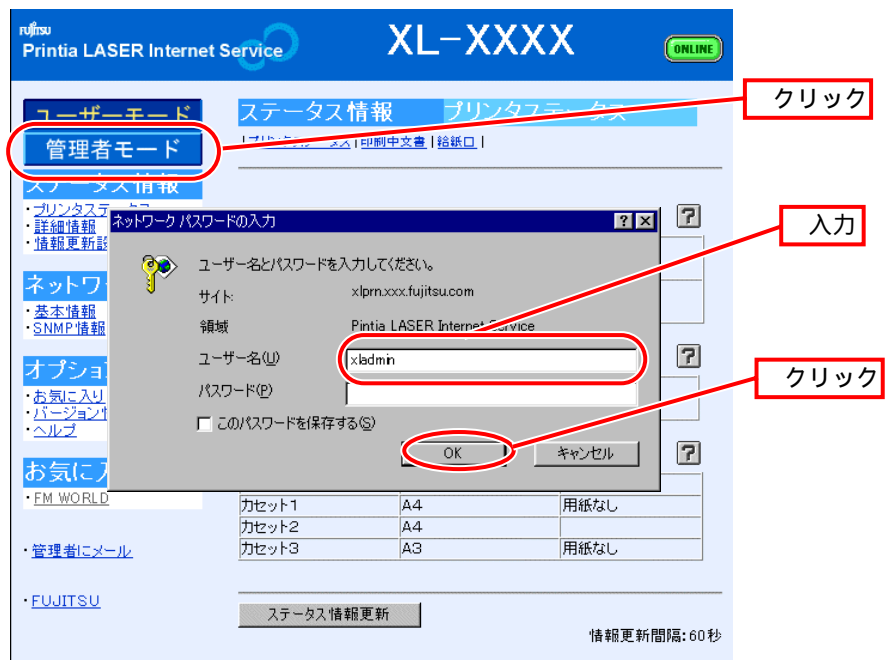
1 Web ブラウザを起動し、Printia LASER Internet Service を表示する

Web ブラウザを起動し、次のどちらかの方法で Printia LASER Internet Service の URL を指定します。

・DNS サーバで登録した名前を指定する場合
「http://」の後に、DNS サーバで設定したプリンタのホスト名＋ドメイン名を指定します。
例：http://xlprn.xxx.fujitsu.com
(ホスト名：xlprn、ドメイン名：xxx.fujitsu.com の場合)

・IP アドレスで指定する場合
「http://」の後に、直接プリンタの IP アドレスを指定します。
例：http://192.168.0.11
（プリンタの IP アドレスが 192.168.0.11 の場合）
指定した URL でプリンタに正しく接続されると、Printia LASER Internet Service のウィンドウが表示されます。

2 「管理者モード」をクリックし、ダイアログの管理者名に「xladmin」と入力し、[OK] をクリックする

(※ウィンドウの例は Internet Explorer です。)

※ユーザ名の初期設定は「xladmin」、パスワードの初期設定は空欄（何も入力しない）です。

3「ネットワーク情報」の［基本情報］をクリックし、「プリンタの URL」を入力して［設定］をクリックする

プリンタのリセット後、「プリンタの設定は更新されました」と表示されたら、設定は終了です。

ガイド

・IPP プリンタ名には、半角空白および次の文字は使えません。

;/?:@&=+$,{}|\^ [] '<>#% ”

・［アドレス取込み］ボタンをクリックすると、Web ブラウザで表示されているアドレスを「プリンタの URL」に反映することができます。（管理者モードのみ）

※IPP プリンタ名が指定されていない場合は、初期設定の「ipp」を IPP プリンタ名として付加します。

参照　Printia LASER Internet Service の詳細は、ヘルプまたは「第 13 章 Web サーバ機能(Printia LASER Internet Service)」（295 ページ）参照

引き続き「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」でプリンタ管理者向けの設定を行ってください。

6.5 ネットワークソフトウェアと プリンタドライバのインストール

ここでは、添付の CD-ROM に収められているネットワークソフトウェアを使用して、サーバまたは管理者のパソコンに必要なソフトウェアおよびプリンタドライバをインストールする手順について説明します。
本ソフトウェアは以下のときに使用します。

・プリンタのネットワーク設定を管理する場合

・LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷する場合

・IPP での印刷を行う場合

ネットワークソフトウェアのインストール方法には、次の 3 つのタイプがあります。
ここでは「プリンタ管理者向け」によるセットアップを行います。

セットアップタイプ	設定環境	インストールされるもの
一般ユーザ向け	クライアント側の設定	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・プリンタドライバ（*2）
プリンタ管理者向け	サーバ側の設定	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi ネットワークマネージャ（*3） ・Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2（*4） ・プリンタドライバ（*2）
カスタム	個別の機能（管理者機能・ポート作成）の設定（すべて選択制）	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi ネットワークマネージャ（*3） ・Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2（*4） ・プリンタドライバ（*2）

*1：LAN（TCP/IP）や IPP で接続した XL プリンタに対し、印刷先のポートを作成するときに必要なソフトウェアです。

*2：ダイアログの中でプリンタの追加を選択したときのみインストールされます。

*3：ネットワーク上にある XL シリーズのプリンタを一括して管理するソフトウェアです。プリンタのステータス表示やネットワークに関する各種設定を行うことができます。

*4：プリンタの IP アドレスを新規に設定、または変更するためのソフトウェアです。新規の設定は、XL-6200/5770/5750/5370/5350/5250 以降のプリンタでのみ行えます。

6.5.1 準　備

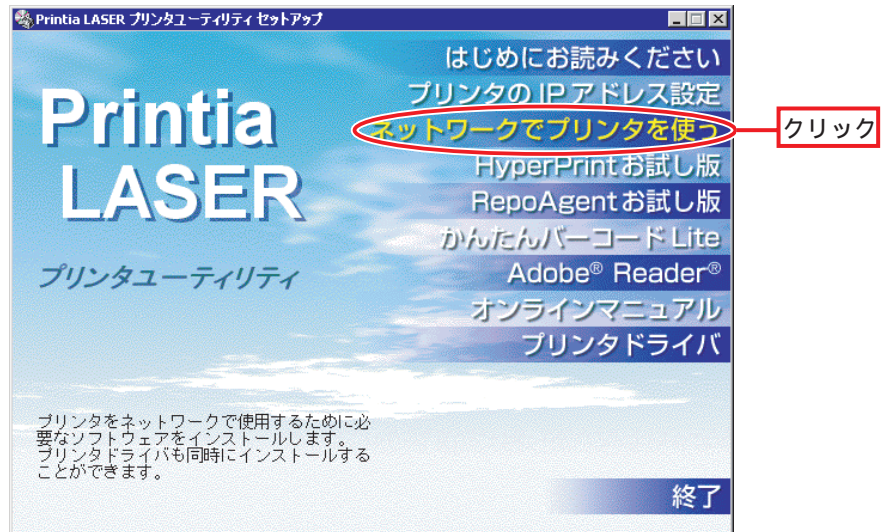
あらかじめプリンタの IP アドレスを設定しておいてください。

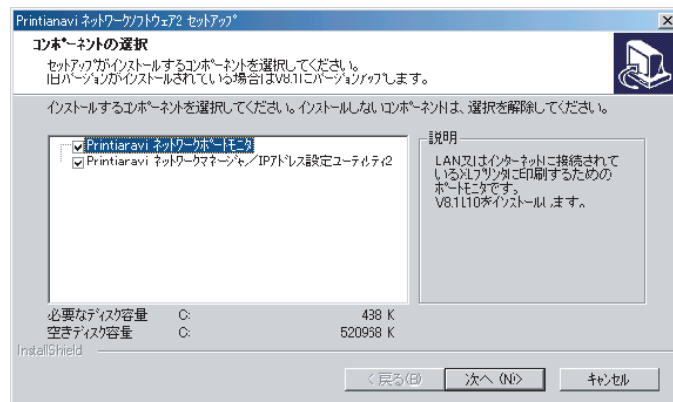
参照　IP アドレスの設定方法は、「IP アドレスの設定」（130 ページ）参照

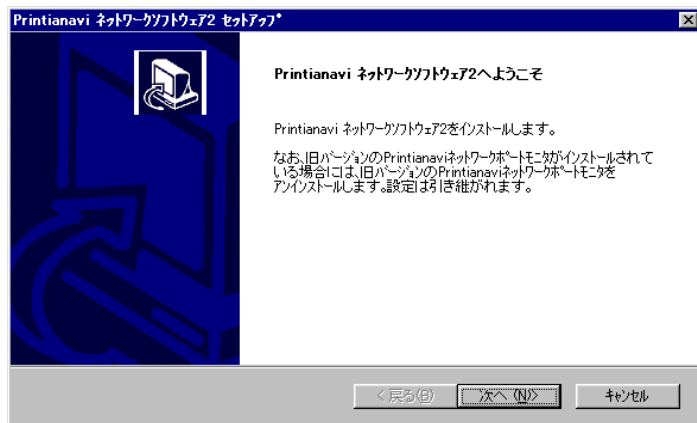
6.5.2 インストール

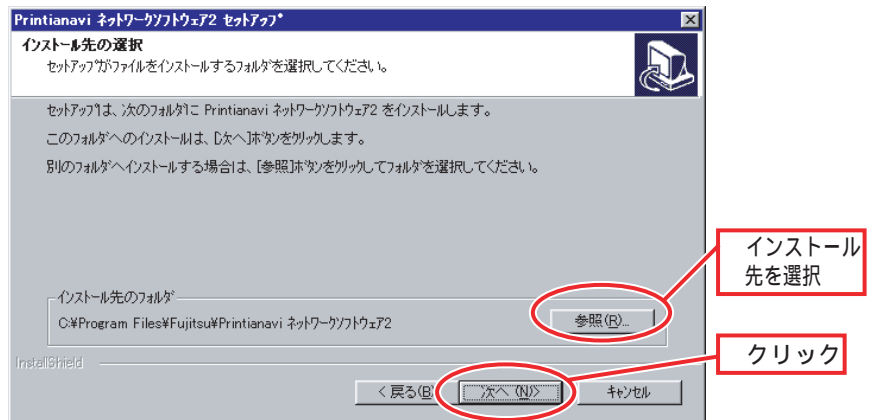
プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

1 添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら［ネットワークでプリンタを使う］をクリックする

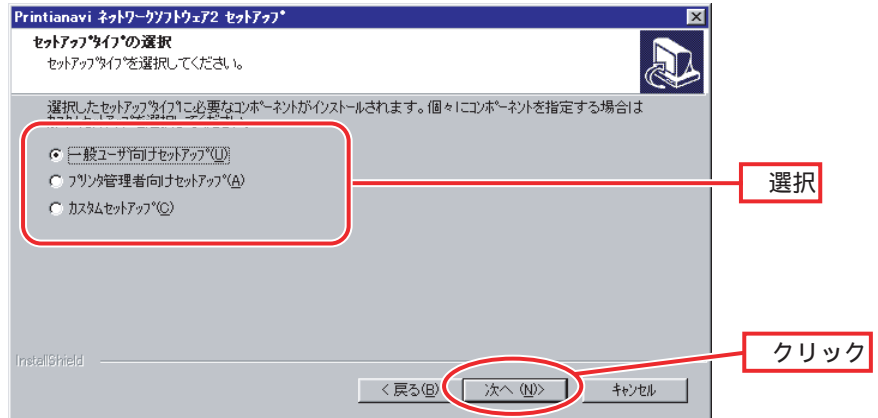
ガイド

・上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。

・Printianavi ネットワークソフトウェア 2(V7.1)がすでにインストールされている場合は、次のダイアログが表示されます。

参照　以降の操作は、「第 14 章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」の「●カスタム」（321 ページ）参照

・OS が Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンしてください。

2 ［次へ］をクリックする

3 ［次へ］をクリックする

ガイド

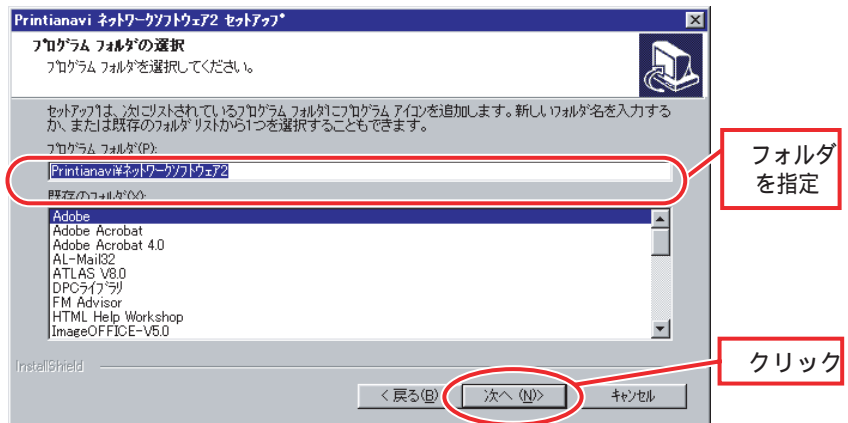
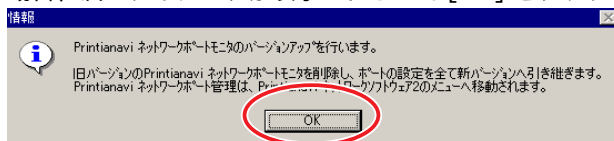
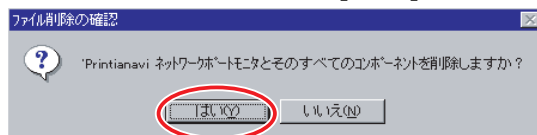
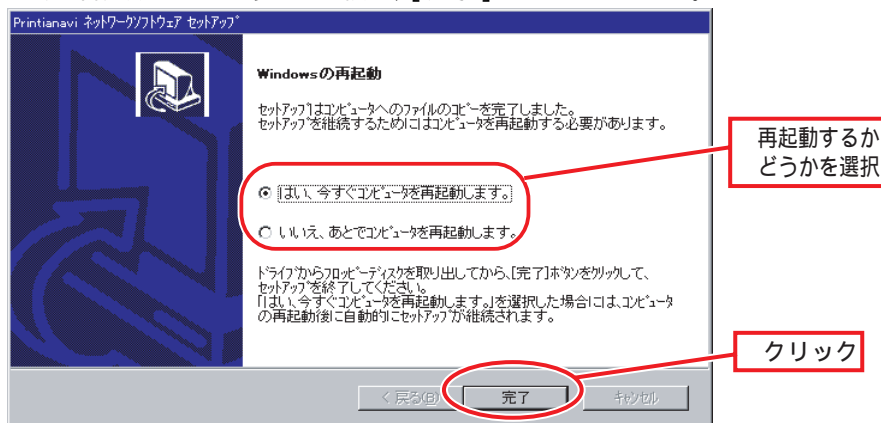
インストール先のフォルダを変えるときは、[参照]をクリックして Printianavi ネットワークソフトウェアのインストール先を選択し、［次へ］をクリックします。

4 管理者は［プリンタ管理者向けセットアップ］を、管理者以外の人は「一般ユーザ向けセットアップ」を選択し、［次へ］をクリックする

参照　各セットアップタイプの詳細については、「第 14 章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（313 ページ）参照

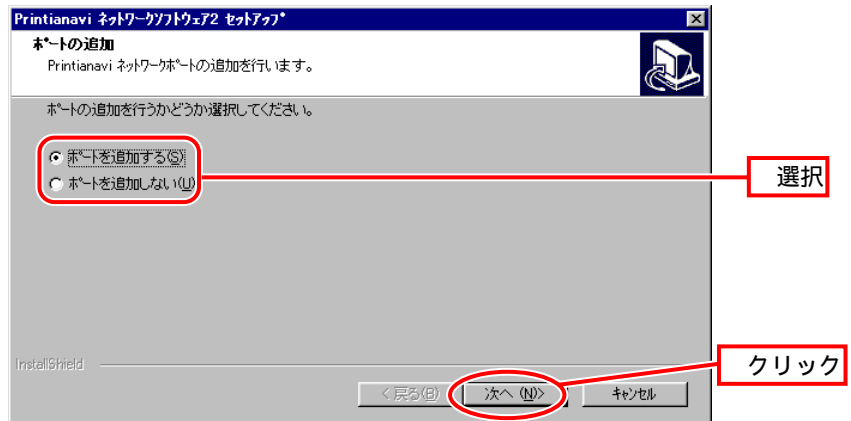
5 プログラムフォルダを指定し、［次へ］をクリックする

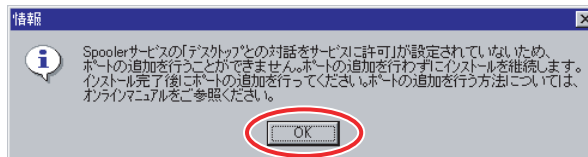
ここで指定した名前が［スタート］に追加されます。

初期設定は「Printianavi\ネットワークソフトウェア 2」です。

ガイド

・Printianavi ネットワークポートモニタ V5.1 をすでにインストールしている場合、次のダイアログが表示されるので［OK］をクリックします。

・Printianavi ネットワークポートモニタ V3.1 以前と置き換える場合は、次のダイアログが表示されるので、［はい］をクリックします。

•V7.1 より前の Printianavi ネットワークポートモニタがインストールされていた場合は、次のダイアログが表示されます。
すぐに再起動するかどうかを選択し、［完了］をクリックします。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択すると、Windows を再起動後、❻の処理から自動的に再開されます。(*1)
「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールを終了します。
なお、再起動せずにインストールしたソフトウェアを使用すると正しく動作しないことがあります。ソフトウェアを使用する前に必ず再起動してください。

*1: Windows 再起動後、ポートの追加ダイアログが他のダイアログの後ろに隠れている場合があります。この場合は、タスクバーに表示されている「Printianavi ネットワークソフトウェア 2」をクリックしてください。

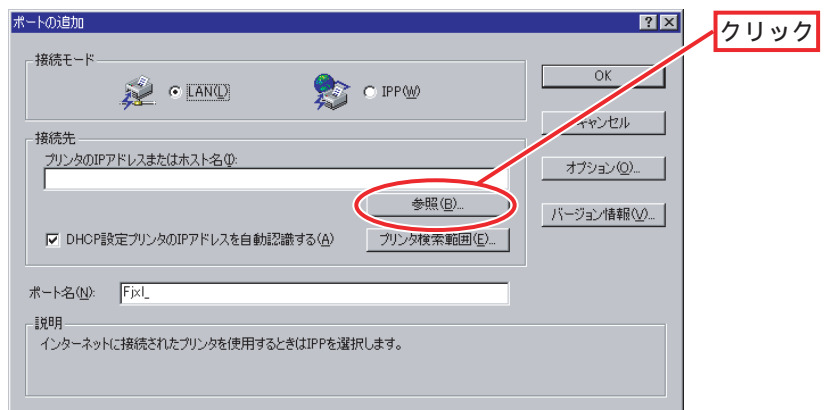
6 「ポートを追加する」を選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

Windows NT4.0 で Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを□にしている場合、以下のメッセージが表示されます。
［OK］をクリックします。

引き続き画面に従い、ドライバのインストールを行った後、Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを☑にし、必要な操作を行った後、再度ポートの追加を行ってください。

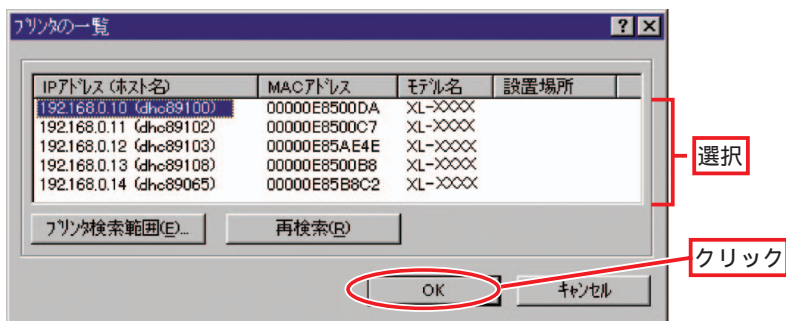
参照　Spooler サービスの設定方法は
「ポートが追加できない」の〈対処〉（418 ページ）参照

7 ポートの追加処理を行う

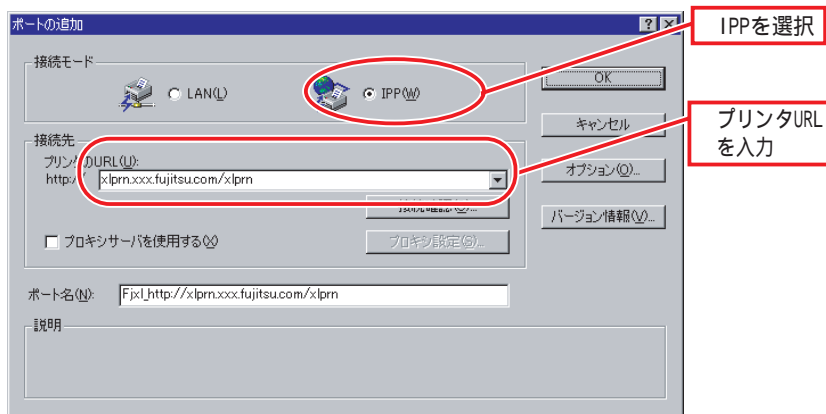
・LAN の場合
ポートの追加処理の詳細については、以下を参照してください。

参照　LAN による印刷を行うときは、「LAN ポートの追加」（193 ページ）参照

①［参照］をクリックします。
ネットワークに接続されている XL プリンタが「プリンター覧」に表示されます。

②設定したい IP アドレスを選択して［OK］をクリックします。
選択した IP アドレスが「接続先」に反映されます。

ガイド

- ポート名を指定しなかった場合は、IP アドレスまたはホスト名入力域の設定情報の先頭に「Fjxl_」を付加したものをポート名として自動生成します。
- 「LAN ポート」を使用すると、BPP(Business　Printer　Protocol）を使用し印刷を行います。

・IPP の場合
ポートの追加処理の詳細については、以下を参照してください。

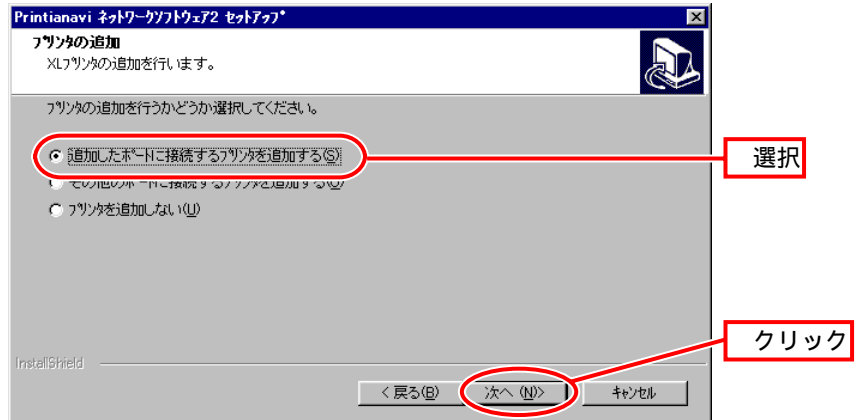
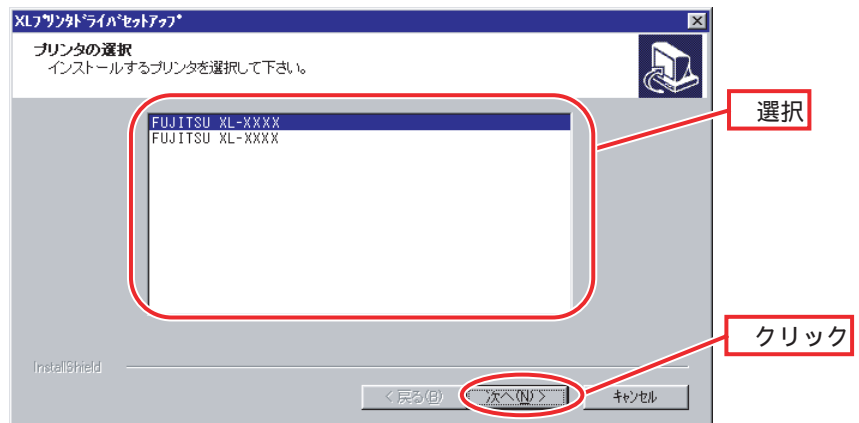
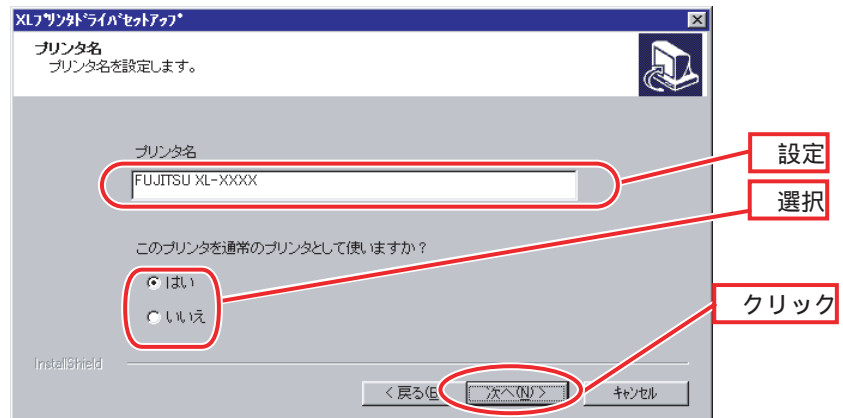
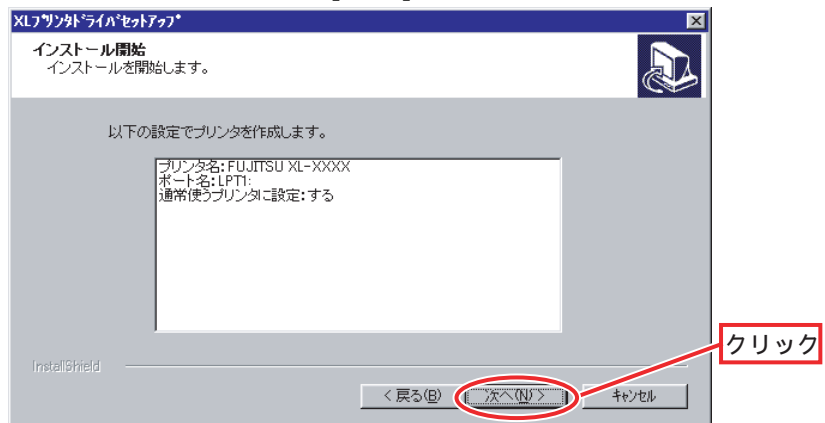
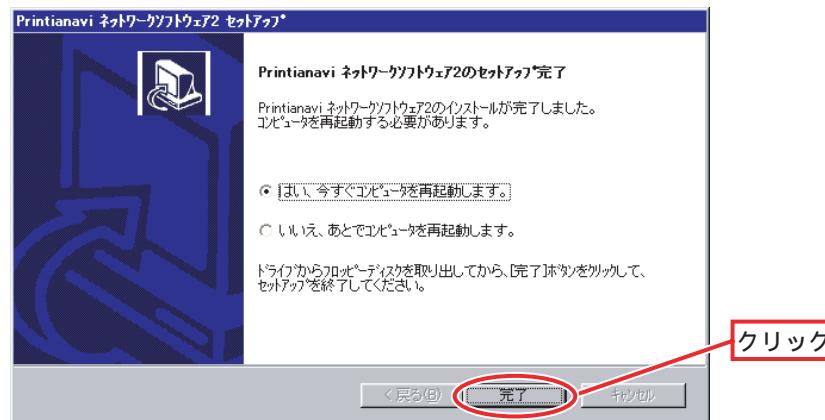
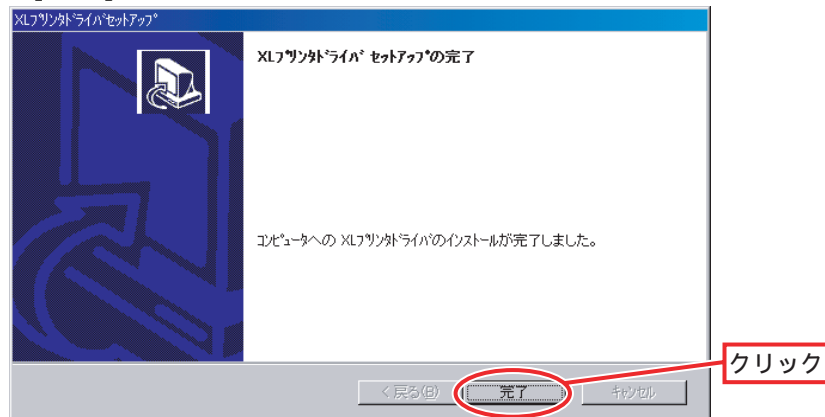
参照　IPP による印刷を行いたいときは、「IPP ポートの追加」（197 ページ）参照

ガイド

プリンタの URL は、次の方法で確認することができます。（プリンタに設定済みの場合のみ）

- Printia LASER Internet Service の［ネットワーク設定］［基本情報］を参照する
- 印刷した設定情報（設定の印刷）を参照する

参照　「設定の一覧を印刷する」（67 ページ）参照

- Printianavi ネットワークマネージャの［詳細画面の表示］［基本情報］を参照する

8 「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、［次へ］をクリックする

9 プリンタを選択し、［次へ］をクリックする

10 プリンタ名の設定、および通常のプリンタを選択し、［次へ］をクリックする

11 設定内容に問題がなければ、［次へ］をクリックする

12 ［完了］をクリックし、Windows を再起動する

Windows が起動したら、ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストールは完了です。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照　実際に印刷したいときは、「第 8 章　日常の操作」（181 ページ）参照

参照　インストールがうまくいかなかったときは、
「第 17 章　困ったときは」（369 ページ）参照

6.6 LPR 印刷の設定

ここでは、Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 や NetWare 環境からの LPR 印刷の設定について説明します。

ガイド
Printianavi 機能はご使用になれませんので、あらかじめご了承ください。

6.6.1 Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の準備

(1) プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

参照 設定方法については、「IP アドレスの設定」(130 ページ) 参照

(2) サービスの組み込み

「UNIX 用印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1. [オプションネットワークコンポーネント] ウィザードを表示する

・Windows 2000 のとき
［スタート］－［設定］－［ネットワークとダイヤルアップ接続］の順に選択し、[ネットワークとダイヤルアップ接続] ダイアログの［詳細設定］－［オプションネットワークコンポーネント］を選択する

・Windows XP のとき
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワーク接続］の順に選択し、［詳細設定］－［オプションネットワークコンポーネント］を選択する

・Windows Server 2003 のとき
［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワーク接続］の順に選択し、右クリックして［開く］をクリックする
［詳細設定］－［オプションネットワークコンポーネント］を選択する

2. 「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれているか確認する

［そのほかのネットワークファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックして「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれているか（☑になっているか）確認します。
組み込まれていないときは、☑にして［OK］をクリックします。
すでに組み込まれているときは、［キャンセル］をクリックします。

3 「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか確認する

［ネットワークサービス］を選択し、［詳細］をクリックして「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか（☑になっているか）確認します。
組み込まれていないときは、☑にして［OK］をクリックします。
すでに組み込まれているときは、［キャンセル］をクリックします。
以降は、［次へ］をクリックしてダイアログの指示に従って、操作をしてください。

6.6.2　Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のときの設定手順

1 Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動し、管理者権限でログオンする

2 添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら［プリンタドライバ］をクリックする

インストールするプリンタを選択後、プリンタの設定でポート名は「LPT1:」を設定してください。
以降はダイアログの指示に従ってインストールします。

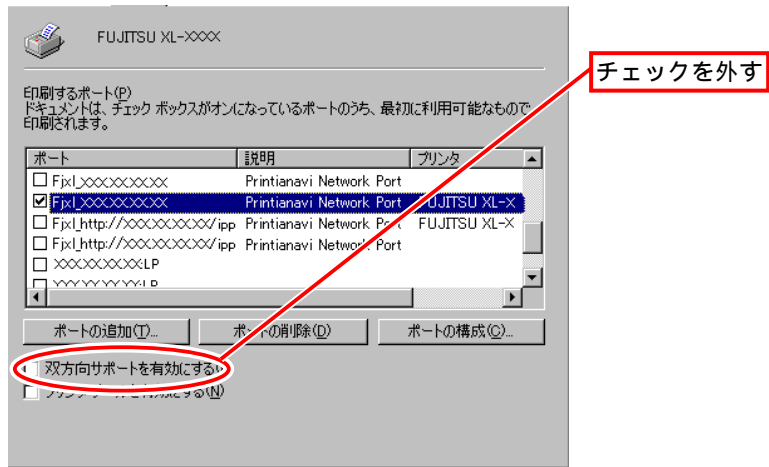
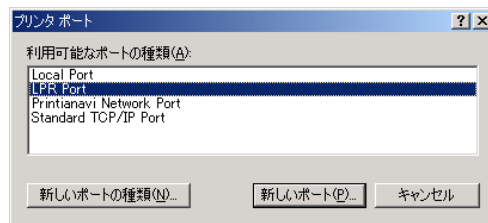
3 プリンタのポートの設定を変更する

①プリンタを選択する

・Windows 2000 のとき
　［スタート］―［設定］―［プリンタ］の順に選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択する

・Windows XP/Windows Server 2003 のとき
　［スタート］―［プリンタと FAX］の順に選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択する

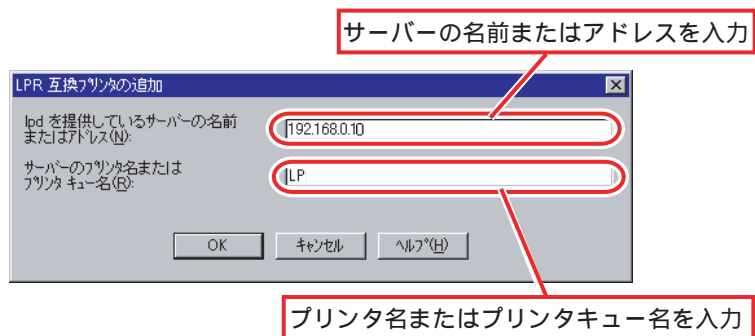
②［ファイル］メニュー―［プロパティ］を選択し、プリンタのプロパティを表示する

③［ポート］タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」を□にする

④［ポートの追加］をクリックし、［プリンタポート］ダイアログから、「LPR Port」を選択して［新しいポート］をクリックする

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

⑤次の内容を入力し、［OK］をクリックする

プリンタの IP アドレスを半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「サーバーのプリンタ名または印刷キュー」には、必ず半角英字で「LP」と入力します。プリンタ LAN アダプタ FM-LNA100/110 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

4 印刷データのスプール方法を変更する

プリンタのプロパティから［詳細設定］タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照　実際に印刷を行いたいときは、「第 8 章　日常の操作」（181 ページ）参照

参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったときは、「第 17 章　困ったときは」（369 ページ）参照

6.6.3 Windows NT4.0 のときの準備

●プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

参照　設定方法については、「IP アドレスの設定」（130 ページ）参照

●サービスの組み込み

「Microsoft TCP/IP 印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1 ［ネットワーク］ダイアログを表示する

［スタート］ － ［設定］ － ［コントロールパネル］の順に選択し、［ネットワーク］をダブルクリックします。

2 「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか確認する

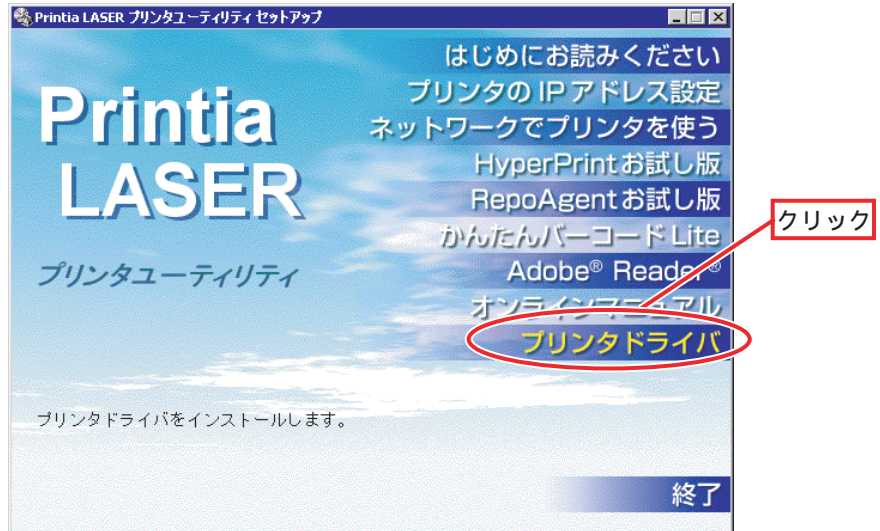
［サービス］タブをクリックし、「ネットワークサービス」の一覧に、「Microsoft TCP/IP 印刷」と「簡易 TCP/IP サービス」が表示されるか確認します。

組み込まれていないときは、［追加］をクリックし、［ネットワークサービスの選択］ダイアログのネットワークサービス一覧から「Microsoft TCP/IP 印刷」を選択します。

続けて、同じ手順で「簡易 TCP/IP サービス」を選択します。

6.6.4 Windows NT4.0 のときの設定手順

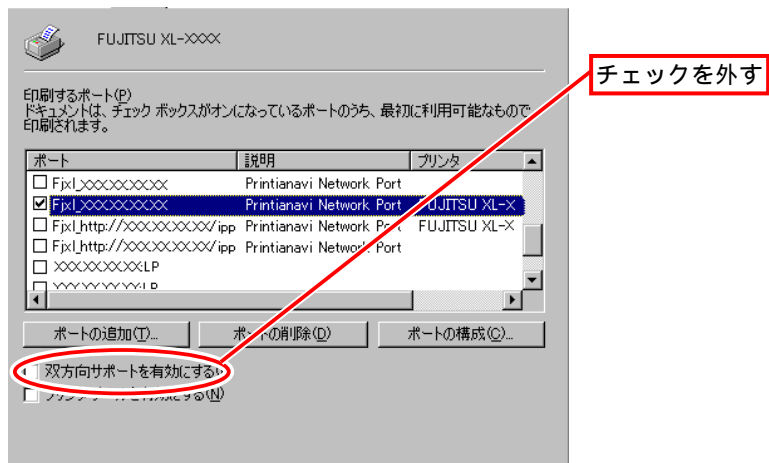
1 Windows NT4.0 を起動し、管理者権限でログオンする

2 添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら［プリンタドライバ］をクリックする

インストールするプリンタを選択後、プリンタの設定でポート名は「LPT1:」を設定してください。
以降はダイアログの指示に従ってインストールします。

3 プリンタのポートの設定を変更する

① ［スタート］ − ［設定］ − ［プリンタ］の順に選択し、LPR 印刷を行うプリンタを選択する

② ［ファイル］ − ［プロパティ］を選択し、プリンタのプロパティを表示する

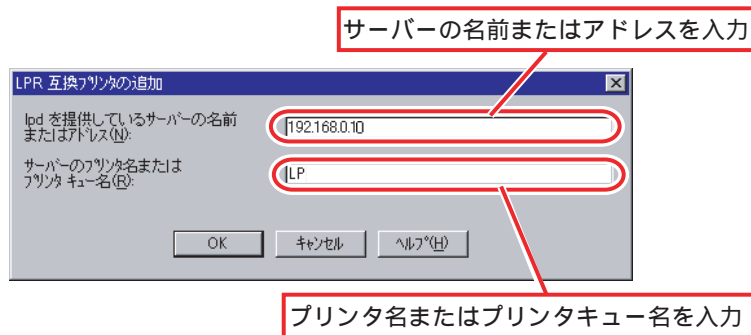
③ ［ポート］タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」を□にする

④［ポートの追加］ボタンをクリックし、［プリンタポート］ダイアログボックスから、「LPR Port」を選択して［新しいポート］ボタンをクリックする

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

⑤次の内容を入力し、［OK］をクリックする

プリンタの IP アドレスを半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。

「サーバーのプリンタ名または印刷キュー」には、必ず半角英字で「LP」と入力します。プリンタ LAN アダプタ FM-LNA100/110 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

印刷データのスプール方法を変更する

プリンタのプロパティから［スケジュール］タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

設定が終わったら［OK］をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。以上で設定は終了です。テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

6.6.5 NetWare5 のときの準備

本製品は、Novell NetWare5 の NDPS を使用して TCP/IP 環境での LPR 印刷が可能です。
ここでは、本製品を Novell NetWare5 の NDPS で使用する場合の NDPS プリンタの作成手順（管理者のみ）について説明します。NDPS に関する詳細な情報につきましては、Novell NetWare5 のマニュアルを参照してください。なお、本設定での印刷では、Printianavi の機能はご使用になれませんのでご了承ください。

●プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

参照　設定方法については、「IP アドレスの設定」（130 ページ）参照

●NDPS のセットアップ

あらかじめ、NDPS をサーバにセットアップしておいてください。セットアップ方法については、Novell NetWare5 のマニュアルを参照してください。

6.6.6 NetWare5 のときの設定手順

NDPS マネージャの作成を行ってから、NDPS プリンタの作成を行います。

●NDPS マネージャの作成

1. NetWare アドミニストレータを起動する
   \SYS\PUBLIC\WIN32\NWADMN32.EXE を実行してください。
2. NDPS マネージャを置くコンテキストに移動する
3. ［オブジェクト］から［作成］をクリックする
4. ［NDPS Manager］をクリックし［OK］をクリックする
5. NDPS マネージャ名、常駐先サーバ、データベースボリュームを設定する

   ・NDPS マネージャ名
   作成する NDPS マネージャの名前を入力します。

   ・常駐先サーバ
   右の［参照］をクリックし、NDPS マネージャを常駐させるサーバを選択します。

   ・データベースボリューム
   右の［参照］をクリックし、NDPS マネージャが利用するデータベースを置くボリュームを選択します。
   設定が終わったら、［作成］をクリックしてください。

●NDPS プリンタの作成

1. NDPS プリンタを置くコンテキストに移動する

2. ［オブジェクト］から［作成］をクリックする

3. ［NDPS Printer］をクリックし、［OK］をクリックする

4. NDPS プリンタ名、プリンタエージェントのソースを設定する
   - NDPS プリンタ名
     作成する NDPS プリンタの名前を入力します。
   - プリンタエージェントのソース
     「新規プリンタエージェントを作成する」を選択します。
     設定が終わったら、［作成］をクリックしてください。

5. NDPS マネージャ名とゲートウェイタイプを設定する
   - NDPS マネージャ名
     右の［参照］をクリックし、先ほど作成した NDPS マネージャを選択します。
   - ゲートウェイタイプ
     「Novell プリンタゲートウェイ」をクリックします。
     設定が終わったら、［OK］をクリックしてください。

6. NDPS マネージャをロードする
   「NDPS マネージャがロードされていません。ロードしますか？」という意味の警告が表示されます。ここでは［OK］をクリックし NDPS マネージャをロードしてください。

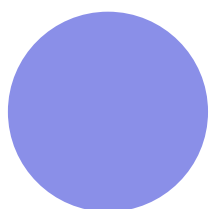
7. プリンタタイプは「なし」、ポートハンドラタイプは「Novell ポートハンドラ」を選択し、［OK］をクリックする

8. 接続タイプ、ホストアドレス、プリンタ名を設定する
   - 接続タイプ
     「リモート（IP 上で LPR）」を選択します。
   - ホストアドレス
     本プリンタの IP アドレスを入力します。
   - プリンタ名
     「LP」と入力します。
     設定が終わったら、［完了］をクリックしてください。

9. ［プリンタドライバの選択］ダイアログで、接続したプリンタを選択する
   一覧にない場合は「なし」を選択してください。（ブローカーのリソース管理サービスを使用して、プリンタドライバを追加することができます。詳細は Novell のマニュアルを参照してください。）
   プリンタの選択が終わったら、［続行］をクリックし、［OK］をクリックしてください。

以上で、作成した NDPS プリンタを出力先に指定して印刷ができます。

第 7 章

プリンタ共有の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

7.1 Windows 95/98/Me のとき

ここでは、OS が Windows 95/98/Me のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

7.1.1 サーバ側の設定

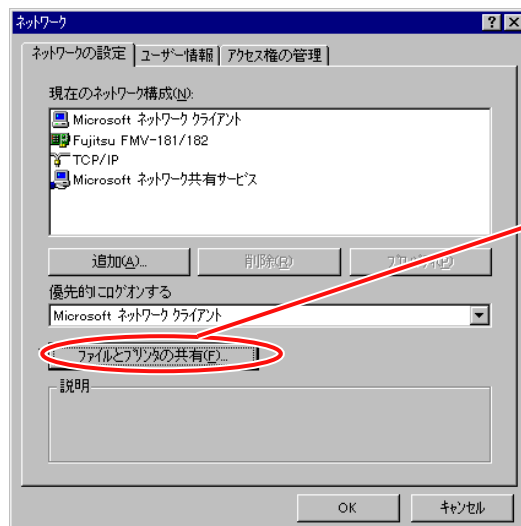
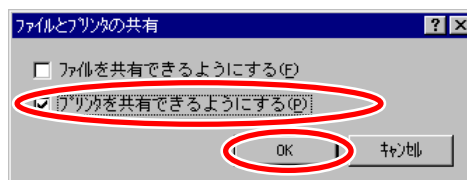
サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

(1) 準　備

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

1 ［ネットワーク］プロパティを開く

［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順に選択し、［ネットワーク］をダブルクリックします。

2 ［ファイルとプリンタの共有］をクリックする

3 「プリンタを共有できるようにする」を選択し、［OK］をクリックする

4 ［ネットワーク］ダイアログの［OK］をクリックして閉じ、OS を再起動する

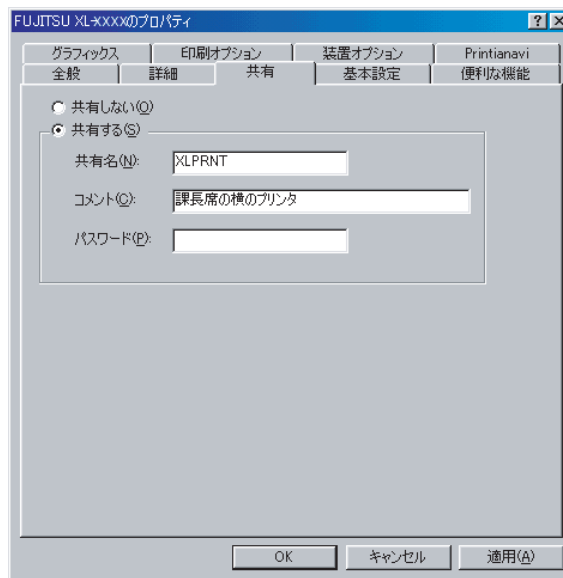
(2)　設　定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1 ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

2 ［ファイル］メニュー－［共有］を選択する

3 「共有する」を選択し、共有名を入力する

必要に応じてコメント、パスワードを入力します。

・共有名
共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

・コメント
プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。

・パスワード
他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。
パスワードを使わないときは、空白のままにします。

4 入力が終わったら、［OK］をクリックする

7.1.2　クライアント側の設定

Windows 95/98/Me をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

ガイド
共有プリンタに印刷するための設定は、CD-ROM をセットすると表示される「Printia LASER プリンタユーティリティ」のダイアログから「プリンタドライバ」を選択しても行えます。

参照　操作方法については、
「第 5 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（97 ページ）参照
「第 6 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（125 ページ）参照

Windows 95/98/Me のクライアントから Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

参照　代替インストールについては、「サーバ側の設定」参照
（Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき（169 ページ）、Windows NT4.0 のとき（175 ページ））

(1)　準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows 95/98/Me が動作するパソコンです。

(2)　設　定

1 エクスプローラを起動する
［スタート］－［プログラム］－［エクスプローラ］（Windows Me は［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］）の順に選択します。

2 サーバで利用可能な共有プリンタを表示する
［ネットワーク　コンピュータ］（Windows Me は［マイネットワーク］）をダブルクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、ダイアログの指示にしたがってインストールする
ファイルがコピーされ、［プリンタ］フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

7.2 Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき

ここでは、OS が Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

7.2.1 サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

1. Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動し、管理者権限でログオンする

2. 共有プリンタを選択する

・Windows 2000 の場合
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択し、共有するプリンタをクリックする

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［プリンタと FAX］を選択し、共有するプリンタをクリックする

3. ［ファイル］メニュー－［共有］を選択する

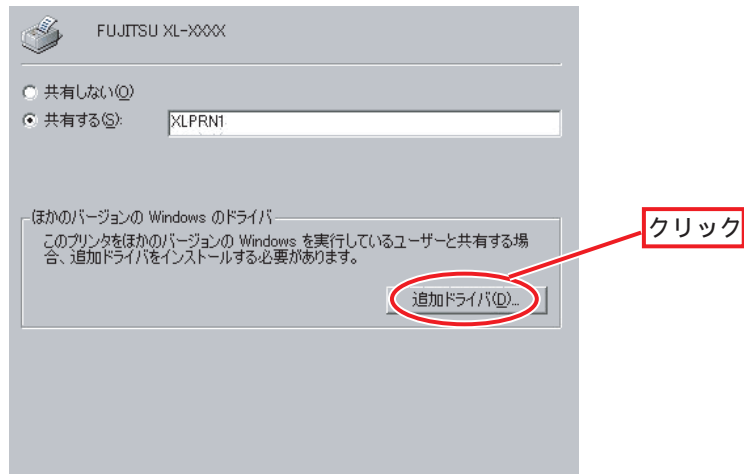
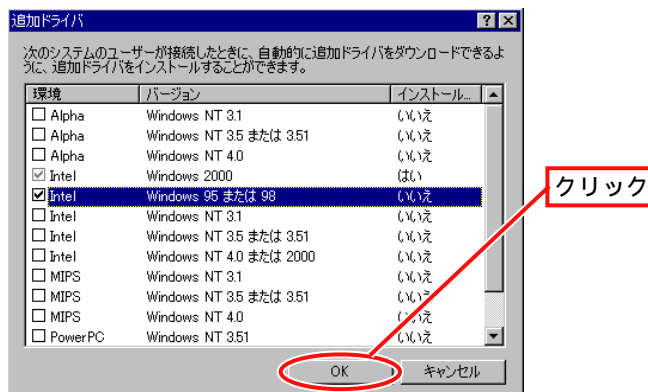
4. 「共有する」を選択し、共有名を入力する

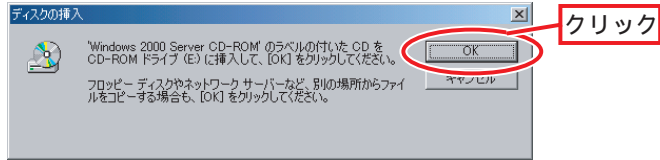
共有名	共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。 ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントの OS が Windows 95/98/Me/NT4.0 の場合は、引き続き5以降の操作で追加ドライバのインストールを行ってください。
（ダイアログは Windows 95/98/Me の追加ドライバをインストールする場合）

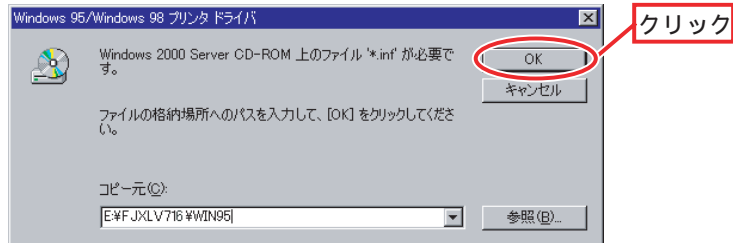
ガイド

- 追加ドライバをインストールしないときは、［OK］をクリックして設定を終了します。
- 共有するプリンタドライバの名称と、追加ドライバのリストに表示されているプリンタドライバの名称が異なる場合、追加ドライバをインストールすることはできません。

5 ［追加ドライバ］をクリックする

6 「追加ドライバ」リストからクライアントの OS を☑にし、［OK］をクリックする
（ダイアログはクライアントが Windows 95/98/Me 用のとき）

ガイド

添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットして、[OK] をクリックしてください。

CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」のダイアログが自動的に起動した場合は、[終了] を選択してダイアログを閉じてください。

7 「コピー元」にクライアントの OS 用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または [参照] をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、[開く] をクリックする

入力が終わったら [OK] をクリックします。

ガイド

プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。(CD-ROM ドライブが D:の場合)

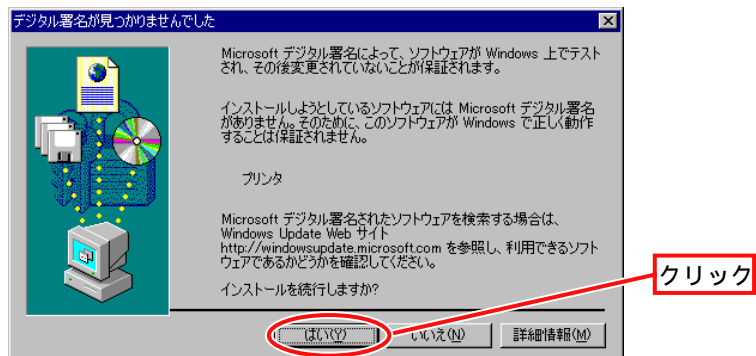
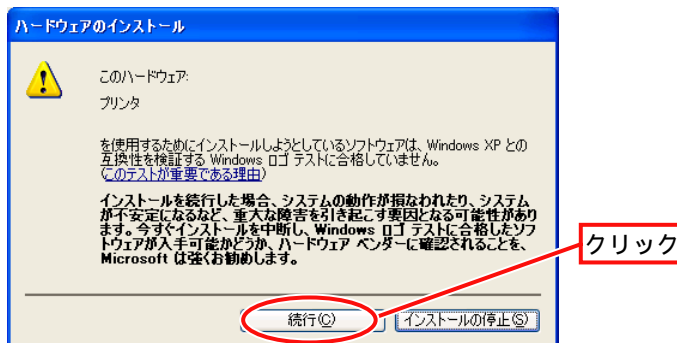
クライアントの OS	フォルダ名
Windows 95/98/Me	D:\FJXLV716\WIN95
Windows NT4.0	D:\FJXLV716\WINNT40

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

ガイド

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、必要に応じて次の操作をします。

・Windows 2000 の場合

[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログが表示されたときは、[はい] をクリックします。

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［ハードウェアのインストール］ダイアログが表示されたときは、［続行］をクリックします。

7.2.2　クライアント側の設定

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

ガイド

共有プリンタに印刷するための設定は、CD-ROM をセットすると表示される「Printia LASER プリンタユーティリティ」のダイアログから「プリンタドライバ」を選択しても行えます。

参照　操作方法については、

「第 5 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（97 ページ）参照
「第 6 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（125 ページ）参照

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントから Windows 2000/XP/Windows Server 2003 サーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

(1)　ネットワークインストール

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントから Windows 2000/XP/Windows Server 2003 サーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

お願い

サーバが Windows 2000/XP/Windows Server 2003 以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「ポート変更による方法」（173 ページ）でインストールしてください。

●準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。 あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。

●設　定

❶エクスプローラを起動する

・Windows 2000 の場合
［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順に選択する

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］の順に選択する

❷［マイネットワーク］の［ネットワーク全体］を表示し、［コンピュータの検索］（Windows XP/Windows Server 2003 の場合は［検索］）をクリックし、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する
検索結果から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

❸設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、ダイアログの指示にしたがってインストールする
ファイルがコピーされ、［プリンタ］フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

(2)　ポート変更による方法

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントからサーバが Windows 2000/XP/Windows Server 2003 以外の共有プリンタを使用する場合は、ローカルのプリンタポートを仮に指定して CD-ROM からプリンタドライバのインストールを行ってください。その後、ポートを変更して共有プリンタに接続します。
この際、管理者権限でログオンしてください。

●準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ	Windows 95/98/Me/NT4.0 が動作するパソコンです。 あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。
クライアント	Windows 2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。

●設　定

❶プリンタドライバをインストールする

参照　プリンタドライバのインストールについては、
「第 5 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（97 ページ）参照
「第 6 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（125 ページ）参照

インストール中に印刷先ポートの指定、およびテスト印刷を行うかどうかを尋ねられます。印刷先ポートは仮のポート（ローカルポート：LPT1 など）を、テスト印刷は「いいえ」（テスト印刷をしない）を選択します。

お願い
❷の操作の前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷ができません。そのときは、「印刷中止」をクリックしてください。

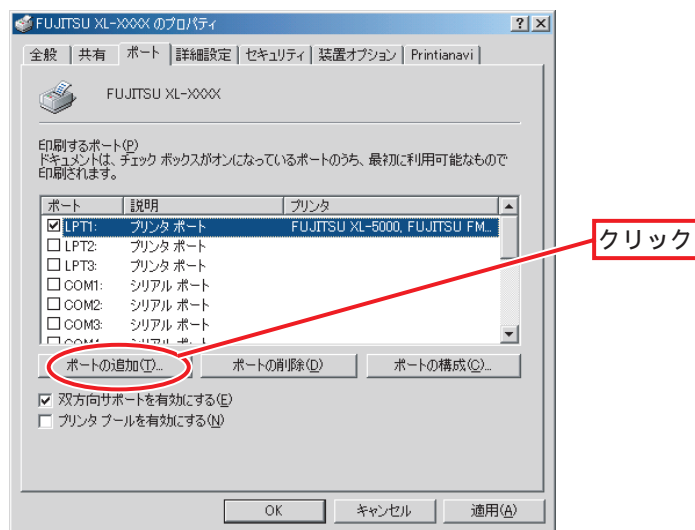
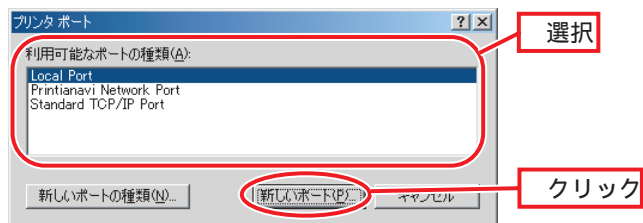
印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更する

①プリンタを選択する

・Windows 2000 の場合
［スタート］ － ［設定］ － ［プリンタ］ の順で選択し、設定を行うプリンタを選択する

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］ － ［プリンタと FAX］ を選択し、設定を行うプリンタを選択する

②［ファイル］メニュー－［プロパティ］を選択し、［ポート］タブをクリックする

③［ポートの追加］をクリックする

④「Local Port」を選択し、［新しいポート］をクリックする

⑤［ポート名］ダイアログに共有プリンタのネットワークパス（「\\サーバのネットワークコンピュータ名￥プリンタの共有名」）を入力する
入力が終わったら、［OK］をクリックして設定を終了します。

7.3 Windows NT4.0 のとき

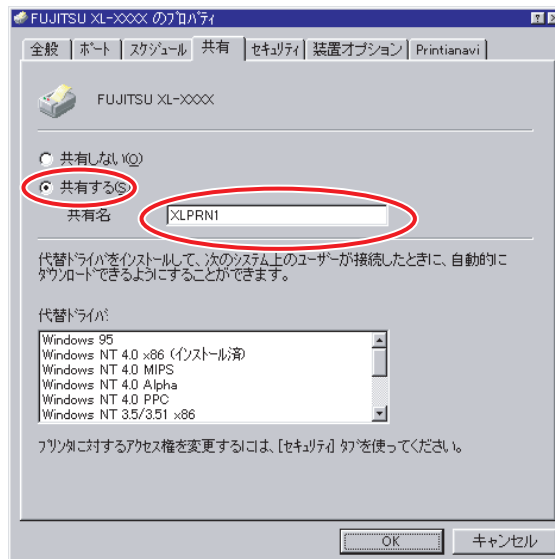
ここでは、OS が Windows NT4.0 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

7.3.1 サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

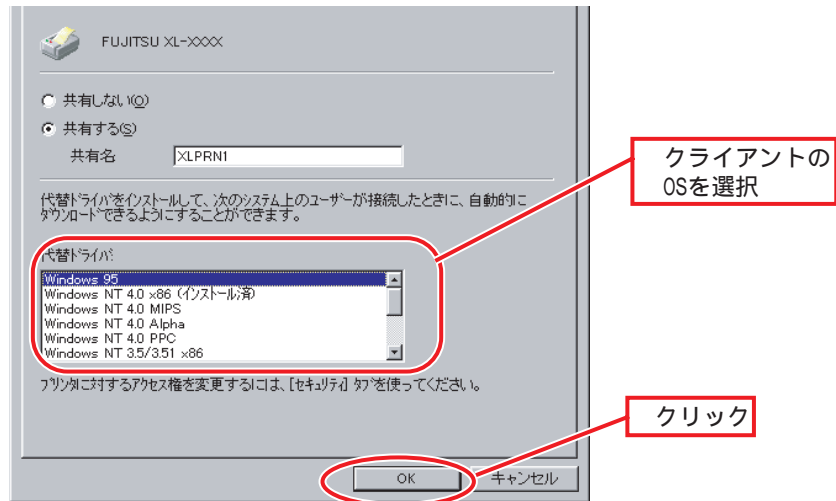
(1) 設　定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1. Windows NT4.0 を起動し、管理者権限でログオンする
2. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
3. ［ファイル］メニュー－［共有］を選択する
4. 「共有する」を選択し、共有名を入力する

共有名	共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。 ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。 クライアントの OS が Windows 95/98/Me の場合は、引き続き5以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。

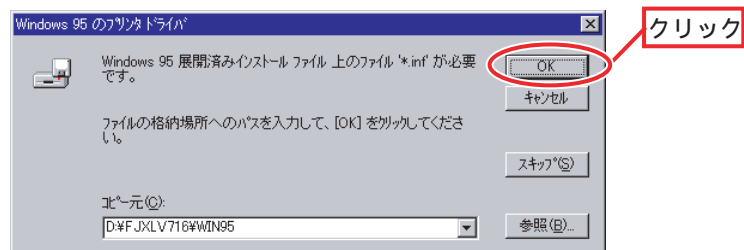
ガイド

代替ドライバをインストールしないときは、［OK］をクリックして設定を終了します。

5 「代替ドライバ」リストからクライアントの OS を選択し、[OK] をクリックする

ガイド
Windows 98/Me の代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

6 添付の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする

ガイド
CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」のダイアログが自動的に起動したときは、[終了] を選択してダイアログを閉じてください。

7 「コピー元」に「D:\FJXLV716\WIN95」と入力する、または [参照] をクリックして「D:\FJXLV716\WIN95」を選択する（CD-ROM ドライブが D:のとき）
入力が終わったら [OK] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

7.3.2　クライアント側の設定

Windows NT4.0 をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

ガイド

共有プリンタに印刷するための設定は、CD-ROM をセットすると表示される「Printia LASER プリンタユーティリティ」ダイアログから「プリンタドライバ」を選択しても行えます。

参照　操作方法については、

「第５章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する（97 ページ）参照
「第６章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（125 ページ）参照

Windows NT4.0 のクライアントから Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行えます。

ガイド

サーバが Windows 95/98/Me の場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールは CD-ROM から行う必要があります。

(1)　準　備

クライアント側の設定には、本製品に添付の CD-ROM が必要です。（サーバが Windows 95/98/Me のとき）
また、設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

・サーバ
Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンです。
あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

・クライアント
Windows NT4.0 が動作するパソコンです。

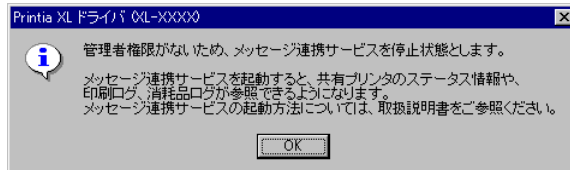
(2)　設　定

1. ［スタート］－［プログラム］－［Windows NT エクスプローラ］の順に選択する

2. ［ネットワークコンピュータ］をクリックし、一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックする
利用可能な共有プリンタが表示されます。

3. 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、ダイアログの指示にしたがってインストールする
ファイルがコピーされ、［プリンタ］フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

ガイド

管理者権限以外でネットワークインストールを行った場合、インストール後に次のダイアログが表示されることがあります。
次のダイアログが表示された場合は、サーバ経由で印刷しても、クライアント側で印刷の状態や、印刷ログ、消耗品ログを参照することができません。（印刷は行えます。）

・クライアント側に警告メッセージを表示させないようにするには、サーバ側で［装置オプション］ダイアログの「メッセージ連携サービスの警告を表示する」を□にしてください。
・メッセージ連携サービスを使用する場合は、管理者権限でログオンし直し、ドライバのインストールを行ってください。

参照　メッセージ連携サービスについては、
「第 10 章　プリンタドライバの機能と利用方法」（219 ページ）参照

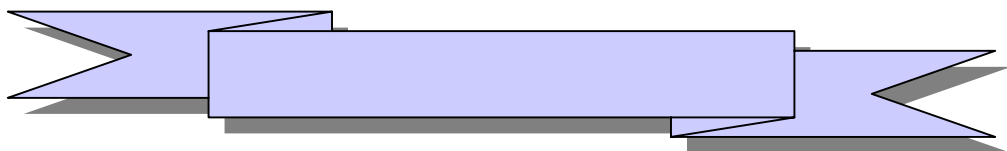
参照　プリンタドライバのインストールについては、
「第 5 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（97 ページ）参照
「第 6 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（125 ページ）参照

(3)　設定の確認

メッセージ連携サービスが有効になっているかは、次の手順で確認できます。

1. プリンタのプロパティの［Printianavi］ダイアログで［オプション］をクリックし、［Printianavi オプション］ダイアログを表示します。

2. ［メッセージ連携サービスの設定］をクリックし、状態を確認します。
「開始」になっていれば、メッセージ連携サービスは有効です。

運用編

第 8 章

日常の操作

この章では、本プリンタで印刷するうえで必要となる操作について説明します。

8.1　機能の利用法

本機に搭載している機能で次のことができます。

●きれいに印刷したい

プリンタドライバの［グラフィックス］ダイアログで以下の設定をすると、細かい図面や写真を、よりきれいに印刷できるようになります。

・階調をなめらかに表現したいときは、ディザを粗く、「写真をきれいに印刷する」をチェックする

・細かい線画や地図などを印刷するときは、ディザを細かく、解像度を高くする

なお、「スムージングする」は、文字や図形の線をなめらかにしますが、写真には向きません。

「［グラフィックス］ダイアログ」（242 ページ）参照

●速く印刷したい

プリンタドライバで解像度を下げる設定をすると、速く印刷できるようになります。なお、解像度を下げると、印刷品質が多少落ちます。

「［グラフィックス］ダイアログ」（242 ページ）参照

●節約したい

プリンタドライバで以下の設定をすると、紙やトナーを節約することができます。

・N-up 印刷する
２ページから 16 ページ分の文書を、１枚の用紙に印刷できます。

・両面印刷する
用紙の両面に印刷します。

「［便利な機能］ダイアログ」（233 ページ）参照

・トナーを節約する
トナーセーブ機能があります。

「［グラフィックス］ダイアログ」（242 ページ）参照

●印刷の状態やメンテナンス情報を管理したい

添付ソフトウェアの「Printianavi ネットワークマネージャ」や「E メール送信機能」を使用すると、印刷の状態やプリンタのメンテナンス情報を、パソコン側で管理することができます。

「第 12 章 プリンタ管理機能（Printianavi ネットワークマネージャ）」（269 ページ）参照
「第 11 章 ログ機能」（253 ページ）参照

●部単位で印刷したい

「部単位印刷機能」を利用すると、複数部数を部単位（ソート）で印刷することができます。アプリケーションで部単位印刷をサポートしていない場合に、部単位での印刷が行えます。

「［基本設定］ダイアログ」（222 ページ）参照

●拡大縮小印刷したい

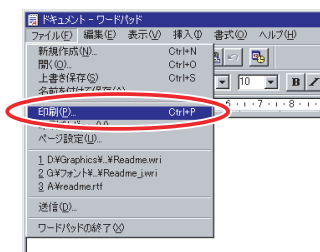
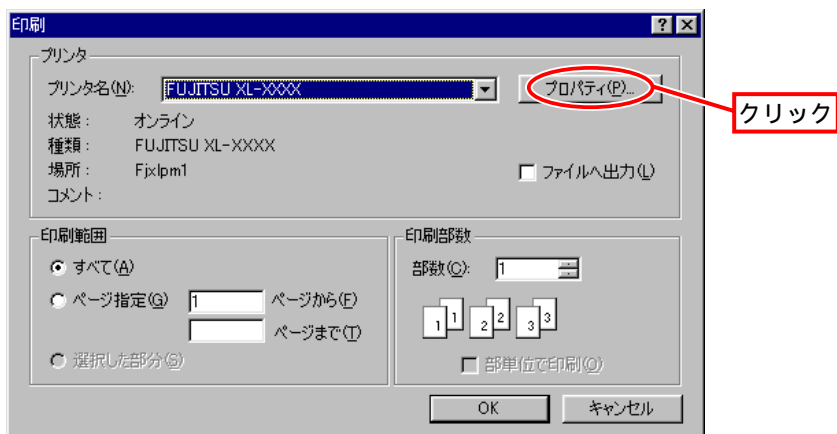
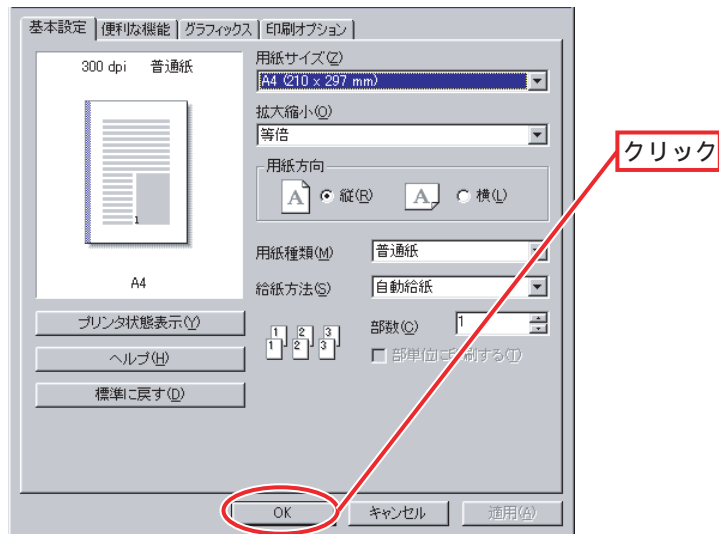
作成したデータを拡大または縮小して印刷することができます。

「［基本設定］ダイアログ」（222 ページ）参照

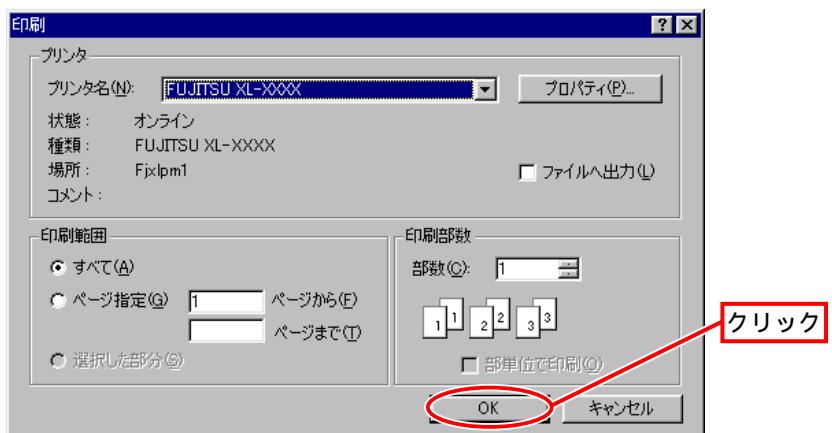
8.2 印刷手順

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作について説明します。印刷手順はアプリケーションによって異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1 ワードパッドでデータを作成する

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する

3 プリンタが正しく選択されていることを確認し、［プロパティ］をクリックする

4 各項目を設定し、[OK] をクリックする

参照　各設定項目の詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」または
「第 10 章　プリンタドライバの機能と利用方法」(219 ページ) 参照

参照　用紙をセットする方法については、
「第 16 章　用紙について」(357 ページ) 参照

5 [OK] をクリックする

印刷が開始されます。

参照　うまく印刷できないときは、「困ったときは」(369 ページ) 参照

8.3 プリンタの状態を見る（ポップアップ）

Printianavi を使うと、プリンタの状態をパソコン上で見ることできます。
Printianavi は、印刷が実行されるとプリンタのモニタを開始します。プリンタでエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法を、パソコンの画面にポップアップ表示します。

Printianavi によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、および詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「[Printianavi]ダイアログ」（246 ページ）参照

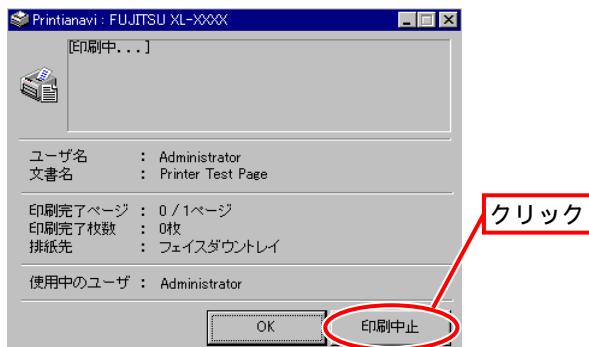
8.4 印刷を中止する

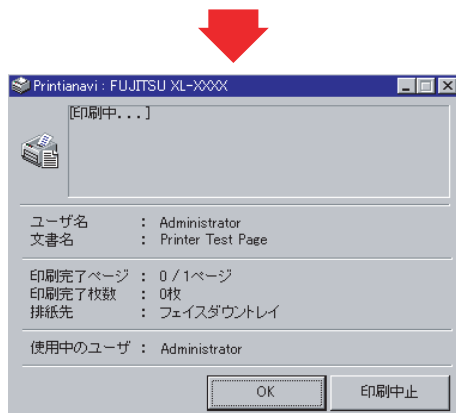
印刷開始後（データランプ点滅または点灯）、印刷を中止する 2 つの方法を説明します。

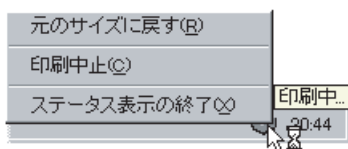
8.4.1 パソコンの画面から中止する（双方向通信機能が有効のとき）

パソコンから印刷を中止するときの操作は、[Printianavi] ダイアログの表示方法の設定によって異なります。

●ポップアップ表示のとき

[印刷中止] をクリックする

●エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

タスクトレイのアイコンをダブルクリックし、[印刷中止] をクリックする

ガイド

タスクトレイのアイコンを右クリックし、「印刷中止」を選択して、印刷を中止することもできます。

8.4.2　オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。
プリンタをリセットすると、プリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

1 印刷中に「オンライン」スイッチを押す

×××××には、使用ポートが表示されます。

```
インサツチュウ　XXXXX
              1－A4
```

↓「オンライン」

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

```
ハイシュツ　ショリチュウ
              1－A4
```

↓

```
オフライン　　　XXXXX
```

2 「リセット」スイッチを押す

このとき「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずに印刷を再開します。

```
ショキカ　シマスカ（Y，N）？
リセット→Y　オンライン→N
```

3 再度「リセット」スイッチを押す

↓「リセット」

```
ショキカチュウ
```

プリンタを初期化します。
受信データがあると、データ/排出ランプが点滅します。
初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

ガイド

プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。
Printianavi を使用しているときは、パソコン上の Printianavi メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

参照　オペレータパネルの詳細は「第 9 章　オペレータパネルの操作」（205 ページ）参照

8.5 プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）

プリンタの接続方法を変更するときは、印刷先ポートの設定を変更する必要があります。また、プリンタが LAN（TCP/IP）に直接接続されている場合には、ポートを追加する必要があります。

ガイド

サーバ経由での印刷に変更する場合は、共有プリンタを再インストールしてください。

参照　共有プリンタの詳細は、「第 7 章　プリンタ共有の設定」（165 ページ）参照

8.5.1 Windows 95/98/Me のとき

パソコンの OS が Windows 95/98/Me のときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

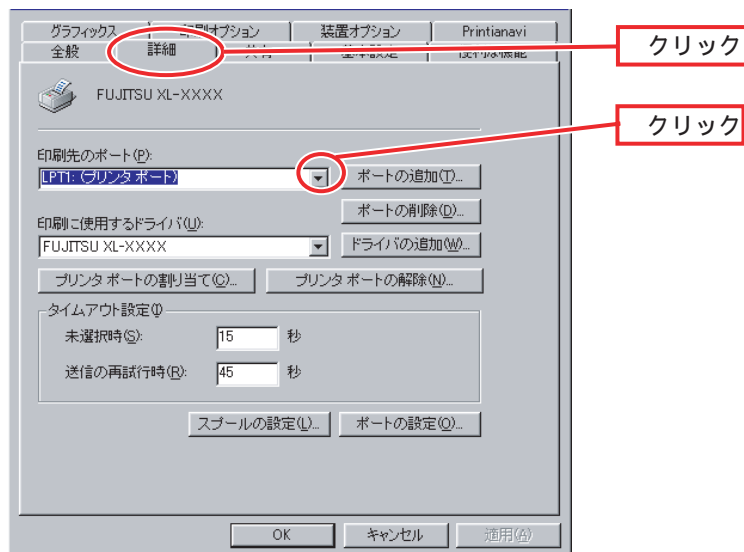
(1)　設定方法

1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする

2. ［ファイル］メニュー－［プロパティ］を選択する

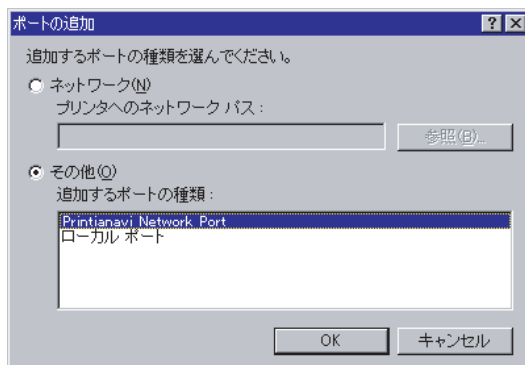
3. ［詳細］タブをクリックし、「印刷先のポート」の▼をクリックして表示される一覧から変更するポートを選択する

一覧から選択したら［OK］をクリックしてください。

一覧に変更するポートがない場合や新しく追加する場合は、4に進んでください。

［ポートの追加］をクリックする

・LAN/IPP 接続プリンタに印刷するとき

①「その他」を選択後、「追加するポートの種類」で「Printianavi Network Port」を選択して［OK］をクリックする

ガイド

「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモニタをインストールしてください。

参照　「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（148 ページ）参照

②目的に合わせて接続先とポート名を入力し、終わったら［OK］をクリックする

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。

参照　LAN による印刷を行いたいときは、「LAN ポートの追加」（193 ページ）参照

参照　IPP による印刷を行いたいときは、「IPP ポートの追加」（197 ページ）参照

8.5.2　Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のとき

パソコンの OS が Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

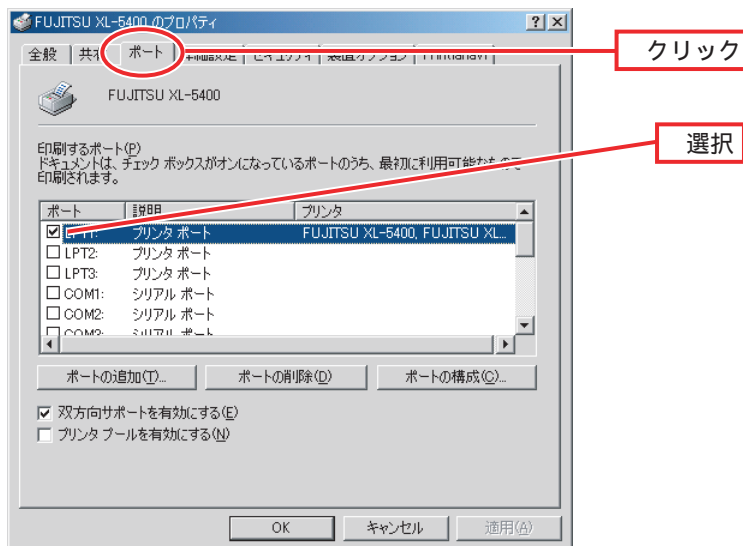
(1)　設定方法

管理者権限でログオンし、次の操作をします。
※ダイアログは Windows 2000 の場合です。

1 プリンタを選択する

- Windows NT4.0/2000 のとき
  ［スタート］ー［設定］ー［プリンタ］の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする
- Windows XP/Windows Server 2003 のとき
  Windows XP/Windows Server 2003 の場合は、［スタート］ー［プリンタと FAX］の順に選択する

2 ［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択する

3 ［ポート］タブをクリックし、「印刷するポート」の一覧で新しい印刷ポートを☑にし、［OK］をクリックする
一覧にポートがない場合や新しく追加する場合は、**4**に進んでください。

［ポートの追加］をクリックする

・LAN/IPP 接続プリンタに印刷するとき

①「利用可能なポートの種類」（Windows NT4.0 は［利用可能なプリンタポート］）から「Printianavi Network Port」を選択して［新しいポート］をクリックする

ガイド

「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモニタをインストールしてください。

　「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（148 ページ）参照

②目的に合わせて接続先とポート名を入力し、［OK］をクリックする

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。

参照　LAN による印刷を行いたいときは、「LAN ポートの追加」（193 ページ）参照

参照　IPP による印刷を行いたいときは、「IPP ポートの追加」（197 ページ）参照

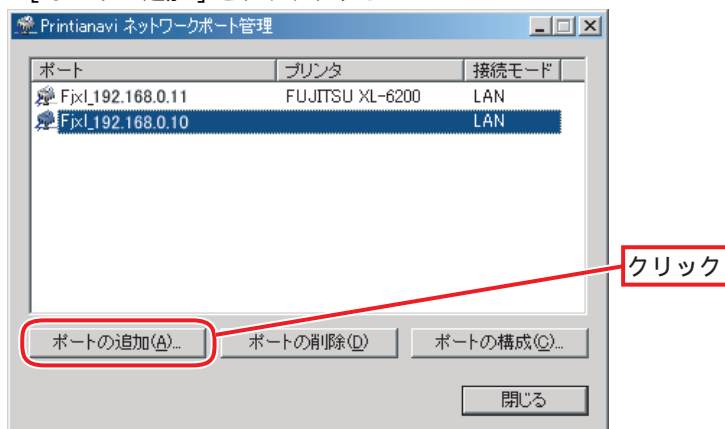
8.6 ネットワークポートの追加

ここでは、ネットワークポートの追加方法について説明します。
ネットワークポートには、LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷する「LAN ポート」とインターネットに接続されたプリンタに印刷する「IPP ポート」があります。
下記の方法でポートの追加を行ってください。

1 Windows を起動する

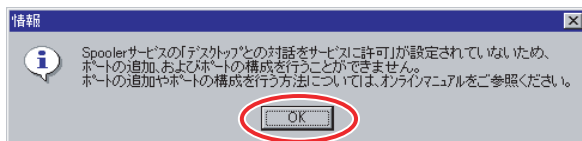
Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンします。

2 ［スタート］ー［プログラム］ー［Printianavi］ー［ネットワークソフトウェア 2］ー［Printianavi ネットワークポート管理］の順に選択する

3 ［ポートの追加］をクリックする

参照　LAN による印刷を行いたいときは、「LAN ポートの追加」（193 ページ）参照

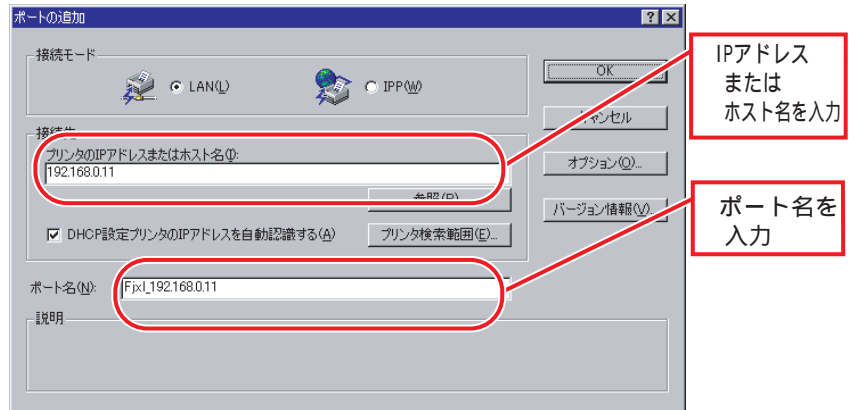
参照　IPP による印刷を行いたいときは、「IPP ポートの追加」（197 ページ）参照

ガイド

Windows NT4.0 で Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを☐にしている場合、以下のメッセージが表示されます。

［OK］をクリックしてメッセージを閉じ、Printianavi ネットワークポート管理を終了してください。その後、Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを☑にし、必要な操作を行った後、再度ポートの追加を行ってください。

参照　Spooler サービスの設定方法は
「ポートが追加できない」の〈対処〉（418 ページ）参照

8.6.1　LAN ポートの追加

LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷を行うときの設定について説明します。

1 接続先、ポート名を設定し［OK］をクリックする

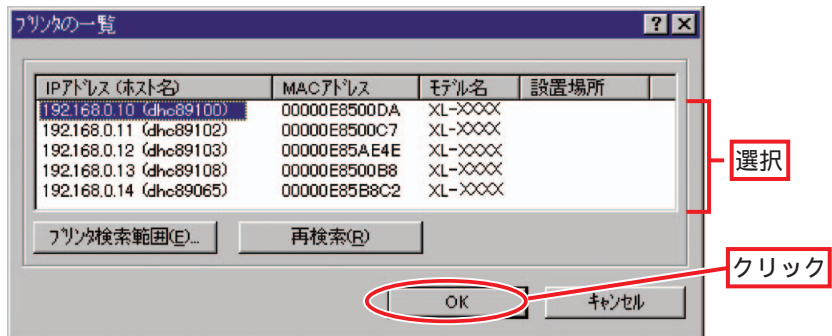
①IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。（各 XXX は 0～255 の範囲の半角数字）
ホスト名はネットワーク上で定義されているプリンタのホスト名を指定します。（最大 255 バイト文字）

②システムに登録する任意のポート名を日本語/半角英数字を含め、63 バイト文字または全角 31 文字以内で指定します。

ガイド

ポート名を指定しなかった場合は、IP アドレスまたはホスト名入力域の設定情報の先頭に「Fjxl_」を付加したものをポート名として自動生成します。

●ネットワーク上にあるプリンタの一覧を表示する

［ポートの追加］ダイアログで IP アドレスを設定する際、［参照］をクリックすると、ネットワーク上に接続されている XL プリンタを、「プリンタの一覧」に表示することができます。
設定したい IP アドレスを選択して［OK］をクリックすると、「接続先」に反映することができます。

●プリンタとの通信に必要な情報を設定する

プリンタとの通信に必要な情報を設定する必要がある場合は、［ポートの追加］ダイアログまたは［ポートの追加］ダイアログで［オプション］をクリックし、必要箇所を入力し［OK］をクリックします。

①	DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する	☑にすると、接続先プリンタの DHCP 自動取得の設定にあわせて IP アドレスで通信するか MAC アドレスが一致したプリンタと通信するかを自動判別します。 DHCP 自動取得＝設定のとき 　MAC アドレスが一致するプリンタと通信します。DHCP による動的な IP アドレス割り当てによりプリンタの IP アドレスが変更されても、前回通信したプリンタを検索し、自動的に新しい IP アドレスで通信します。 DHCP 自動取得＝解除のとき 　MAC アドレスの一致/不一致にかかわらず、接続先で指定した IP アドレスで通信します。 ☐にすると、つねに接続先で指定した IP アドレスで通信します。通常は☑にしたままで問題ありませんが、DHCP サーバからプリンタに割り当てる IP アドレスを固定している場合に、MAC アドレスの一致/不一致にかかわらず、接続先で指定した IP アドレスで通信したいときは☐にしてください。 なお、DHCP サーバからプリンタに割り当てる IP アドレスを固定していない場合は、☐にしないでください。
②	プリンタ検索範囲	ネットワークに接続された XL プリンタの検索範囲を指定するダイアログを表示します。
③	ポート番号	プリンタとの通信で使用するポート番号を指定します。 通常は、初期設定の 9313 のままにします。 変更する場合は、プリンタ側の設定（印刷ポート番号）と同じ値にしてください。

④	プリンタタイムアウト監視時間	プリンタからの応答を待ち合わせる時間を 60～7200 秒の範囲で設定します。 初期設定は 300 秒です。
⑤	標準に戻す	このダイアログの値を初期設定に戻します。初期設定は以下のとおりです。 ・ポート番号：9313 ・プリンタタイムアウト監視時間：300 秒

ガイド

・ポートの作成時（または変更時）に接続先の IP アドレス（またはホスト名）を［参照］から指定せず直接入力し、一度も通信を行っていない場合は、プリンタ側の設定が取得できないため、初回通信時は入力された IP アドレス（またはホスト名）で接続します。

・「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」のチェックを☑にしているとき、プリンタの DHCP 自動取得の設定が前回通信から変更されていた場合は通信後、次回接続時から変更された設定に従って動作します。

例）前回接続したときは「DHCP 自動取得＝解除」だったが、今回接続した結果「DHCP 自動取得＝設定」になっていた場合

1　前回の通信結果から、IP アドレスで接続します。
2　IP アドレスで接続したプリンタと通信（印刷）します。
3　「2」で接続したプリンタの MAC アドレスを記録します。
4　次回接続プリンタが「DHCP 自動取得＝設定」のとき
→MAC アドレスが一致するプリンタに接続します。
次回接続プリンタが「DHCP 自動取得＝解除」のとき
→IP アドレスで接続します。

通常の運用では問題ありませんが、プリンタの交換や他部署や他のグループに移動する場合に注意が必要です。

参照　「プリンタを交換、または設置場所を変更する場合の注意事項」（196 ページ）参照

・「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」より「ポートの追加」を行った場合は、プリンタの追加処理ダイアログにて「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、「LAN ポートの追加」で設定した LAN ポートを指定してプリンタドライバをインストールします。
「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」の途中の場合は、8 （155 ページ）に進んでください。

●プリンタを交換、または設置場所を変更する場合の注意事項

ネットワークに直接接続されたプリンタを交換、または他部署や他のグループに移動した後も同じポート（Printianavi Network Port）を使用する場合は、以下の手順で作業を行ってください。
誤った手順で行うと、「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」機能により、次のような現象が発生する場合があります。

・移動前に印刷を行っていたパソコンから移動したプリンタに引き続き接続してしまう
・交換したプリンタに接続せず応答なしエラーとなる

上記の現象が発生した場合は、ポートの接続先を再設定してください。

【プリンタの移動手順】

・プリンタの IP アドレスを固定値で割り当てていた場合

〈プリンタ側の設定〉

1. 移動するプリンタのネットワークケーブルを外す
2. プリンタのオペレータパネルのメニューからＬＡＮ初期化を行う
3. 移動先の環境にあわせて IP アドレスを再設定する

〈パソコン側（サーバ経由の場合は共有サーバ側）の設定〉

同じ IP アドレスが設定された新しいプリンタにそのまま運用を切り替える場合は、特に必要ありません。IP アドレスの異なるプリンタに接続し直す場合は、ポートの接続先を再設定してください。

・プリンタの IP アドレスを DHCP により自動取得していた場合

〈プリンタ側の設定〉

特にありません。

〈パソコン側（サーバ経由の場合は共有サーバ側）の設定〉

移動前の環境で移動プリンタに接続していたポートを削除、または新しいプリンタに接続しなおす場合は、ポートの接続先を再設定してください。

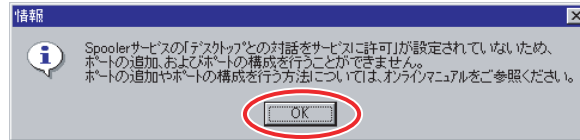
参照 「ポートの接続先の再設定手順」（196 ページ）参照

【ポートの接続先の再設定手順】

1. Windows を起動する
   Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンします。
2. ［スタート］ － ［プログラム］ － ［Printianavi］ － ［ネットワークソフトウェア 2］ － ［Printianavi ネットワークポート管理］ の順に選択する

3 変更するポートを選択し、[ポートの構成] をクリックする

ガイド

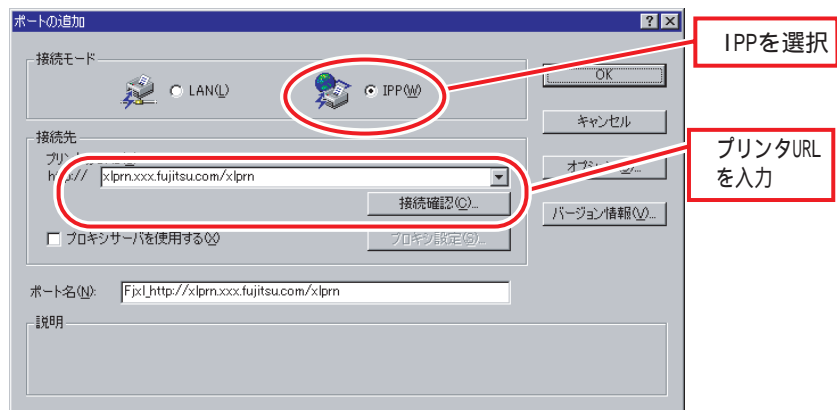
Windows NT4.0 で Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを☐にしている場合、以下のメッセージが表示されます。

[OK] をクリックしてメッセージを閉じ、Printianavi ネットワークポート管理を終了してください。その後、Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを☑にし、必要な操作を行った後、再度ポートの追加を行ってください。

参照　Spooler サービスの設定方法について
「ポートが追加できない」の<対処>（418 ページ）参照

4 [ポートの設定] ダイアログで [参照] をクリックする

5 プリンタの一覧から、接続したいプリンタを選択して [OK] をクリックする

8.6.2　IPP ポートの追加

1 「IPP」を選択し、プリンタの URL を入力して [OK] をクリックする

参照　「プリンタの URL 設定（IPP のみ）」（145 ページ）参照

ガイド

プリンタの URL は、次の方法で確認することができます。（プリンタに設定済みの場合のみ）

- Printia LASER Internet Service の [ネットワーク情報] [基本情報] を参照する
- 印刷した設定情報（設定の印刷）を参照する

参照　「設定の一覧を印刷する」（67 ページ）参照

- Printianavi ネットワークマネージャの [詳細画面の表示] [基本情報] を参照する

[ポートの追加] ダイアログでは、必要に応じて次の設定を行います。

●プロキシサーバの設定をする

プリンタとの接続にプロキシサーバを使用する場合は、「プロキシサーバを使用する」を☑にし、[プロキシ設定]をクリックします。[プロキシ設定]ダイアログで、プロキシサーバの設定を行ってください。

①	プロキシサーバのアドレス	プロキシサーバの IP アドレス、またはネットワーク上のホスト名を入力します。
②	プロキシサーバの ポート番号	プロキシサーバのポート番号を入力します。
③	継続通信モードを 有効にする	プロキシサーバによっては、継続通信モードにすると正しく印刷できない場合があります。プリンタの接続確認はできているが、印刷時に通信エラーとなったり、印刷データがプリンタに通信されないなど印刷がうまく行かない場合は、□にすると正常に印刷できる場合があります。
④	標準として設定	現在入力されている設定値を標準にする場合、クリックします。
⑤	標準に戻す	［標準として設定］に設定した値に戻します。標準値が設定されていない場合は、空欄に戻します。

●ポート名を変更する

「ポート名」には、初期設定として「Fjxl_http://」＋「プリンタの URL」が設定されます。
必要に応じて変更してください。（日本語/英数を含め半角 63 文字または全角 31 文字以内）

ガイド

- バックスラッシュ、円記号(\)、カンマ(,)記号が含まれるものおよび先頭が半角空白である文字列をポート名として指定することはできません。
- Windows 95/98/Me の場合、すでに作成したポート名が含まれる文字列（「Fjxl_ipp1」があるとき、「Fjxl_ipp」や「Fjxl_ipp11」など）をポート名として指定することはできません。

●オプションの設定をする

［オプション］をクリックすると、［オプション］ダイアログが表示されます。

①	プリンタタイムアウト監視時間	プリンタからの応答を待ち合わせる監視時間を、60〜7200 秒の範囲で設定します。ここで指定した時間プリンタから何も応答がないときは、ネットワークが切断されているとみなし、エラーを通知します
②	標準に戻す	「プリンタタイムアウト監視時間」を初期設定の 300 に戻します。

ガイド

「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」より「ポートの追加」を行った場合は、プリンタの追加処理ダイアログにて「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、「LAN ポートの追加」で設定した LAN ポートを指定してプリンタドライバをインストールします。
「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」の途中の場合は、8 （155 ページ） に進んでください。

●接続の確認

ポートの追加またはポートの設定ダイアログでは、IPP ポートの接続を確認することができます。

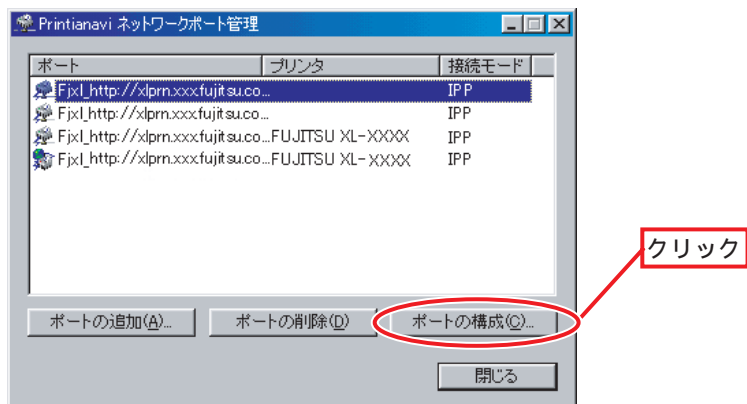
ガイド

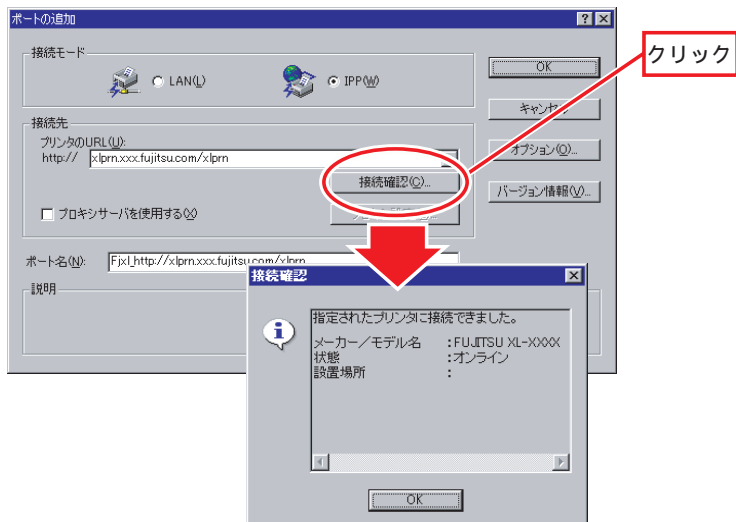
あらかじめプリンタをネットワークに接続し、電源を入れておいてください。
ポートの追加ダイアログ終了後に確認を行うには、ポートの設定ダイアログを次の手順で表示してください。

1 Windows を起動する

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンします。

2 ［スタート］から［プログラム］［Printianavi］［ネットワークソフトウェア 2］［Printianavi ネットワークポート管理］の順に選択する

3 確認を行うポートを選択し、[ポートの構成]をクリックする

4 ［接続確認］をクリックする

［接続確認］をクリックし、プリンタと正常に接続されると、「指定されたプリンタと接続できました」と表示されます。
確認が終わったら、［OK］をクリックします。

ガイド

接続の確認で指定されたプリンタと接続できない場合は、次の点を確認してください。
・指定したプリンタの URL が間違っていませんか
・プロキシサーバの設定が間違っていませんか
・プリンタの電源が投入されていますか

お願い

IPP での印刷を行う場合は、次の点にご注意ください。
XL シリーズ以外の IPP 対応プリンタで接続確認が行える場合でも印刷は保証されません。
Printianavi ネットワークポートモニタでの IPP 印刷は、XL シリーズの IPP 対応プリンタへ印刷するときのみご使用ください。

8.7 プリンタドライバの削除

他の Windows で本プリンタを使用していて、プリンタドライバを削除せずに Windows をアップグレードしたときや、バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。
Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンしてください。
※ダイアログは Windows 2000 の場合です。

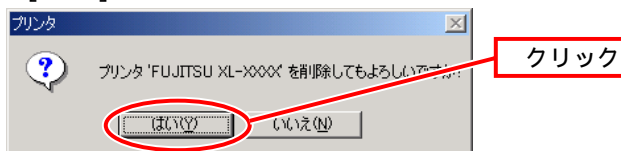
ガイド

Printianavi 印刷ログビューア/消耗品ログビューアの表示対象となるプリンタドライバをすべて削除すると、Printianavi 印刷ログビューア/消耗品ログビューアも同時に削除されます。

・Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択し、削除するプリンタをクリックする

・Windows XP/Windows Server 2003 の場合
［スタート］－［プリンタと FAX］を選択し、削除するプリンタをクリックする

2 ［ファイル］メニューから［削除］を選択する

3 ［はい］をクリックする

ガイド

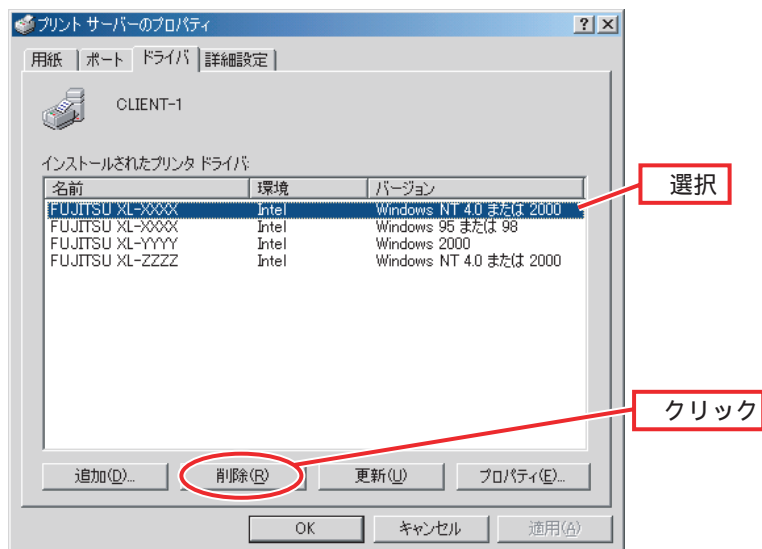
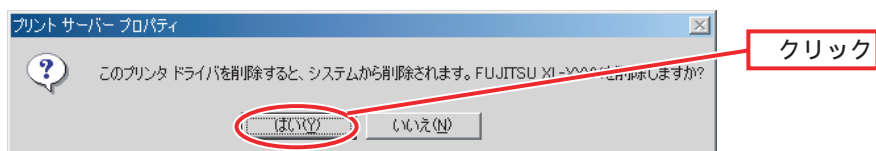
通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。
・「警告：通常使うプリンタは削除されています。' XXXX ' が新しく通常使うプリンタに設定されます。」（XXXX はプリンタ名）
・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

4 次の操作をする

・Windows 95/98/Me/NT4.0 の場合
Windows を再起動すればプリンタドライバの削除は終了です。第 5 章～第 7 章の手順に従って、新しいドライバをインストールしてください。

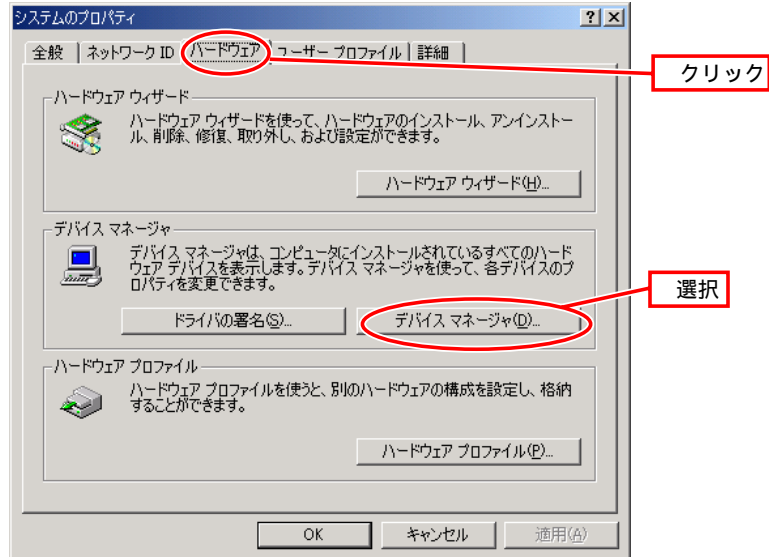
・Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合
引き続き 5 ～ 11 の操作を行います。

5 ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］を選択し、［ドライバ］タブをクリックする

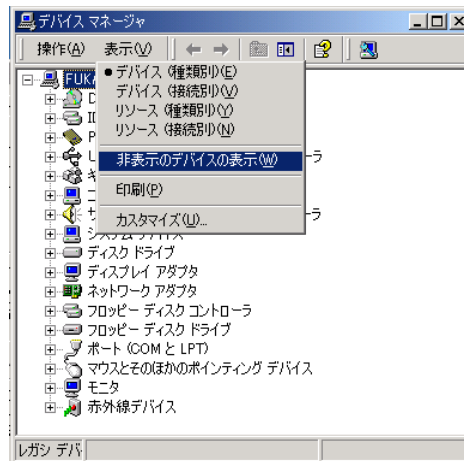
6 「インストールされたプリンタドライバ」リストから、2で削除したプリンタ名を選択し、［削除］をクリックする

7 ［はい］をクリックする

ドライバの削除が終わったら［閉じる］をクリックして、［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログを終了します。

8 ［システムのプロパティ］を表示する

- Windows 2000 の場合
  ［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］を選択する
- Windows XP の場合
  ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］を開き、「関連項目」の中から［システム］をクリックする
- Windows Server 2003 の場合
  ［スタート］－［コントロールパネル］を開き、［システム］をクリックする

9 ［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］をクリックする

10 ［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］に削除した XL プリンタが表示された場合はアンインストールする

アンインストールするプリンタを選択し、右クリックで表示されたメニューで［削除］を選択します。

処理が終わったら［デバイスマネージャ］および［システムのプロパティ］ダイアログを終了します。

ガイド

プリンタが表示されない場合は、アンインストールの必要はありません。

再起動する

・Windows 2000 のとき
古いプリンタドライバを削除後、Windows を再起動してください。
新しいプリンタドライバは Windows 再起動後にインストールします。

ガイド

プリンタをパラレルケーブル、USB ケーブルで接続しているとき、再起動後にプラグアンドプレイによって XL ドライバディスクを挿入するようにメッセージが表示される場合があります。このときは、[キャンセル]をクリックしてください。

・Windows XP/Windows Server 2003 のとき
新しいプリンタドライバをインストールする場合は、Windows XP/Windows Server2003 を再起動する前に［スタート］-［プリンタと FAX］を選択し「プリンタのインストール」から新しいプリンタドライバをインストールしてください。
その後 Windows XP/Windows Server 2003 を再起動します。

ガイド

新しいプリンタドライバをインストールしてから、Windows XP/Windows Server 2003 の再起動を行ってください。
新しいプリンタドライバをインストールする前に、ケーブルを抜き差ししたり、Windows XP/Windows Server 2003 を再起動すると、プラグアンドプレイにより古いプリンタドライバが自動的にインストールされる場合があります。

第 9 章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、
オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

9.1 オペレータパネル

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

<table>
<tr><td>①</td><td>メニュースイッチ</td><td colspan="2">プリンタをメニューモードにします。メニューモードでは、プリンタに関する各種の設定を行います。メニューモードを終了するときも使用します。</td></tr>
<tr><td>②</td><td>設定スイッチ</td><td colspan="2">メニューモードのときに、選択した値を有効にします。また、印刷中止の確認など、プリンタが一時停止している印刷を続行します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">③</td><td rowspan="3">リンクランプ</td><td colspan="2">ネットワークと接続されている状態かどうかを知らせます。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>ネットワークと接続されていることを示します。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>ネットワークと接続されていないことを示します。</td></tr>
<tr><td>④</td><td>液晶ディスプレイ</td><td colspan="2">プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。（1 行 16 文字の 2 段に表示されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⑤</td><td rowspan="3">エラーランプ</td><td colspan="2">プリンタの異常を知らせます。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>プリンタでエラーが発生していることを示します。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>プリンタが正常に印刷できる状態であることを示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">⑥</td><td rowspan="4">データランプ／
排出スイッチ</td><td colspan="2">データランプは、印刷データの受信状態を次のように知らせます。また、排出スイッチは未処理のデータがある場合、スイッチを押すと強制的に印刷を行います。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>プリンタ内にデータが残っている場合です。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>データをパソコンから受信中です。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>データがない状態です。</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>▲▼◀ ▶
スイッチ</td><td colspan="2">メニューモードのときに、設定項目および設定値の選択に使用します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">⑧</td><td rowspan="4">オンラインランプ/
オンラインスイッチ</td><td colspan="2">オンラインランプは、プリンタが印刷できる状態かどうかを次のように知らせます。なお、オンラインスイッチを押すと、「オンライン」「オフライン」が切り替わります。</td></tr>
<tr><td>点灯</td><td>印刷できる状態、または印刷中です。</td></tr>
<tr><td>点滅</td><td>印刷データを受信中です。</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>印刷できない状態です。</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>リセットスイッチ</td><td colspan="2">印刷を中止します。また、テスト印刷（連続印刷）を中断します。</td></tr>
</table>

参照　「メニュー」「▲」「▼」「◀」「▶」の各スイッチについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（209 ページ）参照

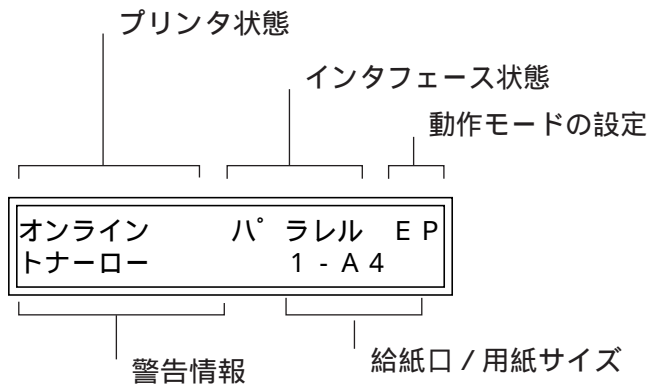
9.2 液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。1行 16 文字で 2 段に表示されます。
エラーが発生すると「エラー」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

9.2.1 電源投入時の表示内容

プリンタの電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。

9.2.2 オンライン（印刷できる状態）時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。

項目	表示内容	説明
プリンタ状態	プリンタの状態を表示します。	
	オンライン	オンライン状態または印刷データを受信中です。
	オフライン	オフライン状態です。
	インサツチュウ	印刷を行っています。
	ジュンビ	ウォームアップ中（*1）、またはクールダウン中（*2）です。
	セツデン	パワーセーブ中です。
インタフェース状態	データを受信したポート状態を表示します。	
	パラレル	パラレルポート経由でパソコンと通信しています。
	ＬＡＮ	LAN ポート経由でパソコンと通信しています。
	ＵＳＢ	USB ポート経由でパソコンと通信しています。

*1： 電源投入時またはパワーセーブ状態からの復帰時に、定着器を暖めています。

*2： 大量の連続印刷中に、定着器の過熱を防ぐために自動的に冷やしています。

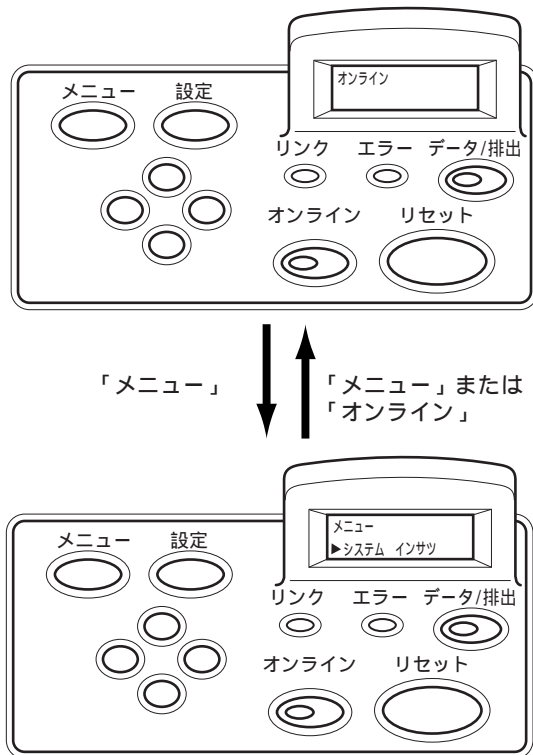
項目	表示内容	説明
動作モードの設定	プリンタの動作モードを表示します。エミュレーション設定が「ESC/P」の場合は、Printia　XL ドライバからの印刷時、動作モードを自動で切り替えます。（初期値はエミュレーション設定「解除」）	
	ＥＰ	ESC/P モード
	ＨＸ	HEX ダンプ印刷モード
	表示なし	Printia XL ドライバの印刷動作中
	ＭＷ	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ書き込み中
	ＭＲ	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ読み出し中
警告情報	警告情報を表示します。	
	表示なし	警告なし
	カセットカクニンｎ	カセットなし状態
	MP カクニン	マルチユニットなし状態
	トレイカクニン	給紙トレイの搬送部がない状態
	トナーロー	トナーの残りが少なくなった状態
	トナーロー*	トナーが残り少なくなった時で、かつ純正品以外のプロセスカートリッジを使用している状態
	テイチャクキ	定着器の交換時期
	ソウチジュミョウ	プリンタが寿命に達した状態
	トナーコウカン	純正品以外のトナー検出
給紙口／用紙サイズ	印刷中の給紙口と用紙サイズを表示します。	
	【給紙口】	
	１	給紙カセット１から、給紙、印刷中です。
	２	給紙カセット２から、給紙、印刷中です。
	３	給紙カセット３から、給紙、印刷中です。
	Ｍ-	MP カセット/給紙トレイから、給紙、印刷中です。
	Ｍ*	給紙トレイ（ダイアル設定）から給紙、印刷中です。
	【用紙サイズ】	
	Ａ３	A3 用紙を給紙、印刷中です。
	Ａ４	A4 用紙を給紙、印刷中です。
	Ａ５	A5 用紙を給紙、印刷中です。
	Ｂ４	B4 用紙を給紙、印刷中です。
	Ｂ５	B5 用紙を給紙、印刷中です。
	ＬＧＬ	リーガル用紙を給紙、印刷中です。
	ＬＴＲ	レター用紙を給紙、印刷中です。
	ハガキ	官製はがきを給紙、印刷中です。
	フテイ	ユーザ定義サイズの用紙を給紙、印刷中です。
	フテイＬ	長尺紙を給紙、印刷中です。

9.3 オペレータパネルからの設定（メニューモード）

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

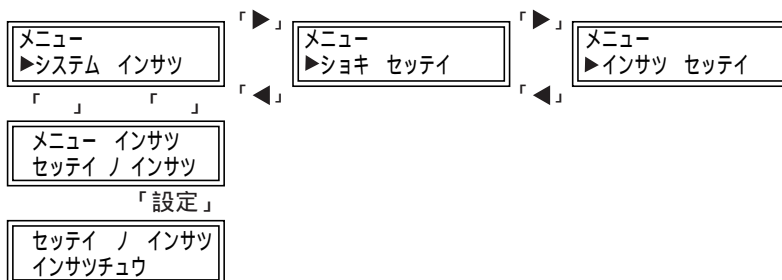
参照　メニューモードで設定できる項目（レベルおよび設定値）は、「メニューモードの項目一覧」（211 ページ）参照

9.3.1 基本的な操作

メニューモードに入るときは、「メニュー」スイッチを押します。
メニューモードを終了させるには、「メニュー」または「オンライン」スイッチを押します。

メニューモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示し、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

ガイド
プリンタがオフライン状態、オンライン状態のいずれの場合も、「メニュー」スイッチを押せばメニューモードに移行します。ただし、印刷の途中（データランプ点灯中）は、メニューモードに入ることはできません。電源を入れてからしばらく経っている場合、オペレータパネルに「セツデン」と表示されることがありますが、メニューモードに入れます。

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

「◀」または「▶」スイッチ	同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
「▼」または「▲」スイッチ	下のレベルまたは上のレベルに移動します。
「設定」スイッチ	表示された値に設定するときや、メニュー印刷、テスト印刷を行うときに押します。

●スイッチの使い分けと設定例

「◀」「▶」スイッチをカーソルの移動に使用している場合は、設定値は「▼」「▲」スイッチを使用します。

IP アドレスの設定を以下に示します。

1. 「◀」「▶」スイッチで、設定するブロックにカーソルを移動します。

↓「▶」「◀」

```
 IPアドレス
* 0.  0.  0.  0
```

2. 「▲」（加算）、「▼」（減算）スイッチで値を設定します。

↓「▲」「▼」

```
IPアドレス
192.  0.  0.  0
```

3. 各ブロックの設定が終わったらカーソルを左端に移動し、「設定」スイッチを押します。

↓「設定」

```
IPアドレス           ▲
*192.168.  0.  10
```

4. 「メニュー」スイッチ、または「オンライン」スイッチを押す

●プリンタのリセット

プリンタは、「IP アドレス設定」および「LAN 設定」内の設定値を変更し、「メニュー」スイッチまたは「オンライン」スイッチでメニューモードを終了した場合にリセットされます。

●テスト印刷（連続印刷）の終了

「テスト印刷」の連続印刷は、「リセット」スイッチを押すと終了します。

9.3.2　メニューモードの項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値および範囲の値の前の「＊」は、工場出荷時に登録される初期設定を示します。

参照　各項目の設定方法については、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード)」(209 ページ）参照

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
システム印刷	設定の印刷					現在のプリンタの設定内容を印刷します。
	HEX ダンプ印刷（*4）					ヘキサダンプ形式で印刷します。
	テスト印刷				格子連続 1	格子を 600dpi で連続で印刷します。
					格子連続 2	格子を 300dpi で連続で印刷します。
					格子連続 3	格子を 1200dpi で連続で印刷します。
					ESC/P 印刷（*4）	ESC/P モードで使用する文字をエミュレーション解像度でテスト印刷します。
初期設定	IP アドレス設定(*1)		DHCP 自動取得	*	設定	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得します。
					解除	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得しません。
			IP アドレス (*2) XXX.XXX.XXX.XXX			IP アドレスを設定します。
			サブネットマスク (*2) XXX.XXX.XXX.XXX			サブネットマスクを設定します。
			ゲートウェイ（*2） XXX.XXX.XXX.XXX			ゲートウェイを設定します。ゲートウェイを使用しない場合は、0.0.0.0 に設定してください。
	LAN 設定（*1）	MAC アドレス			表示	MAC アドレスを表示します。
		Ethernet タイプ (*9)		*	自動	自動検出して動作します。
					100Mbps フル	100Mbps(Full) で動作します。
					100Mbps ハーフ	100Mbps(Half) で動作します。
					10Mbps	10Mbps で動作します。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
初期設定	LAN 設定(*1)	TCP/IP プロトコル		*	有効	TCP/IP を有効にします。
					無効	TCP/IP を無効にします。
		ポート番号	印刷ポート番号		XXXX	印刷を行うときに使用するポート番号を設定します。[1～65535（初期設定：9313）]
			検索ポート番号		XXXX	ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定します。[1～65535（初期設定：9313）]
	ポート設定	パラレルポート設定	双方向モード	*	設定	双方向インタフェースを有効にします。
					解除	双方向インタフェースを無効にします。
			INIT 受信	*	有効	INIT 信号を受信したときの初期化動作を有効にします。
					無効	INIT 信号を受信したときの初期化動作を無効にします。
			タイムアウト時間		XX 秒	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。［10～3600 秒（初期設定：30 秒)］10 秒単位
		USB ポート設定	双方向モード	*	設定	双方向インタフェースを有効にします。
					解除	双方向インタフェースを無効にします。
			タイムアウト時間		XX 秒	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。［10～3600 秒（初期設定：30 秒)］10 秒単位
	管理／初期化	LAN 初期化				LAN に関する設定値を工場出荷時の値に戻します。
		設定初期化				すべての設定値を工場出荷時の値に戻します。（LAN に関する設定を除きます。）

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
初期設定	その他の設定	節電時間		*	1 分	設定した値が経過すると、節電モードで設定したモードに遷移します。
					15 分	
					30 分	
					60 分	
		ブザー		*	設定	エラー時にブザーを鳴動させます。
					解除	エラー時にブザーを鳴動させません。
		タッチ音		*	設定	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らします。
					解除	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らしません。
		印字濃度調整			XX	印字濃度を設定します。 0～15（初期値：8）
		主走査方向位置			XX.Xmm	［-3.5～3.5㎜］0.5㎜ 単位 スキャンする方向（横ライン）の位置を調整します。 （初期値：0.0）
		副走査方向位置			XX.Xmm	［-3.5～3.5㎜］0.5㎜ 単位 紙送り方向（縦ライン）の位置を調整します。 （初期値：0.0）
		エミュレーション設定		*	解除	プリンタを XL ドライバモードで動作させます。
					ESC/P	プリンタを ESC/P エミュレーションモードで動作させます。
印刷設定	給紙口			*	カセット 1	2 段目の給紙ユニットから給紙します。
					カセット 2(*3)	3 段目の給紙ユニットから給紙します。
					カセット 3(*3)	4 段目の給紙ユニットから給紙します。
					MP/給紙トレイ	1 段目の給紙ユニットから給紙します。
	自動給紙設定	MP/キュウシトレイ		*	有効	自動給紙を行います。
		カセット 1			無効	自動給紙を行いません。
		カセット 2（*3）				
		カセット 3（*3）				

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
印刷設定	MP ハガキモード(*10)			*	OFF	MP カセットをセットしていて、はがきに印刷しない場合に設定します。
					ON	MP カセットをセットしていて、はがきに印刷する場合に設定します。
	MP カセットモード (*7)			*	定型	設定の印刷およびエミュレーション印刷時に定形の用紙に印刷する場合に設定します。
					不定形	設定の印刷およびエミュレーション印刷時に不定形の用紙に印刷する場合に設定します。 設定の印刷を行う場合には不定形サイズは以下の範囲で設定してください。 幅　　：148～297㎜ 長さ　：210～420㎜
	給紙トレイ用紙サイズ（*8)			*	A4	A4 サイズに設定します。
					B5	B5 サイズに設定します。
					A5	A5 サイズに設定します。
					リーガル	リーガルサイズに設定します。
					レター	レターサイズに設定します。
					ハガキ	はがきサイズに設定します。
					不定形	ユーザ定義サイズに設定します。このときの用紙サイズは、「不定形サイズ」の「不定形幅」および「不定形長さ」で設定します。
					A3	A3 サイズに設定します。
					B4	B4 サイズに設定します。
	不定形サイズ	不定形幅			XXX㎜	給紙トレイにセットする不定形用紙の横の長さを指定します。 ［100～＊297㎜］ 1㎜ 単位
		不定形長さ			XXX㎜	給紙トレイにセットする不定形用紙の縦の長さを指定します。 ［148～420㎜（初期設定：420㎜)］
	両面印刷 (*5)			*	解除	システム印刷時および ESC/P 印刷時に両面印刷を行いません。(片面印刷)
					設定	システム印刷時および ESC/P 印刷時に両面印刷を行います。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
印刷設定	印刷方向(*4)			*	縦	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。上端/左端の余白は固定になります。
					縦余白	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
					横	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。上端/左端の余白は固定になります。
					横余白	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。横余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
	縮小印刷(*4)			*	100%	縮小せずに印刷します。
					75%	75%に縮小して印刷します。
					70%	70%に縮小して印刷します。
					リスト印刷 A4	ストックフォーム用の印刷データを 75%に縮小して A4 用紙に横方向で印刷します。
					リスト印刷 B4	ストックフォーム用の印刷データを B4 用紙に横方向で印刷します。
	コピー枚数(*4)				xxx 枚	印刷する部数を設定します。[＊1～999 枚]
	綴じしろ方向(*4)			*	長辺綴じ	長辺側を綴じしろとします。
					短辺綴じ	短辺側を綴じしろとします。
	綴じしろモード(*4)			*	左/上綴じ	左側，または上側を綴じます。
					右/下綴じ	右側，または下側を綴じます。
	綴じしろ量(*4)	表			xx㎜	××㎜ 表面の綴じしろ量を設定します。[＊0～30㎜]1㎜ 単位
		裏(*5)			xx㎜	××㎜ 裏面の綴じしろ量を設定します。[＊0～30㎜]1㎜ 単位
	スムージング(*4)			*	設定	印刷結果を滑らかにします。
					解除	印刷結果を滑らかにしません。
	トナーセーブ(*4)			*	解除	トナーを節約しません。
					設定	トナーを節約します。
	データなし印刷(*4)			*	解除	データのないページを印刷しません。
					設定	データのないページを印刷します。
	タイマー監視印刷(*4)			*	解除	タイマー監視印刷を行いません。
					30 秒	監視時間を 30 秒にします。
					10 秒	監視時間を 10 秒にします。

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
EP モード設定(*4)	文字コード			*	カタカナ	カタカナコード表(440 ページ)を使用します。
					グラフィック	拡張グラフィックコード表(440 ページ)を使用します。
	給紙位置(*6)			*	8.5㎜	印刷開始位置を用紙の上辺から 8.5㎜ に設定します。
					22㎜	印刷開始位置を用紙の上辺から 22㎜ に設定します。
	右マージン位置			*	用紙幅	用紙幅に合わせて右マージンを設定します。右マージンは，使用する用紙サイズの印刷領域の右端までです。
					136 桁	用紙サイズに関係なく 136 桁(13.6 インチ)に設定します。用紙幅が 136 桁に満たない場合，印刷領域を越えた部分は印刷されません。
	ANK 文字			*	ローマン	ANK 文字の書体をローマンにします。
					サンセリフ	ANK 文字の書体をサンセリフにします。
	漢字書体			*	明朝	漢字の書体を明朝体にします。
					ゴシック	漢字の書体をゴシック体にします。
	CR コード			*	CR のみ	CR 動作（復帰のみ）を行います。
					CR&LF	CR 動作(復帰)と LF 動作(改行）を行います。
	縦余白設定	縦上端余白			××.×㎜	縦印刷のときの上端余白を設定します。[＊給紙位置(*6)～50.0㎜]0.1㎜ 単位
		縦左端余白			××.×㎜	縦印刷のときの左側余白を設定します。[*5.0～50.0㎜]0.1㎜ 単位
	横余白設定	横上端余白			××.×㎜	横印刷のときの上端余白を設定します。[＊給紙位置(*6)～50.0㎜]0.1㎜ 単位
		横左端余白			××.×㎜	横印刷のときの左側余白を設定します。[*5.0～50.0㎜]0.1㎜ 単位
	印字位置調整	縦印字位置			××.×㎜	印刷時の縦印字位置を設定します。[-30.0㎜～30.0㎜（初期値:0㎜）0.1㎜ 単位
		横印字位置			××.×㎜	印刷時の横印字位置を設定します。[-30.0㎜～30.0㎜（初期値:0㎜）]0.1㎜ 単位

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能〔範囲〕
保守メニュー	印刷枚数				XXXXX ページ	総印刷枚数を表示します。（10 進法表示）
	メモリ容量				XXMB	標準メモリおよび増設メモリの合計のメモリ容量を表示します。（10 進法表示）
	ROM 版数				Ver XX.XX	プリンタのファームウェアの版数を表示します。（10 進法表示）
	エンジン ROM 版数				Ver X.XX	プリンタのハードウェア制御プログラムの版数を表示します。（10 進法表示）
	エンジンステータス				STATUS XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。（16 進法表示）
	NV コード				XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。（16 進法表示）
	カートリッジステータス				XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。（16 進法表示）
	装置ステータス				XX=XXXXXXXX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。（16 進法表示）
	LAN ステータス				a.bbbb.cccc.dd	LAN の通信状態を表示します。参照 「ソフトウェアに関するトラブルシューティング」（401 ページ）参照
	IP アドレス表示				IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
					サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
					ゲートウェイ	現在のゲートウェイを表示します。
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチ X-X		*	OFF	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
					ON	

*1　：「TCP/IP プロトコル」が「無効」のときは、表示されません。

*2　：「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

*3　：拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているとき表示します。

*4　：「エミュレーション設定」で「解除」を選択している場合は、表示されません。

ガイド

アプリケーションで PrintiaXL ドライバを使用して印刷する場合には、オペレータパネルの設定は無効になります。アプリケーション側で設定してください。

参照　「プリンタドライバで設定できる内容」（221 ページ）参照

*5　：両面ユニット（オプション）を取り付けているとき表示されます。

*6　：給紙位置が余白の最小値となります。

*7　：MP カセットを使用しているときのみ表示されます。

*8　：給紙トレイ（オプション）を使用しているときのみ表示されます。

*9　：Ethernet タイプを設定した場合、電源を切断して、数秒経過後に再び投入してください。

*10　：MP カセットを使用しているときのみ表示されます。プリンタ本体は、A5 以下の用紙サイズを認識できません。このため、はがきを印刷する場合には必ず設定を［ON］にし、A5 サイズの用紙に印刷する場合は、必ず設定を［OFF］にしてください。
MP カセットに、はがきおよび A5 サイズの用紙をセットする方法は

参照　「MP カセットにはがきをセットする」（60 ページ）参照

参照　「MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする」（62 ページ）参照

第 10 章

プリンタドライバの機能と利用方法

この章では、プリンタドライバの詳細と機能の利用方法について説明しています。

10.1 プロパティの開きかた

印刷に関する設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。
プロパティの開きかたには、次の 2 種類があります。

10.1.1 アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時はこの方法を使います。
操作方法はアプリケーションによって異なりますが、標準的な開きかたは、次のとおりです。

1. ［ファイル］メニューから［印刷］を選択する
2. ［印刷］ダイアログを表示させ、［プロパティ］をクリックする

10.1.2 ［プリンタ］フォルダから開く

［プリンタ］フォルダから開いて設定を行うと、その設定値はアプリケーションからプリンタのプロパティを開いたときの初期設定となります。

●Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合

1. ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択する
2. 使用するプリンタのアイコンを選択し、［ファイル］－［プロパティ］の順に選択する
3. プリンタのプロパティを表示する
   - Windows 95/98/Me のとき
     ［プロパティ］をクリックする
   - Windows NT4.0 のとき
     ［ドキュメントの既定値］をクリックする
   - Windows 2000 のとき
     ［印刷設定］をクリックする

●Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. ［スタート］－［プリンタと FAX］を選択する
2. ［プリンタと FAX］フォルダから、使用するプリンタアイコンを選択し、［ファイル］－［プロパティ］の順に選択し、［印刷設定］をクリックする

ガイド

OS が Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で［装置オプション］［Printianavi］ダイアログを開くときは、次の操作をします。

- Windows NT4.0/2000 のとき
  ①［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択する
  ②使用するプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする
- Windows XP/Windows Server 2003 のとき
  ①［スタート］－［プリンタと FAX］を選択する
  ②使用するプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

10.2 プリンタドライバで設定できる内容

プリンタドライバで設定できる内容の概要と、詳しく説明している参照先を以下に示します。

●基本設定

用紙サイズや種類、印刷の向き等の用紙に関する設定や、給紙、部単位印刷に関する設定を行います。

参照 「[基本設定] ダイアログ」(222 ページ) 参照
参照 「任意のサイズを設定する」(226 ページ) 参照
参照 「はがきに印刷する」(227 ページ) 参照
参照 「拡大／縮小印刷」(229 ページ) 参照
参照 「複数部数／部単位印刷」(231 ページ) 参照

●便利な機能設定

N-up や両面印刷に関する設定を行います。

参照 「[便利な機能] ダイアログ」(233 ページ) 参照
参照 「N-up 印刷」(234 ページ) 参照
参照 「両面印刷」(235 ページ) 参照

●グラフィックス設定

解像度やディザパターン、トナーセーブに関する設定を行います。

参照 「[グラフィックス] ダイアログ」(242 ページ) 参照

●印刷オプション設定

スプールに関する設定、プロテクトモード印刷など、印刷に関する設定を行います。

参照 「[印刷オプション] ダイアログ」(243 ページ) 参照

●装置オプション設定

オプションの取り付け状態に関する設定を行います。

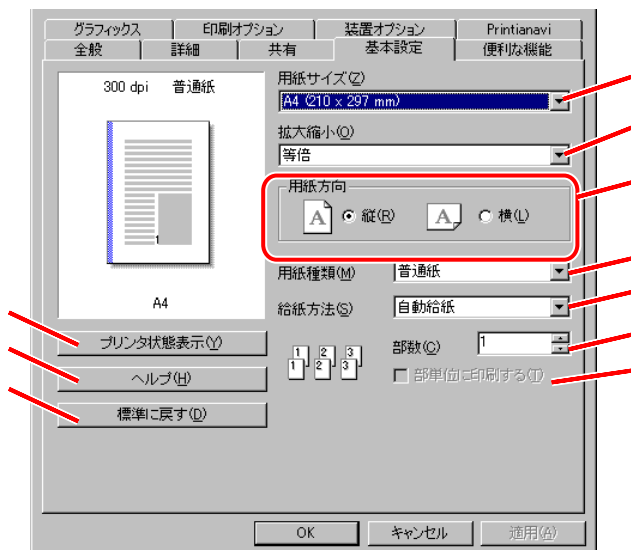
参照 「[装置オプション] ダイアログ」(245 ページ) 参照

●Printianavi に関する設定

Printianavi に関するダイアログの表示方法の設定を行います。

参照 「[Printianavi] ダイアログ」(246 ページ) 参照

10.2.1 ［基本設定］ダイアログ

印刷についての基本的な設定を行います。

①	用紙サイズ (初期設定：A4)	アプリケーションで設定した用紙サイズを選択します。 ▼をクリックし、表示されるリストから選択します。 ・ユーザ定義サイズ 定型用紙以外のサイズに印刷するときは、［ユーザ定義サイズ］を選びます。 参照　ユーザ定義サイズの設定方法については、 「任意のサイズを設定する」（226 ページ）参照
②	拡大縮小 (初期設定：等倍)	アプリケーションで作成したデータを、出力する用紙サイズに拡大／縮小して印刷する場合に設定します。 参照　拡大／縮小印刷については、 「拡大／縮小印刷」（229 ページ）参照
③	用紙方向 (初期設定：縦)	印刷する用紙の方向を縦／横で選択します。
④	用紙種類 (初期設定 : 普通紙)	印刷する用紙の種類を選択します。 ・［用紙サイズ］ではがきを選択した場合、本設定は「厚紙」固定になります。 ・［用紙種類］で OHP を選択したときは、「自動給紙」「マルチユニット」「カセット 1」のみ選択可能になります。
⑤	給紙方法 (初期設定 : 自動給紙)	印刷するときの給紙口を選択します。 「自動給紙」を選択すると、［用紙サイズ］で指定したサイズの用紙がセットされている給紙口を自動的に選んで印刷します。 次の場合、本設定はマルチユニット（*1）固定となります。 ・［用紙サイズ］ではがき、ユーザ定義サイズ、長尺紙を選択した場合

⑥	部数 (初期設定：1)	印刷する部数を 1〜999 で設定します。
⑦	部単位に印刷する (初期設定：☐)	2 部以上印刷する場合に、1 部ごとにまとめて印刷したいときに☑にします。 参照　複数部数・部単位印刷については、 「複数部数／部単位印刷」(231 ページ)参照
⑧	［プリンタ状態表示］ボタン	Printianavi を使用してプリンタの状態を確認することができます。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。 参照　表示内容については、 「プリンタの状態表示」(224 ページ)参照
⑨	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑩	［標準に戻す］ボタン	［基本設定］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

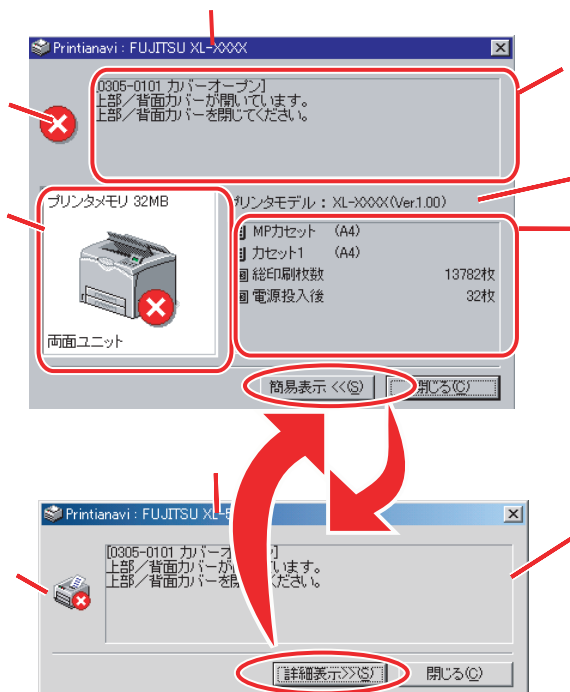
*1：MP カセット、給紙トレイ（オプション）が装着されているユニットです。

(1)　プリンタの状態表示

［基本設定］ダイアログで［プリンタ状態表示］をクリックすると、プリンタの状態を確認することができます。

●画面の説明

［簡易表示］、［詳細表示］をクリックすると画面が切り替わります。

・［簡易表示］と［詳細表示］の切り替え

①	プリンタ装置サマリ	プリンタ状態を示すビットマップ、プリンタメモリ、オプションを表示します。
②	ステータスアイコン（詳細）	現在のプリンタの状態をアイコンで表示します。 参照　アイコンの表示内容については、「●詳細表示アイコンの種類と意味」（225 ページ）参照
③	プリンタ名	プリンタ名を表示します。
④	プリンタ状態メッセージ	現在のプリンタの状態をメッセージで通知します。
⑤	プリンタ情報	プリンタモデル名、ファームのバージョンを表示します。
⑥	給紙口情報リスト	給紙口の情報、印刷枚数を表示します。
⑦	ステータスアイコン（簡易）	現在のプリンタの状態をアイコンで表示します。 参照　アイコン表示内容については、「●簡易表示アイコンの種類と意味」（225 ページ）参照

●詳細表示アイコンの種類と意味

ステータスアイコン

情報あり	（青） 通信中	オンライン	印刷中
警告	（黄色） トナー少	（暗い赤） カートリッジエラー	紙詰まり
ハードエラー	カセットエラー	用紙なし	（暗い赤） 通信エラー
カバーオープン その他のエラー	－	－	－

給紙情報

（黒） 用紙あり	（黄色） 用紙残量少し	（暗い赤色） 用紙なし	（暗い赤色） カセットエラー
（グレー） 情報未取得	－	－	－

●簡易表示アイコンの種類と意味

ステータスアイコン

情報あり	（青） 通信中	オンライン	印刷中
警告	トナー少	カートリッジエラー	紙詰まり
ハードエラー	カセットエラー	用紙なし	（暗い赤色） 通信エラー
カバーオープン その他のエラー	－	－	－

(2)　任意のサイズを設定する

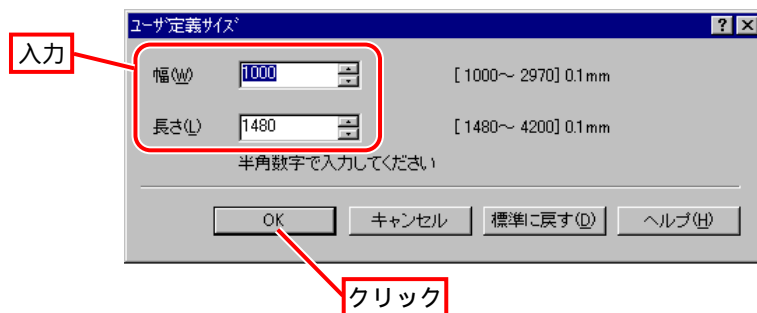
定形用紙でない（[用紙サイズ] にない）用紙サイズを、[ユーザ定義サイズ] または [長尺紙] として設定することができます。
設定できる範囲は次のとおりです。(0.1mm 単位)

・ユーザ定義サイズ
　幅　：1000～2970（100～297mm）
　長さ：1480～4200（148～420mm）

・長尺紙
　幅　：2970（297mm）固定
　長さ：4201～9000（420.1～900mm）

ガイド
・ユーザ定義サイズ、長尺紙に印刷する場合、オプションの給紙トレイを取り付けてください。
・プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障する恐れがあります。

設定する操作は次のとおりです。

1. [基本設定] ダイアログの [用紙サイズ] リストから、[ユーザ定義サイズ] または、[長尺紙] を選択する
2. 用紙の幅と長さを入力し、[OK] をクリックする

ガイド
定形用紙と同一のサイズを設定した場合は、自動的に定形サイズに切り替わります。
　例：幅 2970(297mm)、長さ 4200(420mm)→用紙サイズ A3

(3)　はがきに印刷する

はがきはマルチユニットに装着された、MP カセットまたは給紙トレイ（オプション）から印刷します。

●MP カセットから印刷する場合

MP カセットからはがきを印刷する方法について説明します。
MP カセットからはがきに印刷する場合、用紙をセットした後に、オペレータパネルの設定が必要になります。

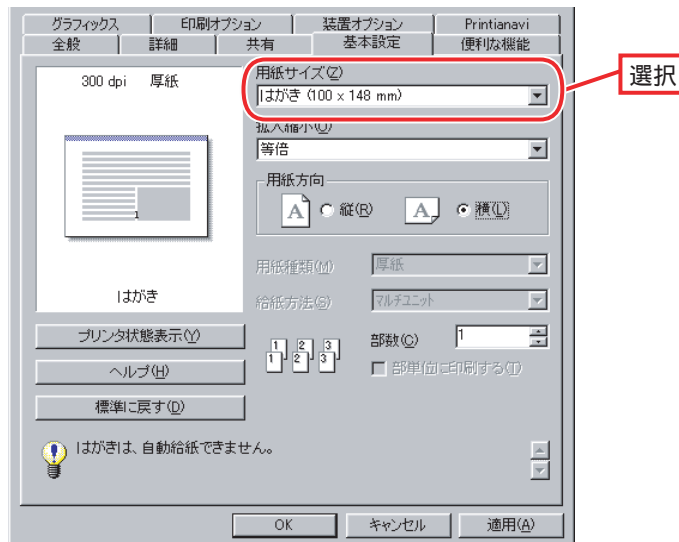
参照　用紙をセットする手順およびオペレータパネルの設定の詳細は、
「MP カセットにはがきをセットする」（60 ページ）参照

1 MP カセットにはがきをセットする

ガイド
MP カセットにはがきをセットする手順は、給紙カセットに用紙をセットする手順と同じです。

2 オペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

3 ［印刷設定］-［MP ハガキモード］の順に選択し、MP ハガキモードを「ON」にする

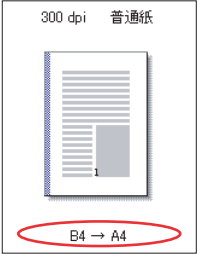
4 プリンタドライバの［基本設定］ダイアログで用紙サイズを「はがき」に設定する

5 ［OK］をクリックし、印刷を実行する

●給紙トレイ（オプション）から印刷する場合

給紙トレイからはがきを印刷する方法について説明します。

参照　給紙トレイを取り付ける方法の詳細は、
「給紙トレイを取り付ける」（80 ページ）参照

1. 給紙トレイを装着し、設定ダイヤルを「官製はがき」に合わせる

2. プリンタドライバの［基本設定］ダイアログで用紙サイズを「はがき」に設定する

3. ［OK］をクリックし、印刷を実行する

(4)　拡大／縮小印刷

アプリケーションで作成したデータ(文書)を拡大または縮小して印刷します。
画面は、Windows 98 の場合です。

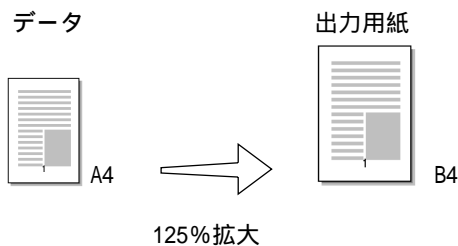
①	用紙サイズ	拡大／縮小する前の用紙サイズを指定します。 アプリケーション側の書式設定などで用紙サイズが指定されているときは、通常、アプリケーション側の設定値が優先されます。
②	拡大縮小	拡大／縮小した後に、実際に印刷される用紙サイズを指定します。 ・等倍 拡大／縮小印刷は行いません。 ・○○に拡大縮小 用紙サイズと出力用紙の大きさから、拡大／縮小率を自動的に設定し、出力する用紙サイズを○○に固定します。 拡大縮小の設定を行うと、[基本設定] ダイアログの左上に用紙サイズと出力用紙サイズの関係が表示されます。 例えば、「B4→A4」と表示されているときは、B4 の用紙に収まるように作成した文書を、A4 の用紙に収まるように縮小印刷することを示します。 300 dpi　普通紙 B4 → A4 プリンタの給紙口に出力用紙として指定したサイズの用紙が入っていることを確認してから印刷してください。

ガイド

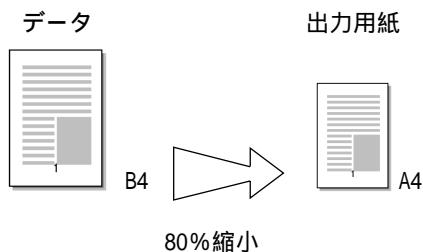
実際に出力する用紙サイズを変更せずに、印刷イメージだけを 50%～150%の範囲で拡大／縮小することもできます。

参照　「イメージサイズの調整」(233 ページ) 参照

●拡大／縮小印刷の設定例 －データを決まった用紙サイズに印刷する－

例 1：拡大印刷の時 －A4 サイズのデータを B4 サイズに拡大して印刷－

このようなときは、次の設定をします。

用紙サイズ	・Windows 95/98/Me の場合 「A4（210×297mm）」を選択します。 ・Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合 「A4」を選択します。
拡大縮小	「B4 に拡大縮小」を選択します。

例 2：縮小印刷の時 －B4 サイズのデータを A4 サイズに縮小して印刷－

このようなときは、次の設定をします。

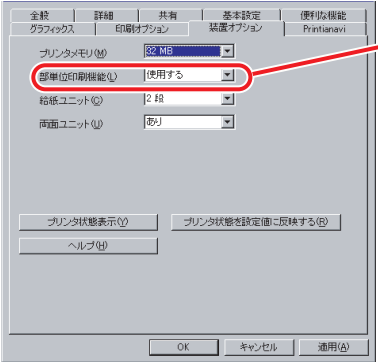
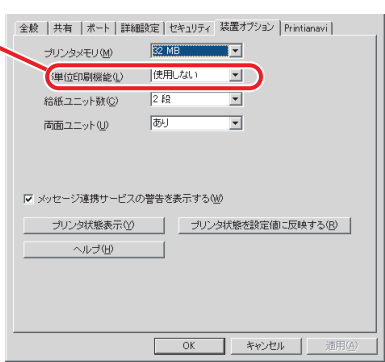
用紙サイズ	・Windows 95/98/Me の場合 「B4（257×364mm）」を選択します。 ・Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合 「B4（JIS)」を選択します。
拡大縮小	「A4 に拡大縮小」を選択します。

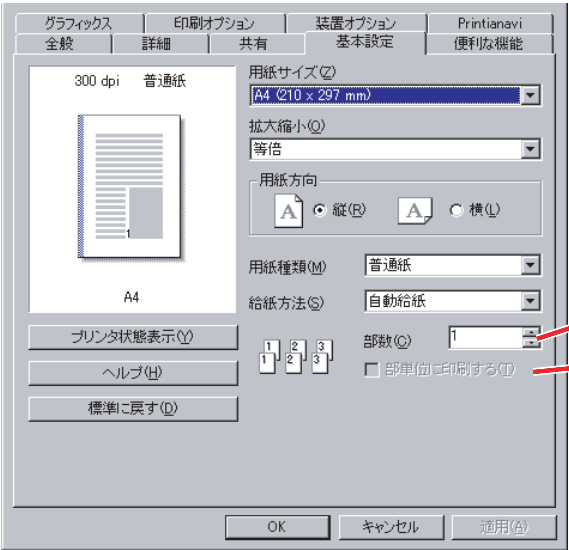
(5)　複数部数／部単位印刷

1 回の印刷で同じ文書を 2 部以上印刷したいときは複数部数印刷を、さらにそれらを部単位に出力させるときは部単位印刷を行います。
部単位印刷を行うときは、[装置オプション] ダイアログの「部単位印刷機能」で「使用する」を選択し、[基本設定] ダイアログで「部数」と「部単位に印刷する」を指定します。

参照　部単位印刷を行うときの条件は、
「●部単位印刷機能を使用するときの条件」(232 ページ) 参照

● [装置オプション] ダイアログ

Windows 95/98/Meのとき

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のとき

①	部単位印刷機能	部単位印刷を行う場合は、「使用する」に設定します。

● [基本設定] ダイアログ

①	部数	印刷する部数を、1～999 部の範囲で指定します。
②	部単位に印刷する	部単位で印刷する場合に☑にします。

●部単位印刷機能を使用するときの条件

部単位印刷機能をサポートしていない使用環境では、「部単位に印刷する」を☑にしても部単位印刷が行われない場合があります。プリンタでの部単位印刷機能が使用できない場合は、アプリケーションの印刷メニューにある部単位印刷を使用してください。部単位印刷機能が使用できる条件は以下のとおりです。

・標準メモリの場合

印刷環境	・Windows 95/98/Me から、サーバを経由して Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の印刷環境を利用するとき ・Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 から直接印刷するとき
プリンタのプロパティの設定	・Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき プロパティの双方向通信機能を有効にして［詳細設定］ダイアログで「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」を選択している場合 ・Windows NT4.0 のとき プロパティの双方向通信機能を有効にしてプリンタのプロパティの［スケジュール］ダイアログで「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」を選択している場合

部単位印刷を実行すると、プリンタの液晶ディスプレイに「メモリ　フソク　1ブ　インサツ→セッテイ」と表示された後、「設定」スイッチを押す、または3秒経過すると印刷が開始されます。なお、印刷速度はメモリを増設したときより遅くなります。

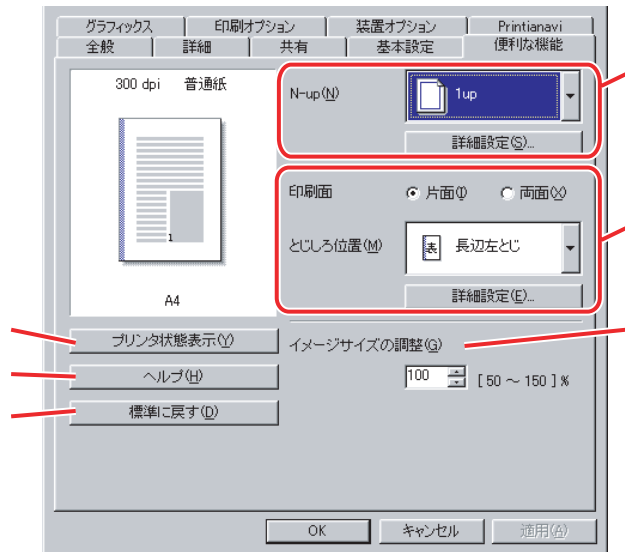
・増設メモリ搭載の場合

64MB 以上のメモリを増設している場合は、プリンタの部単位印刷機能を使用することができます。

双方向通信機能を有効にする方法は

「Printianavi のメッセージが表示されない」（411 ページ）参照

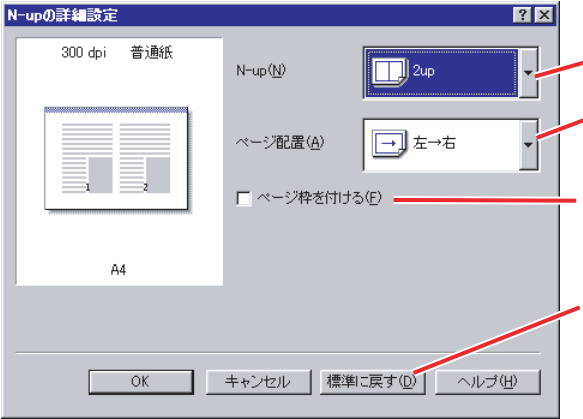
10.2.2 ［便利な機能］ダイアログ

印刷するページの N-up および片面／両面印刷に関する設定を行います。

①	N-up （初期設定：1up）	1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。 1、2、4、8、16up の 5 種類の設定ができます。 ・［詳細設定］ボタン 割り付けたページ数に対してページ配置の設定を行います。 ※「用紙サイズ」で「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」を選択した場合、本設定は「1-up」固定となります。 参照　N-up 印刷については、「N-up 印刷」（234 ページ）参照
②	印刷面 （初期設定：片面）	両面印刷やとじしろ位置を設定します。 ・［詳細設定］ボタン 選択した印刷に対し、とじしろ量や白紙印刷等の設定を行います。 「用紙サイズ」で「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」「はがき」を選択した場合、本設定は「片面」固定となります。 ［基本設定］ダイアログの「用紙種類」で「厚紙」、「OHP フィルム」を選択した場合、本設定は「片面」固定となります。 参照　両面印刷については、「両面印刷」（235 ページ）参照
③	イメージサイズの調整 （初期設定：100）	用紙サイズを変更せずに、イメージを拡大縮小する場合の倍率を設定します。とじしろの設定などでイメージがうまく収まらなくなったときの調整に使うことができます。
④	［プリンタ状態表示］ボタン	Printianavi を使用してプリンタの状態を確認することができます。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。 参照　状態を確認する画面については、「プリンタの状態表示」（224 ページ）参照
⑤	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑥	［標準に戻す］ボタン	［便利な機能］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

(1)　N-up 印刷

［便利な機能］ダイアログの「N-up」で 1 枚に割り付けるページ数を設定します。

1 ［便利な機能］ダイアログの「N-up」で 1 枚に割り付けるページ数を設定する

2 ［詳細設定］をクリックし、ページ配置等を設定する

①	N-up （初期設定：1up）	［便利な機能］ダイアログの N-up で選択した内容が表示されます。この画面での変更もできます。
②	ページ配置 （初期設定：グレイアウト）	割り付けたページをどのような順序で配置するか選択します。［印刷方法］（縦・横）と［N-up］によって、選択できるページ配置が変わります。
③	ページ枠を付ける （初期設定：チェックなし）	割り付けたページの周囲に枠線を印刷する場合にチェックします。
④	［標準に戻す］ボタン	［N-up の詳細設定］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。 このとき、［便利な機能］ダイアログの「N-up」で設定した値も初期設定に戻ります。

3 ［OK］をクリックする

4 ［OK］をクリックして［便利な機能］ダイアログを閉じる

5 印刷を実行する

(2)　両面印刷

両面印刷を行うときの条件、設定手順について説明します。

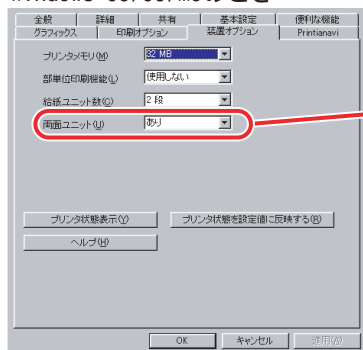
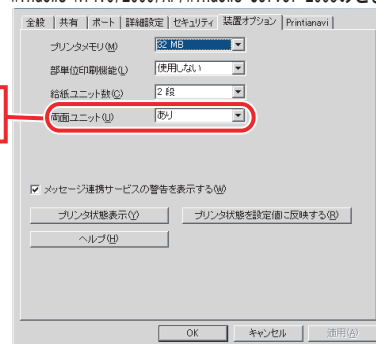
●両面印刷のときの条件

・次の用紙には、両面印刷できません。
　はがき、不定形用紙（「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」）、厚紙、OHP フィルム

・両面印刷を行うには、両面ユニット(オプション)の取り付けが必要です。

参照　両面ユニットの取り付け手順については、
「両面ユニットの取り付けかた」（84 ページ）参照

●設定手順

1 ［装置オプション設定］ダイアログで［両面ユニット］を［あり］に設定する

2 ［便利な機能］ダイアログで「印刷面」の［両面］を選択する

3 ［詳細設定］をクリックし、とじしろ量、白紙ページを設定する

①	印刷面 （初期設定：片面）	［便利な機能］ダイアログの印刷面で選択した内容が表示されます。この画面での変更も可能です。
②	とじしろ位置 （初期設定：長辺左とじ）	［便利な機能］ダイアログのとじしろ位置で選択した内容が表示されます。この画面での変更も可能です。
③	とじしろ量 （初期設定：0）	とじしろ量を、用紙の表と裏それぞれについて設定します。設定できる範囲は、0～30mm です。
④	両面時に白紙ページを印刷する (初期設定：☑)	印刷するデータに含まれる白紙のページを印刷する場合に☑ にします。 ☐の場合は、ページ順序がずれることがあります。 印刷面が「片面」のときは、本機能は設定できません。
⑤	［標準に戻す］ボタン	［印刷面の詳細設定］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。 このとき、［便利な機能］ダイアログの「印刷面」で設定した値も初期設定に戻ります。

4 ［OK］をクリックする

5 ［OK］をクリックして［便利な機能］ダイアログを閉じる

6 印刷を実行する

(3)　片面印刷時の詳細設定

片面印刷時のとじしろ位置、とじしろ量などを設定します。

●設定手順

1 ［便利な機能］ダイアログで［印刷面］の［片面］を選択する

2 ［詳細設定］をクリックし、とじしろ量、白紙ページを設定する

①	印刷面 （初期設定：片面）	［便利な機能］ダイアログの印刷面で選択した内容が表示されます。この画面での変更も可能です。
②	とじしろ位置 初期設定：長辺左とじ	［便利な機能］ダイアログのとじしろ位置で選択した内容が表示されます。この画面での変更も可能です。
③	とじしろ量 （初期設定：0）	とじしろ量の「表」について設定します。 設定できる範囲は 0～30㎜ です。 印刷面で「片面」を選択している場合、「裏」はグレイアウトされ、設定できません。
④	片面時に白紙ページを印刷する (初期設定：☐)	印刷するデータに含まれる白紙のページを印刷する場合、☑にします。 ☐の場合は、ページ順序がずれることがあります。 ［N-up］の［詳細設定］の中で「ページ枠を付ける」をチェックしている場合、本設定は☑固定となります。
⑤	［標準に戻す］ ボタン	［印刷面の詳細設定］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。 このとき、［便利な機能］ダイアログの「印刷面」で設定した値も初期設定に戻ります。

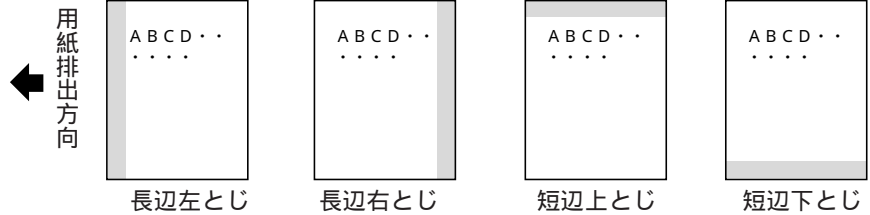
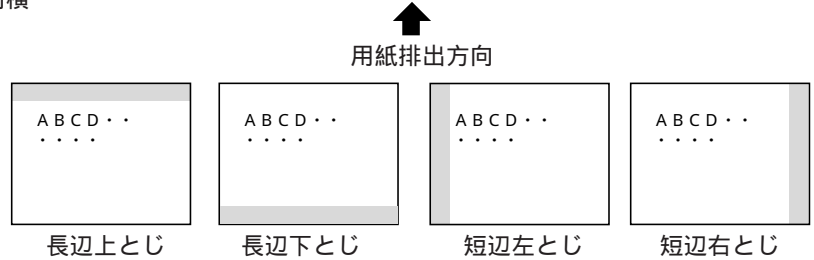
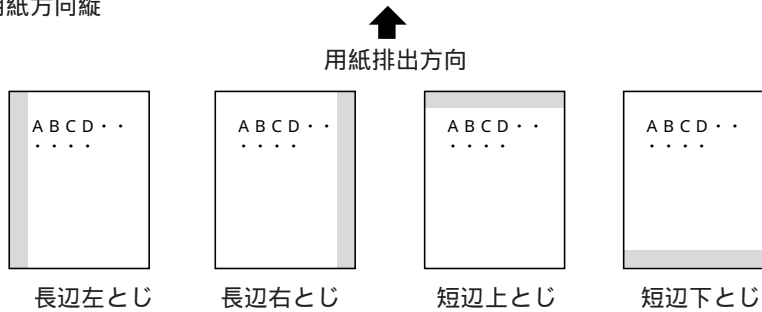
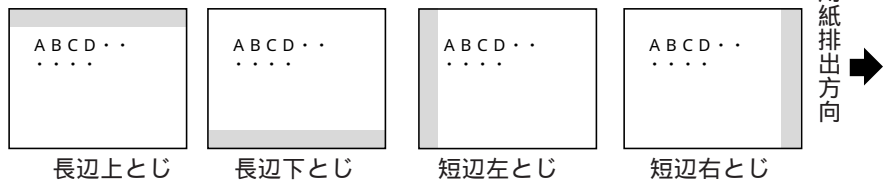
3 ［OK］をクリックする

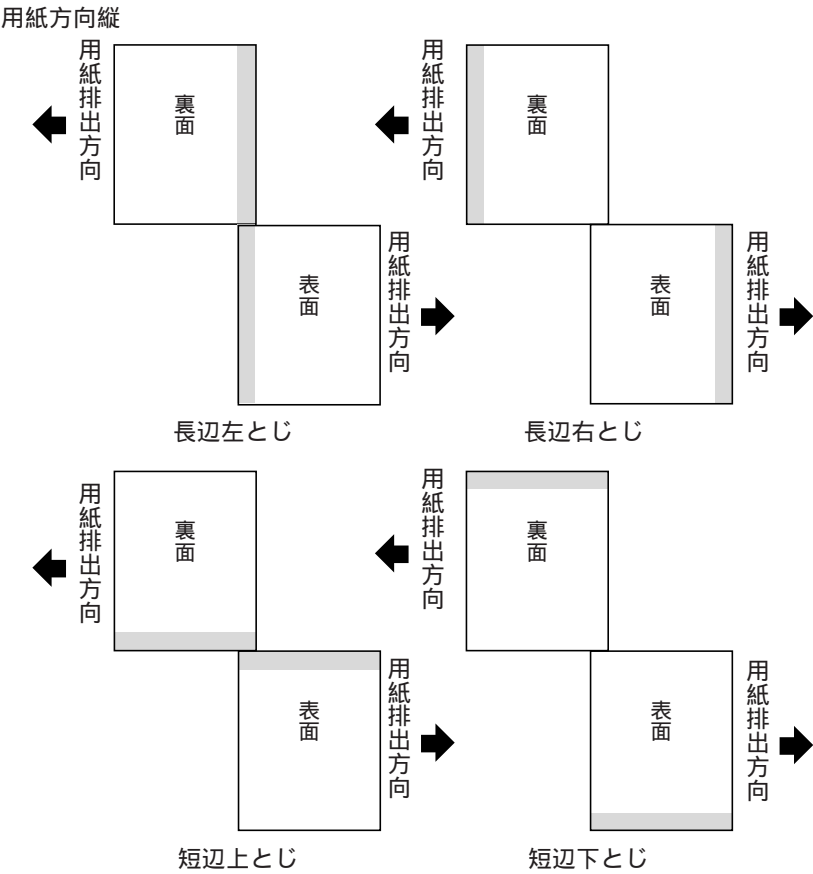
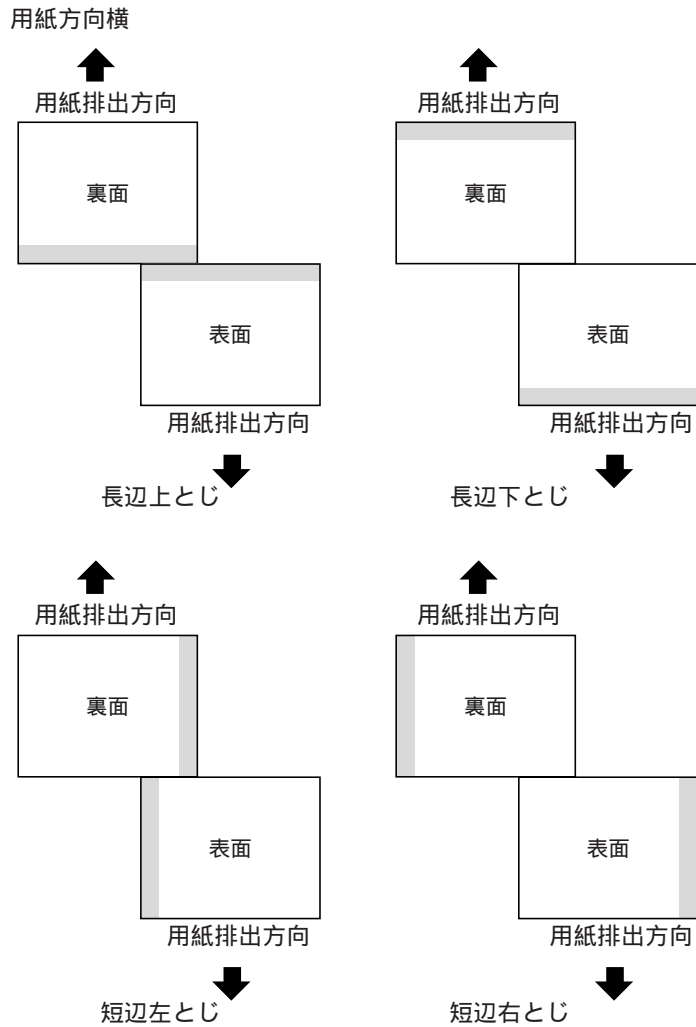
4 ［OK］をクリックして［便利な機能］ダイアログを閉じる

5 印刷を実行する

(4)　片面／両面印刷時の用紙出力方向について

用紙に対し、縦向きに印刷するか、横向きに印刷するかの設定は、プリンタドライバのプロパティで［基本設定］画面を表示し、「用紙方向」で設定します。
以下に、片面／両面印刷設定時の印字、および出力方向を示します。

●片面印刷時の用紙方向ととじしろの関係および出力方向

●両面印刷時の用紙方向ととじしろの関係および出力方向

【A3/B4/リーガル/A4/B5/レター】

参照　とじしろ量の調整を行いたい場合は、
「両面印刷」（235 ページ）参照
「片面印刷時の詳細設定」（237 ページ）参照

ガイド

［印刷オプション］ダイアログで「印刷イメージを 180 ° 回転して印刷する」を☑にすると、印刷結果はすべて 180 ° 回転して印刷されます。

10.2.3 ［グラフィックス］ダイアログ

解像度やディザを変更して印刷結果の調整を行う場合に設定します。

①	解像度 (初期設定：300dpi)	印刷時の解像度です。解像度が高いほどきれいに印刷できます。300/600/1200dpi を設定できます。
②	写真をきれいに印刷する (初期設定：☐)	・OS が Windows 95/98/Me の場合 解像度「600dpi」を選択したときのみ設定できます。解像度「1200dpi」を選択したときは、☑に固定されます。 ・OS が Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合 解像度を「600dpi」「1200dpi」にしたときに設定できます。
③	ディザ (初期設定：普通)	ディザパターンを選択します。「粗」「普通」「細」の 3 段階で調整を行います。「細」に設定すると、図形やイメージを精細に印刷できます。
④	明るさ(初期設定:中央)	全体の明るさを、5 段階で調整します。
⑤	トナーセーブする (初期設定：☐)	トナーを節約した印刷を行います。☑にすると、印刷品質は落ちますがトナーの寿命を長くすることができます。次の場合、本設定は選択できません。 ・①の解像度を「1200dpi」に設定したとき ・②の「写真をきれいに印刷する」を☑にしたとき
⑥	スムージングする (初期設定：☑)	文字やギザギザを滑らかにしたい場合にチェックします。次の場合、本設定は選択できません。 ・①の解像度を「1200dpi」に設定したとき ・②の「写真をきれいに印刷する」を☑にしたとき
⑦	［プリンタ状態表示］ボタン	Printianavi を使用してプリンタの状態を確認することができます。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。 参照　状態を確認する画面については、 「プリンタの状態表示」(224 ページ) 参照
⑧	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑨	［標準に戻す］ボタン	［グラフィックス］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

ガイド

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合、「ディザ」、「明るさ」の設定を変更しても、アプリケーションや印刷データによって、印刷結果に反映されない場合があります。

この場合、「写真をきれいに印刷する」を☑にして印刷してください。ただし、「解像度」を「300dpi」に選択したときは設定できません。

10.2.4 ［印刷オプション］ダイアログ

データのスプール形式や印刷に関する設定を行います。

Windows 95/98/Meのとき

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のとき

①	プロテクトモードで印刷する (初期設定：□)	解像度、用紙サイズ、印刷方法（片面／両面）の組み合わせで印刷保証できる必要メモリがプリンタ側で確保できない場合、印刷を行わないようにするときにチェックします。 本設定をチェックせずに、メモリを確保できないデータを印刷すると、印刷は開始されますが途中でメモリ不足エラーとなる場合があります。
②	パソコンのメモリを節約して印刷する (初期設定：□)	印刷処理を行う場合に、パソコン上のメモリを節約して印刷するときにチェックします。 Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合に、［グラフィックス］ダイアログで「解像度」を「1200dpi」、「写真をきれいに印刷する」を☑にすると、本設定は☑固定となります。
③	EMF でスプールする (初期設定：□)	印刷データを EMF 形式※でスプールする場合にチェックします。 ※EMF 形式：Enhanced Meta File の略で、プリンタに依存しない中間データ形式です。この形式は印刷データよりサイズが小さいため、印刷を実行してから処理がアプリケーションに戻るまでの時間を短縮できます。 「パソコンのメモリを節約して印刷する」をチェックしている場合、本設定は☑固定となります。
④	印刷イメージを180°回転して印刷する (初期設定：□)	印刷イメージを 180°回転させて印刷する場合、☑にします。 用紙の出力方向はすべて逆になります。 参照　印刷時の出力方向については、「片面／両面印刷時の用紙出力方向について」（239 ページ）参照

⑤	定形横置き用紙を縦置きにする (初期設定：□)	通常、マルチユニットに横置きにする用紙(A4/B5/A5/レター/はがき)を縦置きにして印刷する場合に☑にします。 ※給紙トレイから縦置きで印刷する場合は、給紙トレイのサイズ設定スイッチを「パネルで設定」に設定してください。 なお、印刷時、液晶ディスプレイの用紙サイズ表示は「フテイ」になります。
⑥	定形用紙のサイズをチェックする (初期設定：☑)	マルチユニットから定形用紙を印刷する際に、指定したサイズと実際の用紙が違う場合にエラーを通知するときは☑にします。
⑦	文字をイメージとして印刷する (初期設定：□)	Windows 95/98/Me のみの機能です。 文字データをイメージとして処理したい場合にチェックします。文字がイメージ処理されるとグレーの階調で印刷されます。
⑧	太字を強調する (初期設定：□)	Windows NT4.0/2000 のみの機能です。太字の部分を、通常より強調して印刷します。
⑨	［プリンタ状態表示］ボタン	Printianavi を使用してプリンタの状態を確認することができます。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。 参照　状態を確認する画面については、 「プリンタの状態表示」(224 ページ）参照
⑩	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑪	［標準に戻す］ボタン	［印刷オプション］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。
⑫	［印刷位置の微調整］ボタン	設定されている印刷位置を調整する場合に設定します。 本ボタンをクリックすると、次のダイアログが表示されます。 印刷位置の微調整 横(R) 0 ［-40～ 300］ 縦(V) 0 ［-40～ 300］ 単位 1/10mm(M) 1/300inch(I) 半角数字で入力してください OK キャンセル 標準に戻す(D) ヘルプ(H) 値をマイナスにすると、用紙に対して左／上方向に印字が移動します。 値をプラスにすると、用紙に対して右／下方向に印字が移動します。 また、印刷位置を調整する単位を指定できます。 ・1/10mm 調整量を 1/10mm 単位で設定します。 ・1/300inch 調整量を 1/300inch 単位で設定します。 「便利な機能」の詳細設定でとじしろ量を設定している場合、両方の設定を合わせた値が微調整量となります。
⑬	［バージョン］ボタン	プリンタドライバのバージョンを表示します。

10.2.5 ［装置オプション］ダイアログ

プリンタのオプション状態に関する設定を行います。

Windows 95/98/Meのとき　　**Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のとき**

①	プリンタメモリ	プリンタに搭載されているメモリサイズを設定します。
②	部単位印刷機能	部単位印刷機能を使う場合に設定します。 参照　「複数部数/部単位印刷」(231 ページ)参照
③	給紙ユニット数	プリンタに取り付けられている給紙ユニットの段数を設定します。オプションを増設した場合は、取り付けたオプションに合わせて給紙カセット数を変更します。
④	両面ユニット	プリンタに両面ユニットが取り付けてあるか設定します。 参照　「両面印刷」(235 ページ)参照
⑤	メッセージ連携サービスの警告を表示する (初期設定：☑)	Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 に関する機能です。 以下の場合、管理者権限を持たないユーザはメッセージ連携サービスを登録できません。 ・クライアントの OS が Windows NT4.0 のとき ・サーバの OS が Windows NT4.0 で、Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントからネットワークプリンタのインストールを行うとき 本設定を☐にすると、メッセージ連携サービスによる警告ダイアログは表示されなくなります。
⑥	［プリンタ状態表示］ボタン	Printianavi を使用してプリンタの状態を確認することができます。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。 参照　「プリンタの状態表示」(224 ページ)参照
⑦	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑧	［プリンタ状態を設定値に反映する］ボタン	プリンタに取り付けられているオプション装置の状態を［装置オプション］ダイアログ内の設定に反映します。プロパティの双方向通信機能が無効の場合はグレイアウトされます。

10.2.6 [Printianavi] ダイアログ

Printianavi に関する表示方法の設定を行います。

ガイド

プリンタのプロパティで双方向通信機能が無効になっている場合、Printianavi 機能は無効となり、ダイアログはグレイアウトされます。

参照　双方向通信機能を有効にする方法は、
「Printianavi のメッセージが表示されない」（411 ページ）参照

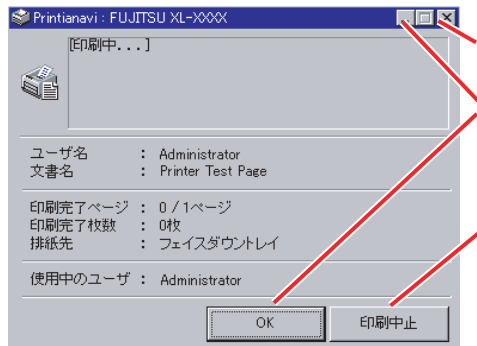
①	印刷中のステータス表示 （初期設定：エラー時ポップアップ）	印刷中のステータス情報の表示方法を選択します。 ・エラー時ポップアップ 印刷中のステータスを、タスクトレイにアイコン表示します。エラーが発生すると、ポップアップ表示します。 ・ポップアップ 印刷中のステータスをポップアップ表示します。 ・最小化 印刷中のステータスをアイコン表示します。 ・表示しない 印刷中のステータスを表示しません。 参照　表示方法については、「印刷中のステータス表示の種類」（247 ページ）参照
②	ステータスを最前面に表示する （初期設定：☐）	ステータスを常に最前面に表示させるときに☑にします。 他のアプリケーションが起動していて隠れて見えにくい場合にこの機能が役立ちます。 「印刷中のステータス表示」で「表示しない」が選択されている場合、本設定は☐固定となります。

③	印刷の終了を通知する（初期設定：☐）	印刷終了時に通知ダイアログを表示する場合に☑にします。
④	オプション	印刷中のステータス表示および印刷終了などのメッセージの通知先や印刷ログに関する設定を行う［オプション］ダイアログを表示します。 参照　［オプション］ダイアログについては、「［オプション］ダイアログ」（251 ページ）参照
⑤	［プリンタ状態表示］ボタン	Printianavi を使用してプリンタの状態を確認することができます。 参照　状態を確認する画面については、「プリンタの状態表示」（224 ページ）参照
⑥	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑦	［標準に戻す］ボタン	［Printianavi］ダイアログで設定した内容をすべて初期設定に戻します。

(1)　印刷中のステータス表示の種類

印刷中のステータス表示には、ポップアップ表示と最小化表示の２つがあります。どちらの表示も、印刷が終了すると自動的に終了します。

●ポップアップ表示

画面上にダイアログで表示します。

①	［☒］（閉じる）	ボタン印刷中のステータス表示を終了するときにクリックします。
②	［▁］（最小化）ボタン ［OK］ボタン	最小化表示に切り替えるときにクリックします。
③	［印刷中止］ボタン	印刷を中止するときにクリックします。

ガイド

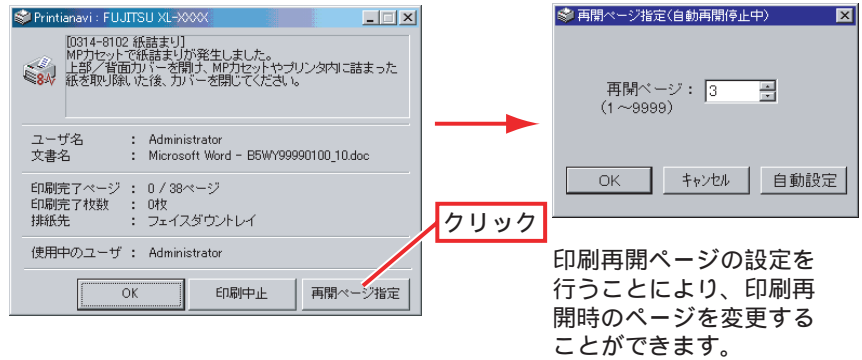
・印刷完了ページは、部単位印刷のときのみ部数が表示されます。

・エラー発生時の再開ページ指定

サーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で紙づまりのエラーが発生したときのみ、［再開ページ指定］が有効になります。再開指定機能を使用できない場合は、［再開ページ指定］はグレイアウトされます。

サーバが Windows 95/98/Me の場合は、［再開ページ指定］は表示されません。

［再開ページ指定］をクリックする前にプリンタのエラーを解除すると、印刷が自動的に再開されます。

再開ページを指定するときは、エラーを解除する前に［再開ページ指定］をクリックしてください。

参照　「オペレータパネルのエラーメッセージ」の「表示内容と処置」（388 ページ）参照

お願い

［再開ページ指定］ダイアログを開いていると、プリンタの紙づまりを解除しても印刷が再開しません。必ずダイアログを閉じてください。

印刷が再開されないときは、［再開ページ指定］ダイアログが、他のウィンドウの後ろに隠れていないか確認してください。

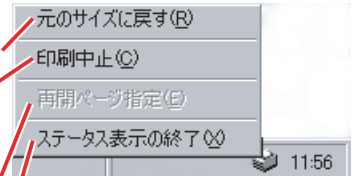
●最小化表示

タスクトレイにアイコンで表示します。

・ダブルクリックすると、ポップアップ表示に切り替わります。

・マウスカーソルを合わせると、
簡単なステータスを表示します。

・右クリックすると、次のメニューが表示されます。

[Windows 95/98/Meの画面]

[Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003の場合、または Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003サーバに連携したときの画面]

ガイド

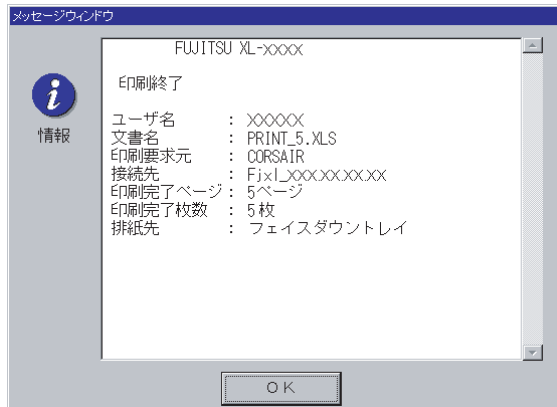
再開ページが指定可能なエラーの場合、右クリックメニューで再開ページ指定を選択できます。（プリントサーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合）
なお、プリントサーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合でも、再開ページ指定機能が使用できないときは、グレイアウトされます。

各アイコンが示す内容を次の表に示します。

アイコン	説 明
	印刷中です。
	プリンタが次の状態です。 予熱、ウォームアップ／クールダウン中、印刷準備中、印刷待ち、印刷再開準備中
	プリンタがエラー状態です。
	プリンタのトナーが残り少なくなっているなど、警告の状態を示します。
	プリンタとの通信に異常が起きた状態です。

(2)　印刷の終了を通知する

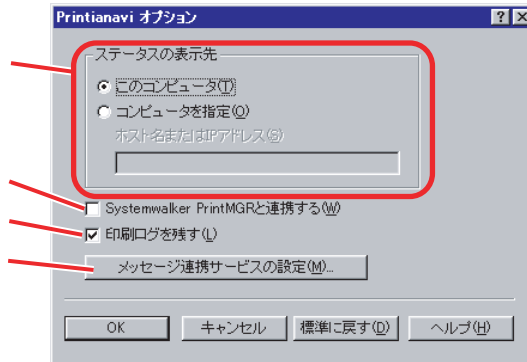
印刷終了のメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、☑にします。

●印刷終了のメッセージ例

ガイド

・印刷終了通知は、印刷が正常に終了した場合のみ通知されます。エラー等によって印刷が打ち切られた場合は通知されません。
・部単位印刷を行った場合は、「印刷完了ページ」のページ数の後ろに指定した印刷部数を表示します。

●部単位印刷を行った場合の印刷終了のメッセージ例

(3)　［オプション］ダイアログ

［Printianavi］ダイアログで［オプション］をクリックすると、［オプション］ダイアログが表示されます。

①	ステータスの表示先 (初期設定：このコンピュータ)	印刷時のステータス表示および印刷終了の通知先を設定します。 ・このコンピュータ 印刷を実行したパソコンにメッセージを通知します ・コンピュータを指定 他のパソコンにメッセージを通知します。 ・ホスト名または IP アドレス 通知先のパソコンのホスト名または IP アドレスを指定します。
②	Systemwalker PrintMGR と連携する (初期設定：□)	Systemwalker PrintMGR と連携して印刷を行う場合に☑にします。
③	印刷ログを残す (初期設定：☑)	印刷時に発生したエラーや印刷の記録をログに残したい場合に☑にします。 「Systemwalker PrintMGR と連携する」を☑にしている場合、本設定は□固定となります。 サーバ連携で印刷する場合、サーバ側には、クライアントの設定に関わらず、印刷ログが残ります。
④	メッセージ連携サービスの設定	サーバ経由で印刷する場合に、メッセージ（ステータス）を受信するためのサービスの開始／停止を設定します。 参照　「メッセージ連携サービスの設定」(252 ページ) 参照

(4)　メッセージ連携サービスの設定

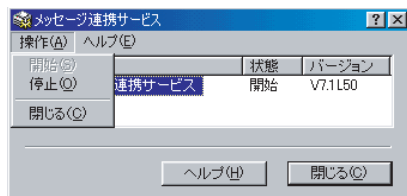
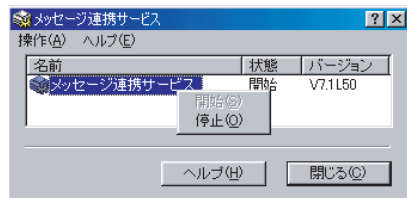
サーバ経由で印刷する場合に、メッセージ（ステータス）を受信するためのサービスの開始／停止を設定します。開始または停止を設定したときの動作は、次のとおりです。

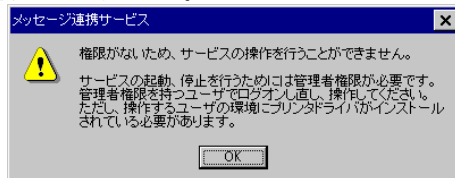
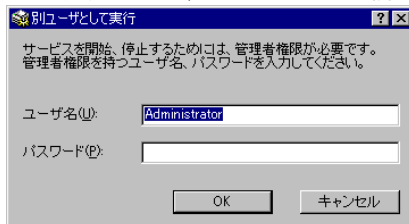
ガイド

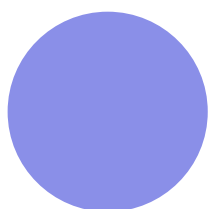
クライアントの設定に関わらず、サーバ側には印刷ログが残ります。

「開始」状態	印刷中のステータスや印刷終了のメッセージを、印刷を行ったパソコン上に表示することができます。
「停止」状態	印刷中のステータスは、サーバ上に表示されます。印刷終了のメッセージは表示されません。

選択方法には、次の 2 種類の操作方法があります。なお、現在の設定内容はグレイアウトされます。

・[操作］メニューから選択する

・マウスで右クリックして選択する

ガイド

・クライアント・サーバ間でメッセージ連携を行う場合は、クライアントとサーバの両方でメッセージ連携サービスを「開始」状態にする必要があります。
・双方向通信を利用しない環境や、TCP/IP のネットワークプロトコルを使用しない環境では、「停止」状態にしてください。
・OS が Windows NT4.0 の場合、管理者権限以外でログオンしているときに設定すると、次のダイアログが表示されます。管理者権限でログオンし直して、設定してください。

・OS が Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の場合、管理者権限以外でログオンすると次のダイアログが表示されます。管理者権限のユーザ名／パスワードを入力すると、ネットワーク連携サービスの設定を行うことができます。

第 11 章

ログ機能

この章では、印刷実行の履歴を管理したり、プリンタのトナーカートリッジや定着器の交換時期などの情報を管理するログ機能について説明します。

11.1 印刷ログ機能（印刷ログビューア）

印刷ログは、印刷時の最後の状態を記録したものです。
印刷ログ機能を利用すると、印刷が終了してから時間が経過しても自分の印刷物がいつ、どこに印刷されたかを確認できます。

ガイド

- 本ソフトウェアは、「メッセージ連携サービス」を「開始」に設定すると、［スタート］メニューに登録されます。
- 本ソフトウェアは、ログ機能をサポートする XL プリンタをすべて削除すると、一緒に削除されます。ログファイルは削除されません。
- 印刷ログは各メッセージ（ステータス表示、印刷完了通知）の表示先にバイナリファイルとして格納されます。（表示先は、プリンタのプロパティの［Printianavi］ダイアログ内の［オプション］でステータス表示先が示すパソコンです。）
- パソコン 1 台につき、印刷ログファイルは 1 個となります。（複数のプリンタが設定されている場合は、複数のプリンタのログが 1 ファイルに格納されます。）
- プリンタのプロパティの［Printianavi］ダイアログ内のオプションで「Systemwalker PrintMGR と連携する」がの場合、印刷ログ採取は行いません。
- サーバ経由で印刷を行う場合、サーバにはクライアントの「ログを残す」設定に関わらず、ログが採取されます。

11.1.1 印刷ログビューアでできること

印刷ログビューアでは、次のことができます。

ログの表示

ご使用のパソコンから実行した印刷の終了状態を確認することができます。

ログの情報表示

印刷ログごとに詳細を確認することができます。

11.1.2 印刷ログビューアを起動する

印刷ログビューアを起動するには、［スタート］－［プログラム］(Windows XP/Windows Server 2003 のときは［すべてのプログラム］)－［Printianavi］－［Printianavi 印刷ログビューア］の順に選択します。

11.1.3 印刷ログ一覧の見かた

ご使用のパソコンで行われた印刷のログを表示します。

①	分類	印刷終了時の状態をアイコンとともに表示します。表示内容は次のとおりです。 ・印刷完了 正常に印刷が完了しました。 ・印刷打ち切り エラーが発生して印刷を打ち切りました。または、通信エラー等により、Printianavi が印刷を打ち切りました。 ・エラー表示 現在、プリンタにエラーが発生しています。 ・警告 部単位印刷や両面印刷を行った場合に、印刷指示とは異なる結果で印刷が完了した場合や、Systemwalker PrintMGR 上で印刷ジョブを保留しました。
②	文書名	印刷を行った文書名を表示します。
③	ユーザ名	印刷を行ったユーザ名を表示します。
④	印刷枚数	印刷完了枚数を表示します。印刷完了枚数が不確定の場合は空白となります。
⑤	プリンタ名	印刷先のプリンタ名を表示します。
⑥	日時	ログが採取された日時を表示します。
⑦	印刷要求元	印刷を行ったコンピュータ名を表示します。

ガイド

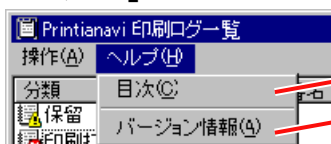
印刷ログを採取しない場合は、プリンタのプロパティの［Printianavi］ダイアログの［オプション］をクリックし、「印刷ログを残す」を□にしてください。ただし、サーバ経由で印刷を行う場合、この指定に関係なくサーバ側に、印刷ログが採取されます。

11.1.4 印刷ログ一覧の操作

［Printianavi 印刷ログ一覧］ダイアログでは、メニューバーから次の操作を行えます。

●操作メニュー

①	ログ情報表示	一覧で印刷ログを選択し、「ログ情報表示」を選択すると、［Printianavi 印刷ログ情報］ダイアログを表示します。 ［印刷ログ情報］では、印刷ログの詳細を確認できます。 参照　「印刷ログ情報表示」（257 ページ）
②	最新の状態に更新	印刷ログの一覧を最新の状態に更新します。 なお、［Printianavi 印刷ログ一覧］ダイアログは、15 秒ごとに自動的に更新されます。
③	すべてのログを消去	［印刷ログ一覧］ダイアログに表示されるすべての印刷ログを初期化します。
④	環境設定	［環境設定］ダイアログを表示します。このダイアログでは、最大ログサイズとログのファイル名を指定できます。 ・最大ログサイズ（初期値：500KB） ログファイルの最大サイズを、5〜32767KB の範囲で指定します。 ・ログの名前 ログファイルの格納先とログファイル名を指定します。 ※ログファイルのサイズが最大ログサイズを超える場合、古いログから削除されます。 ※Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合、管理者権限でログオンしてください。 管理者権限以外でログオンした場合はグレイアウトされ、環境設定できません。
⑤	閉じる	［印刷ログ一覧］ダイアログを閉じ、印刷ログビューアを終了します。

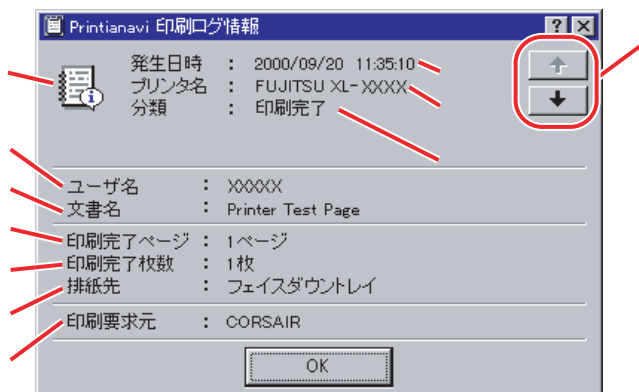
● 「ヘルプ」メニュー

①	目次	オンラインヘルプを表示します。
②	バージョン情報	Printianavi 印刷ログビューアのバージョン情報を表示します。

11.1.5 印刷ログ情報表示

［Printianavi 印刷ログ一覧］ダイアログで選択中のログの詳細を表示することができます。
ログの詳細を表示するときは、［Printianavi 印刷ログ情報］ダイアログを表示します。［Printianavi 印刷ログ情報］ダイアログは次のいずれかの操作で表示します。

・［Printianavi 印刷ログ一覧］ダイアログで、情報を表示したいログをダブルクリックする

・［Printianavi 印刷ログ一覧］ダイアログのメニューバーで［操作］－［ログ情報表示］の順に選択する

印刷ログ情報表示を閉じるには［OK］をクリックします。

①	アイコン	プリンタの状態を示すアイコンです。アイコンの種類と意味は、次のとおりです。		
			印刷完了	印刷が正常に完了したことを示します。
			警告	警告が発生したことを示します。
			印刷打ち切り	印刷を打ち切ったことを示します。
		上記のほか、プリンタのエラー内容を示すアイコンがあります。		

②	ユーザ名	印刷を行ったユーザ名を表示します。
③	文書名	印刷を行った文書名を表示します。
④	印刷完了ページ	印刷完了ページ数を表示します。 ページ数の後に “ ※要確認 ” が表示されている場合は、実際の印刷完了ページ数と異なることがあります。
⑤	印刷完了枚数	印刷完了枚数を表示します。 印刷完了ページの後に “ ※要確認 ” が表示されている場合は、実際の印刷完了枚数と異なることがあります。
⑥	排紙先	用紙の排紙先を表示します。
⑦	印刷要求元	印刷を行ったコンピュータ名を表示します。
⑧	発生日時	ログが採取された日時を表示します。
⑨	プリンタ名	印刷先のプリンタ名を表示します。
⑩	分類	ログの分類を表示します。表示内容は以下のとおりです。 　印刷完了・印刷打ち切り・エラー表示・保留
⑪	↑ ↓	印刷ログ一覧の情報を、順番に見ることができます。

11.2 消耗品ログ機能（消耗品ログビューア）

消耗品ログ機能を利用すると、プリンタで使用している消耗品の状態を確認したり、交換時期を E メールで通知したりすることができます。

ガイド

- 本ソフトウェアは、「メッセージ連携サービス」を「開始」に設定すると、[スタート] メニューに登録されます。
- 本ソフトウェアは、ログ機能をサポートする XL プリンタをすべて削除すると、一緒に削除されます。ログファイルは削除されません。
- Printianavi マネージャ V5.1 のメンテナンス情報のログとして採取した情報を、消耗品ログビューアで表示することができます。
- パソコン 1 台につき消耗品ログファイルは 1 個となります。（複数のプリンタが設定されている場合は、複数のプリンタのログが 1 か所に格納されます。）
- 消耗品ログは、印刷またはプリンタの状態表示を実行したとき、プリントサーバ側で採取されます。

11.2.1 消耗品ログビューアでできること

消耗品ログビューアでは、次のことができます。

ログの表示

登録されているドライバ、およびログを採取したことのある削除されたドライバについて、すべてのプリンタの消耗品ログを確認することができます。

ログの送信

ログの採取と同時に、その内容を E メールで通知させることができます。

ログの保存

採取された消耗品ログを、テキスト形式のファイルに保存することができます。

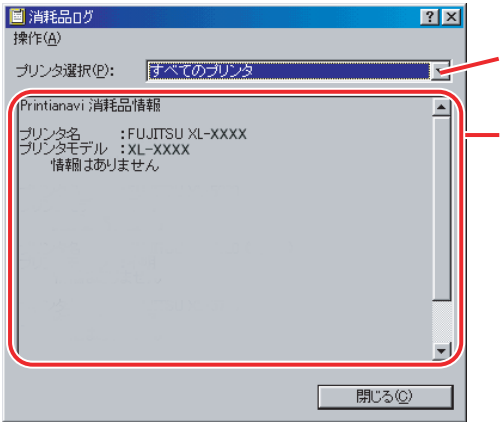
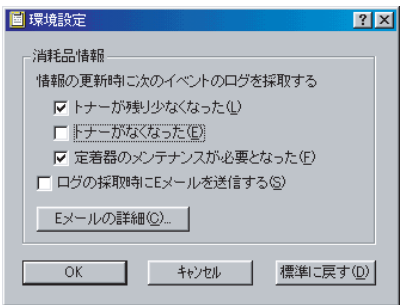
ログの初期化

表示されたログを初期化できます。

11.2.2 消耗品ログビューアを起動する

消耗品ログビューアを起動するには、［スタート］－［プログラム］(Windows XP/Windows Server 2003 のときは［すべてのプログラム］)－［Printianavi］－［Printianavi 消耗品ログビューア］の順に選択します。

11.2.3 消耗品ログ一覧の見かた

消耗品ログビューアを起動すると、次のダイアログが表示されます。

①	プリンタ選択	消耗品情報を表示するプリンタを選択します。
②	消耗品情報	消耗品情報を表示します。起動時は、登録されているドライバ、およびログを採取したことのある削除されたドライバについて、すべてのプリンタの消耗品ログが表示されます。削除されたドライバの情報はプリンタ名の後ろに（*）が表示されます。

11.2.4 消耗品ログ一覧の操作

［Printianavi 消耗品ログ一覧］ダイアログでは、メニューバーから次の操作を行えます。

●「操作」メニュー

①	環境設定	［環境設定］ダイアログを表示します。消耗品ログとして保存するイベントの選択や、E メール送信に関する設定を行えます。 ・トナーが残り少なくなった プリンタのトナーが残り少なくなったことを示すログを採取したい場合☑にします。 ・トナーがなくなった プリンタのトナーがなくなったことを示すログを採取したい場合☑にします。 *トナーなし通知サポート機種のみ ・定着器のメンテナンスが必要となった プリンタの定着器のメンテナンスが必要となったことを示すログを採取したい場合☑にします。 ・ログの採取時に E メールを送信する 消耗品に関するログを採取したと同時に、指定したメールアドレスにログ情報を E メールで送ります。 ・［E メールの詳細］ボタン ［E メールの詳細］ダイアログが表示されます。このダイアログでは、E メールを送信するために必要な情報を設定できます。 参照　「消耗品ログの E メール送信」（262 ページ）参照

②	送信	消耗品ログを E メールで送信します。 ［E メール送信確認］ダイアログが表示され、［送信する］ボタンをクリックすると送信されます。
③	ファイルに保存	消耗品ログをテキスト形式のファイルに保存することができます。
④	初期化	「プリンタ選択」で選択されているプリンタの消耗品ログを初期化します。
⑤	バージョン情報	消耗品ログのバージョン情報を表示します。
⑥	閉じる	［消耗品ログ一覧］ダイアログを閉じ、消耗品ログビューアを終了します。

11.2.5 消耗品ログの E メール送信

消耗品ログビューアで採取された消耗品に関するログを、採取と同時に E メール機能を利用して通知させることができます。

(1)　設定手順

1. ［Printianavi 消耗品ログ一覧］ダイアログのメニューバーで、［操作］－［環境設定］の順に選択する

2. 「ログの採取時に E メールを送信する」を☑にする

3. ［E メールの詳細］をクリックする

4. ［E メールの詳細］ダイアログの各項目を入力し、［OK］をクリックする

(2)　［E メールの詳細］ダイアログの詳細

①	SMTP サーバ名	SMTP サーバの名前を指定します。省略できません。
②	SMTP ポート番号 (初期設定：25)	SMTP サーバが使用しているポート番号を指定します。
③	送信者名	送信者の名前を指定します。省略できません。
④	送信元アドレス	送信元の E メールアドレスを指定します。複数アドレス指定はできません。省略できません。
⑤	送信先アドレス	送信先の E メールアドレスを指定します。 複数のアドレスを指定できます。複数のアドレスを指定するときは、カンマ＋空白、カンマまたは空白で区切ります。
⑥	件名 (初期設定：「Printianavi 消耗品ログビューアからのお知らせ」)	E メールの題名を 255 文字（半角換算）以内で指定します。半角カタカナ文字は、全角カタカナ文字に変換されて送信されます。
⑦	ユーザ情報を付加する (初期設定：☐)	☑にすると、［ユーザ情報］ダイアログで指定した内容が、E メールの最後に付加されます。 参照 「ユーザ情報の設定」（264 ページ）参照
⑧	［ユーザ情報編集］ボタン	［ユーザ情報］ダイアログが表示されます。ユーザ情報の詳細を設定できます。 参照 「ユーザ情報の設定」（264 ページ）参照
⑨	コピーを作成する (初期設定：☐)	コピー送信先アドレスで指定した E メールアドレスを BCC として E メールを送信します。 複数のアドレスを指定できます。複数のアドレスを指定するときは、カンマ＋空白、カンマまたは空白で区切ります。
⑩	［送信テスト］ボタン	クリックすると、［E メール送信確認］ダイアログが表示され、E メールの送信テストを行うことができます。 参照 「ユーザ情報の設定」（264 ページ）参照

(3)　ユーザ情報の設定

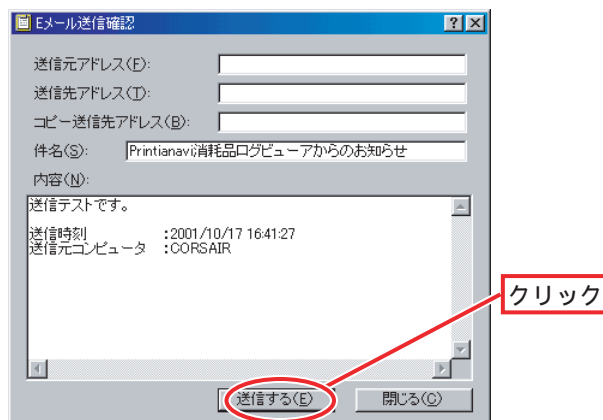
［E メールの詳細］ダイアログの［ユーザ情報編集］をクリックすると、以下の［ユーザ情報］ダイアログが表示されます。

①	区切り線 （初期設定：-----）	E メールの本文と、その直後に付加するユーザ情報との境目を示す文字列を、255 文字(半角換算)以内で指定します。
②	会社名	会社の名前を 255 文字(半角換算)以内で指定します。
③	部署名	部署の名前を 255 文字(半角換算)以内で指定します。
④	担当者名	担当者の名前を 64 文字(半角換算)以内で指定します。
⑤	電話番号	電話番号を 255 文字(半角換算)以内で指定します。
⑥	E-mail	E メールの送信先の E メールアドレスを 255 文字(半角換算)以内で指定します。
⑦	コメント	上記以外で E メールの最後に付加する情報を入力します。1 行が 255 文字(半角換算)以内で 5 行まで入力できます。 半角カタカナ文字は、全角カタカナ文字に変換されて送信されます。
⑧	［プレビュー］ボタン	［ユーザ情報］ダイアログで指定した内容を結合してダイアログに表示します。 ユーザ情報プレビュー -------------------------------- 富士通株式会社 パーソナル事業部 富士通 太郎 000-000-0000 test@xxx.fujitsu.com OK

(4)　E メールの送信テスト

E メールに関して設定した内容を確認するために、E メールの送信テストを行うことができます。
送信テストを行う方法は、次の 2 つがあります。

・[E メールの詳細] ダイアログの [送信テスト] をクリックする。

・[消耗品ログ] ダイアログで [操作] - [送信] の順にクリックする

「送信元アドレス」「送信先アドレス」「コピー送信先アドレス」「件名」には [E メールの詳細] ダイアログで設置した値が初期設定となります。
「件名」「内容」に半角カタカナ文字を入力した場合は、全角カタカナ文字に自動的に変換され、送信されます。
送信テストを行うと、次の内容が通知されます。

(5)　E メールで通知される内容

E メールで送信される消耗品ログ情報は以下の内容が通知されます。

送信テストです。

送信時刻：XXXX/XX/XX　XX:XX:XX
送信元コンピュータ：XXXXXXXX

*：なお、送信元コンピュータには、本ソフトウェアが動作するパソコンのコンピュータ名が通知されます。

●トナーが残り少なくなったとき

概要　：消耗品情報が発生しました。

発生日　：XXXX/XX/XX XX:XX:XX
送信元コンピュータ　：XXXXXXXX
プリンタ名　：XXXXXXXXXX

プリンタモデル　：XL-XXXX
総印刷枚数　：XXX ページ

前回記録　：XXXX/XX/XX XX:XX:XX　XXXXページ

エラー内容　：トナーの残量が少なくなりました。
新しいトナーカートリッジを用意してください。

処置　：【処置】
純正プロセスカートリッジをおすすめします。
純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。
サプライ品については、お買い上げの販売店にご相談ください。

【プリンタモデル】	【商品名（商品番号）】
XL-XXXX	プロセスカートリッジLBXXX(XXXXXXX)

【使用済みプロセスカートリッジ無償回収サービスお問い合わせ先】
エコ受付センター
（フリーダイヤル　：0120-30-0693）

●トナーがなくなったとき

概要	：消耗品情報が発生しました。
発生日	：XXXX/XX/XX XX:XX:XX
送信元コンピュータ	：XXXXXXXX
プリンタ名	：XXXXXXXXXX
プリンタモデル	：XL-XXXX
総印刷枚数	：XXX ページ
前回記録	：XXXX/XX/XX XX:XX:XX　XXXXページ
エラー内容	：トナーがなくなりました。 新しいトナーカートリッジと交換してください。
処置	：【処置】 純正プロセスカートリッジをおすすめします。 純正品以外のものをご使用になりますと、プリンタ本体の故障の原因になったり、印刷品質が低下するなど、本来の性能が発揮できない場合があります。 サプライ品については、お買い上げの販売店にご相談ください。 【プリンタモデル】【商品名（商品番号）】 XL-XXXX　プロセスカートリッジLBXXX(XXXXXXX) 【使用済みプロセスカートリッジ無償回収サービスお問い合わせ先】 エコ受付センター （フリーダイヤル　：0120-30-0693）

●定着器のメンテナンスが必要となったとき

概要	：消耗品情報が発生しました。
発生日	：XXXX/XX/XX XX:XX:XX
送信元コンピュータ	：XXXXXXXX
プリンタ名	：XXXXXXXXXX
プリンタモデル	：XL-XXXX
総印刷枚数	：XXX ページ
前回記録	：XXXX/XX/XX XX:XX:XX　XXXXページ
エラー内容	：定着器の交換時期が近づいてきました。
処置	：以下の部品は磨耗するため、交換することをおすすめします。 部品の交換は、ハードウェア修理相談センターにご連絡ください。 なお部品の交換は有償です。

【プリンタモデル】	【交換部品】	【交換目安】
XL-XXXX	定着器	XX万ページ

【定着器交換お問い合わせ先】
ハードウェア修理センター
（フリーダイヤル　：0120-422-297）

第 12 章

プリンタ管理機能(Printianavi ネットワークマネージャ)

この章では、Printianavi ネットワークマネージャの使いかたについて説明します。Printianavi ネットワークマネージャを使用すると、ネットワークに接続された XL プリンタの状態監視や環境設定を、パソコンから行うことができます。

12.1 概　要

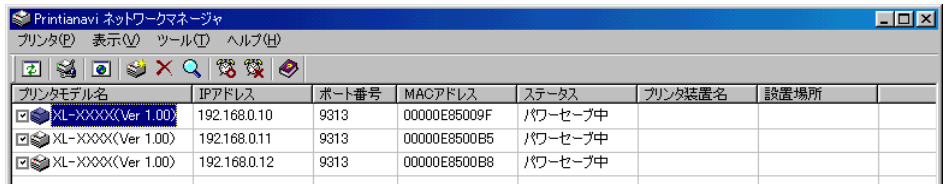
Printianavi ネットワークマネージャは、ネットワークに接続されている XL シリーズのプリンタを管理するためのソフトウェアです。
本ソフトウェアを使用することにより、プリンタの状態監視や環境設定をパソコンから行うことができます。

12.1.1 サポート対象プリンタ

サポート対象プリンタは添付の CD-ROM 内「Pnavi」フォルダの「manager.txt」を参照してください。

ガイド
詳細表示をサポートしていないプリンタでは、〔プリンタ情報〕ダイアログでのステータス情報表示は簡易表示となります。エラー時の用紙サイズ、給紙カセット位置、カバー種類は表示されません。詳細は、添付の CD-ROM 内「Pnavi」フォルダの「manager.txt」を参照してください。

12.1.2 機　能

Printianavi ネットワークマネージャは、ネットワーク上に接続されている XL シリーズのプリンタに対し、次のことができます。

機　能	内　容
一覧表示	管理するプリンタを、パソコンの画面に一覧表示します。複数のプリンタに関する情報を、ひと目で確認できます。 一覧表示するプリンタは、任意に指定することができます。
自動検索	管理するプリンタをネットワーク上で自動的に検索し、各プリンタに関する情報を一覧表示します。
状態監視	複数のプリンタの状態を同時に監視します。 また、一覧表示されている個々のプリンタに対して、定期監視を行うかどうかを設定することができます。
環境設定	XL シリーズのプリンタの環境を、パソコンから設定することができます。

12.1.3 「監視リスト」と「詳細画面」

Printianavi ネットワークマネージャを利用中に表示される主な画面に、「監視リスト」と「詳細画面」があります。

●監視リスト

監視中のプリンタの情報を一覧で表示する画面です。
監視するプリンタは任意に指定できます。

参照　画面の詳細は「「監視リスト」の見かたと設定」(276 ページ)参照

●詳細画面

プリンタごとの詳細情報を表示する画面です。

参照　画面の詳細は、「「詳細画面」の見かたと設定」(282 ページ)参照

12.2 Printianavi ネットワークマネージャを起動する

Printianavi ネットワークマネージャを起動する方法について説明します。
Printianavi ネットワークマネージャを起動すると、「監視リスト」が表示されます。

参照　Printianavi ネットワークマネージャのインストール方法については、
「第 14 章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（313 ページ）参照

1 ［スタート］ － ［プログラム］ － ［Printianavi］ － ［ネットワークソフトウェア 2］ － ［Printianavi ネットワークマネージャ］の順に選択する

Printianavi ネットワークマネージャを初めて起動したときは、監視するプリンタを指定する必要があります。

参照　監視するプリンタを登録する操作については、
「監視するプリンタを登録する」（273 ページ）参照

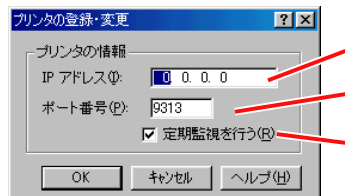
12.3 監視するプリンタを登録する

Printianavi ネットワークマネージャで監視するプリンタを登録する方法には、次の 2 種類があります。

12.3.1 IP アドレスによる登録

監視するプリンタを、IP アドレスとポート番号で指定します。

1 「監視リスト」の［プリンタ］から［新規登録］を選択する

2 IP アドレスとポート番号を設定する

①	IP アドレス	登録するプリンタの IP アドレスを指定します。 「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。 例：192.168.0.11
②	ポート番号	登録するプリンタのポート番号を指定します。 設定範囲：1 〜65535　初期値：9313
③	定期監視を行う	登録するプリンタを、定期監視の対象とするときは☑にします。

3 定期監視を行うか指定し、[OK] をクリックする

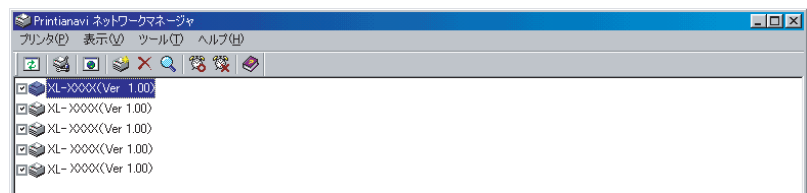
12.3.2 自動検索による登録

ネットワークに接続されているプリンタを自動検索します。

1 「監視リスト」の［プリンタ］から［プリンタの検索］を選択する

ネットワークに接続されているプリンタが検索され、「監視リスト」に登録されます。(ウィンドウ例は、「詳細」表示のとき)

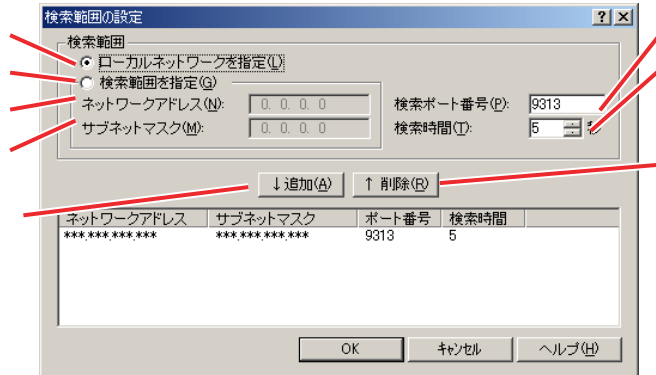
ガイド

・［表示］から［一覧］を選択し、「監視リスト」の表示のしかたを変えることができます。

・自動検索した場合は、「定期監視」は常に有効になります。

12.3.3 検索範囲を設定する

ネットワークに接続されているプリンタの検索範囲を設定することができます。

1 「監視リスト」の［プリンタ］から［検索範囲の設定］を選択する

2 ［検索範囲の設定］ダイアログで検索条件を指定する

①	ローカルネットワークを指定	パソコンが属しているネットワーク内を検索する場合に選択します。
②	検索範囲を指定	パソコンが属しているネットワークと異なるネットワークの範囲を検索する場合に選択します。
③	ネットワークアドレス	プリンタの検索範囲に追加するネットワークアドレスを指定します。「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。
④	サブネットマスク	プリンタの検索範囲に追加するサブネットマスクを指定します。 「255.255.255.255」は指定できません。
⑤	検索ポート番号	プリンタの検索範囲に追加するポート番号を指定します。 設定範囲：1〜65535　初期設定：9313
⑥	検索時間	プリンタの検索時間（タイムアウト時間）を設定します。 設定範囲：5〜30 秒　初期設定：5 秒
⑦	［追加］ボタン	①〜⑥で指定した内容を、アドレスリストに追加します。すでに登録されているネットワークアドレスを指定した場合は、追加されません。
⑧	［削除］ボタン	アドレスリストで選択した項目を削除し、指定した内容を①〜⑥に反映します。

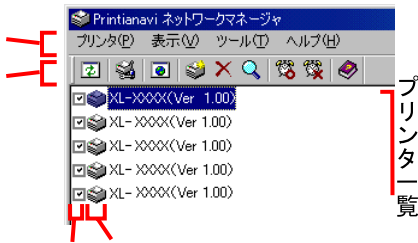
ガイド

・ローカルネットワークを追加する場合、「検索ポート番号」と「検索時間」のみ入力することができます。

・ローカルネットワーク（***.***.***.***）の最後の 1 つを削除することはできません。

12.4 「監視リスト」の見かたと設定

監視リストの表示のしかたには「一覧」と「詳細」の 2 種類あります。
表示方法はメニューバーの［表示］から選択します。

・[一覧］表示

・[詳細］表示

①	メニューバー	監視リストで実行できる機能を表示します。
②	ツールバー	監視リストで実行できる機能をボタンで表示します。
③	表示項目名	プリンタの情報の項目名です。(「詳細」表示のみ) 項目名をクリックすると、クリックした項目の内容をもとにプリンタ情報の表示を並び替えることができます。 また、表示する項目を変更したり、順序を入れ換えたりすることができます。 参照　表示する項目を変更する操作については、「表示する項目と順序を変更する」(280 ページ) 参照
④	チェックボックス	Printianavi ネットワークマネージャは、ここが☑になっているプリンタを定期監視します。 定期監視の間隔は［ツール］の［通信タイマの設定］で設定します。 参照　詳細は、「プリンタの通信時間を設定する」(281 ページ) 参照
⑤	アイコン	プリンタの状態をアイコン形式で表示します。

12.4.1 メニューバーの機能

「監視リスト」のメニューバーの各機能について説明します。

プリンタ(P)　表示(V)　ツール(T)　ヘルプ(H)
①　②　③　④

①	プリンタ	新規登録	リストに新規登録するプリンタを指定します。 参照 登録については、「監視するプリンタを登録する」(273 ページ)参照
		プリンタの変更	IP アドレス、ポート番号、監視状態の変更を行います。 参照 詳細は「監視するプリンタを登録する」(273 ページ)参照
		監視リストから削除	「監視リスト」で選択されているプリンタを、「一覧表示」から削除します。
		すべてのプリンタを選択	「監視リスト」に表示されているすべてのプリンタを選択します。
		プリンタの検索	[検索範囲の設定]ダイアログで指定した検索範囲からプリンタを検索し、「監視リスト」に登録します。
		検索範囲の設定	プリンタの検索範囲を指定します。 参照 設定の詳細については、「検索範囲を設定する」(275 ページ)参照
		詳細画面の表示	「監視リスト」で選択されているプリンタの「詳細画面」を表示します。 参照 「詳細画面」の内容については、「詳細画面」の見かたと設定」(282 ページ)参照
		ブラウザで状態を表示	「監視リスト」で選択されているプリンタの持つ Printia LASER Internet Service を起動します。 参照 詳細については、「第 13 章 Web サーバ機能(Printia LASER Internet Service)」(295 ページ)参照
		設定の印刷	「監視リスト」で選択されているプリンタの設定情報を印刷します。
		終了	Printianavi ネットワークマネージャを終了します。

ガイド

Netscape 6.x を「通常使うブラウザ」に設定している環境で、[ブラウザで状態を表示]機能を使用すると、次の現象が発生することがあります。

- 「ブラウザの起動に失敗しました」とメッセージが表示される
  Printia LASER Internet Service の動作に問題はありません。メッセージダイアログを閉じてください。
- Internet Explorer が起動していると、Printia LASER Internet Service が表示されない
  Internet Explorer を閉じてから、再度[ブラウザで状態を表示]を実行してください。

②	表示	ツールバー	ツールバーの表示・非表示を指定します。
		ステータスバー	ステータスバーの表示・非表示を指定します。
		一覧	「監視リスト」を一覧モードで表示します。
		詳細	「監視リスト」を詳細モードで表示します。
		表示項目の設定	「監視リスト」の「表示項目名」に表示する項目と順序を指定します。 参照 指定方法は「プリンタの情報の見かた」の「表示する項目と順序を変更する」（280 ページ）参照
		すべてのプリンタの情報を更新	「監視リスト」に登録されているすべてのプリンタの情報を最新の情報に更新します。
		情報の更新	「監視リスト」で選択されているプリンタの情報を最新の情報に更新します。
③	ツール	IP アドレス設定ユーティリティ 2 を起動する	IP アドレス設定ユーティリティ 2 を起動します。 参照 詳細については、「IP アドレスの設定」（130 ページ）参照
		定期監視する	選択されているプリンタに対し定期監視を有効にする場合に選択します。
		定期監視しない	選択されているプリンタに対し定期監視を無効にする（行わない）場合に選択します。
		通信タイマの設定	通信エラーと判断するまでの時間、および定期監視の間隔を設定します。 参照 設定の詳細については、「プリンタの通信時間を設定する」（281 ページ）参照
④	ヘルプ	目次	「トピックの検索」を表示します。
		ヘルプ	「監視リスト」のヘルプを表示します。
		バージョン情報	「Printianavi ネットワークマネージャ」のバージョン情報を表示します。

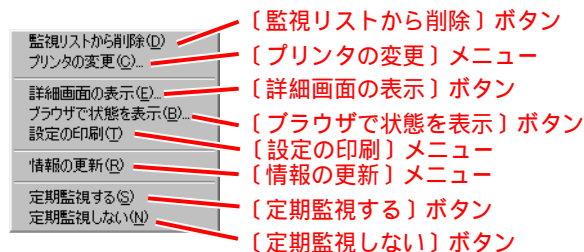
12.4.2 ツールバーの機能

「監視リスト」のツールバーにあるボタンの機能について説明します。

①	すべてのプリンタの情報を更新	「監視リスト」に登録されているすべてのプリンタの情報を最新の情報に更新します。
②	詳細画面の表示	「監視リスト」で選択されているプリンタの「詳細画面」を表示します。 参照　詳細画面の内容については、「「詳細画面」の見かたと設定」（282 ページ）参照
③	ブラウザで状態を表示	「監視リスト」で選択されているプリンタの持つ Printia LASER Internet Service を起動します。 参照　詳細については、「第 13 章 Web サーバ機能 (Printia LASER Internet Service)」（295 ページ）参照
④	新規登録	リストに新規登録するプリンタを指定します。 参照　登録方法の詳細については、「監視するプリンタを登録する」（273 ページ）参照
⑤	監視リストから削除	「監視リスト」で選択されているプリンタを、「一覧表示」から削除します。
⑥	プリンタの検索	「検索範囲の設定」で指定された検索範囲からプリンタを検索し、「監視リスト」に登録します。
⑦	定期監視する	選択されているプリンタに対し定期監視を有効にする場合に選択します。
⑧	定期監視しない	選択されているプリンタに対し定期監視を無効にする（行わない）場合に選択します。
⑨	［ヘルプ］ボタン	「監視リスト」のヘルプを表示します。

ガイド

「監視リスト」のポップアップメニュー

「監視リスト」のプリンタモデル名の上でマウスを右クリックすると表示されるメニューからは、ツールバーやメニューバーと同じ機能を実行できます。

12.4.3 プリンタの情報の見かた

チェックボックス、項目名、およびアイコンについて説明します。

(1)　表示する項目と順序を変更する

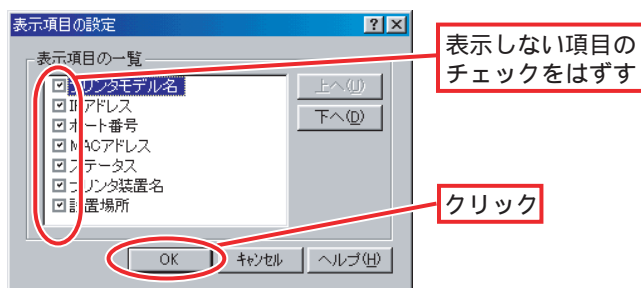
「監視リスト」のプリンタ情報として表示する項目を変更したり、順序を入れ替えたりする操作について説明します。

1 「監視リスト」の［表示］から「表示項目の設定」を選択する

2 「監視リスト」に表示する項目を設定する

●表示する項目を変更する

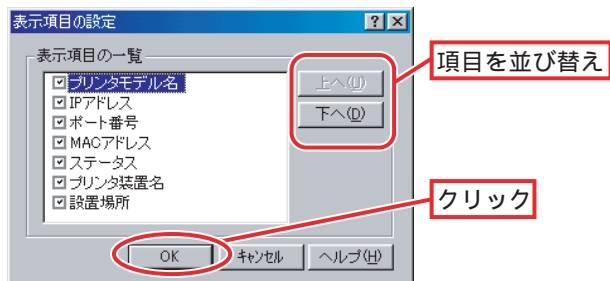
「監視リスト」の初期設定は、「プリンタモデル名」「IP アドレス」「ポート番号」「MAC アドレス」「ステータス」「プリンタ装置名」「設置場所」の順に表示されています。

表示したくない項目については、☐にします。

ガイド

すべてを☐にすることはできません。最低 1 つは、必ず☑にしてください。

●項目の順序を並び替える

「監視リスト」の項目を表示する順序を変える場合は、［上へ］［下へ］をクリックして順番を並び替えます。

「表示項目の一覧」の上から下の順序で、「監視リスト」の左から右に表示されます。

(2)　アイコンの見かた

「監視リスト」のプリンタの情報に表示される各アイコンは、次の内容を示します。

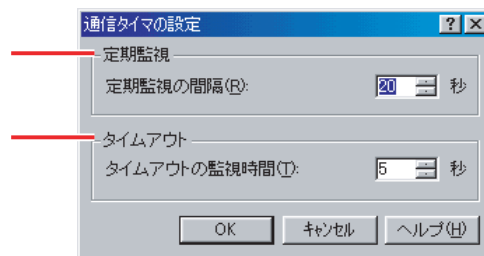
12.4.4 プリンタの通信時間を設定する

「監視リスト」および「詳細画面」に表示されるプリンタの情報を更新する間隔、およびプリンタとデータを送受信する際のタイムアウト時間を設定します。

ガイド

Printianavi ネットワークマネージャが最小化表示のときは、ここで説明する設定に関わらず定期監視は行われません。

1. 「監視リスト」の［ツール］から［通信タイマの設定］を選択する

2. 必要に応じて時間を設定し、[OK] をクリックする

①	定期監視	「監視リスト」および「詳細画面」に表示中のプリンタの情報更新間隔を設定します。 設定範囲：5～180 秒　初期設定：20 秒
②	タイムアウト	プリンタからの応答を待ち合わせる最大値を設定します。設定時間をオーバーした場合は「応答なし」となります。 設定範囲：5～180 秒　初期設定：5 秒

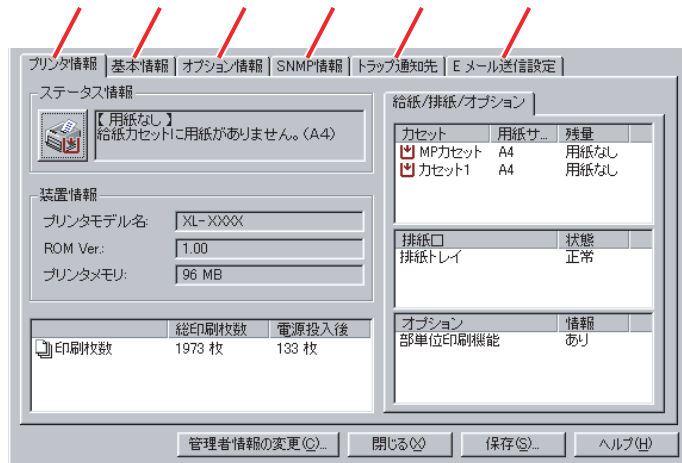
12.5 「詳細画面」の見かたと設定

詳細画面は、「監視リスト」で選択中のプリンタの詳細な情報を表示します。
「詳細画面」を表示するには、次の 4 種類の方法があります。

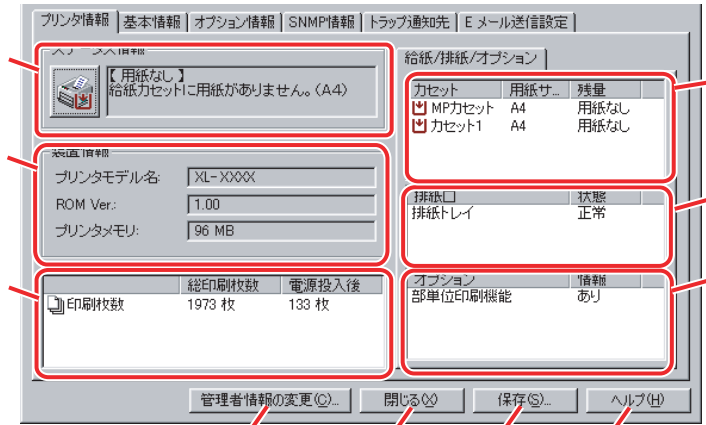
・「監視リスト」でプリンタを選択し、［プリンタ］から［詳細画面の表示］を選択する

・「監視リスト」でプリンタを選択し、ダブルクリックする

・「監視リスト」でプリンタを選択し、右クリックして「詳細画面の表示」を選択する

・「監視リスト」でプリンタを選択し、［詳細画面の表示］（　）をクリックする
詳細画面は、6 つのタブから構成されています。各タブで参照できる内容は、次のとおりです。

①	プリンタ情報	プリンタのステータス情報を表示します。
②	基本情報	TCP/IP の構成情報を表示、設定します。
③	オプション情報	「DNS サーバ情報」および「NetWare 情報」を表示、設定します。(DNS および Netware をサポートしているプリンタのみ)
④	SNMP 情報	SNMP 基本情報を表示、設定します。
⑤	トラップ通知先	SNMP トラップ通知先情報を表示、設定します。
⑥	E メール送信設定	E メール構成情報を表示、設定します。 (E メール送信をサポートしているプリンタのみ)

各ダイアログで表示、設定できる内容については、次項以降で説明します。

12.5.1 ［プリンタ情報］ダイアログ

①	ステータス情報	ステータスアイコン	プリンタのステータス情報をアイコンで表示します。 本アイコンをクリックすると、プリンタ情報が最新の内容に更新されます。
		ステータス情報	プリンタの詳細な状態を表示します。
②	装置情報	プリンタモデル名	プリンタのモデル名を表示します。
		ROM Ver:	プリンタのファームウェアバージョンを表示します。
		プリンタメモリ	搭載されているプリンタメモリのサイズを表示します。
③	印刷枚数情報	プリンタの印刷枚数を表示します。 両面印刷時は、表面および裏面を各 1 枚と数えます。	
④	給紙口情報	給紙口にセットされている用紙に関する各種情報を表示します。	
⑤	排紙口	プリンタの排紙口の状態を表示します。	
⑥	オプション	プリンタがサポートしているオプション機能とその装着状態を表示します。	
⑦	［管理者情報の変更］ボタン	管理者情報を変更するダイアログを表示します。 参照　管理者情報の変更については、「管理者情報を変更する」(293 ページ) 参照	
⑧	［閉じる］ボタン	設定した値を無効とし、「詳細画面」を閉じます。	
⑨	［保存］ボタン	管理者入力ダイアログを表示後、設定情報をプリンタに反映します。 参照　詳細については、「設定を有効にする」(293 ページ) 参照	
⑩	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。	

ガイド

XL-5310/5320/5330/5340/5710/5720/5730/6010/6100/6700 では、［プリンタ情報］ダイアログでのステータス情報表示は簡易表示となります。
エラー時の用紙サイズ、給紙カセット位置、カバー種類は表示されません。

12.5.2 ［基本情報］ダイアログ

選択中のプリンタに関するネットワーク情報を表示、設定します。

①	基本情報	MAC アドレス	プリンタの MAC アドレスを表示します。設定は変更できません。
		Ethernet タイプ	プリンタの Ethernet タイプを表示、設定します。 設定項目：自動認識、100Mbps Full、100Mbps Half、10Mbps
		TCP/IP プロトコル	TCP/IP 設定の有効・無効を表示、設定します。 設定項目：有効、無効
		NetWare 設定	NetWare 設定の有効・無効を表示、設定します。 設定項目：有効、無効 NetWare 機能をサポートしていないプリンタは「未サポート」と表示され、変更はできません。
		IPP サポート情報	サポートしている IPP のバージョン情報を表示します。設定は変更できません。IPP 印刷をサポートしていないプリンタは「未サポート」と表示され、変更はできません。
		プリンタの URL	IPP モードで印刷するときに、Printianavi ネットワークポートモニタに指定する URL を設定します。URL は、次の形式で表示、設定します。「プリンタの IP アドレスまたはホスト名＋ドメイン」＋「/」＋「IPP プリンタ名」 設定範囲：63 文字以内 IPP プリンタ名が「/」＋「IPP プリンタ名」の形式で指定されていない場合は、初期値の「ipp」を IPP プリンタ名として付加します。 IPP 印刷をサポートしていないプリンタは設定できません。

②	TCP/IP 情報	DHCP 設定	IP アドレスを DHCP より自動取得するかどうかを表示、設定します。 設定項目：自動取得する、自動取得しない
		印刷ポート番号	印刷を受け付ける際に使用するポート番号を表示、設定します。 設定範囲：1～65535
		検索ポート番号	ネットワーク内の XL プリンタの検索に使用するポート番号を表示、設定します。 設定範囲：1～65535
		IP アドレス	プリンタの IP アドレスを表示、設定します。 例：192.168.0.10 「DHCP 設定」で「自動取得する」を設定している場合は、設定できません。
		サブネットマスク	プリンタのサブネットマスクを表示、設定します。 例：255.255.255.128 「DHCP 設定」で「自動取得する」を設定している場合は、設定できません。
		ゲートウェイ	プリンタのゲートウェイアドレスを表示、設定します。 例：192.168.0.1 「DHCP 設定」で「自動取得する」を設定している場合は、設定できません。 ゲートウェイを使用しない場合、「0.0.0.0」に設定してください。
③	［管理者情報の変更］ボタン	管理者情報を変更するダイアログを表示します。 参照　管理者情報の変更については、「管理者情報を変更する」（293 ページ）参照	
④	［閉じる］ボタン	設定した値を無効とし、「詳細画面」を閉じます。	
⑤	［保存］ボタン	管理者情報入力ダイアログを表示後、設定情報をプリンタに反映します。 参照　詳細については、「設定を有効にする」（293 ページ）参照	
⑥	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。	
⑦	［元に戻す］ボタン	［基本情報］ダイアログの内容を変更前に戻します。	

ガイド

- ご使用のプリンタによってはポート番号の名称が次の表示になることがありますが、同じ項目です。
  - 印刷ポート番号 → ポート番号 1
  - 検索ポート番号 → ポート番号 2
- 通常お使いになる場合は、ポート番号の変更は不要です。変更した場合は、Printianavi ネットワークポートモニタの設定も同じ値にしてください。
- 「プリンタの URL」のプリンタ名を指定・変更した場合、IPP 印刷時に Printianavi ネットワークポートモニタのプリンタ URL を同じ値に設定してください。
- 複数台のパソコンから同時にネットワーク設定の変更（更新）を行わないでください。変更に失敗する場合があります。
- ネットワーク設定を変更すると、プリンタでは変更情報を反映するために初期化処理が行われます。

12.5.3 ［オプション情報］ダイアログ

選択されたプリンタの［DNS サーバ情報］と［NetWare 情報］の表示および設定を行います。

DNS サーバと NetWare のどちらもサポートしていない機種では、本ダイアログは表示されません。また、当該機能をサポートしていない場合はグレイアウトされます。

DNS サーバサポートの機種の場合

NetWare のみサポートの機種の場合

①	DNS サーバ情報	DNS サーバのアドレスを自動的に取得する	DNS 情報を DHCP サーバから自動取得する場合に選択します。［基本情報］ダイアログの「DHCP 設定」を「自動取得する」にしていない場合は、選択できません。 本項目を選択している場合、ほかの設定箇所はグレイアウトされます。
		次の DNS サーバを参照する	DNS 情報を設定する場合に選択します。
		プライマリサーバアドレス	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。 例：192.168.0.2
		セカンダリサーバアドレス	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。 例：192.168.10.2
		DNS ドメイン名	DNS のドメイン名を設定します。 設定範囲：半角 63 文字以内
②	NetWare 情報	NetWare マシン名	マシン名を半角 31 文字、または全角 15 文字以内で設定します。
		NetWare ポート名	NetWare プリンタポート名を半角 31 文字、または全角 15 文字以内で設定します。
		動作モード	プリンタの動作モードを選択、設定します。 設定項目：リモートプリンタ、プリントサーバ
		パケット形式	プリンタの使用するパケットタイプを選択、設定します。 設定項目：Ethernet-Ⅱ、IEEE802.3、IEEE802.2、SNAP
③	［管理者情報の変更］ボタン	管理者情報を変更するダイアログを表示します。 参照　管理者情報の変更については、 「管理者情報を変更する」(293 ページ) 参照	
④	［閉じる］ボタン	設定した値を無効とし、「詳細画面」を閉じます。	
⑤	［保存］ボタン	管理者情報入力ダイアログを表示後、設定情報をプリンタに反映します。 参照　詳細については、「設定を有効にする」(293 ページ) 参照	
⑥	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。	
⑦	［元に戻す］ボタン	［オプション情報］ダイアログの内容を変更前の状態に戻します。	

ガイド

- DNS サーバの検索は、プライマリサーバ→セカンダリサーバの順で行われます。セカンダリサーバが存在しない場合は、設定は不要です。
- ［E メール送信設定］ダイアログにおいて、SMTP サーバをホスト名で設定している場合には、DNS サーバの設定が必要です。
- Printianavi ネットワークマネージャで設定できる内容だけでは、NetWare 環境で使用することはできません。
  NetWare 環境で使用するためには、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティで設定を行ってください。
- 複数台のパソコンから同時にネットワーク設定の変更（更新）を行わないでください。変更に失敗する場合があります。
- ネットワーク設定を変更すると、プリンタでは変更情報を反映するために初期化処理が行われます。

12.5.4 ［SNMP 情報］ダイアログ

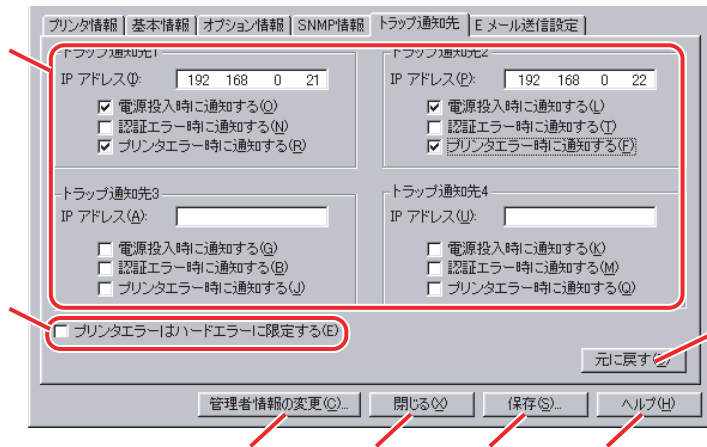
選択されたプリンタの SNMP 情報の表示および設定を行います。

①	コミュニティ名	トラップ発行	トラップ発行時のコミュニティ名を表示､設定します。 設定範囲：半角英数字 15 文字以内
		MIB 参照	MIB参照時のコミュニティ名を表示､設定します。 設定範囲：半角英数字 15 文字以内
②	情報	システム管理者	システム管理者名を表示、設定します。 設定範囲：半角英数字 63 文字以内
		プリンタ装置名	プリンタ装置名を表示、設定します。 設定範囲：半角英数字 63 文字以内
		設置場所	設置場所を表示、設定します。 設定範囲：半角英数字 63 文字以内
		プリンタ管理者	プリンタ管理者を表示、設定します。 設定範囲：半角英数字 63 文字以内
		故障時の連絡先	故障時の連絡先を表示、設定します。 設定範囲：半角英数字 63 文字以内
③	［管理者情報の変更］ボタン	管理者情報を変更するダイアログを表示します。 参照　管理者情報の変更については、 「管理者情報を変更する」（293 ページ）参照	
④	［閉じる］ボタン	設定した値を無効とし、「詳細画面」を閉じます。	
⑤	［保存］ボタン	管理者情報入力ダイアログを表示後、設定情報をプリンタに反映します。 参照　詳細については、「設定を有効にする」（293 ページ）参照	
⑥	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。	
⑦	［元に戻す］ボタン	［SNMP 情報］ダイアログの内容を変更前に戻します。	

ガイド

- XL シリーズプリンタから発行されたトラップを SNMP マネージャが受信するには、両方が同じコミュニティ（管理グループ）に存在することが必要です。コミュニティ名が空白または不一致の場合は、SNMP マネージャはトラップを受信できませんのでご注意ください。コミュニティ名はセキュリティ対策のため、初期値（public）を変更することをおすすめします。
- 情報の設定は、全角での入力も可能ですが、記号や半角カナには対応しておりません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合がありますので、半角英数字での入力をおすすめします。
- 複数台のパソコンから同時にネットワーク設定の変更（更新）を行わないでください。変更に失敗する場合があります。
- ネットワーク設定を変更すると、プリンタでは変更情報を反映するために初期化処理が行われます。

12.5.5 ［トラップ通知先］ダイアログ

SNMP のトラップ情報の表示および設定を行います。
トラップの通知先は 4 つまで設定できます。

①	トラップ通知先 1～4	IP アドレス	トラップ通知先の IP アドレスを表示、設定します。 「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。 例：192.168.0.21
		電源投入時に通知する	電源投入時にトラップを発行したいときに☑にします。
		認証エラー時に通知する	認証エラー時にトラップを発行したいときに☑にします。
		プリンタエラー時に通知する	プリンタエラー時にトラップを発行したいときに☑にします。
②	プリンタエラーはハードエラーに限定する	プリンタエラー時のトラップ通知を、ハードエラーに限定するときに☑にします。トラップ通知先 1～4 すべての設定で有効となります。	
③	［管理者情報の変更］ボタン	管理者情報を変更するダイアログを表示します。 参照　管理者情報の変更については、「管理者情報を変更する」（293 ページ）参照	
④	［閉じる］ボタン	設定した値を無効とし、「詳細画面」を閉じます。	
⑤	［保存］ボタン	管理者情報入力ダイアログを表示後、設定情報をプリンタに反映します。 参照　詳細については、「設定を有効にする」（293 ページ）参照	
⑥	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。	
⑦	［元に戻す］ボタン	［トラップ通知先］ダイアログの内容を変更前に戻します。	

ガイド

- 複数台のパソコンから同時にネットワーク設定の変更（更新）を行わないでください。変更に失敗する場合があります。
- ネットワーク設定を変更すると、プリンタでは変更情報を反映するために初期化処理が行われます。

12.5.6 ［E メール送信設定］ダイアログ

通知のタイミングは E メール情報内に含まれます。

ガイド

・ 詳細は、ネットワークマネージャの実際のダイアログを参照してください。
・ E メール送信をサポートしていない場合は、このダイアログは表示されません。
・ サポートしていない通知タイミングは、グレイアウトされます。

(1) 表示、設定内容

①	E メール情報	送信元名	本装置の名称（E メールを送信する装置名）を表示、設定します。 設定範囲：半角 31 文字、全角 15 文字以内
		送信元アドレス	プリンタから送信する E メールの送信元のメールアドレスを表示、設定します。 設定範囲：半角 63 文字、全角 31 文字以内
		送信先アドレス	プリンタから送信する E メールの送信先のメールアドレスを表示、設定します。 設定範囲：半角 127 文字、全角 63 文字以内
		SMTP サーバ名	SMTP サーバのサーバ名を表示、設定します。 設定範囲：半角 63 文字、全角 31 文字以内
		SMTP サーバポート番号	SMTP サーバのポート番号を表示、設定ポート番号します。 設定範囲：1～65535
②	通知のタイミング	トナー／ドラムカートリッジ	トナーカートリッジ、ドラムカートリッジまたはプロセスカートリッジの交換時期に関する警告を E メールで通知するときに☑にします。
		定着器	定着器の交換時期に関する警告を E メールで通知するときに☑にします。

③	［管理者情報の変更］ボタン	管理者情報を変更するダイアログを表示します。 参照　管理者情報の変更については、 「管理者情報を変更する」（293 ページ）参照
④	［閉じる］ボタン	設定した値を無効とし、「詳細画面」を閉じます。
⑤	［保存］ボタン	管理者情報入力ダイアログを表示後、設定情報をプリンタに反映します。 参照　詳細については、「設定を有効にする」（293 ページ）参照
⑥	［ヘルプ］ボタン	オンラインヘルプを表示します。
⑦	［送信テスト］ボタン	送信テストを行った場合は、E メール送信ダイアログの各設定がプリンタに反映されます。
⑧	［元に戻す］ボタン	［E メール送信設定］ダイアログの内容を変更前に戻します。

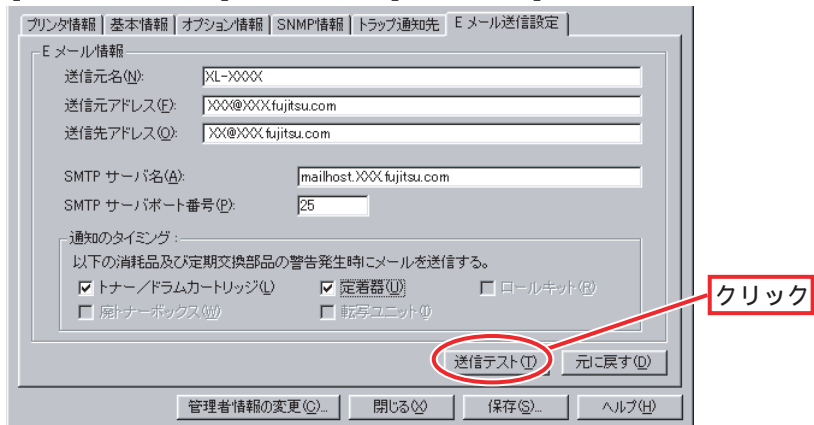
ガイド

- SMTP サーバをホスト名で設定する場合は、［オプション情報］ダイアログで DNS サーバの設定が必要です。
- 通知タイミングは、機種や消耗品、定期交換部品によって交換時期が近づいたとき、交換時期になったときのいずれか、または両方の場合があります。
- 複数台のパソコンから同時にネットワーク設定の変更（更新）を行わないでください。変更に失敗する場合があります。
- ネットワーク設定を変更すると、プリンタでは変更情報を反映するために初期化処理が行われます。

(2)　E メールで通知する

ここでは、送信テスト、カートリッジ／定着器の交換要求が発生したときに通知される E メールの内容について説明します。

●送信テスト

［E メール送信設定］ダイアログの［送信テスト］をクリックします。

送信テストで通知される内容

タイトル：メンテナンス情報のお知らせ(送信テスト)

```
送信テストです。

送信元名:XL-XXXX
プリンタ管理情報：XL-XXXX-YYYYYYYYYYYY
総印刷枚数：XXXXXXXXXX枚
```

X：数字、プリンタ名が通知されます。

Y：MAC アドレスが通知されます。

●メンテナンス交換要求の通知

消耗品／定期交換部品の交換要求が発生した場合、次の内容のメールが通知されます。

・トナー少
タイトル:メンテナンス情報のお知らせ(トナーlow)

メンテナンス情報が発生しました。

送信元名：XL-XXXX
プリンタ管理情報：XL-XXXX-YYYYYYYYYYYY
総印刷枚数：XXXXXXXXXX枚

トナーの残量が少なくなりました。

【プロセスカートリッジ商品名（商品番号）】
プロセスカートリッジ　LB315A(0805110)
プロセスカートリッジ　LB315B(0805120)

【使用済みプロセスカートリッジ
無償回収サービスお問い合わせ先】
エコ受付センター
（フリーダイヤル：0120-30-0693）

X：数字、プリンタ名が通知されます。
Y：MAC アドレスが通知されます。

・定着器交換
タイトル:メンテナンス情報のお知らせ(定着器)

メンテナンス情報が発生しました。

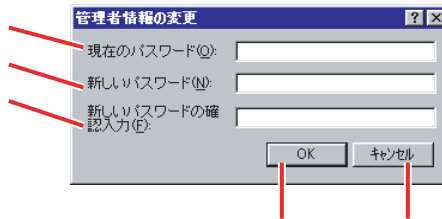
送信元名：XL-XXXX
プリンタ管理情報：XL-XXXX-YYYYYYYYYYYY
総印刷枚数：XXXXXXXXXX枚

定着器の交換時期が近づいてきました。

【定着器交換お問い合わせ先】
ハードウェア修理相談センター
（フリーダイヤル：0120-422-297）

X：数字、プリンタ名が通知されます。
Y：MAC アドレスが通知されます。

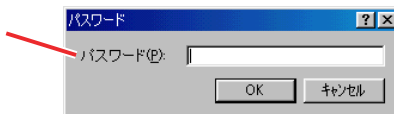
12.5.7 管理者情報を変更する

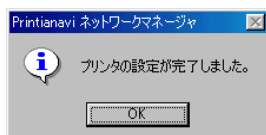
パスワードを変更します。
初期状態（工場出荷時の状態）の場合、パスワードは設定されていません。
［管理者情報の変更］をクリックし、パスワードを設定します。

①	現在のパスワード	現在設定されているパスワードを入力します。
②	新しいパスワード	パスワードを入力します。 設定範囲：半角英数字 15 文字以内
③	新しいパスワードの確認入力	パスワードを再入力します。
④	［OK］ボタン	新しいパスワードに変更します。
⑤	［キャンセル］ボタン	パスワードを変更せずダイアログを閉じます。

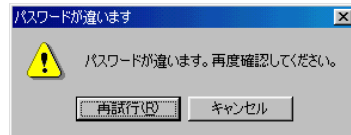
ガイド

次の場合、パスワードは変更できません。
・「現在のパスワード」に入力した値が正しくない場合
・「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認入力」の値が一致しない場合
「パスワードが違います」と表示されたら［再試行］をクリックして設定し直すか、［キャンセル］をクリックしてください。

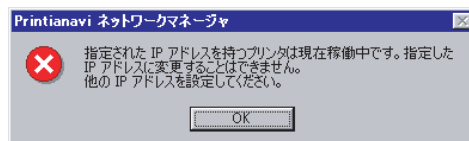
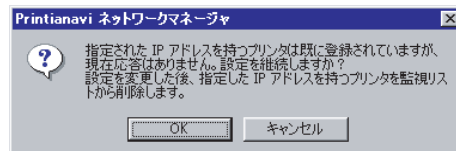
12.5.8 設定を有効にする

現在設定されているパスワードを入力して［OK］をクリックすると、設定した値をプリンタに反映します。
各ダイアログで［保存］をクリックすると、［パスワード］ダイアログが表示されます。

①	パスワード	現在設定されているパスワードを入力します。

プリンタに設定が反映されると正常終了ダイアログが表示されます。［OK］をクリックして設定を完了します。

ガイド

入力したパスワードが、設定されているパスワードと異なると、設定が反映されずエラーが表示されます。[再試行] をクリックして、再度パスワードを入力するか、[キャンセル] をクリックしてください。

[基本情報] ダイアログの「DHCP 設定」で「自動取得する」を選択している場合は、設定を完了すると次のダイアログが表示されます。

IP アドレスを変更した場合に、その IP アドレスがすでに監視リスト内に存在しているときに以下のメッセージが表示されます。

・同じアドレスを持つプリンタが稼動中の場合

・同じアドレスを持つプリンタが応答しない場合

[はい] をクリックすると、処理は続行されます。[いいえ] をクリックすると「詳細画面」の「基本情報」タブに戻ります。

第 13 章

Web サーバ機能（Printia LASER Internet Service）

Printia LASER Internet Service では、Web ブラウザから、インターネットや LAN（TCP/IP）に接続された XL プリンタに関して次のことができます。

- プリンタの状態を参照する
- ネットワークに関する設定を変更する

この章では、Printia LASER Internet Service の使いかたについて説明します。

13.1 概　要

ここでは、Printia LASER Internet Service をご使用になる上で必要なことがらについて説明します。

13.1.1 Printia LASER Internet Service とは

Printia LASER Internet Service は、インターネットや LAN（TCP/IP）に接続された XL プリンタの状態を参照／印刷したり、プリンタのネットワークに関する設定を変更するためのコンテンツです。
プリンタに直接搭載されているため、Web ブラウザがインストールされたパソコンであれば、専用ソフトのインストールなしで使用することができます。

13.1.2 動作環境

Printia LASER Internet Service は、以下の製品版 Web ブラウザで動作します。

・Netscape Communicator 4.0 以上

・Microsoft Internet Explorer 4.0 以上

ガイド

Netscape 6.x を「通常使うブラウザ」に設定している環境で、Printianavi ネットワークマネージャから［ブラウザで状態を表示］機能を使用すると、次の現象が発生することがあります。

・「ブラウザの起動に失敗しました」とメッセージが表示される
Printia LASER Internet Service の動作に問題はありません。メッセージダイアログを閉じてください。

・Internet Explorer が起動していると、Printia LASER Internet Service が表示されない

Internet Explorer を閉じてから、再度［ブラウザで状態を表示］を実行してください。

なお、ご使用になるブラウザで次の機能を使用可能にしておいてください。（設定方法の詳細については、Web ブラウザの取扱説明書やヘルプ等を参照してください。）

・JavaScript（必須）
ステータス表示の自動更新や設定時の処理に JavaScript を使用しているため、JavaScript 未対応のブラウザでは正しく動作しません。

・スタイルシート（推奨）
スタイルシートが使用できない場合でも、Printia LASER Internet Service の機能には差し支えありませんが、表示が見にくくなる場合があります。

・Cookie の使用(任意)
Cookie が使用可能な場合は、ユーザ（Web ブラウザ）ごとにステータス表示の自動更新に関する設定を行うことができます。Cookie を使用したくない場合は、プリンタ側に設定された初期設定で動作するようにも設定できます。

参照　「情報更新設定」（303 ページ）参照

13.2 Printia LASER Internet Service の使いかた

ここでは、Printia LASER Internet Service の使いかたについて説明します。

13.2.1 準備

Printia LASER Internet Service をご使用になるには、プリンタの IP アドレスの設定が済んでいることが必要です。
また、プリンタが LAN に接続され、電源が入っていることを確かめてから操作を行ってください。

参照　IP アドレスの設定方法については「IP アドレスの設定」（130 ページ）参照

13.2.2 Printia LASER Internet Service を表示する

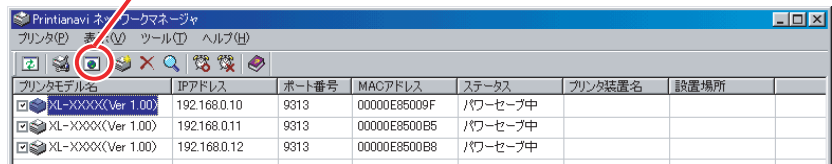
Web ブラウザを起動し、Printia LASER Internet Service の URL を次のどちらかの方法で指定します。

・DNS サーバで登録した名前を指定する場合
「http://」の後に、DNS サーバで設定したホスト名＋ドメイン名を指定します。
例：http://xlprn.xxx.fujitsu.com
（ホスト名：xlprn、ドメイン名：xxx.fujitsu.com の場合）

・IP アドレスで指定する場合
「http://」の後に、直接プリンタの IP アドレスを指定します。
例：http://192.168.0.11
（プリンタの IP アドレスが 192.168.0.11 の場合）

ガイド

Printianavi ネットワークマネージャから以下の方法で起動することもできます。
①［スタート］－［プログラム］－［Printianavi］－［ネットワークソフトウェア 2］－［Printianavi ネットワークマネージャ］の順に選択する
②表示させるプリンタを選択する
③アイコン（　）をクリックするか、［プリンタ］の［ブラウザで状態を表示］を選択する

クリック

参照　Printianavi ネットワークマネージャのインストールについては、「第 14 章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（313 ページ）参照

Printianavi ネットワークマネージャについては、「第 12 章 プリンタ管理機能(Printianavi ネットワークマネージャ)」（269 ページ）参照

指定した URL でプリンタに正しく接続されると、次のようなウィンドウが表示されます。
※ウィンドウの例は Microsoft Internet Explorer です。

①	タイトル	タイトルロゴ以外に、プリンタモデル名と簡易ステータスアイコンを表示します。
②	ユーザモード切り替えボタン	ユーザモードと管理者モードを切り替えます。
③	メニュー	ウィンドウの切り替えやリンク先のページを表示します。
④	情報	メニューで選択した項目の情報を表示します。

13.2.3 基本操作

(1)　管理者モードとユーザーモードの切り替え

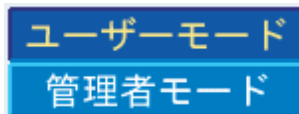
モード切り替えボタンの文字が黄色く光っている方が現在のモードです。
ユーザーモードでは、プリンタの状態や設定の表示のみ行えます。
管理者モードでは、プリンタの状態表示と設定の変更を行えます。

●管理者モードに切り替える

〔管理者モード〕をクリックすると、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

①	ユーザー名	xladmin 固定です。
②	パスワード	Printianavi ネットワークマネージャと共通のパスワードです。工場出荷時（初期設定）の場合は設定されていません。

●ユーザーモードに切り替える

［ユーザーモード］をクリックすると、ユーザーモードに切り替わります。

(2) 表示または設定する情報を選択する

左側のメニューで表示または設定する情報をクリックします。

①	プリンタステータス／詳細情報	プリンタの状態や給紙口、オプションの装着状態などを参照します。
②	情報更新設定	プリンタの状態表示の更新間隔をブラウザごとに設定します。
③	基本情報	プリンタのネットワークに関する基本情報を表示、設定します。
④	SNMP 情報	SNMP に関する情報を表示、設定します。
⑤	E メール送信設定	消耗品および保守交換の警告を E メールで通知する場合に設定します。（管理者モードのみ）
⑥	管理者情報	管理者情報の変更や情報更新を設定します。（管理者モードのみ）
⑦	パスワード	管理者モードへアクセスするためのパスワードを設定、または変更します。（管理者モードのみ）
⑧	お気に入り	メニューの［お気に入り］に登録する URL を表示、設定します。
⑨	バージョン情報	Printia LASER Internet Service のバージョン情報を表示します。
⑩	ヘルプ	ヘルプを表示します。
⑪	お気に入り	［オプション情報］の［お気に入り］で登録された URL のページを表示します。
⑫	管理者にメール	管理者モードの管理者情報で登録した管理者の E メールアドレスに対し、メール送信ウィンドウを開きます。（ユーザーモードのみ）
⑬	FUJITSU	富士通のホームページ（http://jp.fujitsu.com）を表示します。

参照 詳細については、「各ウィンドウの詳細」（302 ページ）の各ウィンドウの説明を参照

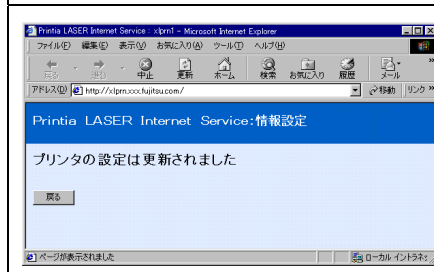
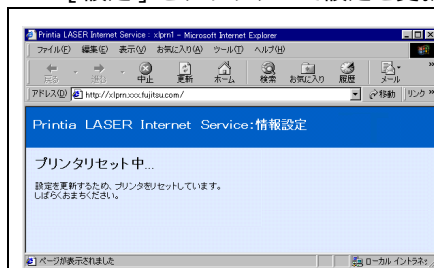
ガイド

ヘルプはメニューから選択する以外に、[?]をクリックしても表示できます。

(3)　プリンタの設定の変更（管理者モードのみ）

必要に応じてプリンタの設定を変更し、［設定］をクリックします。
［設定］をクリックする前に［元に戻す］をクリックすると、変更前の状態に戻ります。

お願い

［設定］をクリックせずに他のウィンドウを表示すると、入力した値は設定されることなく削除されます。他のページの情報の設定や表示を行う前に、必ず［設定］をクリックして設定を更新してください。

設定を反映するため、プリンタがリセットされ左のウィンドウが表示されます。

ガイド

「情報更新設定」、「E メール送信設定」または「節電機能」の設定を変更した場合は、プリンタの設定は更新しますが、リセットは行いません。

リセットが完了すると、左のウィンドウが表示されます。
［戻る］をクリックすると、［管理者モード］の［プリンタステータス］ウィンドウが表示されます。

13.3 各ウィンドウの詳細

Printia LASER Internet Service の各ウィンドウについて説明します。

13.3.1 ステータス情報

ステータス情報の設定内容について説明します。

(1)　プリンタステータス／詳細情報

プリンタの状態を参照することができます。
※ウィンドウの例は［ステータス情報］の［詳細情報］（管理者モード）です。

・プリンタステータス
　プリンタステータスと給紙口の情報を表示します。
・詳細情報
　プリンタステータス、給紙口の情報に加え、装着されているオプションや印刷枚数など詳しい情報を表示します。

①	プリンタステータス	プリンタの状態が正常かエラーが発生しているかを表示します。
②	印刷中文書	印刷中文書のユーザ名と文書名を表示します。印刷中文書がない場合、「印刷中文書はありません」と表示します。
③	給紙口	プリンタの給紙口の装着状態およびセットされている用紙のサイズと残量を表示します。

④	オプション機能	プリンタのオプション機能のサポート情報および状態を表示します。（［詳細情報］のみ）
⑤	メモリ情報	プリンタに装着されているメモリ容量を表示します。（［詳細情報］のみ）
⑥	保守情報	印刷枚数（両面印刷時は、表／裏を各 1 枚としてカウントします）やファームウェアバージョン等、プリンタの保守に関連する情報を表示します。（［詳細情報］のみ）
⑦	警告情報	トナーカートリッジおよび定着器の交換時期が近づいてきたときに警告を表示します。（［詳細情報］、管理者モードのみ）
⑧	［ステータス情報更新］ボタン	プリンタの状態表示を最新の情報に更新します。
⑨	情報更新間隔	プリンタの状態表示を表示されている秒数間隔で自動更新します。「自動更新しない」と表示されているときは自動更新しません。

ガイド

プリンタの状態（正常/エラー/パネル設定中）は、タイトルの右側に表示されている簡易ステータスアイコンでも参照できます。

ONLINE：プリンタは正常な状態です。

OFFLINE：プリンタがオフライン状態になっています。

(2)　情報更新設定

プリンタの状態表示の自動更新の有無や、自動更新時の更新間隔の設定をブラウザごとに行うことができます。ユーザーモードと管理者モードのどちらでも設定できます。

①	自動更新する	自動更新するときに☑にします。
②	更新間隔	自動更新するときの更新間隔を 5～3600 秒の範囲で設定します。

ガイド

本機能は、管理者がユーザ固有の情報更新設定を許可しているときに設定できます。また、本機能を使用するには、あらかじめ Web ブラウザで Cookie の使用を許可しておく必要があります。
設定を行わない場合や、Cookie の使用を禁止している場合は、管理者が設定した初期設定で動作します。

参照　「管理者情報（管理者モードのみ）」（310 ページ）参照

13.3.2 ネットワーク情報

ネットワーク情報の設定内容について説明します。

(1)　基本情報、TCP/IP 情報

ユーザーモード

管理者モード

●基本情報

プリンタのネットワーク関連の基本的な情報を表示、設定します。

①	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。変更はできません。
②	Ethernet タイプ	次のうちから１つの Ethernet タイプを表示、設定します。 　初期設定：自動認識 　設定項目：自動認識、100Mbps Full、100Mbps Half、10Mbps
③	TCP/IP プロトコル	TCP/IP プロトコルの状態を表示、設定します。 　初期設定：有効 ※「無効」設定時は Printia LASER Internet Service は使用できません。
④	IPP サポート情報	サポートする IPP のバージョンを表示します。変更はできません。
⑤	プリンタの URL	IPP モードで印刷する際に、Printianavi ネットワークポートモニタに指定する URL を「プリンタの IP アドレスまたはホスト名＋ドメイン名」＋「/」＋「IPP プリンタ名」の形式（半角 63 文字または全角 31 文字以内）で表示、設定します。 また、IPP プリンタ名は、ブラウザのタイトルバーにも表示されます。

ガイド

- プリンタの URL の IPP プリンタ名を指定・変更した場合、IPP 印刷時は Printianavi ネットワークポートモニタのプリンタ URL も同じ値に設定する必要があります。
- IPP プリンタ名には、半角空白文字および次の文字は使えません。
  ;/?:@&=+$,{}|\^ [] ` <>#% ”

・［アドレス取込み］をクリックすると、Web ブラウザで表示されているアドレスを「プリンタの URL」の「プリンタの IP アドレスまたはホスト名＋ドメイン名」に反映することができます。（管理者モードのみ）
このとき IPP プリンタ名が「／」＋「IPP プリンタ名」の形式で指定されていない場合は、初期設定の「ipp」を IPP プリンタ名として付加します。
ただし、取り込みによって文字列の合計が半角 63 文字または全角 31 文字を超えた場合は、入力エラーとなりますので値を調整してください。

●TCP/IP 情報

プリンタの TCP/IP 関連の情報を表示、設定します。（管理者モードのみ）

⑥	DHCP 自動取得	DHCP による IP アドレス自動取得の状態を表示、設定します。（初期設定：設定） 設定…IP アドレスを DHCP により取得します。 解除…IP アドレスを直接設定します。
⑦	IP アドレス	IP アドレスを表示、設定します。
⑧	サブネットマスク	サブネットマスクを表示、設定します。
⑨	ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを表示、設定します。
⑩	印刷ポート番号	印刷を受け付ける際に使用するポート番号を表示、設定（1～65535）します。
⑪	検索ポート番号	ネットワーク内の XL プリンタの検索に使用するポート番号を表示、設定（1～65535）します。

ガイド
ポート番号は通常お使いになる場合は変更の必要はありません。変更した場合は､Printianavi ネットワークポートモニタの設定も同じ値に変更してください。

●DNS サーバ情報

プリンタの DNS サーバ関連の情報を表示、設定します。（管理者モードのみ）

⑫	DNS 情報の自動取得	DNS サーバの情報を DHCP により自動取得するかを表示、設定します。
⑬	プライマリサーバアドレス／セカンダリサーバアドレス	プライマリとセカンダリの DNS サーバの IP アドレスを表示、設定します。 初期設定：なし
⑭	DNS ドメイン名	DNS のドメイン名を表示、設定します。設定は半角 63 文字、全角 31 文字以内で記入します。 初期設定：なし

ガイド
「DNS 情報の自動取得」を「設定」としている場合、DNS サーバ情報を変更することはできません。

(2)　SNMP 情報

プリンタの SNMP 関連の情報を表示、設定します。

●コミュニティ名

①	トラップ発行	トラップ発行時のコミュニティ名を表示、設定（半角英数 15 文字以内）します。
②	MIB 参照	MIB 参照時のコミュニティ名を表示、設定（半角英数 15 文字以内）します。

ガイド

- XL シリーズプリンタから発行されたトラップを SNMP マネージャが受信するためには、両方が同じコミュニティ（管理グループ）に存在することが必要です。コミュニティ名が空白または不一致の場合は、SNMP マネージャはトラップを受信できませんのでご注意ください。
- セキュリティ対策のため、初期値（public）を変更することをおすすめします。

●情報

SNMP マネージャに通知する情報（システム管理者、プリンタ装置名、設置場所、プリンタ管理者、故障時の連絡先）を表示、設定（各項目半角 63 文字以内）します。

ガイド

情報の設定は、全角 31 文字以内での入力も可能ですが、記号（「㈱」「℡」など）や半角カナには対応していません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合があるので、半角英数字での入力をおすすめします。

●トラップ通知先

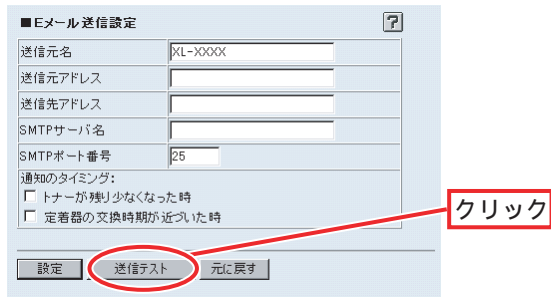
４か所までのトラップ通知先と発行条件を表示、設定します。

③	IP アドレス	トラップ発行先 IP アドレスを表示、設定します。
④	トラップ発行条件	トラップ発行条件を表示、設定（通知する条件を☑）します。
⑤	プリンタエラーはハードエラーに限定する	プリンタエラー発生時のトラップ発行を、ハードエラーが発生した場合のみに限定します。 ※「プリンタエラーはハードエラーに限定する」は、通知先１～４で共通となります。

(3)　E メール送信設定（管理者モードのみ）

トナーが残り少なくなったことや、定着器交換要求が発生したことを、E メールで通知するための設定を行います。

①	送信元名	本装置の名称を、半角 31 文字または全角 15 文字以内で設定します。
②	送信元アドレス	プリンタから送信する E メールの送信元のメールアドレスを、半角 63 文字または全角 31 文字以内で設定します。
③	送信先アドレス	プリンタから送信する E メールの送信先のメールアドレスを、半角 127 文字または全角 63 文字以内で設定します。
④	SMTP サーバ名	SMTP サーバのサーバ名を、半角 63 文字または全角 31 文字以内で設定します。
⑤	SMTP ポート番号	SMTP サーバのポート番号を、1～65535 の範囲で設定します。
⑥	通知のタイミング	E メールで通知する内容を設定します。 通知するタイミングは、「トナーが残り少なくなった時」および「定着器の交換時期が近づいた時」です。
⑦	［設定］ボタン	設定ウィンドウで設定した内容をプリンタに送信、書き込みます。ボタンをクリックしてもプリンタは再起動されませんが、設定内容はプリンタに反映されます。
⑧	［送信テスト］ボタン	ボタンをクリックすると設定ウィンドウで設定した内容をプリンタに送信、書き込むとともに「送信先アドレス」に対し、テストメールを送信します。
⑨	［元に戻す］ボタン	［設定］をクリックする前の状態に戻します。

ガイド

送信元名、送信元アドレス、送信先アドレスが間違っていてもエラーとして検出しません。設定時に確認してください。

(4)　E メールで通知する

ここでは、送信テスト、カートリッジ／定着器の交換要求が発生したときに通知される内容について説明します。

●送信テスト

［送信テスト］をクリックします。

■Eメール送信設定
送信元名　XL-XXXX
送信元アドレス
送信先アドレス
SMTPサーバ名
SMTPポート番号　25
通知のタイミング:
トナーが残り少なくなった時
定着器の交換時期が近づいた時
設定　送信テスト　元に戻す
クリック

送信テストで通知される内容
タイトル：メンテナンス情報のお知らせ(送信テスト)

送信テストです。 **送信元名:XL-XXXX** **プリンタ管理情報：XL-XXXX-YYYYYYYYYYYY** **総印刷枚数：XXXXXXXXXX枚**

X：数字、プリンタ名が通知されます。
Y：MAC アドレスが通知されます。

●メンテナンス交換要求の通知

トナーカートリッジ／定着器の交換要求が発生した場合、次の内容のメールが通知されます。

［トナー少］

タイトル:メンテナンス情報のお知らせ(トナーlow)

メンテナンス情報が発生しました。

送信元名：XL-XXXX
プリンタ管理情報：XL-XXXX-YYYYYYYYYYYY
総印刷枚数：XXXXXXXXXX枚

トナーの残量が少なくなりました。

【プロセスカートリッジ商品名（商品番号）】
プロセスカートリッジ　LB315A(0805110)
プロセスカートリッジ　LB315B(0805120)

【使用済みプロセスカートリッジ
無償回収サービスお問い合わせ先】
エコ受付センター
（フリーダイヤル：0120-30-0693）

X：数字、プリンタ名が通知されます。
Y：MAC アドレスが通知されます。

［定着器交換］

タイトル:メンテナンス情報のお知らせ(定着器交換)

メンテナンス情報が発生しました。

送信元名：XL-XXXX
プリンタ管理情報：XL-XXXX-YYYYYYYYYYYY
総印刷枚数：XXXXXXXXXX枚

定着器の交換時期が近づいてきました。

【定着器交換お問い合わせ先】
ハードウェア修理相談センター
（フリーダイヤル：0120-422-297）

X：数字、プリンタ名が通知されます。
Y：MAC アドレスが通知されます。

13.3.3 オプション情報

オプション情報の設定内容について説明します。

(1)　管理者情報（管理者モードのみ）

①	管理者情報	連絡先メールアドレス	ユーザーモードのメニューにある[管理者にメール]の送信先メールアドレスを半角 63 文字または全角 31 文字以内で設定します。 ※ここで設定したメールアドレスとメンテナンス情報の E メール機能とはリンクしていません。
②	情報更新設定	自動更新する (初期設定：☑)	一定時間間隔で自動更新する場合に☑にします。
		更新間隔 (初期設定：60 秒)	自動更新する間隔を 5～3600 秒の間で設定します。
		ユーザー固有の更新設定を可能にする (初期設定：☑［可能］)	☑にすると、［ステータス情報］の［情報更新設定］の設定変更が、ユーザ（ブラウザ）ごとに可能になります。Cookie の使用を禁止させたい場合は☐にします。☐にすると、更新間隔は上記の値で固定となり、［ステータス情報］の［プリンタステータス］／［詳細情報］の情報更新間隔表示の下に「(管理者設定)」と表示されます。
③	印刷中文書表示設定	印刷中の文書情報を表示する (初期設定：☑)	プリンタステータスの印刷中文書を表示するか設定します。

(2)　パスワード（管理者モードのみ）

プリンタのパスワードを変更します。
パスワードは次の場合に使用されます。
・Printia LASER Internet Service で管理者モードに入るとき
・Printianavi ネットワークマネージャで管理者機能関連の設定を行うとき

①	古いパスワード	現在設定されているパスワードを入力します。
②	新しいパスワード	変更するパスワードを半角英数 15 文字以内で入力します。
③	新しいパスワードの確認入力	「新しいパスワード」の確認入力を行います

ガイド
パスワードは Printianavi ネットワークマネージャと共通です。
工場出荷時（初期設定）の場合は設定されていません。

(3)　お気に入り

メニューの［お気に入り］に登録する URL を表示、設定します。（最大２か所まで）

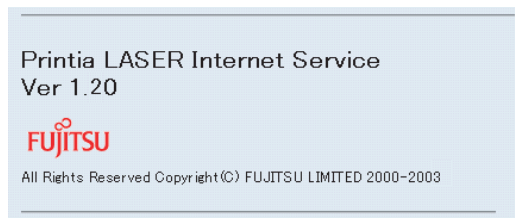
①	名前	メニューの［お気に入り］に表示する名前を表示、設定（半角 31 文字または全角 15 文字以内）します。
②	URL	リンク先 URL を表示、設定（半角 63 文字または全角 31 文字以内）します。
③	説明	リンク先の説明を表示、設定（半角 31 文字または全角 15 文字以内）します。

ガイド

・初期設定として、「お気に入り１」には FMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）が登録されています。

・URL の先頭に「http://」が指定されていない場合は、設定時に自動的に「http://」が付加されます。

(4)　バージョン情報

Printia LASER Internet Service のバージョン情報を表示します。

(5)　ヘルプ

ヘルプを表示します。

ガイド

ヘルプは、メニューから選択する以外に、［?］をクリックしても表示できます。

第 14 章

ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加

この章では、ネットワークソフトウェアのインストール方法とネットワークポートの追加について説明します。

※ 本章の中では、ネットワークソフトウェアを本ソフトウェアと表記します。

14.1 ネットワークソフトウェアのインストール

本ソフトウェアは、LAN/IPP を経由した印刷、および管理機能に必要なモジュールから構成されます。インストール時はプリンタドライバを一括してインストールします。
本ソフトウェアは以下のときに使用します。

・LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷する場合

・IPP での印刷を行う場合

・ネットワーク上にある複数のプリンタを一括して管理する場合

ネットワークソフトウェアのインストール方法には､次の 3 つのタイプがあります。運用形態、環境に合わせて選択してください。

セットアップタイプ	設定環境	インストールされるもの
一般ユーザ向けセットアップ	クライアント側の設定（プリンタ管理者以外）	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・プリンタドライバ（*2）
プリンタ管理者向けセットアップ	サーバ側の設定	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi ネットワークマネージャ（*3） ・Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2（*4） ・プリンタドライバ（*2）
カスタムセットアップ	個別の機能（管理者機能・ポート作成）の設定（すべて選択制）	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi ネットワークマネージャ（*3） ・Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2（*4） ・プリンタドライバ（*2）

*1：LAN（TCP/IP）や IPP で接続した XL プリンタに対し、印刷先のポートを作成するときに必要なソフトウェアです。

*2：「プリンタの追加」を選択したときのみインストールされます。

*3：ネットワーク上の XL シリーズのプリンタを一括して管理できるソフトウェアです。プリンタのステータス表示やネットワークに関する各種設定を行うことができます。

*4：プリンタの IP アドレスを新規に設定、または変更するためのソフトウェアです。本プリンタは、新規設定に対応しています。対応プリンタについての詳細は、添付の CD-ROM「pnavi」フォルダにある「ipsetuty.txt」を参照してください。

14.1.1 新規インストール

ここでは、管理機能について必要なモジュールとプリンタドライバを一括してインストールする方法を説明します。

(1)　準　備

あらかじめプリンタの IP アドレスを設定しておいてください。

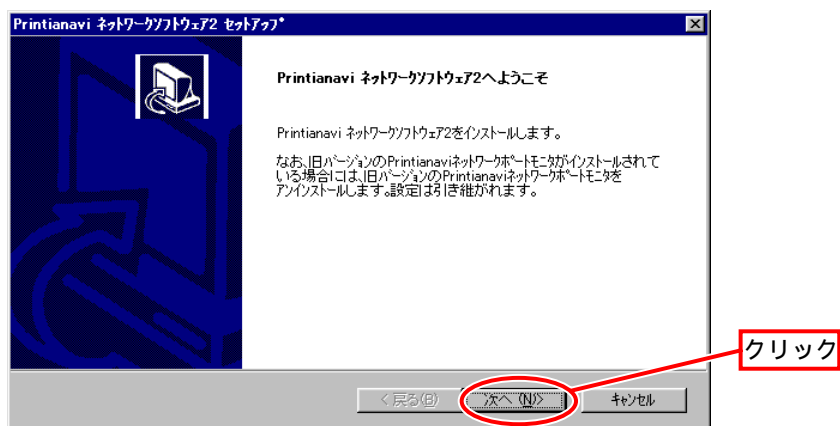
参照　IP アドレスの設定方法は、「IP アドレスの設定」（130 ページ）参照

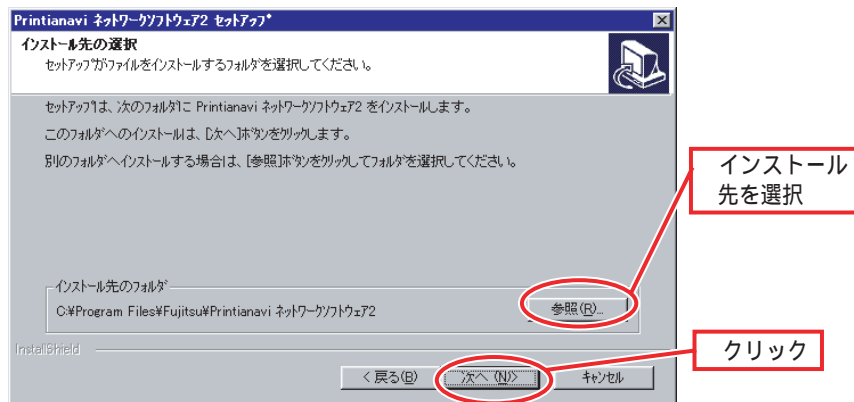
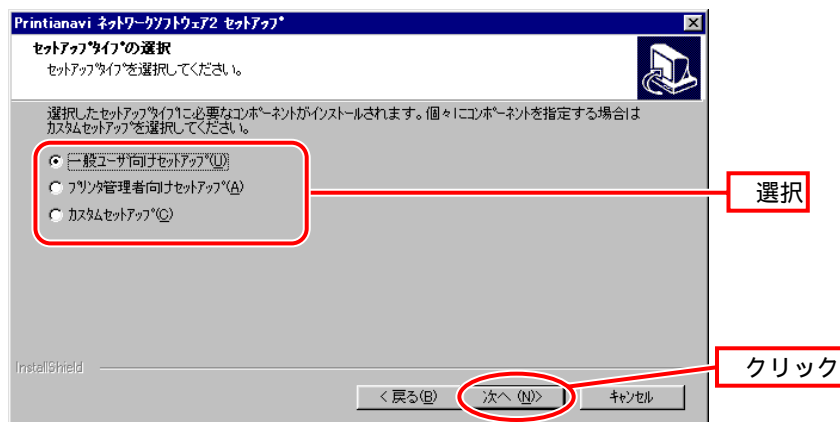
(2)　インストール

プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

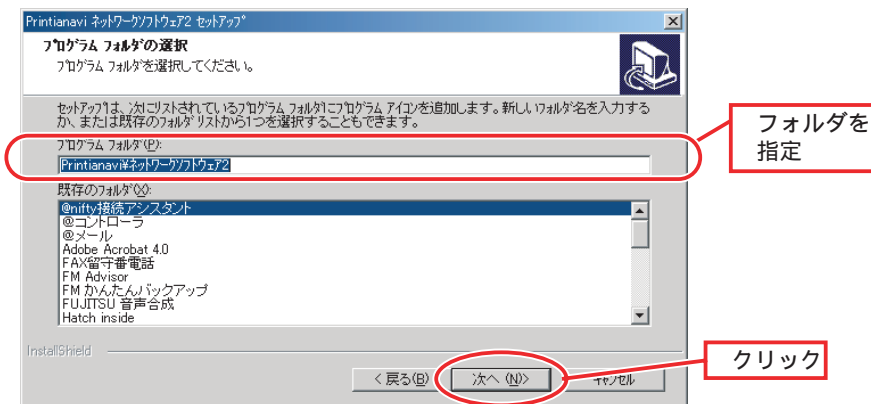
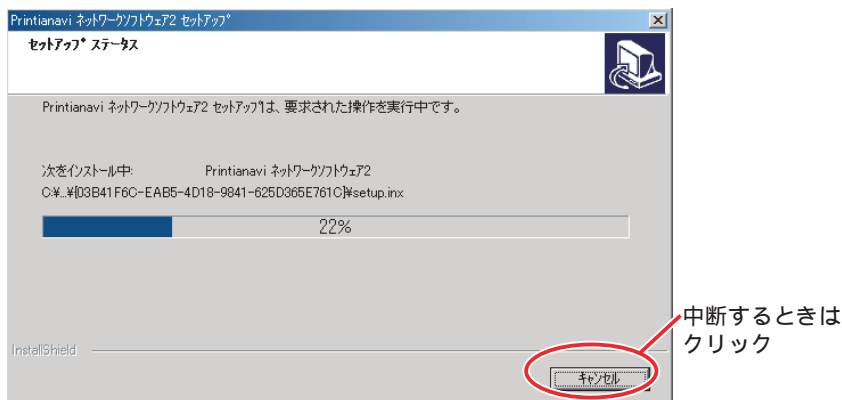
1 添付の CD-ROM「Printia LASER プリンタユーティリティ」を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットし、次のダイアログが表示されたら［ネットワークでプリンタを使う］をクリックする

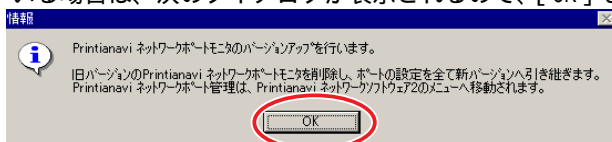
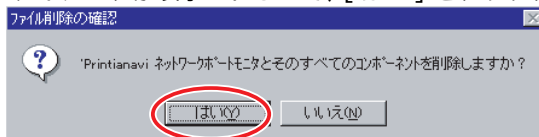
ガイド

- 上のダイアログが自動的に表示されない場合は、エクスプローラで CD-ROM の内容を表示し、一番上の階層にある「xlsetup.exe」をダブルクリックしてください。
- OS が Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンしてください。

2 ［次へ］をクリックする

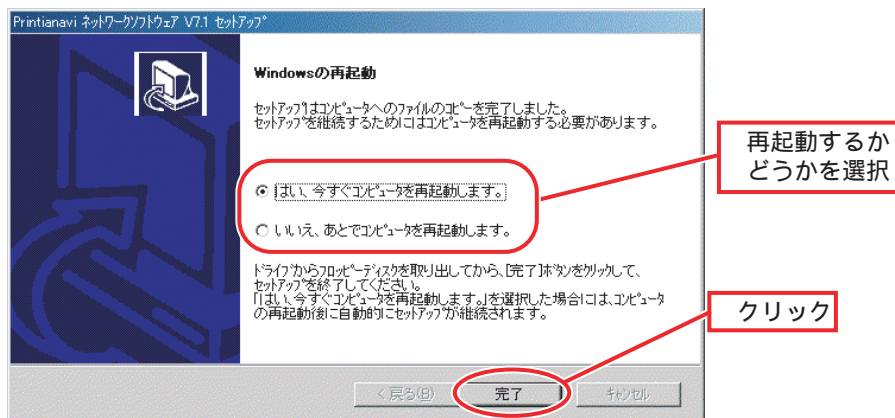
3 ［参照］をクリックして Printianavi ネットワークソフトウェアのイントール先を選択し、［次へ］をクリックする

4 セットアップタイプを選択し、［次へ］をクリックする
それぞれの説明の項目へ進んでください。

参照　一般ユーザ向け／プリンタ管理者向け（317 ページ）参照
参照　カスタム（321 ページ）参照

●一般ユーザ向け/プリンタ管理者向け

1 プログラムフォルダを指定し、[次へ] をクリックする

ここで指定した名前が「スタート」メニューに追加されます。
初期設定は「Printianavi\ネットワークソフトウェア 2」です。

ガイド

・V5.1 より前の Printianavi ネットワークポートモニタがインストールされている場合は、次のダイアログが表示されるので、[OK] をクリックします。

・V5.1 で設定されたポートの情報は引き継がれます。
・Printianavi ネットワークポートモニタ V3.1 以前と置き換える場合は、次のダイアログが表示されるので、[はい] をクリックします。

・[Printianavi ネットワークポート管理] は、**1** で設定したフォルダに移動されます。

2 V7.1 以前の Printianavi ネットワークポートモニタを削除した場合は、Windows を再起動する

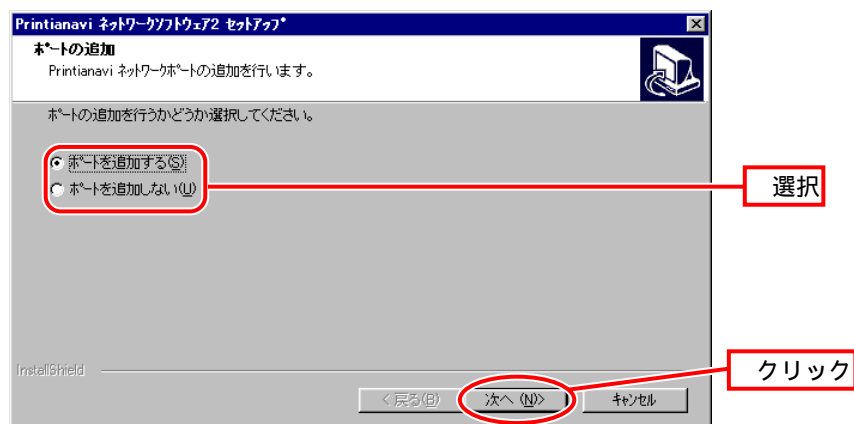
すぐに再起動するかどうかを選択し、［完了］をクリックします。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択すると、Windows を再起動後、**3**の処理から自動的に再開されます。(*1)

「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールを終了します。

なお、再起動せずにインストールしたソフトウェアを使用しても正しく動作しないことがあります。ソフトウェアを使用する前に必ず再起動してください。

*1：Windows 再起動後、ポートの追加ダイアログが他のダイアログの後ろに隠れている場合があります。この場合は、タスクバーに表示されている「Printianavi ネットワークソフトウェア 2」をクリックしてください。

3 「ポートを追加する」を選択し、［次へ］をクリックする

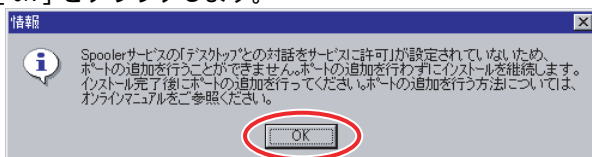
「ポートの追加を行わない」を選択した場合は、手順に**5**に進みます。

4 ポートの追加処理を行う

ポートの追加処理については、以下を参照してください。

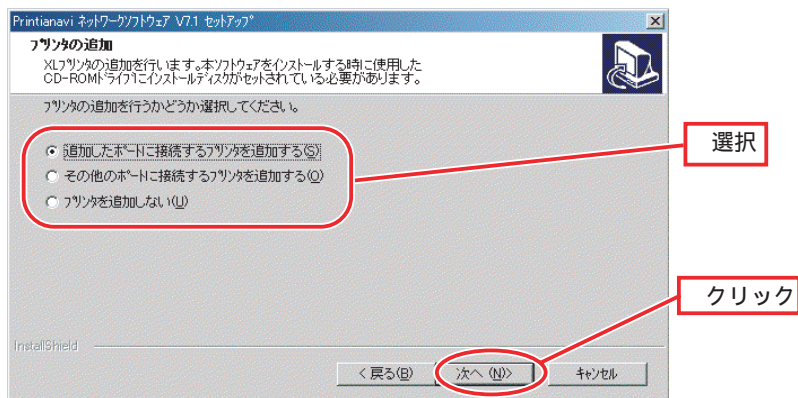
参照 LAN による印刷を行いたいときは、「LAN ポートの追加」（193 ページ）参照

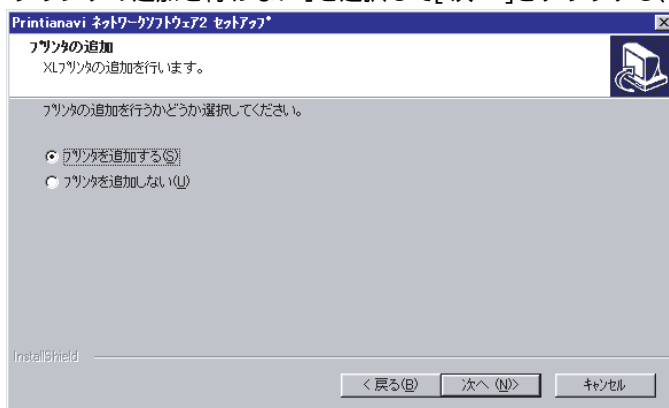
参照 IPP による印刷を行いたいときは、「IPP ポートの追加」（197 ページ）参照

ガイド

Windows NT4.0 で Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを□にしている場合、以下のメッセージが表示されます。
［OK］をクリックします。

Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを☑にし、必要な操作を行った後、再度ポートの追加を行ってください。

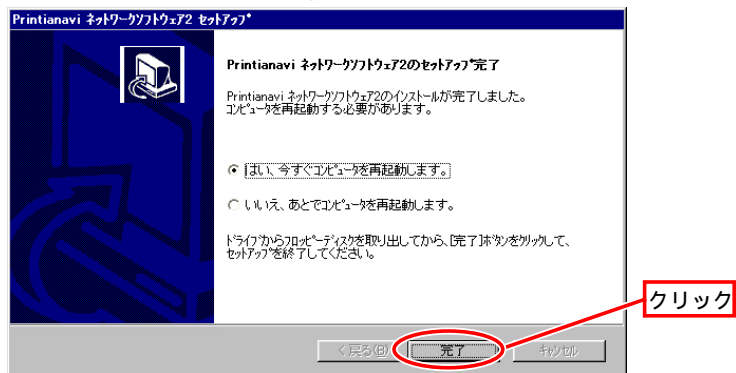
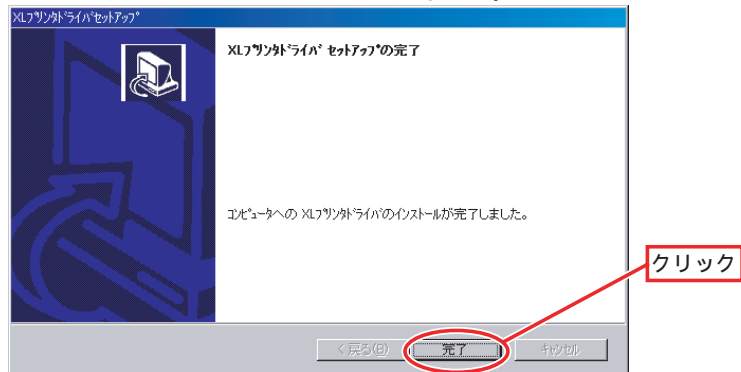
参照 Spooler サービスの設定方法は
「ポートが追加できない」の〈対処〉（418 ページ）参照

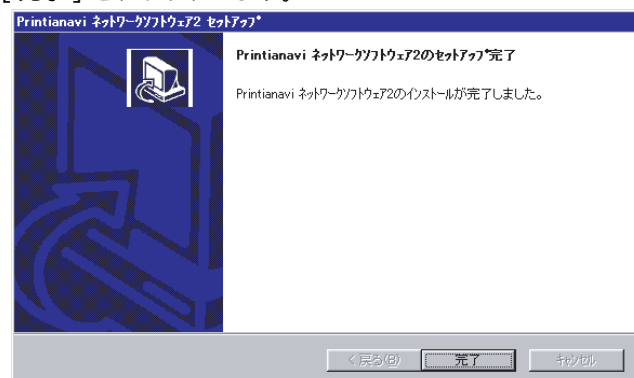
5 「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、［次へ］をクリックする

ガイド

3で「ポートを追加しない」を選択した場合は、次のダイアログが表示されます。
「プリンタの追加を行わない」を選択して［次へ］をクリックし、7に進みます。

6 プリンタの追加（プリンタドライバのインストール）を行う

「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」の手順9～11（155 ページ）参照

7 ［完了］をクリックする

Windows を再起動するダイアログが表示されます。
Windows が起動したらインストールの完了です。

ガイド

5 でプリンタの追加を行わなかった場合、以下のダイアログが表示されます。
［完了］をクリックします。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

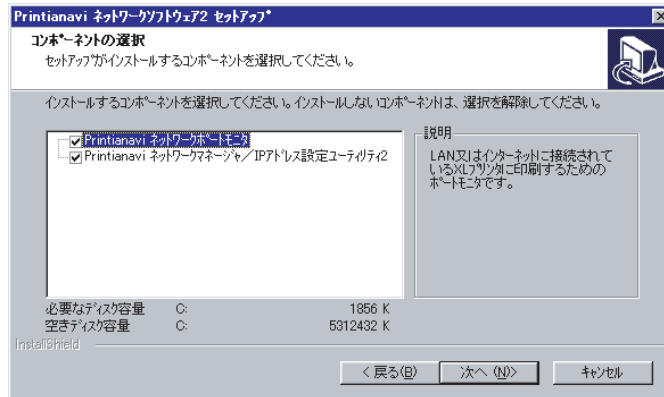
参照　プリンタの共有の設定をしたいときは、
「第 7 章　プリンタ共有の設定」（165 ページ）参照

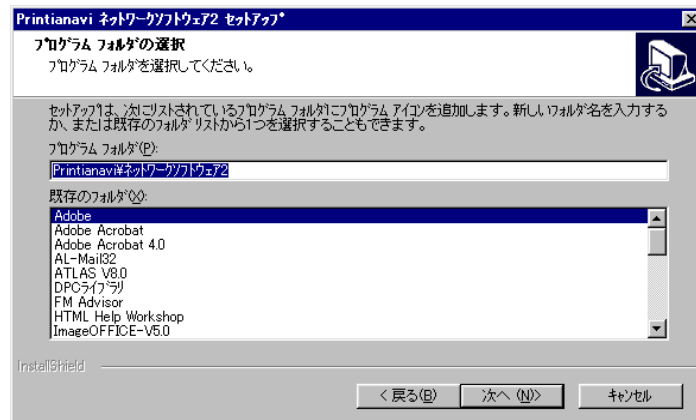
参照　実際に印刷したいときは、「第 8 章　日常の操作」（181 ページ）参照

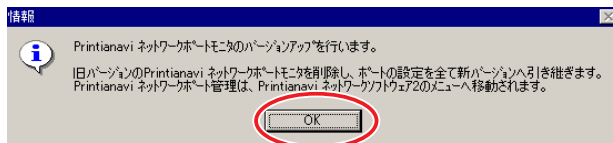
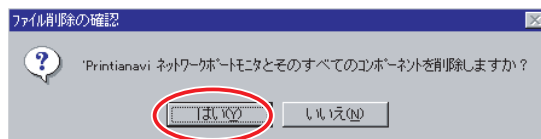
参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったときは、
「第 17 章　困ったときは」（369 ページ）参照

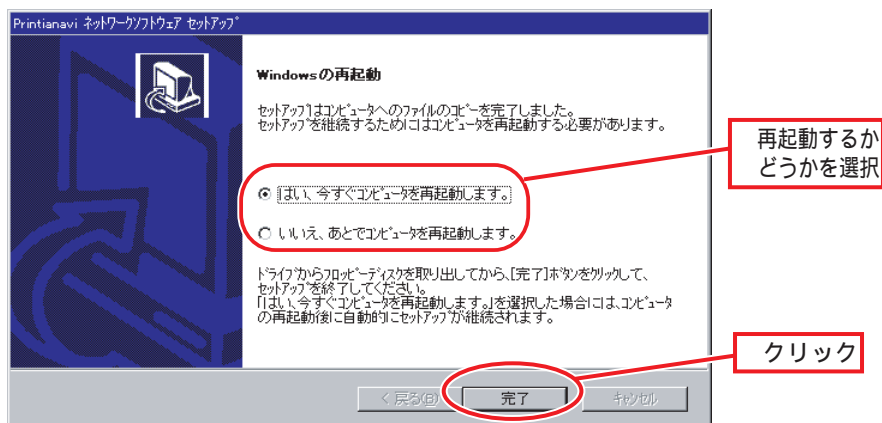
●カスタム

ユーザがインストールするコンポーネントを選べるモードです。

1 インストールしたいコンポーネントを☑にし、［次へ］をクリックする

2 プログラムフォルダを指定し、［次へ］をクリックする

ここで指定した名前が「スタート」メニューに追加されます。
初期設定は「Printianavi\ネットワークソフトウェア 2」です。

ガイド

・V5.1 以前の Printianavi ポートモニタと置き換える場合は、次のダイアログが表示されるので、[OK] をクリックします。

・V5.1 で設定されたポートの情報は引き継がれます。
・Printianavi ネットワークポートモニタ V3.1 以前と置き換える場合は、次のダイアログが表示されるので、[はい] をクリックします。

・[Printianavi ネットワークポート管理] は、❶で設定したフォルダに移動されます。

❸ V7.1 以前の Printianavi ポートモニタを削除した場合は、Windows を再起動する

すぐに再起動するかどうかを選択し、[完了] をクリックします。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択すると、Windows を再起動後、❸の処理から自動的に再開されます。(*1)
「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールを終了します。
なお、再起動せずにインストールしたソフトウェアを使用しても正しく動作しないことがあります。ソフトウェアを使用する前に必ず再起動してください。

*1：Windows 再起動後ポートの追加ダイアログが他のダイアログの後ろに隠れている場合があります。この場合は、タスクバーに表示されている「Printianavi ネットワークソフトウェア 2」をクリックしてください。

❶の「インストールしたいコンポーネントの選択」によってこの先の処理は変わります。選択に合わせた手順へ進んでください。

参照　「Printianavi ネットワークマネージャ」を選択している場合は、「一般ユーザ向け/プリンタ管理者向け」の❸ （318 ページ）へ

参照　「Printianavi ネットワークポートモニタ」を選択していない場合「一般ユーザ向け/プリンタ管理者向け」の❺へ（319 ページ）

ガイド

Printianavi ネットワークポートモニタを選択すると、ポートの追加およびプリンタの追加処理ダイアログが表示されます。選択していない場合は、プリンタドライバのインストールに進みます。

14.1.2 コンポーネントの追加、削除

一度インストールしたネットワークソフトウェアのコンポーネントのインストール内容を変更したり、再セットアップをする場合、本ソフトウェアを起動すると変更、修正、削除選択ダイアログが表示されます。

ガイド

この機能はプリンタドライバの削除は行いません。

参照　プリンタドライバの削除については、
「プリンタドライバの削除」（201 ページ）参照

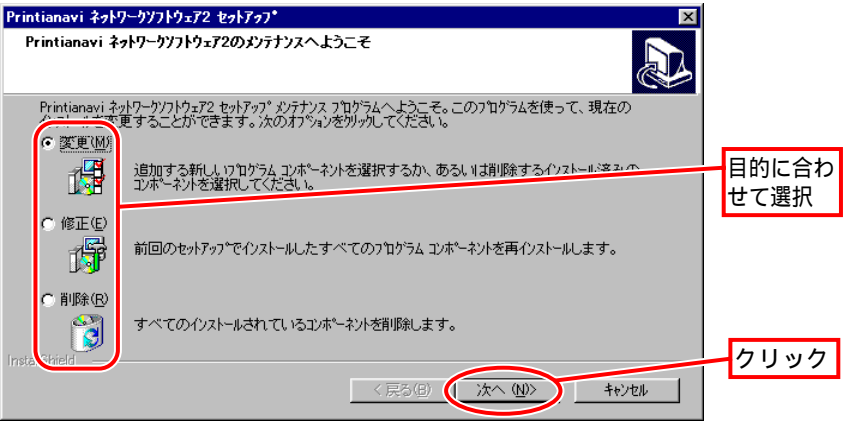
1 Printianavi ネットワークソフトウェア 2 を起動する

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 のとき

［スタート］-［プログラム］-［Printianavi］-［ネットワークソフトウェア2］-［セットアップ］の順に選択します。

Windows XP/Windows Server 2003 のとき

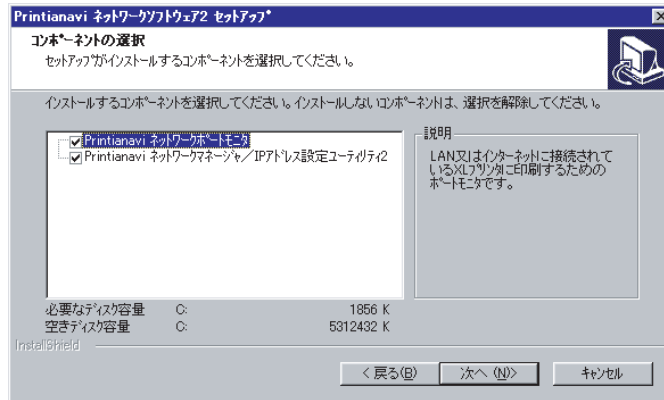
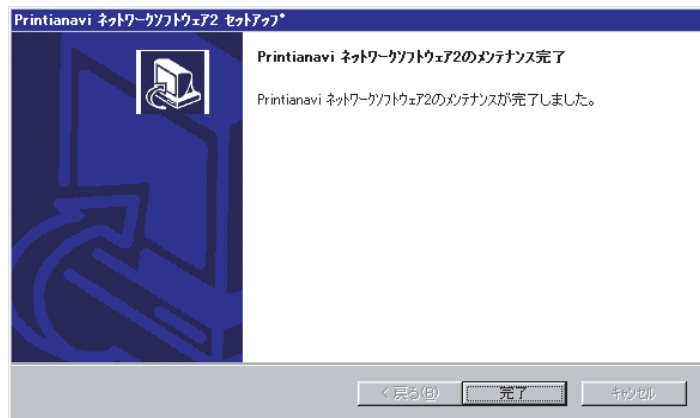
［スタート］-［すべてのプログラム］-［Printianavi］-［ネットワークソフトウェア2］-［セットアップ］の順に選択します。

2 目的に合わせて選択し［次へ］をクリックする

変更	コンポーネントの追加、インストール済みのコンポーネントの削除をしたい場合
修正	現在インストールされているすべてのコンポーネントを再インストールしたい場合
削除	インストールしたすべてのコンポーネントを削除したい場合

(1)　変更を選択した場合

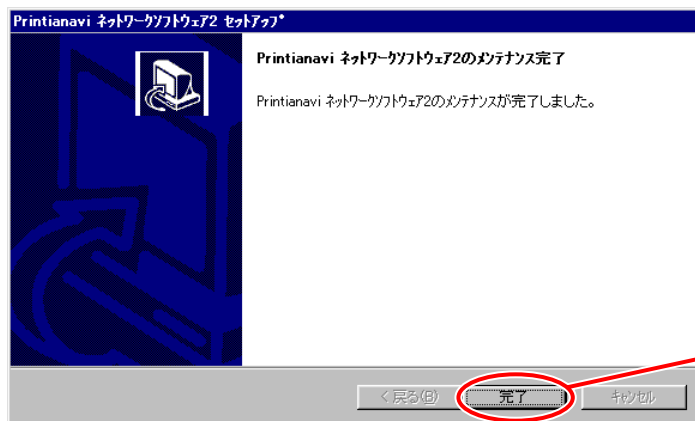
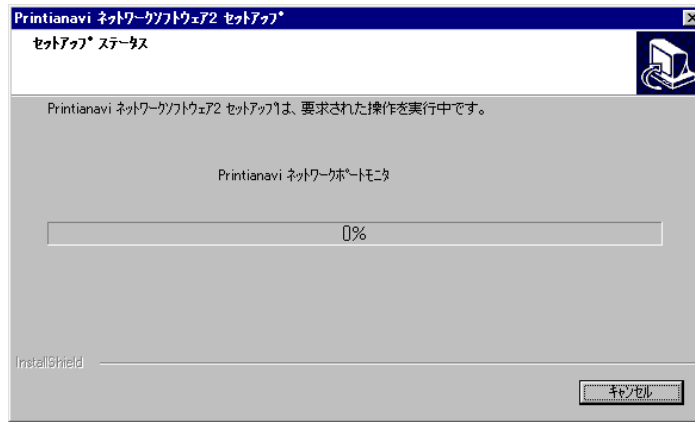
コンポーネントを追加する、またはインストールされているコンポーネントを削除します。

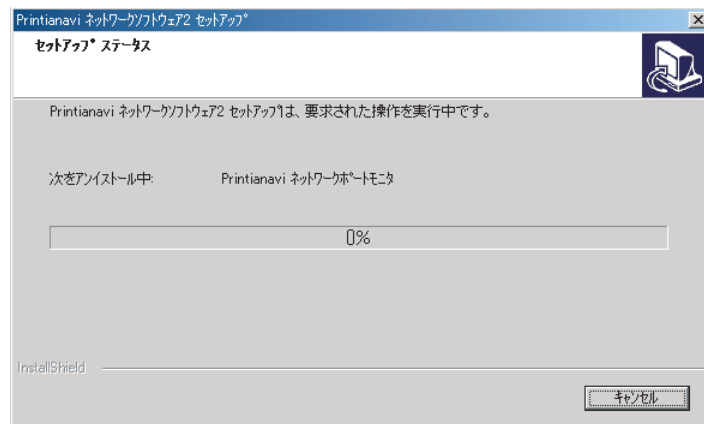
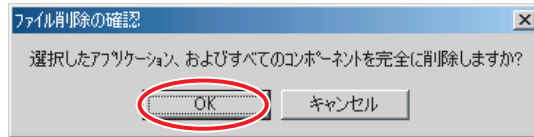
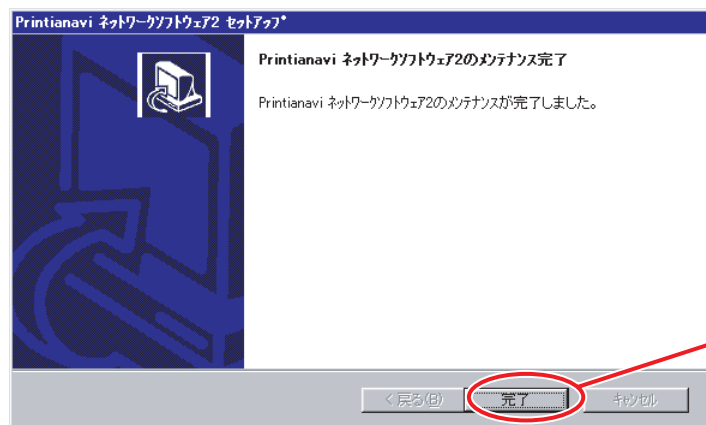
1 必要なコンポーネントを☑にし、削除したいコンポーネントは☐にし、［次へ］をクリックする

参照　「新規インストール」の「カスタム」（321 ページ）参照

ダイアログの指示に従って進めてください。

ガイド

プリンタと関連付けられている Printianavi ネットワークポートモニタがあるとコンポーネントを削除できません。プリンタの接続先ポートを変更し、処理を継続してください。

(2)　修正を選択した場合

現在インストールされているすべてのコンポーネントを再インストールします。
ダイアログの指示に従って進めてください。

(3)　削除を選択した場合

現在インストールされているすべてのコンポーネントを削除します。

削除を行うと、「スタート」メニューの登録も削除されます。

ガイド

プリンタと関連付けられている Printianavi ネットワークポートモニタがあるとコンポーネントを削除できません。プリンタの接続先ポートを変更し、処理を継続してください。

14.2 ポートの追加

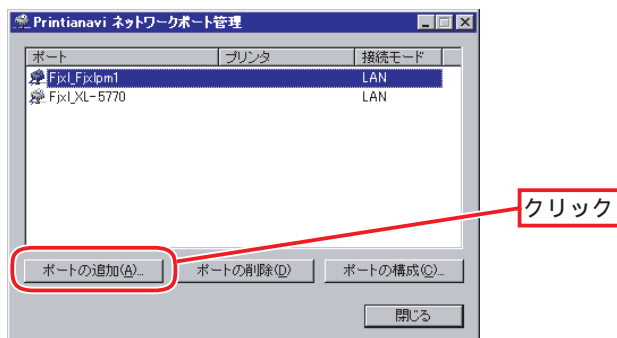
ここでは、ネットワークポートの追加方法について説明します。
ネットワークポートには、LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷する「LAN ポート」とインターネットに接続されたプリンタに印刷する「IPP ポート」があります。
下記の方法でポートの追加を行ってください。

1 Windows を起動する

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンします。

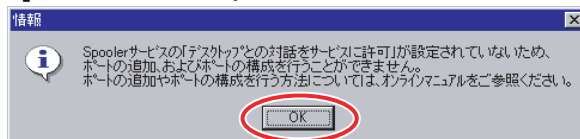
2 ［スタート］－［プログラム］－［Printianavi］－［ネットワークソフトウェア 2］－［Printianavi ネットワークポート管理］の順に選択する

「Printianavi ネットワークポート管理」が起動します。

3 ［ポートの追加］をクリックする

参照　LAN（TCP/IP）に接続して印刷するときは、
「LAN ポートの追加」（329 ページ）参照

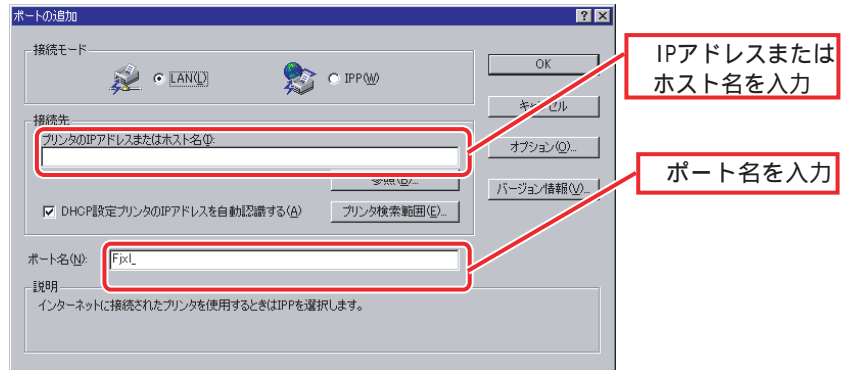
参照　インターネットに接続されたプリンタに印刷するときは、
「IPP ポートの追加」（335 ページ）参照

ガイド

Windows NT4.0 で Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを□にしている場合、以下のメッセージが表示されます。
［OK］をクリックします。

Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを☑にし、必要な操作を行った後、再度ポートの追加を行ってください。

参照　Spooler サービスの設定方法は
「ポートが追加できない」の〈対処〉（418 ページ）参照

14.2.1 LAN ポートの追加

LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷を行うときの設定について説明します。

1 接続先、ポート名を設定し［OK］をクリックする

①IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。（各 XXX は 0〜255 の範囲の半角数字）
ホスト名はネットワーク上で定義されているプリンタのホスト名を指定します。（最大 255 バイト文字）

②システムに登録する任意のポート名を日本語/半角英数字を含め、63 バイト文字または全角 31 文字以内で指定します。

ガイド

ポート名を指定しなかった場合は、IP アドレスまたはホスト名入力域の設定情報の先頭に「Fjxl_」を付加したものをポート名として自動生成します。

●ネットワーク上にあるプリンタの一覧を表示する

［ポートの追加］ダイアログで IP アドレスを設定する際、［参照］をクリックすると、ネットワーク上に接続されている XL プリンタ装置を、［プリンタの一覧］に表示することができます。
設定したい IP アドレスを選択して［OK］をクリックすると、「接続先」に反映することができます。

●プリンタとの通信に必要な情報を設定する

プリンタとの通信に必要な情報を設定する必要がある場合は、[ポートの追加] ダイアログで [オプション] をクリックし、必要箇所を入力し [OK] をクリックします。

①	DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する	☑にすると、接続先プリンタの DHCP 自動取得の設定にあわせて IP アドレスで通信するか MAC アドレスが一致したプリンタと通信するかを自動判別します。 DHCP 自動取得＝設定のとき 　MAC アドレスが一致するプリンタと通信します。 　DHCP による動的な IP アドレス割り当てによりプリンタの IP アドレスが変更されても、前回通信したプリンタを検索し、自動的に新しい IP アドレスで通信します。 DHCP 自動取得＝解除のとき 　MAC アドレスの一致/不一致にかかわらず、接続先で指定した IP アドレスで通信します。 ☐にすると、つねに接続先で指定した IP アドレスで通信します。通常は☑にしたままで問題ありませんが、DHCP サーバからプリンタに割り当てる IP アドレスを固定した場合に、MAC アドレスの一致/不一致にかかわらず、接続先で指定した IP アドレスで通信したいときは☐にしてください。 なお、DHCP サーバからプリンタに割り当てる IP アドレスを固定していない場合は、☐にしないでください。
②	プリンタ検索範囲	ネットワークに接続された XL プリンタの検索範囲を指定するダイアログを表示します。
③	ポート番号	プリンタとの通信で使用するポート番号を指定します。 通常は、初期設定の 9313 のままにします。 変更する場合は、プリンタ側の設定（印刷ポート番号）と同じ値にしてください。
④	プリンタタイムアウト監視時間	プリンタからの応答を待ち合わせる時間を 60～7200 秒の範囲で設定します。 初期設定は 300 秒です。
⑤	標準に戻す	このダイアログの値を初期設定に戻します。初期設定は以下のとおりです。 ・ポート番号：9313 ・プリンタタイムアウト監視時間：300 秒

ガイド

・ポートの作成時（または変更時）に接続先の IP アドレス（またはホスト名）を［参照］から指定せず直接入力し、一度も通信を行っていない場合は、プリンタ側の設定が取得できないため、初回通信時は入力された IP アドレス（またはホスト名）で接続します。

・「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」のチェックを☑にしているとき、プリンタの DHCP 自動取得の設定が前回通信から変更されていた場合は通信後、次回接続時から変更された設定に従って動作します。

例）前回接続したときは「DHCP 自動取得＝解除」だったが、今回接続した結果「DHCP 自動取得＝設定」になっていた場合

1　前回の通信結果から、IP アドレスで接続します。
2　IP アドレスで接続したプリンタと通信（印刷）します。
3　「2」で接続したプリンタの MAC アドレスを記録します。
4　次回接続プリンタが「DHCP 自動取得＝設定」のとき
→MAC アドレスが一致するプリンタに接続します。
次回接続プリンタが「DHCP 自動取得＝解除」のとき
→IP アドレスで接続します。

通常の運用では問題ありませんが、プリンタの交換や他部署や他のグループに移動する場合に注意が必要です。

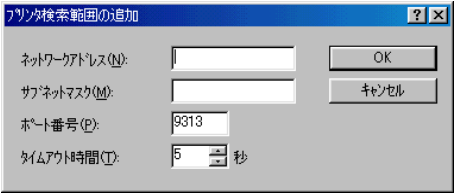
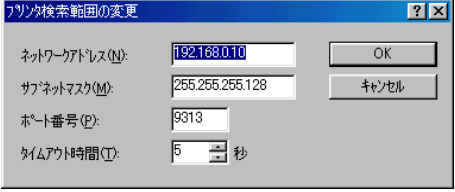
参照　「プリンタを交換、または設置場所を変更する場合の注意事項」（196 ページ）参照

・「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」より「ポートの追加」を行った場合は、プリンタの追加処理ダイアログにて「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、「LAN ポートの追加」で設定した LAN ポートを指定してプリンタドライバをインストールします。
「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」の途中の場合は、8 に進んでください。

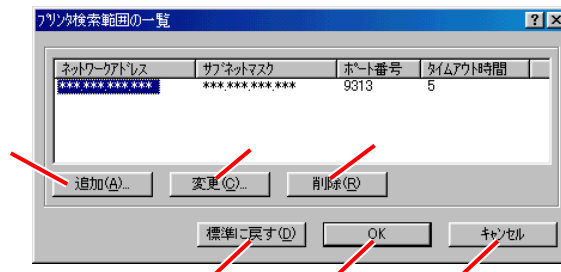
●ポート名を変更する

「ポート名」には初期設定として「Fjxl_」＋「プリンタの IP アドレスまたはホスト名」が設定されます。
必要に応じて変更してください。（日本語/英数を含め半角 63 文字または全角 31 文字以内）

ガイド

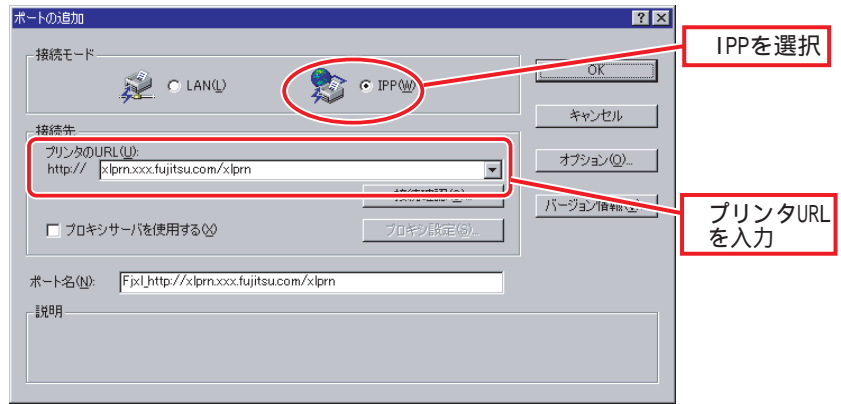
- バックスラッシュ、円記号(\)、カンマ(,)記号が含まれるものおよび先頭が半角空白である文字列をポート名として指定することはできません。
- Windows 95/98/Me の場合、すでに作成したポート名が含まれる文字列（「Fjxl_ipp1」があるとき、「Fjxl_ipp」や「Fjxl_ipp11」など）をポート名として指定することはできません。

●プリンタの検索範囲を設定する

ネットワークに接続されているプリンタを検索するための条件（検索範囲）を設定することができます。検索範囲を指定するダイアログを表示させるには、次のいずれかの操作を行います。

- ［ポートの追加］の［参照］をクリックして［プリンタの一覧］ダイアログを表示し、［プリンタ検索範囲］をクリックする
- ［オプション］をクリックして［オプション］ダイアログを表示し、［プリンタ検索範囲］をクリックする

①	［追加］ボタン	検索範囲を追加します。 このボタンをクリックすると、次のダイアログが表示されます。 プリンタ検索範囲の追加 ネットワークアドレス(N): サブネットマスク(M): ポート番号(P): 9313 タイムアウト時間(T): 5 秒 OK　キャンセル 各項目を設定して［OK］をクリックすると、設定した内容が、［プリンタ検索範囲の一覧］ダイアログに追加されます。
②	［変更］ボタン	検索範囲の内容を変更します。 このボタンをクリックすると、次のダイアログが表示されます。 プリンタ検索範囲の変更 ネットワークアドレス(N): 192.168.0.10 サブネットマスク(M): 255.255.255.128 ポート番号(P): 9313 タイムアウト時間(T): 5 秒 OK　キャンセル 変更内容を入力して［OK］をクリックすると、設定した内容が［プリンタ検索範囲の一覧］ダイアログに反映されます。

③	［削除］ボタン	登録されている検索範囲を削除します。 一覧から削除する検索範囲を選択してこのボタンをクリックします。ただし、***.***.***.***は削除できません（設定するパソコンと同一のネットワークセグメント（検索範囲）であるため)。
④	［標準に戻す］ボタン	一覧に表示されている情報をすべて削除し、初期設定を表示します。 初期設定： ・ネットワークアドレス ***.***.***.***(*1) ・サブネットマスク ***.***.***.***(*1) ・ポート番号 9313 ・タイムアウト時間 5 秒 *1：設定するパソコンと同一ネットワークセグメント（検索範囲）です。
⑤	［OK］ボタン	設定した内容をシステムに反映し、［プリンタ検索範囲の一覧］ダイアログを閉じます。
⑥	［キャンセル］ボタン	設定した内容を無効にし、［プリンタ検索範囲の一覧］ダイアログを閉じます。

14.2.2 IPP ポートの追加

1 「IPP」を選択し、プリンタの URL を入力して［OK］をクリックする

参照　「プリンタの URL 設定（IPP のみ）」（145 ページ）参照

ガイド

プリンタの URL は、次の方法で確認することができます。（プリンタに設定済みの場合のみ）

- Printia LASER Internet Service の［ネットワーク情報］［基本情報］を参照する
- プリンタを設置する際に印刷する「設定の印刷」を参照する
- Printianavi ネットワークマネージャの［詳細画面の表示］、［基本情報］を参照する

［ポートの追加］ダイアログでは、必要に応じて次の設定を行います。

●プロキシサーバの設定をする

プリンタとの接続にプロキシサーバを使用する場合は、「プロキシサーバを使用する」を☑にし、[プロキシ設定]をクリックします。[プロキシ設定]ダイアログで、プロキシサーバの設定を行ってください。

①	プロキシサーバのアドレス	プロキシサーバの IP アドレス、またはネットワーク上のホスト名を入力します。
②	プロキシサーバのポート番号	プロキシサーバのポート番号を入力します。
③	継続通信モードを有効にする	プロキシサーバによっては、継続通信モードにすると正しく印刷できない場合があります。プリンタの接続を確認できているのに印刷時に通信エラーとなる、印刷データがプリンタに通信されないなどの現象が発生するときは、☐にすると正常に印刷できることがあります。
④	標準として設定	現在入力されている設定値を標準にする場合、クリックします。
⑤	標準に戻す	［標準として設定］に設定した値に戻します。初期設定が設定されていない場合は、空欄に戻します。

●ポート名を変更する

「ポート名」には、初期設定として「Fjxl_http://」＋「プリンタの URL」が設定されます。
必要に応じて変更してください。（日本語/英数を含め半角 63 文字または全角 31 文字以内）

ガイド

- バックスラッシュ、円記号(\)、カンマ(,)記号が含まれるものおよび先頭が半角空白である文字列をポート名として指定することはできません。
- Windows 95/98/Me の場合、すでに作成したポート名が含まれる文字列（「Fjxl_ipp1」があるとき、「Fjxl_ipp」や「Fjxl_ipp11」など）をポート名として指定することはできません。

●オプションの設定をする

［オプション］をクリックすると、［オプション］ダイアログが表示されます。

①	プリンタタイムアウト監視時間	プリンタからの応答を待ち合わせる監視時間を、60〜7200 秒の範囲で設定します。ここで指定した時間プリンタから何も応答がないときは、ネットワークが切断されているとみなし、エラーを通知します。

ガイド

「ネットワークソフトウェアのインストール」より「ポートの追加」を行った場合は、［プリンタの追加］ダイアログで「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、「IPP ポートの追加」で設定した IPP ポートを指定してプリンタドライバをインストールします。
以降の操作は、「第 6 章 ネットワークを利用してプリンタを接続する」の「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」を参照してください。

プリンタドライバのインストールについては、
「第 5 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（97 ページ）参照
「第 6 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（125 ページ）参照

（1）　接続の確認

ポートの追加またはポートの設定ダイアログでは、IPP ポートの接続を確認することができます。

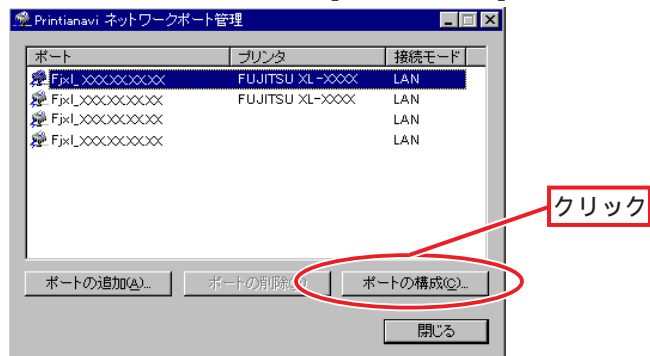
ガイド

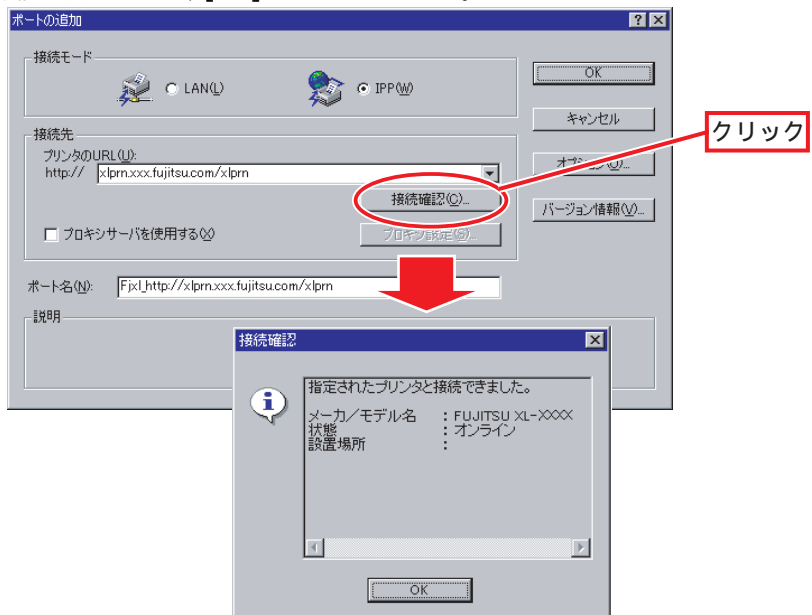
あらかじめプリンタをネットワークに接続し、電源を入れておいてください。
ポートの追加ダイアログ終了後に確認を行うには、ポートの設定ダイアログを次の手順で表示してください。

1 Windows を起動する

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンします。

2 ［スタート］ — ［プログラム］ — ［Printianavi］ — ［ネットワークソフトウェア 2］ — ［Printianavi ネットワークポート管理］ の順に選択する

3 確認を行うポートを選択し、［ポートの構成］をクリックする

4 ［接続確認］をクリックする

プリンタと正常に接続されると、「指定されたプリンタと接続できました」と表示されます。

確認が終わったら、［OK］をクリックします。

ガイド

接続の確認で指定されたプリンタと接続できない場合は、次の点を確認してください。

・指定したプリンタの URL が間違っていませんか

・プロキシサーバの設定が間違っていませんか

・プリンタの電源が投入されていますか

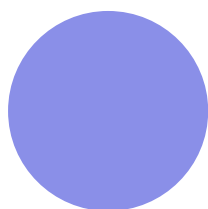
お願い

IPP での印刷を行う場合は、次の点にご注意ください。

XL シリーズ以外の IPP 対応プリンタで接続確認が行える場合でも印刷は保証されません。

Printianavi ネットワークポートモニタでの IPP 印刷は、XL シリーズの IPP 対応プリンタへ印刷するときのみご使用ください。

第 15 章

日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

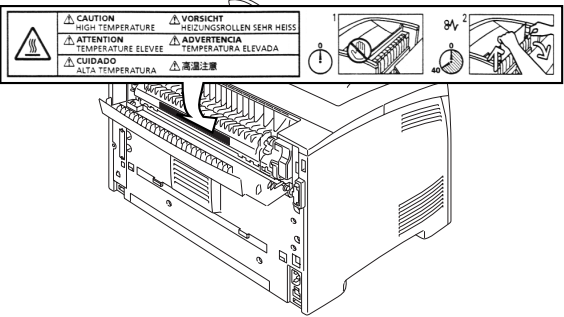
15.1 プロセスカートリッジの交換と使用上のご注意

プロセスカートリッジの交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

15.1.1 プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ１本あたりの目安として、LB315A の場合 A4 サイズの用紙で約 6000 枚、LB315B の場合 A4 サイズの用紙で約 10000 枚の印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この表示がでたら、プロセスカートリッジを取り外し、新しいプロセスカートリッジと交換します

参照　「プロセスカートリッジの取り外し」（342 ページ）参照

参照　「プロセスカートリッジの取り付け」（52 ページ）参照

参照　プロセスカートリッジに関する詳細は、「サプライ品一覧」（432 ページ）参照

⚠ 警告

破　裂	プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。 使用済みのプロセスカートリッジは、無償回収サービスをご利用ください。 参照　「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（457 ページ）参照
誤　飲	・トナーは目や口に入らないように注意してください。 プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。 ・プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
け　が	上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。 上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

⚠ 注意		
	故　障	プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。
	やけど	プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。 警告ラベル CAUTION HIGH TEMPERATURE / VORSICHT HEIZUNGSROLLEN SEHR HEISS / ATTENTION TEMPERATURE ELEVEE / ADVERTENCIA TEMPERATURA ELEVADA / CUIDADO ALTA TEMPERATURA / 高温注意

(1)　プロセスカートリッジ交換時のお願い

プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。

・直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも５分以上は放置しないでください。

・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。

・立てたり、裏返しにして置かないでください。

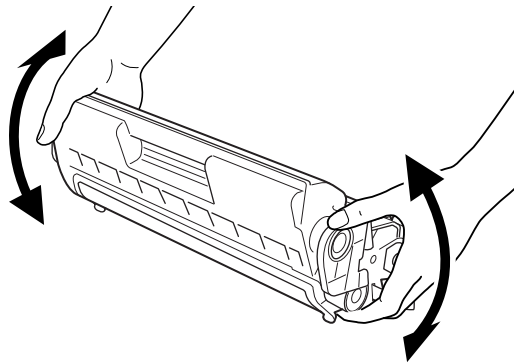
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。

・常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。

・装置の故障を防ぐため、本プリンタ専用品以外のプロセスカートリッジをセットすると、次のようなエラーメッセージが表示される場合があります。純正品のプロセスカートリッジに交換してください。

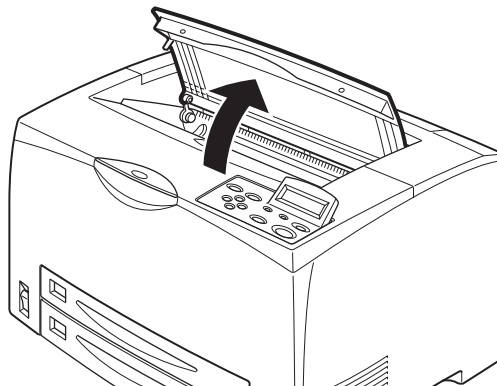
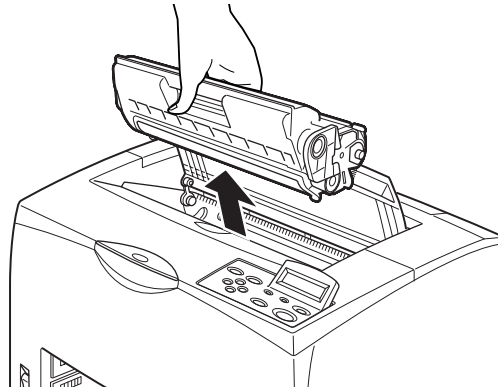
カートリッジ゛　イジ゛ョウ
ＥＰカートリッジ゛　カクニン

(2)　プロセスカートリッジの交換に関する留意事項

- プロセスカートリッジの保管期限は約２年間です。お買い上げ後は２年以内にご使用ください。
- プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っているために、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
- プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
  - 縦のカスレや部分的なカスレがある場合
    プロセスカートリッジを図のように取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき

  - 不鮮明な印刷状態が発生した場合
    適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

(3)　プロセスカートリッジの取り外し

次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り外します。

プリンタの上部カバーを開く

プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる

ガイド

- トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、弊社の回収サービスをご利用ください。

「プロセスカートリッジの取り付け」にしたがって、新しいプロセスカートリッジを取り付けます。

参照　「プロセスカートリッジの取り付け」（52 ページ）参照

●使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。

下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

　フリーダイヤル：0120-30-0693

　　平日 8:40〜12:00 および 13:00〜17:30

　　（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

15.1.2 プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

(1)　取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

・直射日光や強い光(約 1500 ルクス以上)に当てないでください。

・室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを５分以上放置しないでください。

・プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。

・寒いところから暖かいところに移動した場合は、１時間以上室温に慣らしてから使用してください。

・立てたり、裏返しにして置かないでください。

・トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。

・トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。

・感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。

(2)　保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。

・直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
　温度範囲　０～35℃、湿度範囲　15～80%RH（ただし、結露のないこと）

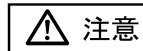
・高温多湿になる場所には置かないでください。

・立てたり、裏返しにして置かないでください。

・CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。

・幼児の手の届かないところに保管してください。

15.2 プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約１か月に１回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠ 注意

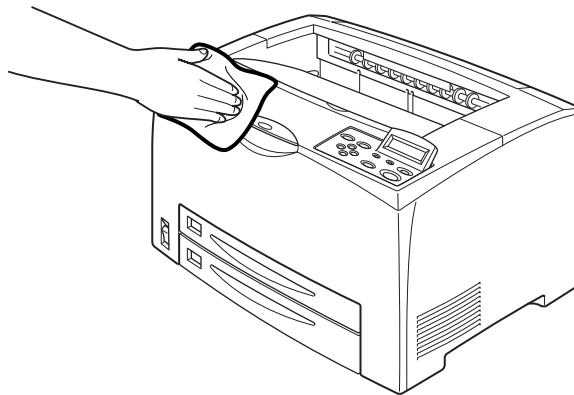
やけど	プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感　電	電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。

- プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10 分位たって内部の温度が下がってから作業してください。
- 水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。
- 油をさす必要はありません。注油はしないでください。

15.2.1 プリンタ外部の清掃

カバー表面の汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布で拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で拭きます。

15.2.2 プリンタ内部の清掃

プリンタ内部の清掃方法を、清掃場所ごとに説明します。

●内部の点検

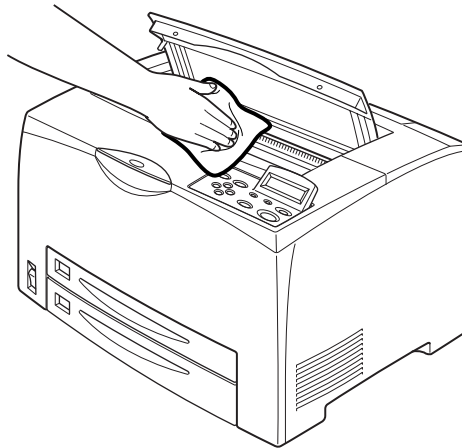
紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

参照　「プロセスカートリッジの取り外し」（342 ページ）参照

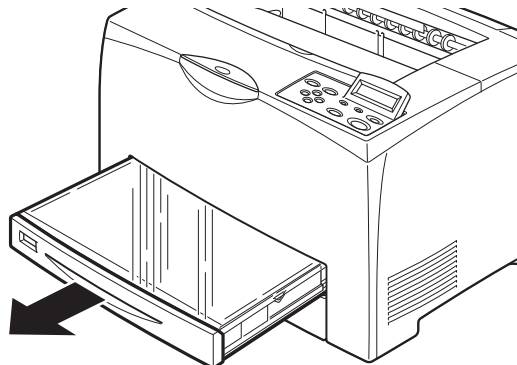
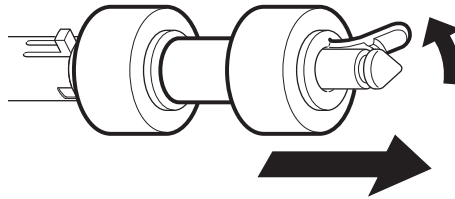
1. プリンタの上部カバーを開く

2. プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる

・紙片が残っていれば取り除きます。

・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

●紙送りローラの清掃

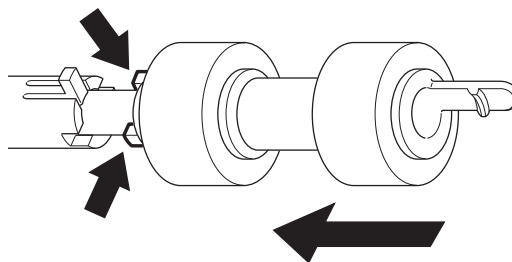
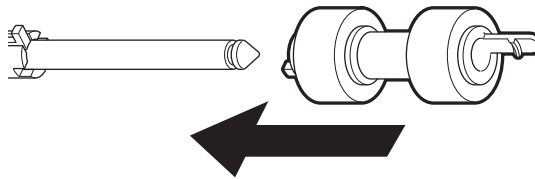
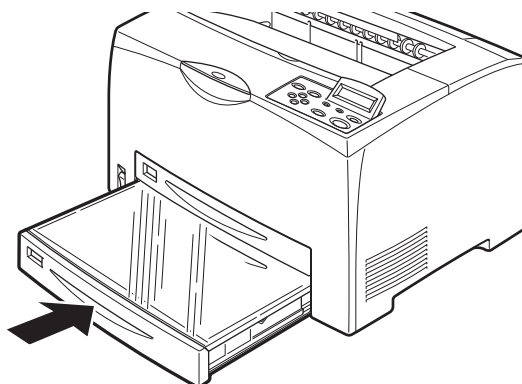
年賀はがきやかもめーるなど、絵入り官製はがきに印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。プロセスカートリッジを取り外し、紙送りローラ（ゴムローラ（２個））を清掃してください。

1. カセットをプリンタから引き抜く

2 紙送りローラのツメを広げて（①）、紙送りローラを給紙カセットの軸からゆっくり取り外す（②）。

3 水でぬらして硬く絞った柔らかい布で、紙送りローラのゴムの部分をていねいに拭く

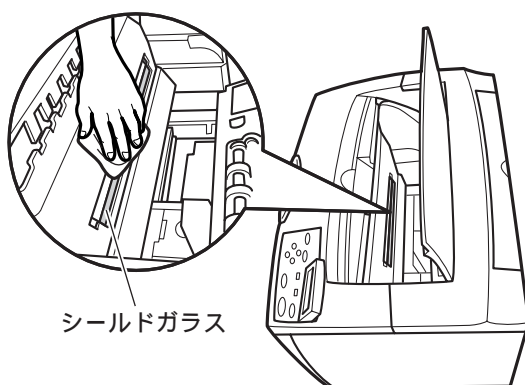
お願い

水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

4 紙送りローラのツメを左側にして、カセットの軸にゆっくりと差し込む

紙送りローラの溝を軸の溝に合わせるようにして、紙送りローラをしっかり奥まで差し込み、ツメを軸の溝に合あわせます。

5 カセットをプリンタの奥に突き当たるまでしっかり押し込む

●シールドガラスの清掃

シールドガラスが汚れていると、レーザ光が遮断されて印刷がかすれることがあります。プロセスカートリッジを取り出し、シールドガラスを清掃してください。

1 金属板の下にあるシールドガラスを乾いた布でていねいに拭く

15.3 プリンタを長時間使用しないとき

１週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

警告		
	感　電	電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電の原因となる恐れがあります。
	感　電 火　災	電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき、火災・感電の原因となる恐れがあります。

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

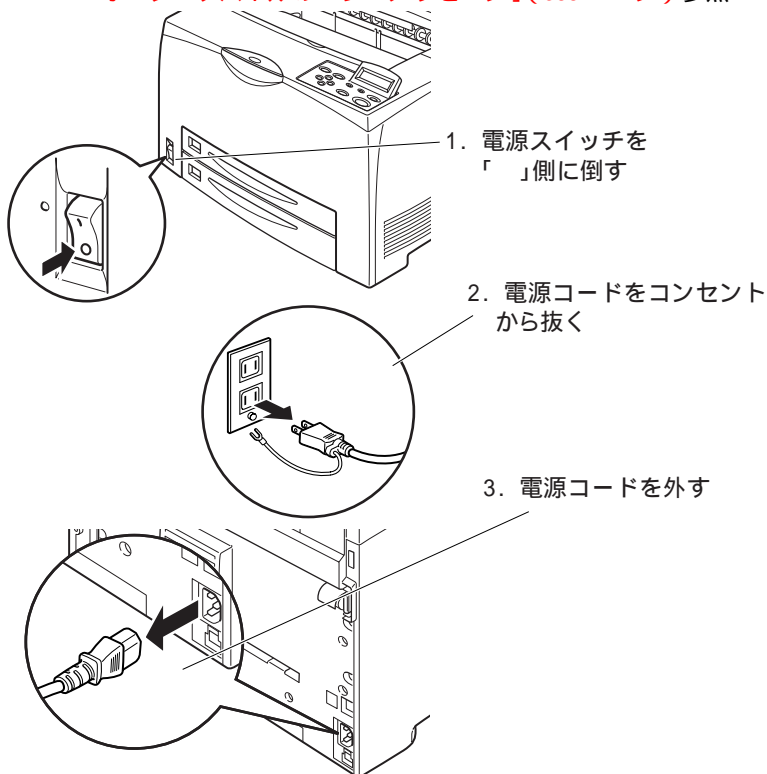
お願い

エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。

参照　「オペレータパネルのエラーメッセージ」（388 ページ）参照

1．電源スイッチを「○」側に倒す

2．電源コードをコンセントから抜く

3．電源コードを外す

2 用紙を取り出す

給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。

参照　用紙の保管については、「第 16 章　用紙について」（357 ページ）参照

15.3.1 プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠ 注意	け が	本製品は、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 20kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面（操作パネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

ガイド

拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

15.3.2 近くに移動する

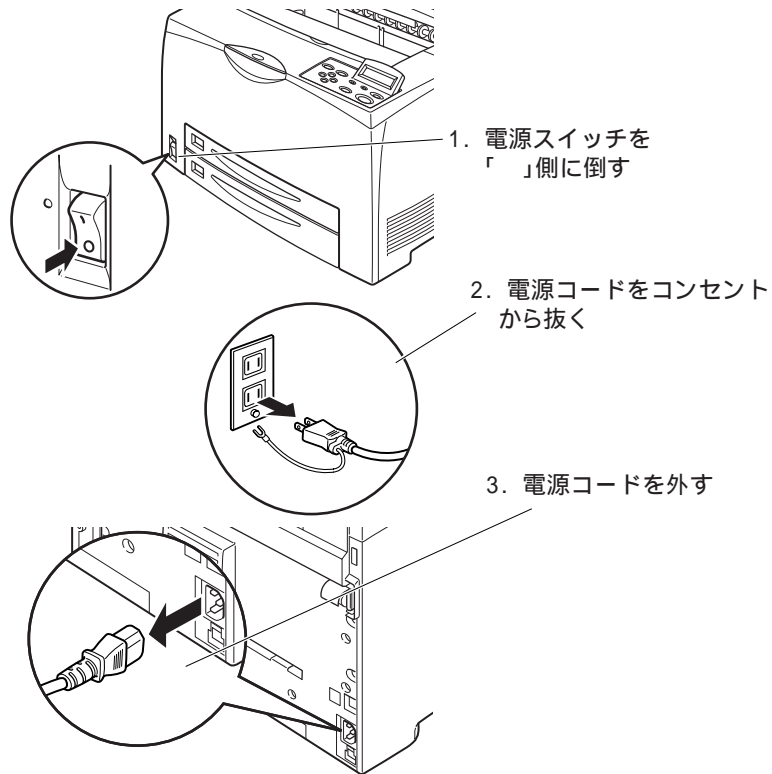
プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

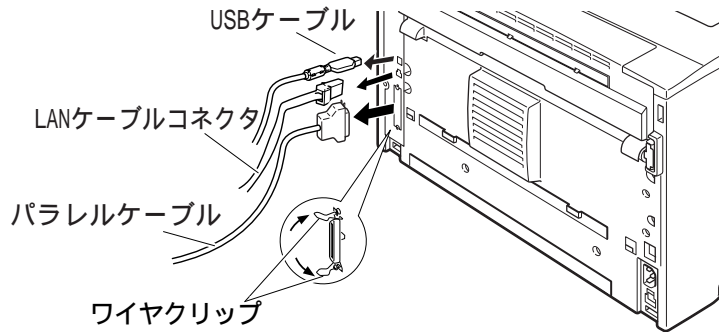
1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

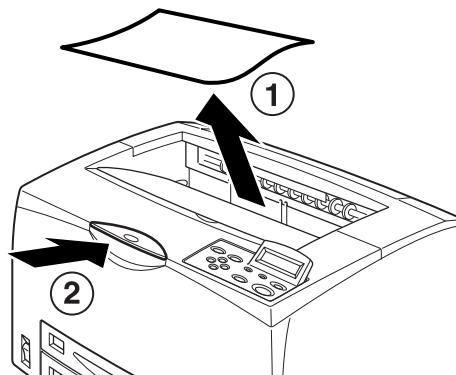
お願い

エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従って処置をしてから、電源を切ってください。

参照　「オペレータパネルのエラーメッセージ」（388 ページ）参照

ケーブルを抜く

パラレルケーブルまたは USB ケーブルを外します。また、LAN ケーブルが接続されている場合、LAN ケーブルを外します。

3 排紙トレイの用紙を取り除く

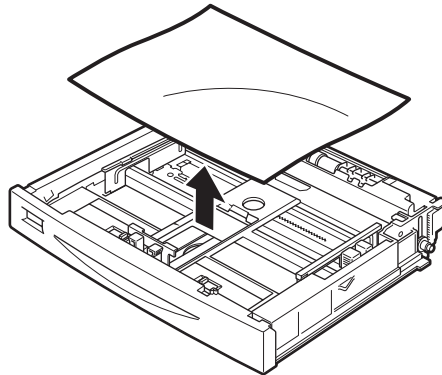
排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除き（①）、排紙延長トレイが引き出されている場合は、元に戻します（②）。

参照　用紙の保管については、「第 16 章　用紙について」（357 ページ）参照

4 MP カセットまたは給紙トレイ、給紙カセットの用紙を取り除く

MP カセットまたは給紙トレイ、給紙カセットをプリンタから引き抜き、用紙を取り除きます。

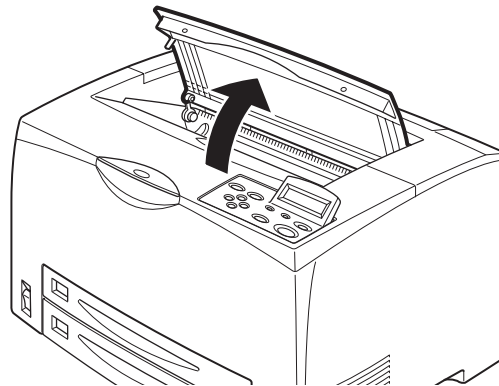
ガイド

用紙の入っている MP カセットまたは給紙トレイ、給紙カセットは重いので、注意してプリンタから抜いてください。

参照　「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照

参照　「給紙トレイを取り外す」（81 ページ）参照

5 上部カバーを開く

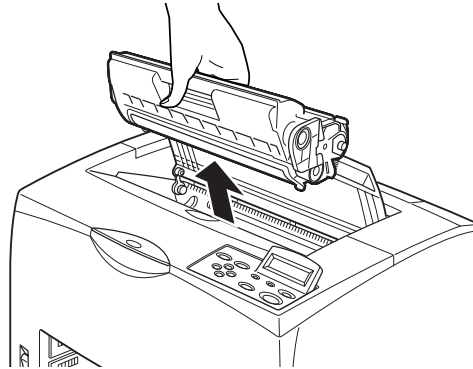
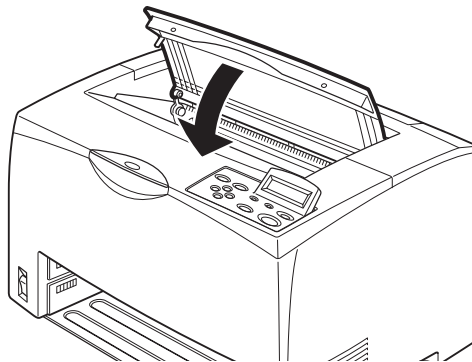
お願い

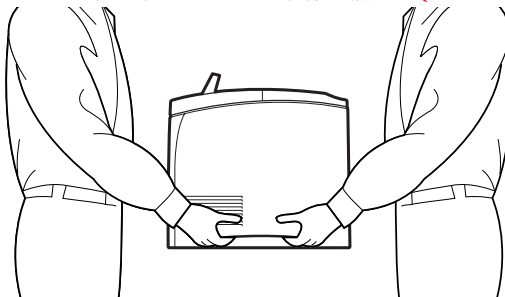
プリンタ内部の部品には、手を触れないでください。

6 プロセスカートリッジを取り外す

プリンタ内部からプロセスカートリッジを取り外します。

参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照

お願い

- プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。
- 取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないように、ビニール袋に入れるか、厚い布などに包んでください。

7 上部カバーを閉じる

8 適切な場所に、プリンタを設置し直す

参照 設置し直すときの手順については、
「第 3 章　プリンタ本体の設置」（49 ページ）参照

15.3.3 梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

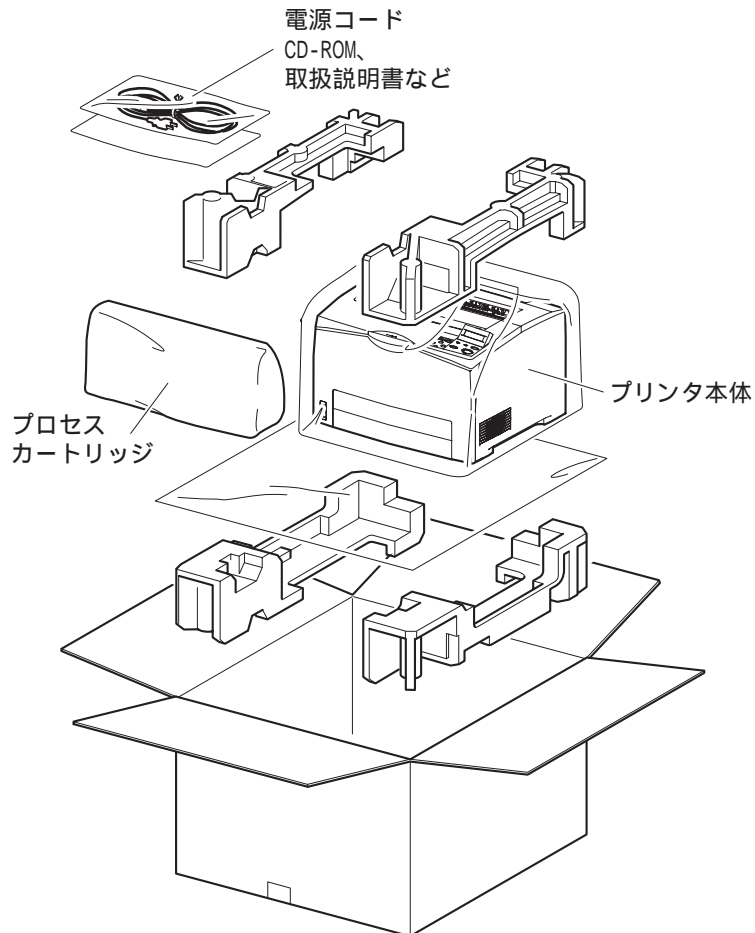
1 付属品を取り外す

「近くに移動する」の手順 1～4（351 ページ）参照

2 梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。
精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。

「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」（344 ページ）参照

- 梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
- プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。

第 16 章

用紙について

この章では、本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。

16.1　使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

16.1.1 給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙サイズの関係を次の表に示します。

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
MP カセット	普通紙（再生紙）	100×148～297×420㎜	60～90g/㎡	約 150 枚（重量 64g/㎡ の用紙の場合）
	厚紙		90～135g/㎡	横ガイドの上限線まで
	官製はがき	ハガキヨコ	190g/㎡	約 60 枚
	OHP フィルム	A4 ヨコ	—	約 100 枚
	ラベル紙	A4 ヨコ	60～135g/㎡	約 75 枚
給紙トレイ（オプション）	普通紙（再生紙）	100×148～297×420㎜	60～90g/㎡	約 100 枚（重量 64g/㎡ の用紙の場合）
	厚紙		90～135g/㎡	横ガイドの上限線まで
	官製はがき	ハガキヨコ	190g/㎡	約 50 枚
	OHP フィルム	A4 ヨコ	—	約 75 枚
	ラベル紙	A4 ヨコ	60～135g/㎡	約 75 枚
	長尺紙	幅 297（固定）×長さ 420.1～900	60～135g/㎡	一枚ずつ手でセット
給紙カセット（標準）	普通紙	A3 タテ	60～90g/㎡	約 250 枚（重量 64g/㎡ の用紙の場合）
		B4 タテ		
		A4 ヨコ		
		B5 ヨコ		
		A5 ヨコ		
		リーガルタテ		
		レターヨコ		
	厚紙	100×148～297×420㎜	90～135g/㎡	横ガイドの上限線まで
	OHP フィルム	A4 ヨコ	—	約 100 枚
	ラベル紙	A4 ヨコ	60～135g/㎡	横ガイドの上限線まで
拡張給紙ユニット（オプション）（A3/250 枚）	普通紙	A3 タテ	60～90g/㎡	約 250 枚(重量 64g/㎡の用紙の場合)
		B4 タテ		
		A4 ヨコ		
		B5 ヨコ		
		A5 ヨコ		
		リーガルタテ		
		レターヨコ		
	厚紙	100×148～297×420㎜	90～135g/㎡	横ガイドの上限線まで
拡張給紙ユニット（オプション）（A3/550 枚）	普通紙	A3 タテ	60～90g/㎡	約 550 枚(重量 64g/㎡の用紙の場合)
		B4 タテ		
		A4 ヨコ		
		B5 ヨコ		
		A5 ヨコ		
		リーガルタテ		
		レターヨコ		
	厚紙	100×148～297×420㎜	90～135g/㎡	横ガイドの上限線まで

お願い
・用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。
・はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
・官製はがき、不定形用紙は、給紙カセットからは印刷できません。MP カセットまたは給紙トレイから印刷してください。
・プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。
異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。
・長尺紙は、給紙トレイ（オプション）からのみ印刷できます。
・不定形用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。
・幅が 297㎜ 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障するおそれがあります。
・OHP フィルム、ラベル紙は拡張給紙ユニットから印刷できません。
・用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、オプションの給紙トレイをご使用ください。

16.1.2 普通紙

本製品では、PPC 用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本製品に適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。

参照　サプライ用紙の詳細は、「サプライ品一覧」（432 ページ）参照

16.1.3 プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で 190℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものをご使用ください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、ジャム、装置破損の原因となります。

お願い
・金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
・印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
- 位置精度　A4 サイズで±2㎜ 程度
- 用紙の傾き　100㎜ 当たり±1㎜ 程度
- 画像の伸縮　100㎜ 当たり±1㎜ 程度

16.1.4 長尺紙

- 縦や横に長いデータ（900㎜ の長さまで）を印刷することができます。印刷は Printia XL ドライバのみ使用可能です。
- 長尺紙は、給紙トレイ（オプション）からのみ印刷できます。

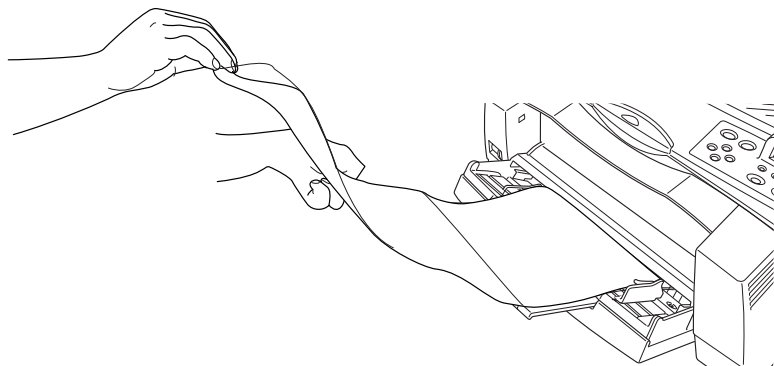
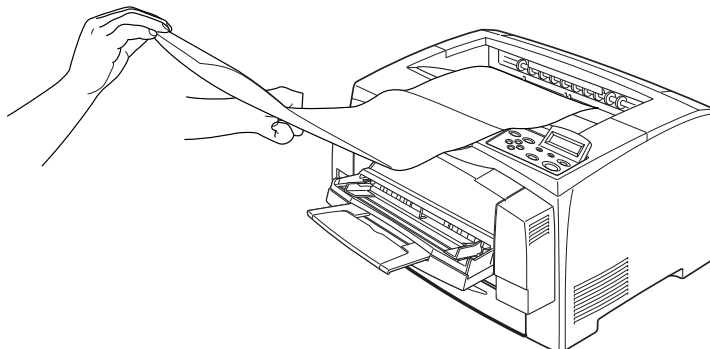
参照　給紙トレイに用紙をセットする方法は、
「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照

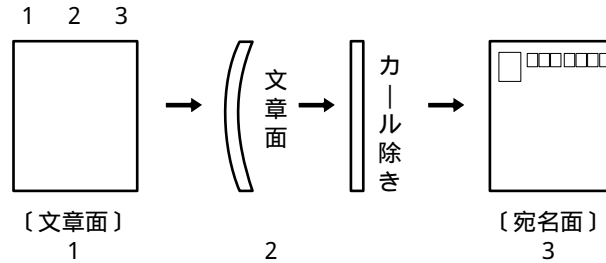
- 長尺紙は、サプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙以外を使用した場合は、シワ、印刷ずれ、定着不良、および汚れが発生することがあります。

参照　サプライ用紙の詳細は、「サプライ品一覧」（432 ページ）参照

- 長尺紙の全領域（全長）に印刷すると、印刷内容の下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）が欠けることがあります。その場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を増やして印刷してください。

お願い

- 幅が 297㎜ 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障する恐れがあります。
- アプリケーションソフトによっては長尺紙に印刷できない場合があります。
- 長尺紙に印刷する場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を十分に（10㎜ 以上）とって印刷してください。全領域（全長）に印刷すると、下端が欠けることがあります。
- 用紙サイズスイッチは「パネルで設定」に合わせてください。
- 長尺紙は、1 枚ずつセットしてください。
- 長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。

- 印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙づまりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。

16.1.5 官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください。（両面印刷機能には、対応していません。）
宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2㎜ 以内の反りになるように修正してから印刷してください。

官製はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

・印刷面を上にしてセットしてください。

・MP カセットに横長方向にセットしてください。

・ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

16.1.6 OHP フィルム

定着時の熱（約 190℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

ガイド
OHP フィルムは、MP カセット、給紙カセット（標準）および給紙トレイ（オプション）で印刷できます。

16.1.7 ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約 190℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

お願い
OHP フィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本製品に適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

16.2　使用できない用紙

以下の用紙は本製品では使用できません。

16.2.1 本プリンタで使用できない用紙

以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙

・湿っている用紙や、濡れている用紙

・一度印刷された用紙

・貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙

・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙

・カールしている用紙

・静電気で密着している用紙

・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙

・表面を加工、または特殊なコーティングをおこなった用紙（感熱紙、カーボン紙、メールシール紙など）

・オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）

・用紙の全面または大部分にあらかじめ印刷されているプレプリント用紙

・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190℃の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙

・190℃の熱で溶けたり、変質する用紙

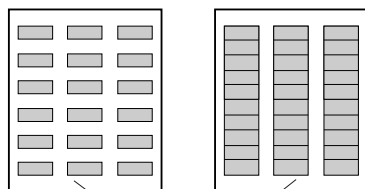
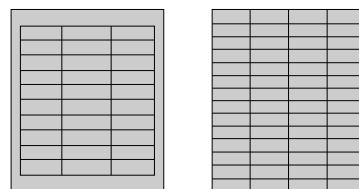
・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙

・ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙

・裁断部のバリが大きい用紙

・紙粉の多い用紙

・カラーページプリンタ用の OHP フィルム、長尺紙

・台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙

16.2.2 両面印刷で使用できない用紙

以下の用紙は両面印刷では使用できません。
厚紙（重量 90g/㎡〜135g/㎡）、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙、長尺紙

16.2.3 給紙カセットで使用できない用紙

不定形用紙および長尺紙は、プリンタ給紙カセットでは使用できません。

お願い

・不定形用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障する恐れがあります。
・プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障する恐れがあります。
・用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、オプションの給紙トレイをご使用ください。

16.3　用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。
用紙は次のような場所に保管してください。

・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
・平らなパレットの上
・温度 20℃、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。

・床の上に直接置く
・直射日光の当たる場所
・外壁の内側の近く
・段差や、曲がりのある場所
・静電気が発生するところ
・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
・長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや手差しユニットから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

ガイド
長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

16.4　用紙のセット

給紙カセットや給紙トレイに、用紙がなくなったときや、印刷したい用紙がセットされていないときは、次の手順に従って用紙をセットします。

参照 給紙カセットに用紙をセットする手順については、
「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照

参照 長尺紙に印刷するときの留意事項については、「長尺紙」（360 ページ）参照

参照 「使用できる用紙」（358 ページ）参照

参照 「使用できない用紙」（362 ページ）参照

お願い

- インクジェット用官製はがきは、特殊なコーティングが施されているため、本プリンタでは使用しないでください。
- 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、オプションの給紙トレイをご使用ください。

16.4.1 オプションの給紙トレイに用紙をセットする

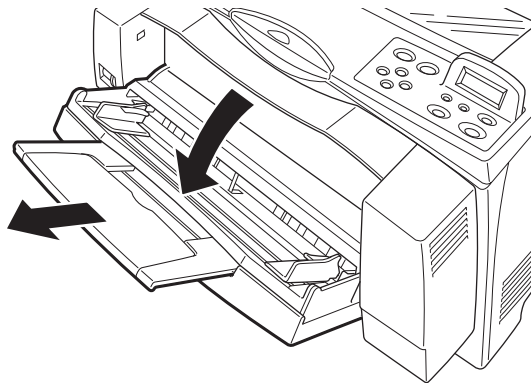
ここでは、オプションの給紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。

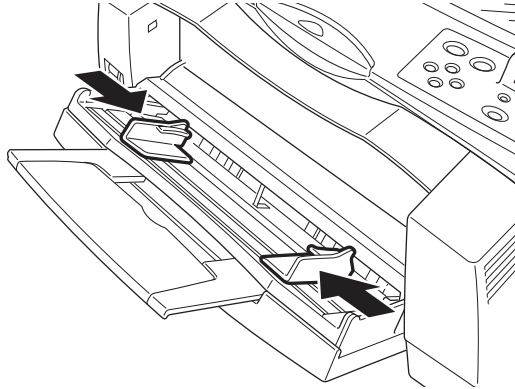
参照 給紙トレイを取り付ける方法は「給紙トレイを取り付ける」（80 ページ）参照

お願い

給紙トレイに用紙をセットする場合、電源を入れてからセットしてください。

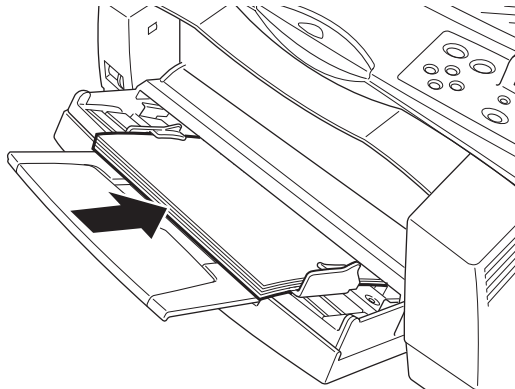
1 用紙セット部を開く（①）

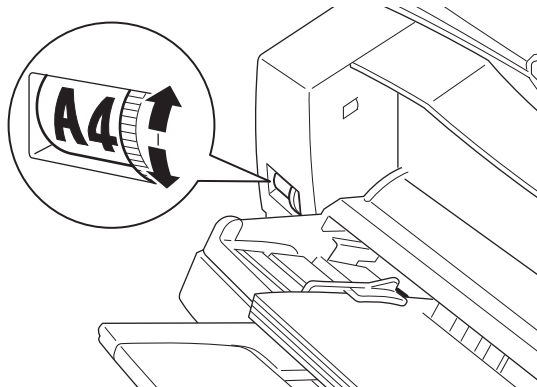
長い用紙をセットするときは、延長トレイを引き出します（②）。トレイの長さが足りないときには、さらに拡張延長トレイを開けます。

2 サイドガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせる

サイドガイドはセットする用紙の幅に正しく合わせてください。サイドガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因となることがあります。

3 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にし、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる

ガイド

・折り目やシワの入った用紙は、使用しないでください。

・最大収容枚数を超える用紙をセットしないでください。

4 給紙トレイのサイズ設定スイッチを、セットする用紙のサイズと向きに合わせる

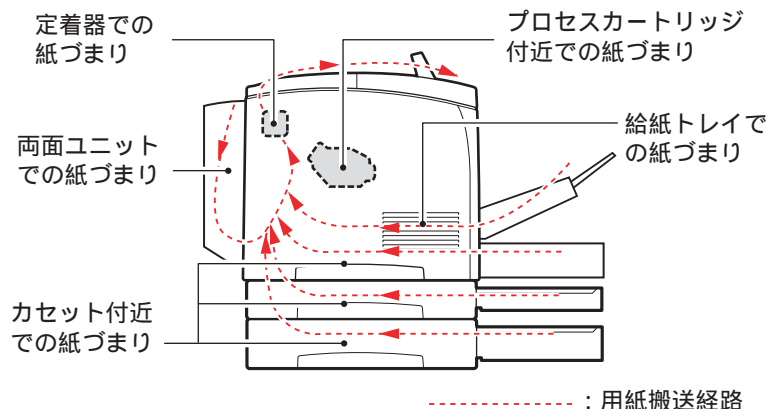
該当するサイズや向きがない場合は、サイズ設定スイッチを「パネルで設定」に合わせ、オペレータパネルで設定してください。

トラブル編

第 17 章

困ったときは

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

17.1 紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミヅマリ』と表示されます。
エラーメッセージには、紙づまりが発生した場所も表示されます。
次の要領でつまった用紙を取り除いてください。
つまった用紙をすべて取り除きカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙づまりが発生したページから印刷を再開します。

お願い

- つまった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- つまった用紙を取り除いた後に、必ず上部カバーを一度開き、内部に紙が残っていないことを確認します。その後、上部カバーを閉じてください。
- 用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。

ガイド

- プロセスカートリッジ付近に紙づまりが発生した場合、オペレータパネルに「プリンタナイブ」と表示されます。
- 定着器に紙づまりが発生した場合、オペレータパネルに「ハイシトレイ」または「プリンタナイブ」と表示されます。

⚠ 注意

け が	つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。 ・ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。 ・プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
火 災	つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。 なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、ハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。

17.1.1 紙づまりのおもな原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

・プリンタを水平に設置する

・適切な用紙を使用する

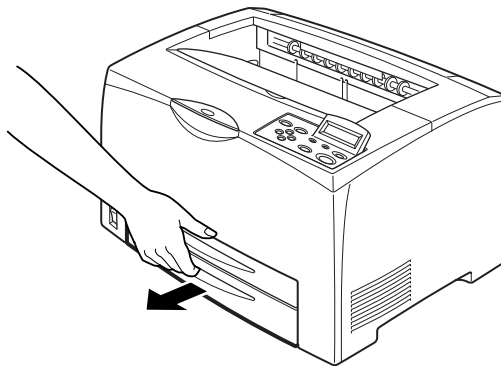
・給紙カセットや給紙ユニットに用紙を正しくセットする

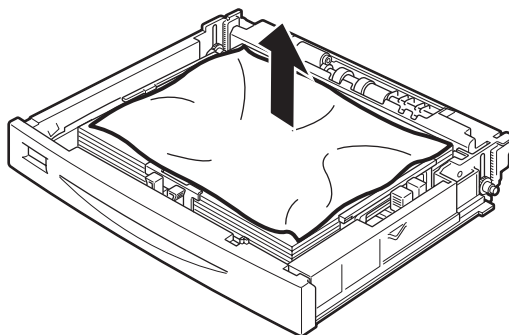
・カールしていない用紙を使用する

・給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

17.1.2 カセット付近でつまった用紙を取り除く

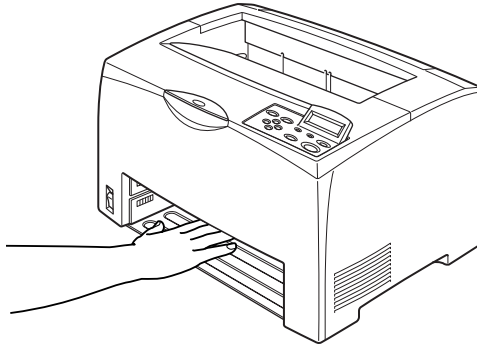
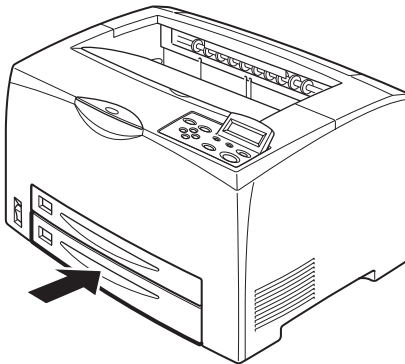
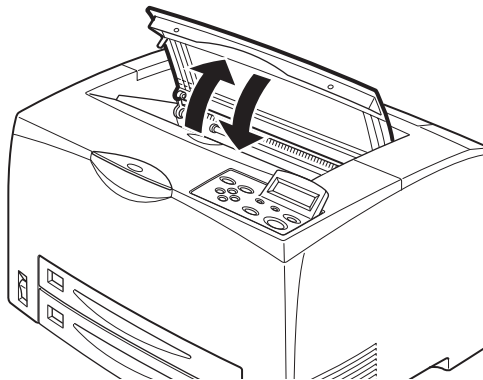
MP カセットおよび給紙カセット付近でつまった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 カセットをプリンタから引き抜く

2 カセット内にシワのある用紙があれば取り除く

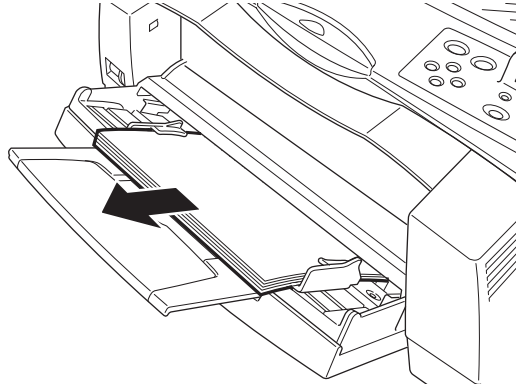
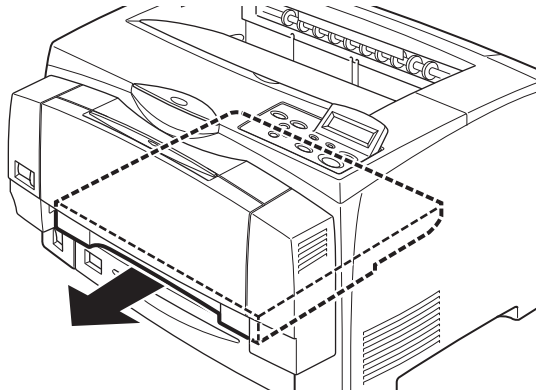
セットしてある用紙が乱れている場合は、整えてください。

3 プリンタの奥につまった用紙がないか確認する

つまった用紙はゆっくりと引き抜きます。

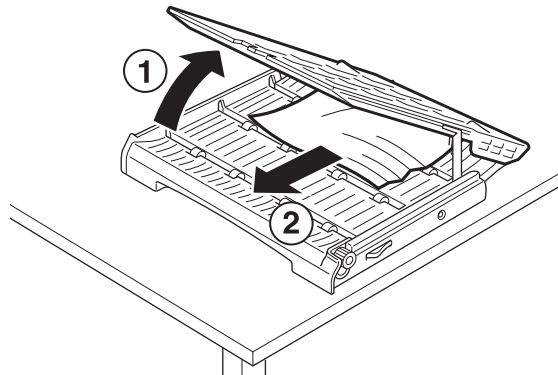
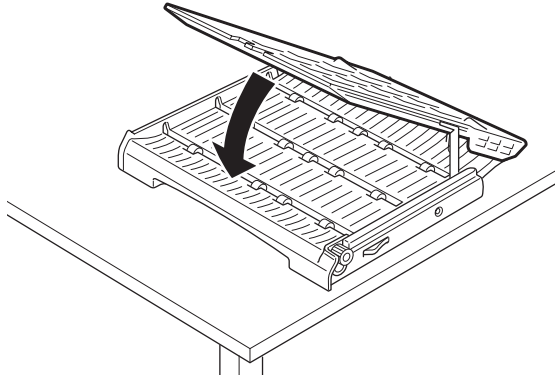
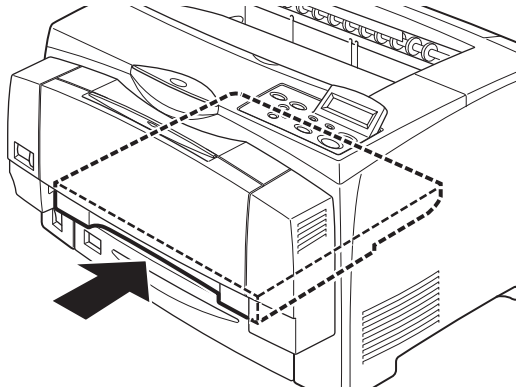
お願い

オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、すべてのカセットを引き抜いて確認してください。

4 カセットをプリンタの奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

5 上部カバーを開き、内部に用紙が残っていないことを確認して閉じる

17.1.3 給紙トレイでつまった用紙を取り除く

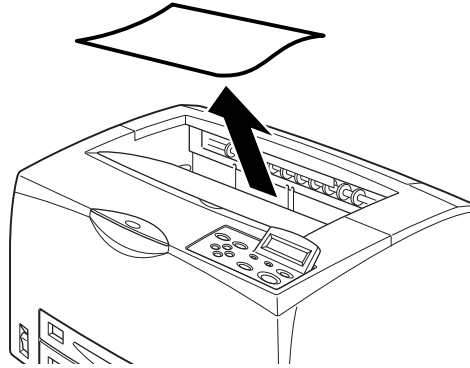
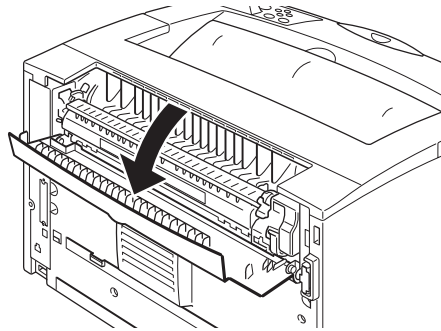
給紙トレイでつまった用紙は、次の手順で取り除きます。

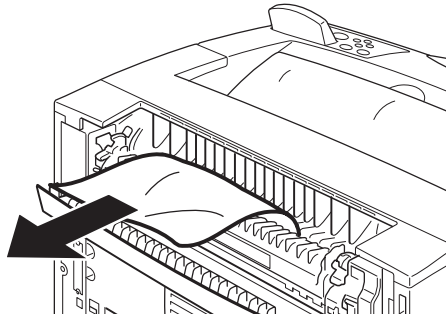
1. セットされている用紙を取り出し、用紙セット部を閉じる

2. 搬送部を引き抜く

3. 搬送部の上部を開け（①)、つまっている用紙があれば取り除く（②）

お願い

用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

4 搬送部の上部を閉じる

5 搬送部をプリンタの奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

17.1.4 定着器付近でつまった用紙を取り除く

定着器付近でつまった用紙は、次の手順で取り除きます。

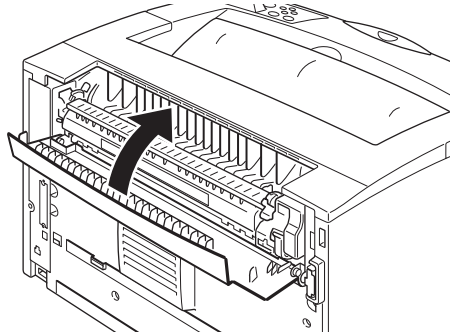
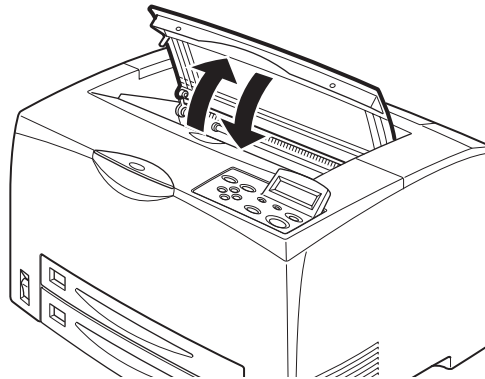
1. 排出トレイに用紙がある場合は取り除く

2. 背面カバーを開く

3. ★印のついたレバーを手前に下げる

つまっている用紙があれば、取り除きます。途中で用紙が破れている場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

ガイド

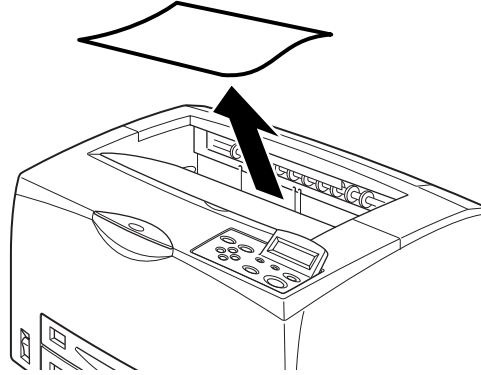
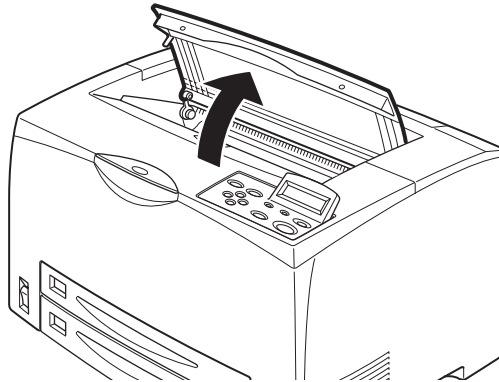
★の付いたレバーは、手を離すと元の位置に戻ります。
左右にある緑色のレバーは、下がった状態にしておいてください。

お願い

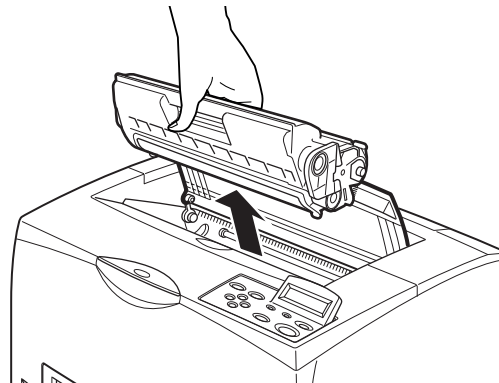
定着器は高温になっています。直接触れるとやけどすることがありますので、十分に注意してください。

背面カバーを閉じる

5 上部カバーを開き、内部に用紙が残っていないことを確認して閉じる

17.1.5　プロセスカートリッジ付近でつまった用紙を取り除く

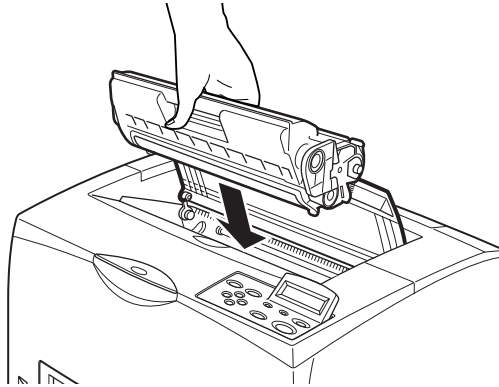
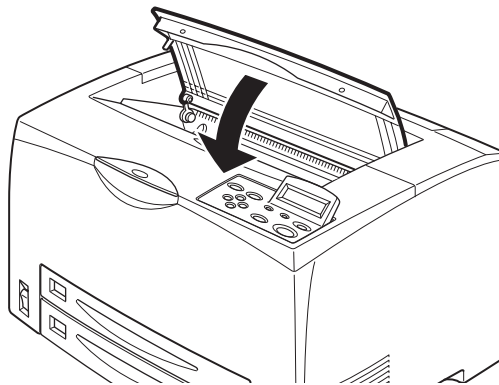
プロセスカートリッジ付近でつまった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 排出トレイに用紙がある場合は取り除く

2 上部カバーを開く

3 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくりと引き上げる

ガイド

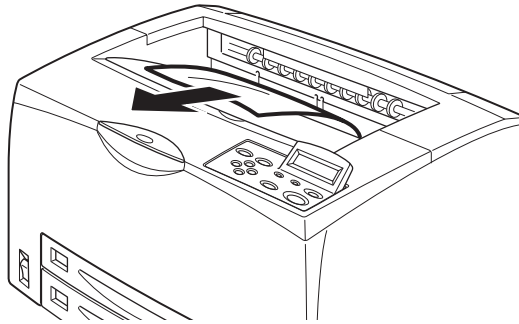
トナーで床などを汚さないように、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には紙などを敷いておいてください。

4 プロセスカートリッジを取り出した部分を確認する

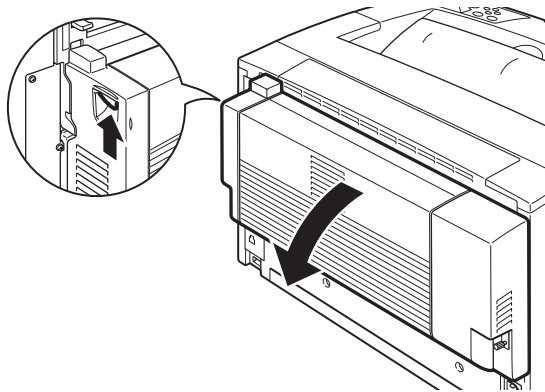
つまっている用紙や破れた紙片が残っていないかどうか確認し、あれば取り除きます。

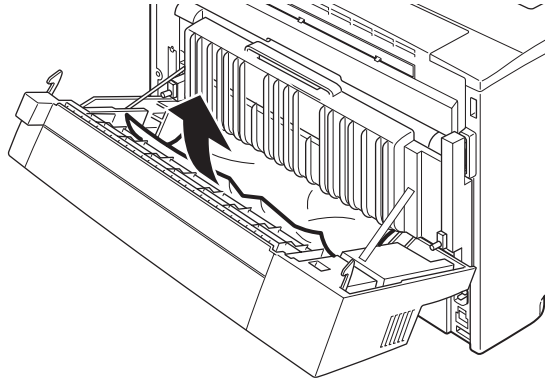
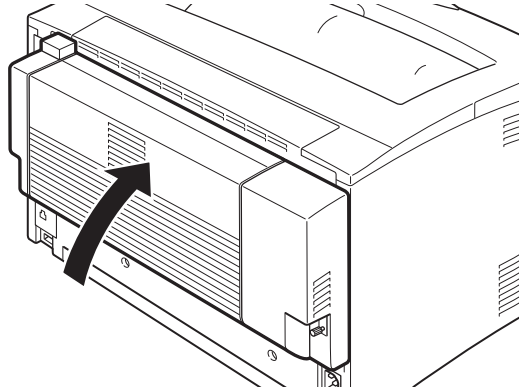
5 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタに取り付ける

6 上部カバーを閉じる

17.1.6 両面ユニットにつまった用紙を取り除く

両面ユニットにつまった用紙は、次の手順で取り除きます。

排出口付近につまった用紙を取り除く

用紙の排出口を確認し、つまっている用紙を取り除きます。
用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。
また、用紙が取り出しにくい場合は、「上カバー内部につまった用紙を取り除く」を参照してください。

上カバー内につまった用紙を取り除く

1. 両面ユニットの左側面上部にあるレバーを上げてロックを外し、両面ユニットの上カバーを開く

2 上カバー内部を確認し、つまっている用紙があれば取り除く

用紙が破れた場合は、紙片が内部に残っていないかどうかを確認してください。

3 両面ユニットの上カバーを閉じる

17.2 故障かなと思ったとき

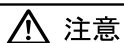
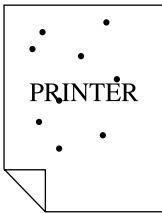
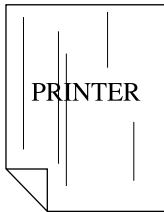
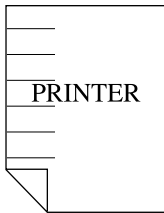
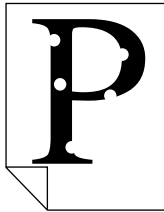
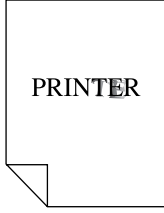
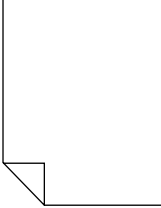
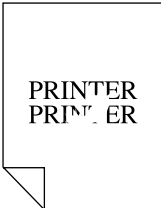
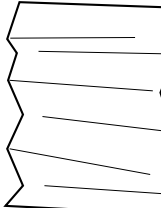
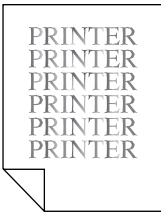
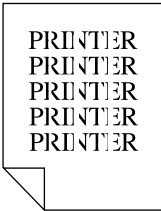
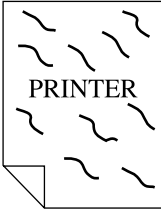
故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う	・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 参照 「安全上のご注意」（14 ページ）参照 参照 「電源を入れる」（54 ページ）参照 参照 「電源を切る」（68 ページ）参照
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・パラレルケーブル、USB ケーブルが抜けている ・オンライン状態でない	・パラレルケーブル、USB ケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 参照 「パラレルインタフェースによる接続とインストール」（100 ページ）参照 参照 「USB による接続とインストール」（108 ページ）参照 参照 「電源を入れる」（54 ページ）参照 参照 「電源を切る」（68 ページ）参照 参照 「第 9 章　オペレータパネルの操作」（205 ページ）参照
正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される	・A5 サイズの用紙をセットしているのに、プリンタがレターサイズと認識し、用紙サイズ不一致のエラーが出る ・MP カセットにはがきをセットしているのに、プリンタが A5 サイズと認識し、用紙サイズ不一致のエラーが出る。 ・MP カセットに A5 サイズの用紙をセットしているのにはがきと認識し、用紙サイズ不一致のエラーが出る	・Printianavi を利用してプリンタの状態を表示し、カセットの用紙サイズを確認してください。 ・カセットの縦／横ガイドクリップが正しくセットされているか確認してください。 ・MP カセットからはがきおよび A5 サイズの用紙に印刷する場合、用紙をセットした後にオペレータパネルの設定が必要になります。オペレータパネルで「MP ハガキモード」の設定を確認してください。 参照 「プリンタの状態表示」（224 ページ）参照 参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照 「MP カセットにはがきをセットする」（60 ページ）参照 参照 「MP カセットに A5 サイズの用紙をセットする」（62 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない ・プリンタの状態で効かないスイッチがある	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照　「第 9 章　オペレータパネルの操作」（205 ページ）参照
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 参照　「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照　「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照 参照　「紙づまりになったとき」（370 ページ）参照
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照　「安全上のご注意」（14 ページ）参照 参照　「用紙について」（357 ページ）参照
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は１枚ずつセットして印刷してください。 参照　「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照　「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置をとってください。 ・用紙のセット方向を確認してください。 - A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。 - A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。 参照　「安全上のご注意」（14 ページ）参照 参照　「用紙について」（357 ページ）参照 参照　「紙づまりになったとき」（370 ページ）参照
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した ・紙づまりが発生している ・給紙カセットのフタをしていない	・電源を切断（○側）して、数秒経過後に投入（｜側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照　「電源を入れる」（54 ページ）参照 参照　「電源を切る」（68 ページ）参照 参照　「紙づまりになったとき」（370 ページ）参照 ・給紙カセットのフタは、必ず閉めて使用してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。 参照 「プリンタの清掃」（345 ページ）参照 参照 「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」（209 ページ）参照
エラーメッセージが表示され、印刷されない	—	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照 「オペレータパネルのエラーメッセージ」（386 ページ）参照
用紙がないのにブザーが鳴らない	・ブザーが鳴らない設定にしている ・給紙トレイから用紙を補給している	・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、ブザーの設定値を「設定」にしてください。 参照 「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」（209 ページ）参照 ・給紙トレイからの印刷時は、ブザーは鳴りません。
プロセスカートリッジを装着してもカートリッジなしとエラーが表示される	・他社製のプロセスカートリッジを装着している ・プロセスカートリッジが故障している	・他社製のプロセスカートリッジを使用していないか確認してください。 ・上部カバーを開いている場合には、上部カバーを閉じてください。 純正のプロセスカートリッジを使用していて、下記のエラー表示される場合にはプロセスカートリッジが故障しています。新しいプロセスカートリッジに交換してください。 **カートリッシ゛　イシ゛ョウ** **ＥＰカートリッシ゛　コウカン** 参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照

17.3 印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。
ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、ハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。

⚠ 注意	やけど	プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷がうすい (かすれる、不鮮明)	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、環境設定の印字濃度調整で設定してください。 「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」（209 ページ）参照
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 「シールドガラスの清掃」（348 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
	プロセスカートリッジ内にトナーがない。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
黒点「・」や黒い小円「°」が印刷される	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 「用紙について」（357 ページ）参照
	トナー残量が少なくなった。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
黒線が印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
等間隔に汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参照　「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」（209 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
黒く塗りつぶされた部分に白点がある	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照　「用紙について」（357 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
指でこするとトナーがかすれる	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照　「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照　「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
	定着器の左右にある緑色のレバーが上がった状態になっている。	定着器の左右にある緑色のレバーを下げてください。
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照　「用紙について」（357 ページ）参照
用紙全体に黒色がついて印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照　「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	ハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
何も印刷されない	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。	トナーシールを引き抜きます。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
	一度に複数枚の用紙が搬送されている。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
	プロセスカートリッジにトナーが残っていない。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	ハードウェア修理相談センター（457 ページ）にご連絡ください。
白抜けが起こる	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照 「シールドガラスの清掃」（348 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（357 ページ）参照
	トナーシールの切れはしが、プロセスカートリッジ内に残っている。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
用紙にシワがつく	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。 参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
	定着器の左右にある緑色のレバーが上がった状態になっている。	定着器の左右にある緑色のレバーを下げてください。
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（357 ページ）参照

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（357 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
縦長に白抜けする	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがかたよっている。	いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットし直してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照 「シールドガラスの清掃」（348 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
不要なトナーがつく	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、環境設定の印字濃度調整で設定してください。 参照 「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」（209 ページ）参照
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（357 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
太い文字や図形に影が出る	解像度、ディザ、明るさの設定が適切でない。	プリンタドライバの［グラフィックス］ダイアログで、解像度、ディザ、明るさを調整してください。 参照 「[グラフィックス] ダイアログ」（242 ページ）参照 参照 「太い文字や図形を印刷すると、影が出る」（420 ページ）参照
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照

17.4 メッセージ一覧

17.4.1 オペレータパネルのエラーメッセージ

プリンタでエラーが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
次の表に従って処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ヨウシ　ナシ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がないと表示されます。 給紙カセット X(1、2 または 3)または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷可能状態になり、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」(57 ページ) 参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」(365 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　　　カセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	プリンタドライバの「基本設定」で「自動給紙」を設定しているときに指定されたサイズの用紙がないと表示されます。(給紙トレイ装着時は、プリンタドライバの設定の他にメニューモードの MP/給紙トレイの自動給紙設定を「無効」にしているとき) いずれかのカセットに指定サイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」(57 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　　カセット× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットに用紙がないと表示されます。給紙カセット X(1、2 または 3)に、表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷可能状態に切り替わり、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」(57 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　　ＭＰカセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、MP カセットに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。 定型外の用紙の場合、「ヨウシナシ」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」(57 ページ) 参照
ヨウシ　ナシ　キュウシトレイ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。 定型外の用紙の場合、「ヨウシナシ」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」(365 ページ) 参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
カセット　ナシ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	給紙トレイ装着時にプリンタドライバの「基本設定」で「自動給紙」を設定し、メニューモードの MP/給紙トレイの自動給紙設定を「無効」にしているときに、すべてのカセット給紙口にカセットがないと表示されます。いずれかの給紙口にカセットをセットしてください。	参照 「第 9 章　オペレータパネルの操作」（205 ページ）参照
カセット　ナシ　　カセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	MP カセット装着時にプリンタドライバの「基本設定」で「自動給紙」を設定しているときに、すべての給紙口にカセットがないと表示されます。いずれかの給紙口にカセットをセットしてください。	参照 「第 9 章　オペレータパネルの操作」（205 ページ）参照
カセット　ナシ　　カセット× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、指定した給紙カセットがないと表示されます。印刷するサイズの用紙を入れた給紙カセットをプリンタにセットすると、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照
カセット　ナシ　ＭＰカセット	MP カセットまたは給紙トレイを指定して印刷を行う場合に、MP カセットまたは給紙トレイがセットされていない場合に表示されます。プリンタの電源を切り、MP カセットまたは給紙トレイをセットしてください。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照 「給紙トレイを取り付ける」（80 ページ）参照
ハンソウブ　ナシ　キュウシトレイ ハンソウブ　ヲ　イレテクダサイ	給紙トレイ指定印刷を行う場合に搬送部が引き抜かれていると表示されます。給紙トレイの搬送部をセットすると印刷を開始します。	参照 「給紙トレイを取り付ける」（80 ページ）参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
カミヅマリ 　××××××××××××	紙づまりが発生すると表示されます。給紙カセット、プリンタ内部、排出部、両面ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙づまりが発生した場合、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセットを取り外して、プリンタの内部を確認してください。 ×はエラー箇所です。次の９種類が表示されます。 ・カセット１ 　カセット１内部 ・カセット２ 　カセット２内部 ・カセット３ 　カセット３内部 ・キュウシトレイ 　給紙トレイ内部 ・MP カセット 　MP カセット内部 ・ハイシトレイ 　排紙部 ・プリンタナイフ゛ 　プリンタ内部、給紙カセット、排紙部 ・リョウメン　ユニット１ 　プリンタ内部、給紙カセット、両面ユニット ・リョウメン　ユニット２ 　プリンタ内部、両面ユニット	参照 「紙づまりになったとき」（370 ページ）参照
カバー　オープン 　××××××××××××	カバーを開けていると表示されます。オペレータパネルに表示された箇所を確認してください。 ×はカバーが開いている箇所です。 ・リョウメンカバー 　両面カバー ・ウエ/ハイメンカバー 　上部カバー、背面カバー	
ヨウシサイズ　フイッチ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセット X(1、2 または 3)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。 また、給紙カセットの縦/横のガイドクリップが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。縦/横のガイドクリップが正しく設定されていることを確認してください。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
サイズフイッチ　カセット× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセット X（1、2 または 3）にセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。 また、給紙カセットの縦/横のガイドクリップが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。縦/横のガイドクリップが正しく設定されていることを確認してください。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照
サイズフイッチ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	給紙トレイ装着時にプリンタドライバの「基本設定」で「自動給紙」を設定し、メニューモードの MP/給紙トレイの自動給紙設定を「無効」にしているときに、給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。いずれかのカセットに表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
サイズフイッチ　　　カセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	MP カセット装着時にプリンタドライバの「基本設定」で「自動給紙」を設定しているときに、MP カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 （給紙トレイ装着時は、プリンタドライバの設定の他にメニューモードの MP/給紙トレイの自動給紙設定を「無効」にしているとき） いずれかのカセットに表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
サイズフイッチ　ＭＰカセット ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに MP カセットにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。また、はがきおよび A5 サイズの用紙に印刷するときにオペレータパネルの「MP ハガキモード」で設定している用紙サイズと印刷データの用紙が異なっている場合にも表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 また、縦/横のガイドクリップが正しく設定されていない場合にも、表示される場合があります。縦/横のガイドクリップが正しく設定されているか確認してください。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照
サイズフイッチ　キュウシトレイ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに給紙トレイにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
サイズカクニン　××××× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・××××× 給紙を行ったカセット、または給紙トレイ	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照
サイズフソク　ＭＰカセット Ａ４　ヲ　イレテ　クダサイ	MP カセットを取り付けた場合、設定の印刷時に A5 より小さい用紙がセットされています。A4 サイズの用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照
サイズフソク　キュウシトレイ Ａ４　ヲ　イレテ　クダサイ	給紙トレイを取り付けた場合、設定の印刷時に A5 より小さい用紙がセットされています。A4 サイズの用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。	参照 「オプションの給紙トレイに用紙をセットする」（365 ページ）参照

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
カートリッジ　イジョウ ＥＰカートリッジ　コウカン	規定外のプロセスカートリッジをセットすると表示されます。 規定のプロセスカートリッジをセットし直してください。	参照 プロセスカートリッジの交換」（340 ページ）参照
サイズエラー　カセット ・・・ヲ　イレテクダサイ	プリンタドライバの「基本設定」で「自動給紙」を設定し、メニューモードの MP/給紙トレイの自動給紙設定を「無効」にしているときに、サポートしていない用紙がすべての給紙カセットにセットされている場合に表示されます。いずれかの給紙カセットに指定サイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	参照 「給紙カセット、MP カセットに用紙をセットする」（57 ページ）参照
カートリッジ　ナシ ＥＰカートリッジ　カクニン	プロセスカートリッジがセットされていないと表示されます。プロセスカートリッジをセットしてください。	参照 「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」（344 ページ）参照
ユニット　カクニン ×××　ユニット	表示されたユニットが正しくセットされていない場合に表示されます。表示箇所を確認し、セットし直してください。給紙トレイおよび両面ユニットを装着する場合は、あらかじめ電源を切ってから作業を行ってください。 ×はエラー箇所です。（上段：エラー箇所、下段：確認箇所） ・給紙トレイ 給紙トレイ ・リョウメンユニット 両面ユニット	参照 「給紙トレイの取り付けかた」（80 ページ）参照 「両面ユニットの取り付けかた」（84 ページ）参照
カイゾウド　シテイムコウ インサツ　セッテイ　カクニン	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信したときや、長尺紙設定時に 600/1200dpi を指定した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
メモリ　フソク カタメン　インサツ→セッテイ	メモリを増設していない状態で A3、B4、Legal、レターサイズの用紙を 1200dpi で両面印刷するときに、以下の状態の場合、表示されます。 ・ プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を☑にしている ・ プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が☐のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき。 Printianavi 使用時は、「設定」スイッチを押す、または 3 秒経過すると片面で印刷します。 Printianavi 未使用時は、「設定」スイッチを押すと片面で印刷します。	参照 「プリンタ RAM モジュールの取り付けかた」（74 ページ）参照
トウロク　メモリ　オーバー ゾッコウ→セッテイ	ESC/Page で印刷した場合に高速化のための処理に必要なメモリが不足すると表示されます。 [設定]スイッチを押すと通常の処理に切り替えて印刷が開始されます。	
メモリ　フソク インサツ　セッテイ　カクニン	次の状態のときに表示されます。 ・ドライバの設定で「プロテクトモードで印刷する」をチェックしている場合に、用紙サイズ分の印刷データに必要なメモリが確保できない ・ドライバの設定で「プロテクトモードで印刷する」をチェックしていない場合に、印刷に必要なメモリが確保できない プリンタの解像度を低くし、再度印刷を行ってください。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
メモリ　フソク 　1ブ　　インサツ→セッテイ	プリンタ RAM モジュールを取り付けずに部単位印刷を設定して印刷を行った場合に表示されます。 Printianavi 使用時は、「設定」スイッチを押す、または 3 秒経過すると 1 部のみ印刷します。 Printianavi 未使用時は、「設定」スイッチを押すと 1 部のみ印刷します。 ただし、プリントサーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 環境で Printianavi を使用している場合、上記メッセージを表示後、部単位印刷を再開します。	
メモリ　オーバー 　1ブ　　インサツ→セッテイ	メモリを増設しているとき、部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 Printianavi 使用時は、「設定」スイッチを押す、または 3 秒経過すると 1 部のみ印刷します。 Printianavi 未使用時、「設定」スイッチを押すと 1 部のみ印刷します。 ただし、プリントサーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 環境で Printianavi を使用している場合、上記メッセージを表示後、部単位印刷を再開します。	
アンダ゛ーラン　エラー 　インサツ　セッテイ　カクニン	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。 ※アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します。	
シ゛ト゛ウ　キュウシ　ムコウ 　インサツ　セッテイ　カクニン	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「無効」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。給紙口を指定して印刷をし直してください。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
Ｃ２５　コントローラ　イジョウ ＵＳＢエラー	ROM および RAM の異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切断し、再び投入してください。 それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（457 ページ）へご連絡ください。 『Ｃ１６　コントローラ　イジョウ』発生時は、電源を再投入するとプリンタの設定内容を工場出荷時の初期設定に戻します。 設定値を変更している場合は再度設定してください。 「システムエラー」発生時には、下段に表記されている数字を控え、ハードウェア修理相談センター（457 ページ）へご連絡ください。	
Ｃ０２　コントローラ　イジ゛ョウ ＲＡＭ１エラー		
Ｃ０３　コントローラ　イジ゛ョウ ＲＡＭ２エラー		
Ｃ０４　コントローラ　イジ゛ョウ ＣＧ−ＲＯＭ１エラー		
Ｃ０５　コントローラ　イジ゛ョウ ＣＧ−ＲＯＭ２エラー		
Ｃ０６　コントローラ　イジ゛ョウ ＣＧ−ＲＯＭ１２エラー		
Ｃ１３　コントローラ　イジ゛ョウ ＭＡＣアド゛レスエラー		
Ｃ１５　コントローラ　イジ゛ョウ Ｆｌａｓｈ−ＲＯＭ		
Ｃ１６　コントローラ　イジ゛ョウ トウロク　ショキカ　シマス		
Ｃ２１　コントローラ　イジ゛ョウ ＬＳＩエラー		
Ｃ２２　コントローラ　イジ゛ョウ ＥＥＰＲＯＭエラー		
Ｃ２３　コントローラ　イジ゛ョウ ＲＯＭ１チェックサムエラー		
Ｃ２４　コントローラ　イジ゛ョウ ＲＯＭ２チェックサムエラー		
システムエラー ａａｂｂｃｃｄｄｅｅｅｅｅｅｅｅ		
Ｅ０１　エンジン　イジョウ ＦＵＳＥＲイジョウ	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切断し、再び投入してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センターへ（457 ページ）ご連絡ください。	
Ｅ０２　エンジン　イジョウ ＲＯＳ　モータ　コショウ		
Ｅ０３　エンジン　イジョウ メイン　モータ　コショウ		
Ｅ０４　エンジン　イジョウ ファン　アラーム		
Ｅ０５　エンジン　イジョウ メモリ　イジョウ　Ｘ		
Ｄ０１　エンジン　イジョウ ＭＣＵ　シンピン		

17.4.2 オペレータパネルの警告メッセージ

メンテナンス情報や印刷中のプリンタの状態を下段に表示します。
警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。
表中の記号は、次の内容を示します。

SSSSS：プリンタ状態
ppppp：インタフェース
eeee：動作モード
ssssss：給紙口／用紙サイズ
n：カセット番号

ガイド
警告が複数発生している場合、下記の表の上から順番に該当するエラーが表示されます。
※「カセットカクニン」と「トナーコウカン」のエラーが同時に発生した場合、「カセットカクニン」のエラーのみオペレータパネルに表示されます。「カセットカクニン」のエラーを回避後、「トナーコウカン」のエラーが表示されます。

表示メッセージ	表示内容と処置
ＳＳＳＳＳ　ｐｐｐｐｐ　ｅｅ カセットカクニンｎ　ｓｓｓｓｓｓ	セットされていない給紙カセットがあると、表示されます。給紙カセットをセットしてください。
ＳＳＳＳＳ　ｐｐｐｐｐ　ｅｅ トレイカクニン　ｓｓｓｓｓｓ	給紙トレイを装着時に、給紙トレイ搬送部が引き抜かれている場合に表示されます。正しくセットしてください。
ＳＳＳＳＳ　ｐｐｐｐｐ　ｅｅ ＭＰカクニン　ｓｓｓｓｓｓ	・MP カセットがセットされてないと、表示されます。MP カセットをセットしてください。 ・給紙トレイが正しく取り付けられていない状態で電源を投入した場合に表示されます。この場合、プリンタの電源を切り、給紙トレイを正しく取り付けてください。
ＳＳＳＳＳ　ｐｐｐｐｐ　ｅｅ トナーロー(*)　ｓｓｓｓｓｓ	トナーの残量が少なくなると表示されます。新しいプロセスカートリッジをセットしてください。 純正品以外のトナーを使用していると、「*」が表示されます。
ＳＳＳＳＳ　ｐｐｐｐｐ　ｅｅ ソウチジュミョウ　ｓｓｓｓｓｓ	プリンタが寿命に達した場合に表示されます。本警告は解除できません。
ＳＳＳＳＳ　ｐｐｐｐｐ テイチャクキ	定着器の交換時期になると表示されます。新しい定着器をセットしてください。
ＳＳＳＳＳ　ｐｐｐｐｐ　ｅｅ トナーコウカン　ｓｓｓｓｓｓ	純正品以外のトナーを使用していると表示されます。 純正のプロセスカートリッジをセットしてください。

17.5 エミュレーションモードの使いかた

ここでは、エミュレーションモードで印刷する方法について説明します。

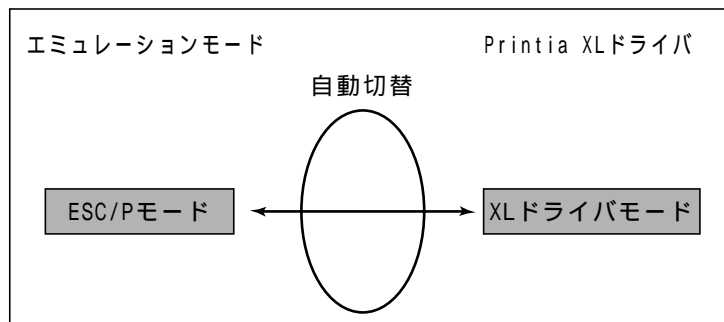
17.5.1 エミュレーションモードの設定

本製品をエミュレーションモード（ESC/P モード）にして印刷する場合は、メニューモードで「初期設定」の「その他の設定」で「エミュレーション設定」を「ESC/P」に変更してください（初期値は「解除」）。

参照 メニューモードについては、「オペレータパネルの操作」（205 ページ）参照

プリンタをエミュレーションモードにすると、ESC/P モードの印刷が可能になります。
また、Printia XL ドライバから印刷した場合は、モードを自動的に切り替えます。

17.5.2 Printia XL ドライバで印刷する

Windows 対応のアプリケーションソフトから印刷する場合、Printia XL ドライバ（FUJITSU XL-5770/5370）を選択します。プリンタの設定は、Windows のダイアログボックスの設定内容に従います。Windows からの印刷が終了すると、自動的に電源投入時またはオペレータパネルで選択した元の動作モードに戻り、エミュレーションモードでの印刷が可能になります。

ガイド
コマンドで動作モードを切り替えた後に、Printia XL ドライバで印刷すると、切り替える前の動作モードに戻ります。

17.5.3 エミュレーションモードで印刷する

本製品は、富士通 FMV シリーズや各社 AT 互換機のパソコンと接続して、次のプリンタに対応したアプリケーションソフトから印刷することができます。

ESC/P モード：セイコーエプソン 24 ドットマトリクスプリンタ　VP-1000 相当

動作モード（エミュレーションモード）は、通常、アプリケーションソフトが対応しているモードに合わせて、プリンタのオペレータパネルで切り替えます。

参照　オペレータパネルで切り替える方法については、
「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」(209 ページ）参照

17.5.4 MP カセットからエミュレーションモードで定形/不定形用紙に印刷する

MP カセットからエミュレーションモードで印刷する場合には、オペレータパネルの「MP カセットモード」で印刷する用紙形態を設定する必要があります。

ガイド

XL ドライバ使用時およびコマンドによる用紙サイズの指定がある場合には、XL ドライバの設定、コマンドが優先されます。

参照　「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」(209 ページ）参照

17.5.5 コマンドエミュレーションモードを切り替える

ここでは、プリンタ制御コード（コマンド）で動作モードを切り替える方法について説明します。使用するアプリケーションに合わせて、動作モードを自動的に切り替えることができますので、サーバプリンタとして使用する場合などに便利です。IntranetWare や NetWare、Windows NT などのネットワーク OS を使用して、印刷ジョブの前後にプリンタ制御コードを付加する方法については、各ネットワーク OS のマニュアルをお読みください。

●エミュレーションモードに切り替える

エミュレーションモードに切り替えるには、次のコマンドを発行します。(〈××〉16 は、16 進数表記での値です。)

【形式】

ESC ＋	／ ＋	イ ＋	＠ ＋	DEL ＋	ESC ＋	DEL ＋	NULL ＋	NULL ＋	SOH ＋	Pa
<1B>16	<2F>16	<B2>16	<40>16	<7F>16	<1B>16	<7F>16	<00>16	<00>16	<01>16	<××>16

【解説】

・Pa は 1 バイトの選択パラメータで、エミュレーションモードを指定します。エミュレーションの Pa の値は次のとおりです。

ESC/P　：Pa＝<09>16

また、印刷ジョブ終了後に、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻す場合には、次の Pa を使用します。

デフォルトモード：Pa＝<05>16

・パラメータエラーの場合、コマンドを無視します。

・エミュレーションモードに切り替えるとき、エミュレーションの動作状態は初期化されます。

・エミュレーションモードは、オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されます。

参照　「液晶ディスプレイの表示内容」（207 ページ）参照

・コマンドでエミュレーションモードを切り替えた後に、Printia XL ドライバでの印刷を行ったり、オペレータパネルでプリンタをリセットすると、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻ります。

参照　「オペレータパネルから中止する」（187 ページ）参照

●切り替えコマンドの使いかた

エミュレーションモードでの印刷と Printia XL ドライバの印刷を切り替える場合、各印刷ジョブの前後でエミュレーションモードを切り替えます。デフォルトモードで印刷するアプリケーションソフトでは、エミュレーションモードへの切り替えコマンドは必要ありません。

お願い

切り替えコマンドは、本プリンタ以外へは発行しないでください。

17.5.6 セイコーエプソン VP-1000 との違い

エミュレーションモードは、本製品に、次のプリンタと同等の動作をさせるものです。

ESC/P モード：セイコーエプソン 24 ドットマトリクスプリンタ　VP-1000 相当

ただし、まったく同じ動作をするわけではなく、多少の違いがあります。

・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。

・用紙方向が縦の場合と横の場合で、印刷可能領域が異なります。

参照　印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域は、「用紙関係」（433 ページ）参照

17.6 ソフトウェアに関するトラブルシューティング

プリンタを使用しているときに発生する問題のうち、ソフトウェアに関するものについて、現象と対処方法を説明します。

17.6.1 セットアップ時のトラブルシューティング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

(1)　ポートの選択ダイアログに「Printianavi Network Port」が表示されない

《現 象》

プリンタを TCP/IP の LAN 環境に直接接続して使用したいが、プリンタドライバのインストール中に選択するポートの一覧に、「Printianavi Network Port」が表示されない。

《対 処》

次の操作で Printianavi ネットワークポートモニタがインストールされているか確認し、結果に応じて対処します。

1. ［アプリケーションの追加と削除］ダイアログを表示する

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合

［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［アプリケーションの追加と削除］をクリックした後、「Printianavi ネットワークソフトウェア 2」を選択し、［変更と削除］をクリックする

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

［スタート］-［コントロールパネル］-［プログラムの追加と削除］をクリックした後、「Printianavi ネットワークソフトウェア 2」を選択し、［変更と削除］をクリックする

2. 「変更」を選択して［次へ］をクリックする

3. 「Printianavi ネットワークポートモニタ」が☑になっているか確認する

・「Printianavi ネットワークポートモニタ」が☐のとき

変更ダイアログで「Printianavi ネットワークポートモニタ」を☑にし、インストールとポートの作成を行います。

参照　インストール方法については、「第 14 章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」（313 ページ）参照

・「Printianavi ネットワークポートモニタ」が☑のとき

仮のポート（LPT1 など）でプリンタドライバをインストール後、Printianavi ネットワークポート管理からポートを追加します。

参照　ポートの追加方法については、「ポートの追加」（328 ページ）参照

(2)　プリンタドライバのインストール中に警告ダイアログが表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告ダイアログが表示されることがあります。ここでは、注意が必要な 5 つの現象（メッセージ）について説明します。

《現 象 1》

「Windows の CD-ROM を挿入してください」というメッセージが表示された。

《対 処》

製造元とモデルの選択ダイアログで［ディスク使用］をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとすると表示されるメッセージです。
インストールをキャンセルして、再度、プリンタ添付の CD-ROM からプリンタドライバをインストールし直すことをお勧めします。

参照　「第 5 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（97 ページ）参照
「第 6 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（125 ページ）参照

《現 象 2》

［バージョンの競合］というメッセージが表示された。

《対 処》

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示されるメッセージです。
［はい］をクリックして、現在のファイルをそのまま使うようにしてください。

《現 象 3》

「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

《対 処》

クライアントの OS（Windows）用のプリンタドライバが、サーバ側に追加（または代替）インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示されるメッセージです。
クライアントの OS により、次の操作をしてください。

・クライアントが Windows 95/98/Me/NT4.0 のとき

①添付の CD-ROM をクライアントにセットして、［OK］をクリックします。

②プリンタの製造元とモデルを選択するダイアログでは［ディスク使用］をクリックし、CD-ROM にあるプリンタドライバのフォルダ名を指定してインストールを行ってください。

・クライアントが Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき
［キャンセル］をクリックして、ネットワークインストールを中止します。ポート変更による方法でインストールし直してください。

参照　「ポート変更による方法」（173 ページ）参照

ガイド

サーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で Windows 95/98/Me/NT4.0 のクライアントが複数台あるときは、追加（または代替）ドライバをインストールしておくと便利です。

参照　「第 7 章　プリンタ共有の設定」の「サーバ側の設定」（169 ページ）参照

《現 象 4》

「管理者権限がないため、メッセージ連携サービスを停止状態とします」というメッセージが表示された。

《対 処》

Windows NT4.0 をサーバとし、Windows 2000/XP/Windows Server 2003 クライアントの環境や、Windows NT かクライアントの環境で管理者以外でログオンして、メッセージ連携サービスを登録しようとすると表示されるメッセージです。［OK］をクリックし、ネットワークインストールを行ってください。

・Windows NT4.0 のとき
プリンタドライバをインストール後、管理者権限を持つユーザ名でログオンし、［Printianavi］ダイアログからメッセージ連携サービスを開始してください。

・Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき
［オプション］ダイアログからメッセージ連携サービスを開始してください。このとき、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力してください。

《現 象 5》

Norton Internet Security で「低危険度」の警告メッセージが表示された。

《対 処》

ダイアログを閉じてインストールを継続してください。プリンタドライバのインストールに問題はありません。

参照　運用中に Norton Internet Security の警告メッセージが表示された場合の対処方法は「(12) 印刷時やプリンタドライバの設定変更時に Norton Internet Security の警告画面が表示される」（419 ページ）参照

(3)　IP アドレスを設定したら通信ができなくなった

《現 象》

IP アドレス設定ユーティリティ 2 を使用して、プリンタに IP アドレスを設定したら、通信ができなくなくなった。

《対 処》

IP アドレスを設定したときの値が正しくないと、通信は行えません。プリンタのオペレータパネルを操作して LAN 設定を初期化し、設定し直してください。
LAN 設定の初期化は、次の操作で行います。

1. オペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、プリンタをメニューモードにする
2. 「▶」スイッチを押し、「ショキ　セッテイ」と表示する
3. 「▼」スイッチを押し、「IP アドレス　セッテイ」と表示する
4. 「▶」スイッチを 3 回押し、「カンリ/ショキカ」と表示する
5. 「▼」スイッチを押し、「LAN　ショキカ」と表示する
6. 「▼」スイッチを押し、「ジッコウ」と表示する
7. 「設定」スイッチを押す

「ショキカ　シマス」の表示に続いて、「オンライン」と表示されれば、初期化は完了です。

(4)　IP アドレス設定ユーティリティ 2 でプリンタを検索できない

《現 象》

IP アドレス設定ユーティリティ 2 を使用してプリンタの設定を行う際に、ネットワーク上のプリンタの検索を行ってもプリンタが検出されない。

《対 処》

Norton Internet Security などのファイアウォールソフトがインストールされている場合や、Windows XP/Windows Server 2003 のインターネット接続ファイアウォール機能が有効になっている場合は、プリンタが検索されません。
ソフトのファイアウォール機能を無効にする、またはプリンタのオペレータパネルから直接プリンタの IP アドレスを設定してください。

(5)　Printianavi ネットワークポートモニタや Printianavi ネットワークマネージャでプリンタを検索できない

《現 象》

Printianavi ネットワークポートモニタや Printianavi ネットワークマネージャを使用してプリンタの設定を行う際に、ネットワーク上のプリンタの検索を行ってもプリンタが検出されない。

《対 処》

Norton Internet Security などのファイアウォールソフトがインストールされている場合や、Windows XP/Windows Server 2003 のインターネット接続ファイアウォール機能が有効になっている場合は、プリンタが検索されません。
ソフトのファイアウォール機能を無効にする、またはプリンタの IP アドレスを直接入力してください。

17.6.2 運用時のトラブルシューティング

プリンタを運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

(1)　印刷できない

《現 象》

テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷できない。

《対 処 1》

プリンタの状態およびケーブル接続を確認します。
次の 4 点を確認してください。

・プリンタの電源が入っていますか。

・パラレルケーブル、USB ケーブル、または LAN ケーブルが正しく接続されていますか。

・プリンタがエラー状態になっていませんか。
プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、印刷可能状態に戻してください。

・プリンタ切替器を使用していませんか。
プリンタとの通信が異常となったり、プリンタ故障の原因となったりする恐れがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

《対 処 2》

プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、LAN の設定を確認します。
設定の一覧を印刷し、次の点を確認してください。

参照　設定の一覧の印刷方法は、「設定の一覧を印刷する」（67 ページ）参照

Printianavi ネットワークポートモニタを使用、または LPR 印刷のとき
次の 5 点を確認してください。

・LAN ステータスの設定内容は正しいですか。
LAN ステータスでは、LAN の接続状態が 2 進数で表じされます。以下に、LAN ステータスの見かたを示します。

```
        2進法表示
        a：リンク・ステータス　0＝無効／1＝有効
  bbbb:プリンタデータ転送能力
  ││││└    10Base-T　半二重（0＝無効／1＝有効）
  │││└─    10Base-T　全二重（0＝無効／1＝有効）
  ││└──  100Base-TX半二重（0＝無効／1＝有効）
  │└───  100Base-TX全二重（0＝無効／1＝有効）
  cccc:リンクパ-トナデータ転送能力
  ││││└    10Base-T　半二重（0＝無効／1＝有効）
  │││└─    10Base-T　全二重（0＝無効／1＝有効）
  ││└──  100Base-TX半二重（0＝無効／1＝有効）
  │└───  100Base-TX全二重（0＝無効／1＝有効）
      dd:データ転送速度
      │└ データレート（0=10Mbps/1=100Mbps）
      └─ 全二重／半二重（0＝半二重／1＝全二重）
          a:リンクステータスが0＝無効の場合、「-　-」と表示
```

＊ cccc:HUBによって異なり、「AUTO時の状態」または「000」
　　となる場合があります。

・TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。
・TCP/IP 状態コードは「0」（正常）になっていますか。
「0」以外のときは、それぞれ次の操作を行ってください。

「1」のとき	IP アドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容を確認してください。
「2」のとき	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。再度、設定の一覧を印刷してください。
「3」のとき	DHCP による TCP/IP 構成情報の取得で異常が発生しています。DHCP サーバの設定を見直すか、プリンタのオペレータパネルや、IP アドレス設定ユーティリティ 2 の操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しい IP アドレスやサブネットマスクを設定し直してください。
「4」のとき	DHCP で IP アドレスの継続使用が拒否されました。DHCP サーバの設定を見直すか、プリンタのオペレータパネルや、IP アドレス設定ユーティリティ 2 の操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しい IP アドレスやサブネットマスクを設定し直してください。
「5」のとき	DHCP で継続使用の要求がタイムアウトとなりました。プリンタのオペレータパネルの操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しい IP アドレスやサブネットマスクを設定し直してください。
「6」のとき	獲得した IP アドレスが、他のホストで使用されています。DHCP サーバの設定を見直してください。
「9」のとき	ゲートウェイの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。

・IP アドレスは正しく設定されていますか。

ガイド

本製品は CIDR（Classless Inter-Domain Routing）をサポートしていません。
IP アドレスのクラスに合ったサブネットマスクを設定してください。

参照　IP アドレスおよび TCP/IP 設定の方法については、
「IP アドレスの設定」（130 ページ）参照

・プリンタの Ethernet タイプは正しいですか。
プリンタの Ethernet タイプの設定がハブユニットの規格と一致しない場合、ネットワーク障害の原因となります。ハブユニットの規格を調べた上で正しく設定してください。
「自動」による設定でうまく接続されない場合、オペレータパネルのメニューモードの［初期設定］－［LAN 設定］にある「Ethernet タイプ」で変更してください。
Ethernet タイプの設定を変更した場合、必ずプリンタの電源を切断し、再投入してください。

メニューモードについては、
「オペレータパネルからの設定（メニューモード）」（209 ページ）参照

《対 処３》

プリンタドライバの設定を確認します。
サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、サーバ側の設定も同様に確認します。
プリンタドライバの設定ダイアログを開き、次の点を確認してください。

・印刷先ポートに接続されていないポートが指定されていないか

・別の場所に設置されたプリンタが指定されていないか

お使いの OS によって、印刷先ポートを確認するダイアログが異なります。

・Windows 95/98/Me のとき
　［プリンタのプロパティ］の［詳細］ダイアログ

・Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のとき
　［プリンタのプロパティ］の［ポート］ダイアログ

プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、次の点も確認してください。

・「Printianavi Network Port」で接続のとき
印刷した設定の一覧と、IP アドレス、IPP の設定およびポート番号の設定が一致しているか、確認してください。
それぞれ次のダイアログで確認できます。

IP アドレス（注）	［ポートの設定］
ポート番号	［オプション］ ポート番号がプリンタの印刷ポート番号と同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。

注:ホスト名を指定している場合は、そのホスト名が使用する IP アドレスで確認してください。

また、接続モードが IPP の場合は、次の設定も確認してください。

プリンタの URL	［ポートの設定］ 設定の一覧と同じか確認してください。値が空白になっている場合は、「プリンタの IP アドレス/ipp」と設定してください。
プロキシ設定	［プロキシ設定］ プロキシサーバの設定についてはネットワーク管理者に問い合わせてください。

・「LPR Port」で接続のとき
次の２点を確認してください。

- ［ポート］ダイアログの［ポートの一覧］で IP アドレスが同じか確認してください。設定が異なっている場合は、ポートを削除した後、再度ポートを追加してください。
   「ポートの追加」（328 ページ）参照
- ［ポート］ダイアログの「双方向サポートを有効にする」を□にし、双方向通信を無効にしてください。

《対 処４》

スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

1 ［プリンタ］フォルダを開く

・Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 のとき
　［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択する

・Windows XP/Windows Server 2003 のとき
　［スタート］－［プリンタと FAX］の順に選択する

2 ［プリンタ］フォルダから該当するプリンタをダブルクリックする

3 表示されるウィンドウのタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか確認する

停止状態のときは、［プリンタ］メニューおよび［ドキュメント］メニューの「一時停止」を☐にします。

《対 処５》

双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ（XL-2000W、XJ シリーズなど）がインストールされていないか、確認してください。
双方向通信をサポートするプリンタの印刷先を同じプリンタポート（LPT1：）に指定したまま使用すると、印刷が行えない場合があります。
実際に接続していないプリンタの印刷先ポートは、「FILE:」に変更してください。

《対 処６》

双方向通信機能をサポートしないプリンタポートを使用していないか確認してください。また、Windows 95/98/Me でプリンタポート（LPT1：）から印刷しているときは、ポートのドライバに問題はないか確認してください。
次の手順で確認します。

1 ［プリンタのプロパティ］で［詳細］ダイアログを表示する

2 ［スプールの設定］をクリックして「このプリンタで双方向印刷をサポートする」と「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」のそれぞれの設定でテスト印刷を行う

「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」でのみ印刷できる場合は、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていないか、ポートドライバに問題があることが考えられます。

ECP プリンタポートが設定されているときは、次の手順でプリンタポートを変更してください。

・Windows 95 のとき

①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順に選択し、［システム］をダブルクリックします。

②［デバイス　マネージャ］をクリックし、「ポート（COM&LPT）」のプリンタポート（LPT1)」をダブルクリックします。

③［ドライバ］－［ドライバの更新］の順にクリックします。「一覧からドライバを選ぶ」を選択し、［次へ］をクリックします。

④「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「スタンダードポート」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」をダブルクリックして、ダイアログの指示に従って操作します。
Windows 95 でプリンタポートを変更しても問題が解決しない場合は、Windows 95 の修正モジュール等を適用し、プリンタポートのドライバファイル「LPT.VXD」を更新してください。

・Windows 98 のとき

①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順に選択し、［システム］をダブルクリックします。

②［デバイス　マネージャ］をクリックし、「ポート（COM/LPT)」の「プリンタポート（LPT1)」をダブルクリックします。

③［ドライバ］－［ドライバの更新］の順にクリックします。
ウィザードの最初のダイアログでは［次へ］をクリックします。

④「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して［次へ］をクリックします。

⑤「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「(標準ポート)」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して［次へ］をクリックします。
以降はダイアログの指示に従って操作してください。

・Windows Me のとき

①［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順に選択し、［システム］をダブルクリックします。

②［デバイス　マネージャ］をクリックし、「ポート（COM と LPT)］の［プリンタ　ポート（LPT1)」をダブルクリックします。

③［ドライバ］－［ドライバの更新］の順にクリックします。
ウィザードの最初のダイアログで「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け)」を選択し、［次へ］をクリックします。

④「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して［次へ］をクリックします。

⑤「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「(標準ポート)」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して、［次へ］をクリックします。

以降はダイアログの指示に従って操作してください。

《対 処 7》

IPP 印刷時に双方向通信のサポートが有効になっているか確認してください。
プロキシサーバを経由した IPP 印刷では、プロキシサーバの種類によっては、片方向通信での印刷が正常に行えない場合があります。双方向通信機能を有効にして印刷を行ってください。
双方向通信機能を有効にしても印刷できない場合は、プロキシサーバの設定が正しいか確認してください。

《対 処 8》

給紙トレイにセットした長尺紙が推奨用紙か確認してください。
幅 297㎜ 以外の長尺紙がセットされている場合は印刷できません。長尺紙に印刷する場合は、幅が 297㎜ のものをご用意ください。

《対 処 9》

プリントサーバ上に Norton Internet Security などのファイアウォールソフトがインストールされている、または Windows XP/Windows Server 2003 のインターネット接続ファイアウォール機能が有効になっていませんか。
ファイアウォール機能が有効になっている場合、クライアントからの印刷ができません。
ソフトのファイアウォール機能を無効にするか、ソフト側の設定で通信を許可する対象機器に次の機器をすべて登録してください。

- プリントサーバ
- 印刷を実行するパソコン
- ステータスの表示先に指定するパソコン
- プリンタ

(2)　印刷できない、または別のプリンタに出力される

《現 象》

Printianavi Network Port で LAN に接続したプリンタに印刷を行ったが、応答なしエラーとなり印刷できない、または別のプリンタに出力される。

《対 処》

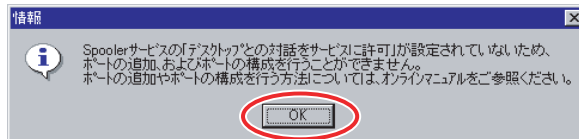
次の手順でポートの設定を確認してください。

1. Windows を起動する
   Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンします。

2. ［スタート］－［プログラム］－［Printianavi］－［ネットワークソフトウェア 2］－［Printianavi ネットワークポート管理］の順に選択する

3. 変更するポートを選択し、［ポートの構成］をクリックする

ガイド

Windows NT4.0 で Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを□にしている場合、以下のメッセージが表示されます。

［OK］をクリックしてメッセージを閉じ、Printianavi ネットワークポート管理を終了してください。その後、Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを☑にし、必要な操作を行った後、再度ポートの構成を行ってください。

参照　Spooler サービスの設定方法については
「ポートが追加できない」の<対処>（418 ページ）参照

4 ［ポートの設定］ダイアログで［参照］をクリックする

5 プリンタの一覧で、選択されているプリンタが正しいか確認する
選択されているプリンタのモデル名や MAC アドレスが別のプリンタのものでないか確認してください。
別のプリンタに接続されている場合や選択されているプリンタがなく、「設定した IP アドレスまたはホスト名に対応したプリンタ装置が見つかりませんでした。プリンタ装置の電源を確認するか、または設定した IP アドレスまたはホスト名の確認をしてください。」というメッセージが左下に表示されている場合は、正しい接続先のプリンタを選択し[OK]をクリックしてください。

一覧に正しい接続先のプリンタが見つからない場合は、次の内容を確認してください。

・プリンタの電源やネットワークケーブルが正しく接続されているか
・プリンタに IP アドレスが正しく設定されているか
・ルータを経由した先にプリンタが接続されている場合は、プリンタの検索範囲の設定にルータの先のネットワークアドレスが追加されているか

6 ポートの設定画面で、「DHCP 設定プリンタの IP アドレスを自動認識する」の設定を確認する
プリンタの IP アドレスを DHCP で動的に割り当てている場合は、プリンタが取得する IP アドレスがいつも同じとは限らないため、本機能のチェックは必ず☑にしてください。
チェックを☐にすると常に IP アドレスが一致したプリンタに接続するため印刷先がそのつど変わったり、見つからない場合は応答なしになります。

本機能のチェックを☐にするときは、IP アドレスを固定で割り当てている場合のみにしてください。通常は、チェックを☑にしたままでも通信先のプリンタの設定によって自動判別するのでチェックを☐にする必要はありません。

(3)　Printianavi のメッセージが表示されない

《現 象》

印刷は行えるが、印刷を行ったパソコンに Printianavi のメッセージが表示されない。

《対 処》

［プリンタのプロパティ］を開き、次の点を確認してください。

参照　「プリンタドライバで設定できる内容」（221 ページ）参照

・Printianavi に対応していないプリンタドライバを使用していませんか。
OS 添付のプリンタドライバやエミュレーションモード（ESC/P）で印刷している場合は、Printianavi 機能は使用できません。
また、古い機種用の Printia XL ドライバでは、新しいプリンタや Printianavi 機能に対応していないことがあります。
添付の CD-ROM に収められたプリンタドライバを使用してください。

・LPR Port 印刷ではありませんか。
Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 は［ポート］ダイアログで印刷先のポートが LPR Port の場合は、Printianavi 機能は使用できません。

・メッセージ連携サービスは、サーバとクライアントの両方で開始されていますか。
［オプション］ダイアログからメッセージ連携サービスを開始してください。

・Printianavi のメッセージを表示する設定になっていますか。
［Printianavi］ダイアログの「印刷中のステータス表示」「ステータスを最前面にする」「印刷の終了を通知する」の設定を確認してください。

参照　詳細は、プリンタドライバのヘルプ参照

・ステータスとメッセージの通知先の設定を別のパソコンに指定していませんか。
［Printianavi］ダイアログで［オプション］をクリックすると表示されるダイアログの「ステータスの表示先」に、「コンピュータを指定」で指定したパソコンにメッセージが表示されている場合は、「このコンピュータ」に変更してください。

・双方向通信機能をサポートする設定になっていますか。

- Windows 95/98/Me のとき
［詳細］ダイアログの［スプールの設定］をクリックします。「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択します。

- Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のとき
［ポート］ダイアログの「双方向サポートを有効にする」を☑にします。

・ネットワークインストールしたプリンタの印刷先をローカルポートに変更していませんか。
サーバ共有プリンタに印刷するためにネットワークインストールしたプリンタドライバの印刷先ポートをローカルポートに変更すると、双方向通信機能が動作しないため、Printianavi 機能が使用できなくなります。
印刷先をローカルポートに変更するときは、新たにローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールし直してください。

・Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で区切りページを指定していませんか。
本製品では Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の区切りページファイル（*.sep）の印刷をサポートしていません。また、Printianavi 機能が正常に動作しなくなりますので、お使いにならないでください。

サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、次の点を確認してください。

・サーバの OS が Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 以外ではありませんか。
Printianavi は Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 対応です。また、クライアントが Printianavi 対応でも、Printianavi に対応していないサーバの共有プリンタに印刷の際は、Printianavi 機能はお使いになれませんのでご了承ください。

- Windows NT4.0 のサーバから Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントにプリンタドライバをネットワークインストールしていませんか。
  この場合［ポート］ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレイアウトされ、Printianavi 機能が正常に動作しません。
  プリンタドライバを削除し、インストールし直してください。
  参照　「プリンタドライバの削除」（201 ページ）参照
  参照　「ポート変更による方法」（173 ページ）参照

- Windows NT4.0 の Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」を☐にしていないか確認してください。
  この場合、印刷中のステータスや、エラーメッセージ、プリンタ状態表示、プリンタ状態を設定値に反映するなどの機能が正常に行われません。
  Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」を☑にすると正常に機能します。

  ①[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]の順に選択し、「サービス」をダブルクリックする

  ②[サービス]ダイアログで、「Spooler」を選択し、[スタートアップ]をクリックする

  ③「システムアカウント」を選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」を☑にし、[OK]をクリックする

  ④[停止]をクリックし、Spooler サービスを停止する

  ⑤[開始]をクリックし、Spooler サービスを開始する

  ⑥[閉じる]をクリックする

- クライアント上に Norton Internet Security などのファイアウォールソフトがインストールされている、または Windows XP/Windows Server 2003 のインターネット接続ファイアウォール機能が有効になっていませんか。
  ファイアウォール機能が有効になっている場合、Printianavi のメッセージがプリントサーバ上に表示されます。
  ソフトのファイアウォール機能を無効にするか、ソフト側の設定で通信を許可する対象機器に次の機器をすべて登録してください。
  - プリントサーバ
  - 印刷を実行するパソコン
  - ステータスの表示先に指定するパソコン
  - プリンタ

(4)　プリンタの状態の表示や反映が行えない

《現 象》

プリンタドライバの設定ダイアログから「プリンタ状態表示」が行えない。また、「プリンタ状態を設定値に反映する」で情報の取得に失敗してしまう。

《対 処》

印刷中の状態表示や印刷完了通知など Printianavi のメッセージ通知も正常に行われない場合は、「Printianavi のメッセージが表示されない」を参照してください。

参照　「Printianavi のメッセージが表示されない」(411 ページ) 参照

印刷も正常に行われない場合は、「印刷できない」を参照してください。

参照　「印刷できない」(405 ページ) 参照

「プリンタ状態表示」および「プリンタ状態を設定値に反映する」でのみ問題が発生する場合は、次の点を確認してください。

・プリンタのモデルが異なるプリンタドライバを使用していませんか。
プリンタドライバはプリンタモデルにあったものを使用してください。

・プリンタドライバを更新せずに Printianavi ネットワークポートモニタのみ新しいものをインストールていませんか (Windows 2000/XP/Windows Server 2003)

参照　「旧バージョン・レベルとの混在運用について」(423 ページ) 参照
「プリンタドライバの削除」(201 ページ) 参照

・Windows NT4.0 の Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」を☐にしていないか確認してください。
この場合、印刷中のステータスや、エラーメッセージ、プリンタ状態表示、プリンタ状態を設定値に反映するなどの機能が正常に行われません。
Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」を☑にすると正常に機能します。

①[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]の順に選択し、「サービス」をダブルクリックする

②[サービス]ダイアログで、「Spooler」を選択し、[スタートアップ]をクリックする

③「システムアカウント」を選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」を☑にし、[OK]をクリックする

④[停止]をクリックし、Spooler サービスを停止する

⑤[開始]をクリックし、Spooler サービスを開始する

⑥[閉じる]をクリックする

(5)　印刷結果がプリンタドライバの設定と違う

《現 象》

アプリケーションから印刷を行ったが、印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と違っている。

《対 処》

アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。
このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。
このような場合は、[プリンタのプロパティ]（Windows 95/98/Me）や［印刷設定]（Windows 2000/XP/Windows Server 2003)、[ドキュメントの既定値]（Windows NT4.0）で設定を変更しても反映されません。
印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。

参照　「プリンタドライバで設定できる内容」（221 ページ）参照

(6)　給紙トレイから印刷後、エラーまたは警告が表示される

《現 象》

給紙トレイから印刷後、用紙サイズ不一致のエラーメッセージが表示される。このとき、オペレータパネルには「サイズ　カクニン」と表示される。

《対 処》

給紙トレイにセットされている用紙が、プリンタドライバで指定した用紙サイズと一致しているか確認してください。プリンタドライバでの指定と実際にセットされている用紙が合っていないと、印刷後にエラーが表示されます。
給紙トレイから印刷するときは、プリンタドライバで指定したサイズの用紙がセットされていることを確認してください。

(7)　Printia LASER Internet Service が正しく動作しない、またはエラー表示される

Printia LASER Internet Service が起動時または起動中に、次のような状態になってしまう。

《現 象 1》

Printia LASER Internet Service のウィンドウが表示されない、またはウィンドウの一部が表示されない。

《対 処》

次の点を確認してください。

・プリンタに電源が入っていますか。

・LAN ケーブルは正しく接続されていますか。

・Web ブラウザに入力した URL は正しいですか。
Printia LASER Internet Service を表示するときの URL は「http://」+「プリンタの IP アドレス」または「http://」+「ホスト名+ドメイン名」を指定します。
プリンタの URL に指定した IPP プリンタ名(「/」以降)は指定しないでください。

また、設定の一覧を印刷し、次の点も確認してください。

・プリンタに IP アドレスが正しく設定されていますか。
URL に「ホスト名+ドメイン名」を指定した場合は DNS サーバの設定も正しいか確認してください。

・TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。

・Netscape 6.x を「通常使うブラウザ」に設定している環境で、Printianavi ネットワークマネージャから［ブラウザで状態を表示］機能を使用すると、次の現象が発生することがあります。

- 「ブラウザの起動に失敗しました」とメッセージが表示される
Printia LASER Internet Service の動作に問題はありません。メッセージダイアログを閉じてください。

- Internet Explorer が起動していると、Printia LASER Internet Service が表示されない
Internet Explorer を閉じてから、再度［ブラウザで状態を表示］を実行してください。

《現 象 2》

設定が反映されない、または［設定］が表示されない。

《対 処》

次の点を確認してください。

・サポート外の Web ブラウザを使用していませんか
Netscape 4.0 以上または Internet Explorer 4.0 以上の製品版ブラウザをお使いください。

・Web ブラウザが JavaScript の使用を禁止する設定になっていませんか

・［設定］をクリックする前に他の情報（ページ）を表示していませんか
設定は各情報（ページ）ごとに行ってください。また、設定中に他の情報（ページ）に切り替えると切り替え前の設定値は反映されませんのでご注意ください。

《現 象 3》

設定中にエラーが表示された、または設定後の表示が「プリンタリセット中...」のままになる。

《対 処》

エラーメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容に従って対処してください。
設定後の表示が「プリンタリセット中...」のままの場合は、プリンタリセット中にプリンタの電源が切断されるなどで通信が行えなくなったことが考えられます。プリンタの電源やネットワーク接続を確認後、一度 Web ブラウザを終了し、キャッシュをクリアしてから再度表示しなおしてください。

(8)　消耗品の交換を通知する E メールが送信されない

《現 象》

消耗品の交換時期になっても、E メールが送信されない。

《対 処 1》

DHCP 環境で運用している場合、電源投入直後はプリンタが IP アドレスを取得できないことがあります。この場合、電源投入直後に検出した交換情報は通知できません。再送待ち時間後（30 分）に発信されます。

《対 処 2》

E メールの設定が正しいか確認してください。送信元アドレス、送信先アドレスは、@以下を含むアドレスすべてを指定する必要があります。

(9)　USB インタフェースのときにプリンタが検出されない

《現　象》

USB インタフェースでプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない。(Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003)

《対　処》

次の点を確認してください。

・プリンタの電源は入っていますか
　プリンタの電源を入れてください。
　参照　「電源を入れる」(54 ページ)、「電源を切る」(68 ページ) 参照

・Windows 95/3.1 から Windows 98/Me にアップグレードしましたか
　Windows 95/3.1 から Windows 98/Me にアップグレードしたパソコンでは動作保証できません。
　Windows 98/Me をクリーンインストールしたパソコンを使用してください。
　参照　「USB による接続とインストール」(108 ページ) 参照

・パソコンは USB に対応していますか
　デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。
　参照　「USB による接続とインストール」(108 ページ) 参照

・USB ケーブルの規格は合っていますか
　USB 1.1 に準拠したケーブルを使用してください。
　参照　「USB インタフェース仕様とコネクタピン配列」(429 ページ) 参照
　「プリンタケーブル」(73 ページ) 参照

・USB ケーブルは正しく接続されていますか
　USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
　参照　「USB による接続とインストール」(108 ページ) 参照

(10)　ポートが追加できない

《現　象 1》

Windows NT4.0 で、CD-ROM の「ネットワークでプリンタを使う」からインストールを行い、ポートを追加しようとすると、ダイアログでメッセージ表示され、ポートが追加されない。

《現　象 2》

Windows NT4.0 で、Printianavi ネットワークポート管理からポートを追加しようとしたらメッセージが表示され、ポートが追加されない。

《対　処》

WindowsNT4.0 の Spooler サービスの設定で「デスクトップとの対話をサービスに許可」を☐にしていると上記のエラーメッセージが表示され、ポートが追加できません。以下の手順に従い設定を☑にし、再度ポートの追加を行ってください。

①[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]の順に選択し、「サービス」をダブルクリックする

②[サービス]ダイアログで、「Spooler」を選択し、[スタートアップ]をクリックする

③「システムアカウント」を選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」を☑にし、[OK]をクリックする

ガイド

ポートの追加およびポートを構成した後に Spooler サービスの設定を元に戻す場合は、「デスクトップとの対話をサービスに許可」を☐にしてください。

④[停止]をクリックし、Spooler サービスを停止する

⑤[開始]をクリックし、Spooler サービスを開始する

⑥[閉じる]をクリックする

参照　「ネットワークポートの追加」（192 ページ）参照

(11)　印刷が開始されるまでに時間がかかる

《現　象》

最初の 1 ページ目が印刷されるまでに数 10 秒から 1 分以上かかる。

《対　処》

Norton Internet Security などのファイアウォールソフトがインストールされている、または Windows XP/Windows Server 2003 のインターネット接続ファイアウォール機能が有効になっていると、印刷が開始されるまでに時間がかかることがあります。ソフトのファイアウォール機能を無効にするか、ソフト側の設定で通信を許可する対象機器に次の機器をすべて登録してください。

- プリントサーバ
- 印刷を実行するパソコン
- ステータスの表示先に指定するパソコン
- プリンタ

または、プリントサーバの「双方向サポートを有効にする」のチェックを☐にしてください。この場合、Printianavi のメッセージは表示されなくなります。

(12)　印刷時やプリンタドライバの設定変更時に Norton Internet Security の警告画面が表示される

《現　象》

Norton Internet Security をご使用の環境で、以下の現象が発生する場合があります。

・プリンタドライバのインストール時
Norton Internet Security の警告画面が表示される

・印刷した場合
-Norton Internet Security の警告画面が表示される
-印刷が行えない、または印刷が開始されるまでに時間がかかる

・プリントサーバ経由で、印刷またはステータス表示を他のコンピュータに表示させた場合
-ステータス表示画面から、印刷中止、再開ページ指定ができない
-「ステータスの表示先」にプリントサーバ以外を指定しても、プリントサーバにステータスが表示される

・「プリンタ状態表示」または「プリンタ状態を設定値に反映する」機能を使用した場合
Norton Internet Security の警告画面が表示される

・「メッセージ連携サービス」ダイアログを開いた場合
-Norton Internet Security の警告画面が表示される
-「メッセージ連携サービス」が「停止」状態になる（この場合、「メッセージ連携サービス」を「開始」に変更できません。）

《対　処》

プリントサーバ、印刷を実行したコンピュータ、ステータスの表示先に指定するコンピュータで、Norton Internet Security の「ファイアウォール」の設定を選択し、「ホームネットワーク」の信頼ゾーンに次の機器の IP アドレスをすべて登録してください。

- プリントサーバ
- 印刷を実行するコンピュータ
- ステータスの表示先に指定するコンピュータ
- プリンタ

(13)　太い文字や図形を印刷すると、影が出る

《現　象》

太い文字や濃淡比の高い文字およびグラフを印刷した後に、網掛け（グレースケール）等の印刷を行った場合、影（残像）が発生する

《対　処》

プリンタドライバの［グラフィックス］ダイアログで、解像度、ディザおよび明るさを調整してください。
装置の故障やプロセスカートリッジの劣化ではありません。

1 プリンタを選択する
・Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 のとき
［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順に選択し、印刷を行うプリンタを選択する
・Windows XP/Windows Server 2003 のとき
［スタート］－［プリンタと FAX］の順に選択し、印刷を行うプリンタを選択する

2 ［ファイル］メニュー－［プロパティ］を選択し、プリンタのプロパティを表示する

3 ［グラフィックス］ダイアログを表示し、「解像度」をより低くなるように設定する

4 Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合、解像度の「写真をきれいに印刷する」を☑にする
ただし、解像度を「300dpi」に選択したときは設定できません。

5 ディザを「粗」に設定する

6 明るさを「暗」に設定する

17.7 ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本製品添付のソフトウェアをご使用になる際の留意事項について説明します。

17.7.1 Windows をアップグレードする場合

Windows をアップグレードする場合、XL プリンタドライバおよび XL プリンタ関連ソフトウェア(ネットワークポートモニタなど)をあらかじめ削除（アンインストール）してから、アップグレードを行ってください。各ソフトウェアは、アップグレード完了後、再インストールしてください。

削除（アンインストール）を行わずに Windows をアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処方法について、以下で説明します。

●プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態で Windows のアップグレードを行うと、Windows 添付のドライバに置き換わる、およびアップグレード前のドライバが登録されたままになることがあります。
この状態では、Printia XL ドライバが提供している機能が使用できない、または正しく印刷が行えないなどの現象が発生する場合があります。
プリンタドライバを削除し、再度インストールし直してください。

参照 「プリンタドライバの削除」（214 ページ）参照
参照 「第 5 章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（97 ページ）参照
参照 「第 6 章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」（125 ページ）参照

●Printianavi ネットワークポートモニタ

ネットワークポートモニタがインストールされた状態で Windows のアップグレードを行うと、Printianavi のポート（Printianavi Network Port）が新規に作成できなくなる場合があります。この場合は、ネットワークポートモニタを削除（アンインストール）してから、最新版のネットワークポートモニタをインストールしてください。

17.7.2 Windows 2000/XP/Windows Server 2003 環境で使用時の留意事項

(1)　インストール、アンインストール時の注意事項

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 で「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM に納められている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールするときは、管理者権限でログオンしてください。
一般ユーザでログオンした場合は、正しくインストールまたはアンインストールできないことがあります。
一般ユーザでインストールまたはアンインストールして正常に動作しなくなった場合は、管理者権限でログオンし、同一フォルダに上書きインストール後、再度操作してください。

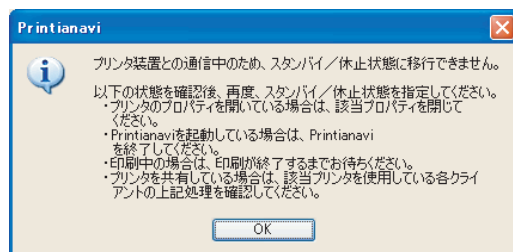
(2)　ネットワーク経由でのドライバインストールについて

クライアント／サーバ運用で、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows NT4.0 を使用した場合、サーバ(Windows NT4.0)のプリンタをネットワーク経由でインストールすると、［ポート］タブの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレイアウトされ、Printianavi 機能が正常に機能しません。
また、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows 95/98/Me を使用した場合、ネットワークインストールを行っても途中で失敗します。
上記の環境では、ネットワーク経由でインストールせず、直接クライアントにローカルポートを選択してプリンタドライバをインストール後、印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更してください。

(3)　Windows 2000/Windows Server 2003 クラスタ環境について

Windows 2000/Windows Server 2003 のクラスタ環境での動作は保証していません。

(4)　ACPI の動作について

本製品とパソコンが通信中の場合は、パソコンが ACPI によるスタンバイ／休止状態に移行できないため、次のメッセージが表示されます。

パソコンをスタンバイ／休止状態に移行させる場合は、以下の内容を確認し、通信を行っていない状態になってから、再度スタンバイ／休止状態の設定を行ってください。
プリンタを他のパソコン（クライアント）と共有している場合は、使用しているパソコン（クライアント）側からも通信を行わないようにしてください。

・印刷中のとき
　印刷が終了するまでお待ちください。

・プリンタドライバの設定ダイアログ（プリンタのプロパティ）を開いているとき
　プリンタドライバの設定ダイアログ（プリンタのプロパティ）を閉じてください。

なお、サーバがスタンバイ／休止状態のとき、クライアントからサーバの共有プリンタの状態を表示または取得しようとすると、エラー表示になったり、正しい状態が表示されなくなったりします。このときは、次の操作を行ってください。

・プリンタドライバの設定ダイアログの［プリンタ状態表示］または［プリンタ状態を設定値に反映する］でエラーになったとき
　エラー表示のダイアログを閉じ、サーバが通常状態に復帰した後に再度操作してください。

17.7.3 旧バージョン・レベルとの混在運用について

XL-6010/5810/5710/5510/5310、XL-6700/6100/5730/5720/5340/5330/5320 および XL-6200/5750/5350/5250 を混在して運用する場合、ソフトウェアの組み合わせにより、動作に不具合が生じる可能性があります。お使いのソフトウェアのバージョン・レベルを確認のうえ、最新版 CD-ROM に添付のバージョン以降に更新してください。

(1)　とくに注意が必要な組み合わせ

とくに注意が必要な組み合わせについて説明します。

●Printianavi ネットワークポートモニタとプリンタドライバ

- Windows 2000/XP/Windows Server 2003 環境で Printianavi ネットワークポートモニタ V8.1L10 をインストールする際は、プリンタドライバを必ず最新版に更新してください。古いプリンタドライバと組み合わせると、プリンタの状態を正しく取得できません。
- Printianavi ネットワークポートモニタ V8.1L10 の持つ IPP 印刷機能は、XL-6300/6200/5770/5750/5370/5250/5730/5350/5340/5330 との組み合わせで使用できます。

●Printianavi ネットワークマネージャと対応プリンタ

サポート対象プリンタ XL-5250/5310/5320/5330/5340/5350/5370/5710/5720/5730/5750/5770/6010/6100/6200/6300/6700 です。
XL-5310/5320/5330/5340/5710/5720/5730/6010/6100/6700 では、「プリンタ情報」ダイアログのステータス情報表示は、簡易表示となります。エラー時に、用紙サイズ、給紙カセット位置、カバーの種類は表示されません。

(2)　更新時の注意事項

各ソフトウェアを更新する際の注意事項について説明します。

●Printianavi ネットワークポートモニタ

Printianavi ネットワークポートモニタの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。ただし、次の点に注意してください。

- Printianavi Network Port を印刷先に設定しているプリンタがある場合は、印刷先を一時的に別のポートに変更してください。
- Windows 起動後、一度も印刷を行っていない状態でインストールを行ってください。

参照　「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（148 ページ）参照

参照　「第 12 章　プリンタ管理機能(Printianavi ネットワークマネージャ)」（269 ページ）参照

●Printianavi ネットワークマネージャ

Printianavi ネットワークマネージャの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。

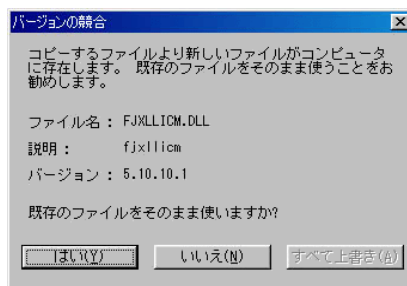
・Printianavi ネットワークマネージャが起動されている場合は、終了させてからインストールを行ってください。

参照 「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（148 ページ）参照

参照 「第 12 章　プリンタ管理機能(Printianavi ネットワークマネージャ)」（269 ページ）参照

17.7.4 旧バージョンのプリンタドライバ・インストール時の注意事項

XL-5770/5370 のプリンタドライバがインストールされている環境に、旧バージョンのプリンタドライバをインストールすると、「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示され、既存のファイルをそのまま使用するかどうかの選択を求められます。この場合、「はい」を選択してください。

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの基本仕様

以下に、XL-5770/5370 の各仕様を示します。

型名	XL-5770	XL-5370
印刷方式	電子写真方式	
印刷速度（コピー動作による連続印刷時） 単位：ページ/分	普通紙 片面 両面 A4 30.6 ページ／分 21.4 ページ／枚 A3 17.4 ページ／分 12.2 ページ／枚 A5 30.6 ページ／分 21.4 ページ／枚 B4 19.5 ページ／分 13.6 ページ／枚 B5 30.6 ページ／分 21.4 ページ／枚 不定形用紙*5 2.7～29.7 枚／分 ―	普通紙 片面 両面 A4 25.4 ページ／分 17.8 ページ／分 A3 15.6 ページ／分 10.9 ページ／分 A5 25.4 ページ／分 15.7 ページ／分 B4 17.1 ページ／分 12.0 ページ／分 B5 25.4 ページ／分 17.8 ページ／分 不定形用紙*5 2.7～24.7 枚／分 ―
	・両面印刷にすると印刷速度は遅くなります。 ・厚紙モードにすると印刷速度は遅くなります。 ・不定形用紙の場合は、用紙サイズによって、印刷速度が異なります。	
ウォームアップ時間	電源投入時：約 25 秒 節電復帰時：12 秒以下	
エンジン解像度	600dpi／1200dpi	
データ処理解像度	300dpi×300dpi 600dpi×600dpi 1200dpi×1200dpi	
スムージング処理	Super FEIT(1200dpi 以外)、True 1200DPI ※FEIT=Fujitsu Enhanced Image Technology	
用紙種類	・MP カセット/給紙トレイ（オプション） 普通紙、厚紙（重量 90g/㎡～135g/㎡）、OHP、ラベル、はがき ・給紙カセット（標準） 普通紙、厚紙（重量 90g/㎡～135g/㎡）、OHP、ラベル ・拡張給紙ユニット(オプション) 普通紙、厚紙（重量 90g/㎡～135g/㎡）	
用紙サイズ	・MP カセット A3、 B4、 B5、 A4、 A5、 リーガル、 レター、 ユーザ定義サイズ（長さ 420㎜ まで）、官製はがき ・給紙トレイ(オプション) A3、 B4、 B5、 A4、 A5、 リーガル、 レター、ユーザ定義サイズ（幅 100～297㎜、長さ 148㎜～420㎜）、長尺紙（幅 297㎜ 固定、長さ 420.1㎜～900.0㎜）官製はがき ・給紙カセット（標準）/拡張給紙ユニット（オプション） A3、 B4、 B5、 A4、 A5、 リーガル、 レター	
給紙方式[*1]	給紙カセットによる自動給紙 （収容枚数 250 枚、拡張給紙ユニット使用時最大 1,500 枚） MP カセットによる自動給紙 （収容枚数 150 枚（はがき 60 枚）） 給紙トレイによる自動給紙 （収容枚数 100 枚（はがき 50 枚））	

両面印刷(オプション)	A3、 A4、 A5、 B4、 B5、 レター、 リーガル 注：普通紙（60g/㎡～90g/㎡）のみ
排紙方法[*1]	フェースダウンスタッカ（スタック枚数　250 枚）
使用環境条件	温度 10℃～32℃ 湿度 15%～85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100V ±10%、50/60 Hz
消費電力	動作時　1100W以下、節電時[*4]　20W以下 平均消費電力：650W 以下（片面連続印刷時） 電源オフ時：0W[*6]
突入電流	最大突入電流　100A 以下（電源 ON 時　突入時間：10m 秒以下）
騒　音	動作時 53dB(A)、待機時 34dB(A)（フルオプション 56dB(A)）
外形寸法	幅 505㎜、奥行き 376(592)㎜、高さ 324㎜ （ ）:カセット延長時
質　量	約 19.5kg（消耗品、オプションを除く）
インタフェース	IEEE P1284 双方向パラレルポート USB1.1 準拠 USB インタフェース 100Base-TX/10Base-T LAN ポート
プリンタシーケンス[*2]	XL プリンタドライバ、ESC/P
文字・書体	ESC/P 用：ANK、明朝体、ゴシック体
耐用期間[*3]	5 年(8 時間/日)または 60 万ページ印刷(A4 サイズ横送り)のいずれか早い方

*1：収容枚数は 64g/㎡ にて換算
*2：データ処理解像度
・XL プリンタドライバ:1200dpi/600dpi/300dpi(スーパーFEIT:2400dpi×600dpi 相当)
・ESC/P:180dpi(FEIT:600dpi 相当)
*3：耐用期間
・本製品には、以下の定期交換部品(定着器等)が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要となります。交換時期の目安は、下表をご覧ください。また、本製品には以下の有寿命部品が含まれています。交換時期の目安は使用頻度や条件によって異なりますが、一般的な使用環境(22℃)では、8 時間/日、200 時間/月のご使用で約 5 年です。ただし、個々の製品には個体差があり、5 年間の動作を保証するものではありません。また、動作保証環境内の運用であっても寿命を保証するものではなく、特に動作保証環境の上限/下限での連続使用による故障は無償修理期間内であっても有償修理となる場合があります。12,000 時間(約 5 年を時間換算)を超えて長時間使用した場合は、早期の部品交換が必要となります。
・部品の交換は、ハードウェア修理相談センターにご連絡ください。
・累積使用時間は、24 時間運用の場合も同様です。
・A4 より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用期間が 60 万ページより短くなります。

定期交換部品	交換目安
定着器	10 万ページ（A4 サイズ横送り）
用紙搬送ロールキット	20 万枚印刷（A4 サイズ横送り）
転写ロール	20 万枚印刷（A4 サイズ横送り）

＊A4 サイズ横送り/片面印刷時　1 枚＝1 ページ
＊A4 サイズ横送り/両面印刷時　1 枚＝2 ページ

・主な有寿命部品
光学ユニット(ROS)、電源、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ等

*4：節電モードになってから 5 分間は 20W、5 分以降は約 10W となります。
*5：用紙幅、用紙長の組み合わせにより印刷速度は変わります。定着器を保護するため、用紙幅の狭い用紙に印刷する場合には、印刷速度は低下します。
*6：電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが OFF の場合、電力の消費はありません。

インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、パラレルインタフェースおよびUSBインタフェースを採用しています。

●パラレルインタフェース仕様とコネクタピン配列

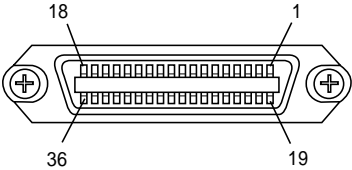
・基本仕様
IEEE P1284に準拠した双方向パラレルインタフェース

・インタフェースコネクタ
プリンタ側：36極コネクタ(メス)　アンフェノール　57-40360相当品
ケーブル側：36極コネクタ(オス)　アンフェノール　57-30360相当品

・ケーブル
最長1.5m以下のケーブルを使用してください。
（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）

・信号レベル
LOW：0.0V～+0.4V HIGH：+2.4V～+5.0V

・データ転送方式
８ビットパラレル

・コネクタピン配列

インタフェースコネクタ(36ピン)

ピン番号	信号名称	発信元
1	＊Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	Perror	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊AutoFd	パソコン
15	—	—
16	SG	—
17	FG	—
18	+5Vsignal	プリンタ
19	-RET	—
20	-RET	—

21	-RET	ー
22	-RET	ー
23	-RET	ー
24	-RET	ー
25	-RET	ー
26	-RET	ー
27	-RET	ー
28	-RET	ー
29	-RET	ー
30	-RET	ー
31	＊Init	パソコン
32	＊Fault	プリンタ
33	-RET	ー
34	—	ー
35	—	ー
36	＊SelectIn	パソコン

注）“ ＊ ”は、負論理信号であることを示します。
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

●USB インタフェース仕様とコネクタピン配列

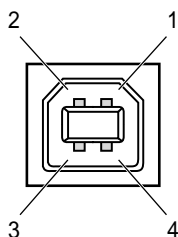
・基本仕様
USB 仕様の Revision1.1 準拠

・インタフェースコネクタ
プリンタ側：B レセプタクル（メス）
ケーブル側：アップストリームポート

・ケーブル
XL-CBLU2 または、5m以下の USB 仕様 Revision1.1 以上に適合したケーブル（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）

・伝送モード
フルスピード（最大 12Mbps）

・電力制御
セルフパワーデバイス

・USB ピン配列

ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

オプション品一覧

●給紙トレイ

品名	型名	内容
給紙トレイ	XL-FT10W1	1 段目のマルチユニットにセットして使用します。用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合、および長尺紙に印刷する場合は、給紙トレイをご使用ください。なお、給紙トレイと MP カセットを同時に取り付けることはできません。

●拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット-A	XL-EF25W1	3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。 (LB315　給紙カセット（A3 ユニバーサル 250 枚）添付)
拡張給紙ユニット-B	XL-EF55W1	3 段目、4 段目の給紙ユニットとして使用できます。 (LB315　給紙カセット（A3 ユニバーサル 550 枚）添付)

●両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPW1	両面印刷用のユニットです。

●プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール-64MB	XL-EM64M5	RAM を 64MB 搭載したメモリモジュールです。
プリンタ RAM モジュール-128MB	XL-EM128M5	RAM を 128MB 搭載したメモリモジュールです。

●プリンタ LAN アダプタ

品名	型名	内容
プリンタ LAN アダプタ	FM-LNA110	100BASE-TX/10BASE-T に対応した LAN アダプタです。NetWare 3.1xJ、IntranetWare、NetWare5 に対応しています。

●プリンタケーブル

・パラレルインタフェースケーブル

品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMV-CBL712	FMV シリーズ、各社 AT 互換機に接続できます。
プリンタケーブル	FMS-CBL711	PRIMERGY GRANPOWER 5000 シリーズに接続できます。

・USB ケーブル

品名	型名	備考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2	Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応していますが、本プリンタとの接続時は USB1.1 で動作します。

サプライ品一覧

サプライ用品の商品番号を次の表に示します。
これらの品物については、本製品をお買い求めの販売店へご相談ください。
PPC 用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

⚠ 注意	故 障	プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

商品名		商品番号	備考
普通紙推奨用紙 オフィス用紙 W	A3	0411650	500 枚×3 冊で 1 ケース
	B4	0411620	500 枚×5 冊で 1 ケース
	A4（Y）	0411612	
	B5（Y）	0411645	
	A5（Y）	0411635	
再生オフィス用紙 EC100 （100%再生紙）	A3	0414315	500 枚×3 冊で 1 ケース
	B4	0414325	500 枚×5 冊で 1 ケース
	A4	0414335	
	B5	0414345	
モノクロ LBP 用長尺用紙		0421020	プリンタドライバで「用紙種類」を「厚紙」に設定してください。
プロセスカートリッジ LB315A		0805110	A4 用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が 5%以下のときに、印刷寿命は約 6,000 枚です（印刷の内容により、多少の差があります）。
プロセスカートリッジ LB315B		0805120	A4 用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が 5%以下のときに、印刷寿命は約 10,000 枚です（印刷の内容により、多少の差があります）。
LB315 給紙カセット（MP）		0805310	サイズ：A3～A5、官製はがき、不定形 枚数：150 枚（推奨用紙） 本体の MP カセットと同一品です。
LB315 給紙カセット (A3 ユニバーサル)		0805320	サイズ：A3～A5 枚数：250 枚（推奨用紙） 本体および拡張給紙ユニット-A(XL-EF25W1)添付のカセットと同一品です。
LB315 給紙カセット (A3 ユニバーサル)		0805330	サイズ：A3～A5 枚数：550 枚（推奨用紙） 拡張給紙ユニット-B(XL-EF55W1)添付のカセットと同一品です。
レーザプリンタ置台		0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法:600(W)×610(D)×440(H)mm

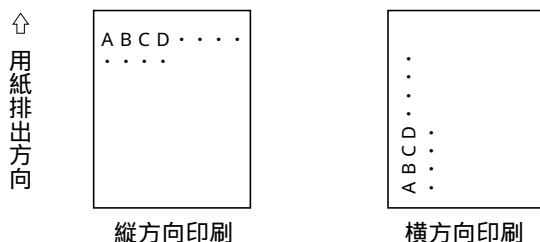
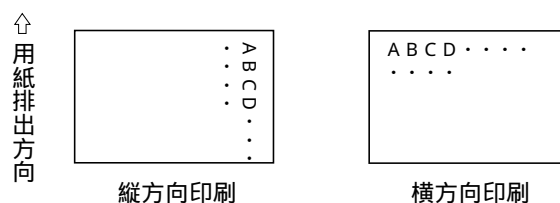
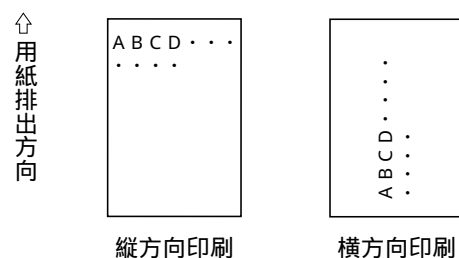
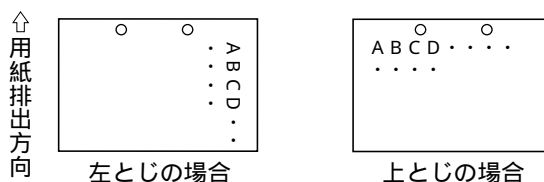
ガイド

・プロセスカートリッジは、純正品をご使用ください。リサイクル品や他社製サプライ品を使用されますと、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。
・100%再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。
・用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、オプションの給紙トレイをご使用ください。

用紙関係

本プリンタは、給紙カセットと給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

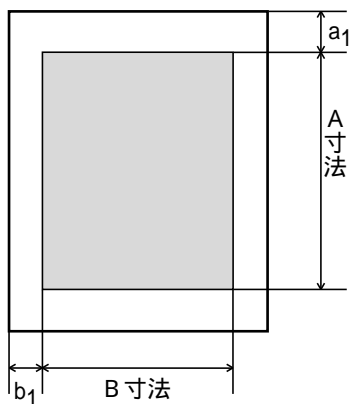
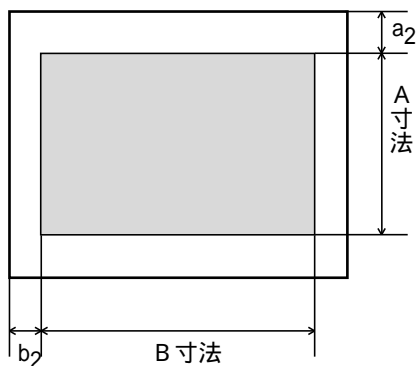
●印刷方向

・A3、B4、リーガル、長尺紙サイズの用紙の場合

・A4、A5、B5、レター、はがきサイズの用紙の場合

・ユーザ定義サイズの用紙の場合

とじ穴のあるＡ４サイズの用紙を使用する場合は、「印刷方向」の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。

ガイド

用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。

参照 「第 10 章　プリンタドライバの機能と利用方法」（219 ページ）参照

●印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

［印刷方向：縦］　　［印刷方向：横］

（単位：mm）

・Printia XL ドライバ使用時
a1=a2=5㎜、b1=b2=5㎜

用紙方向	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

・ESC/P モード使用時
a1=a2=8.5㎜ または 22㎜(はがき:10㎜)、b1=b2=5㎜

用紙方向	用紙サイズ		A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	8.5㎜時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22㎜時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	8.5㎜時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22㎜時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

メニューモードのときの留意点

ここでは、メニューモードで値を設定するときに、とくに留意していただきたい内容について説明します。

●設定の印刷

プリンタおよび LAN ポートの現在の設定内容を印刷します。印刷は現在指定している方法で行います。A4 サイズの用紙を基準とし、A4 より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、はがき、A5 サイズより小さい不定形用紙は印刷できません。印刷した場合は、「サイズフソク　A４　ヲ　イレテクダサイ」と表示されますので、他のサイズに変更して再度印刷してください。
用紙がない場合は「ヨウシ　ナシ」と表示されますので、用紙を補給してください。
印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。
LAN 設定で「TCP/IP プロトコル」を「無効」にしたとき、LAN 設定内容は印刷されません。
また、エミュレーション設定を「無効」にしたときは、エミュレーション設定の内容は表示されません。

次に「設定の印刷」の印刷例を示します。

システム情報

総印刷枚数　＝　５６５８枚
メモリ容量　＝　９６MB
ROM版数　＝　Ver９９．９９
エンジンROM版数　＝　Ver９９．９９
両面ユニット　＝　あり
主走査方向位置　＝　０．０mm
副走査方向位置　＝　０．０mm

給紙口情報

MP／給紙トレイ＝不定形
カセット１　＝A4
カセット２　＝B5

自動給紙設定

MP／給紙トレイ＝有効
カセット１　＝有効
カセット２　＝有効

ネットワーク基本情報

IPアドレス設定

DHCP自動取得　＝　解除
IPアドレス　＝　１９２．１６８．　０．　１０
サブネットマスク　＝　２５５．２５５．２５５．１２８
ゲートウェイ　＝　１９２．１６８．　０．　１

MACアドレス　＝００００0E８５００D４
Ethernetタイプ　＝自動認識(XXXMbps)
TCP／IP設定　＝有効
印刷ポート番号　＝９３１３
検索ポート番号　＝９３１３
TCP／IP動作状態　＝０（エラーなし）
LANステータス　＝１．０１０１．０１０１．０１

●LAN 設定

LAN 設定で「Ethernet タイプ」を変更した場合は、いったん電源を切断し、再投入してください。

●IP アドレス設定

IP アドレスの取得方法および IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイの各項目は、DHCP により自動的に取得するように設定されているため、表示されません。IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイをプリンタから設定する場合は、「DHCP 自動取得」を「解除」してください。

TCP/IP の設定を行っても TCP/IP が正常に動作しない場合があります。このようなときは、メニュー印刷の「設定の印刷」を行い、「TCP/IP 動作状態」（次の表）および「LAN ステータス」を確認してください。

TCP/IP 動作状態コードは、次のとおりです。

コード	内容と処置
0	TCP/IP は正常に動作しています。
1	IP アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。 設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IP 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
6	DHCP により取得した IP アドレスが他のホストで使用されています。 いったん、電源を切断し、再び投入してください。
9	ゲートウェイの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。

ガイド

TCP/IP 動作状態コードが 2（構成情報取得中)、または 3（構成情報の取得要求がタイムアウト）の場合でも、Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2 による IP アドレスの設定を行うことができます。

DHCP クライアントの予約について

DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じ IP アドレスを取得できるように DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、電源投入後、オペレータパネルに表示されるファームロード中(下段)のメッセージを参照、または設定の一覧を印刷してください。

参照 「DHCP によるアドレス自動取得」（142 ページ）参照

ガイド

「LAN 設定」の「TCP/IP プロトコル」を「無効」にした場合、「IP アドレス設定」、「LAN 設定」は表示されません。

LAN ステータスは、次のとおりです。

設定項目	機能
a．bbbb．cccc．dd	LAN の接続状態を 2 進数の各コードで示します。 a：リンク・ステータス ０＝無効／１＝有効 2進法表示 a：リンク・ステータス　0＝無効／1=有効 bbbb:プリンタデータ転送能力 └ 10Base-T　半二重（0＝無効／1＝有効） └ 10Base-T　全二重（0＝無効／1＝有効） └ 100Base-TX半二重（0＝無効／1＝有効） └ 100Base-TX全二重（0＝無効／1＝有効） cccc:リンクパ-トナデータ転送能力 └ 10Base-T　半二重（0＝無効／1＝有効） └ 10Base-T　全二重（0＝無効／1＝有効） └ 100Base-TX半二重（0＝無効／1＝有効） └ 100Base-TX全二重（0＝無効／1＝有効） dd:データ転送速度 └ データレート（0=10Mbps/1=100Mbps） └ 全二重／半二重（0＝半二重／1＝全二重） a:リンクステータスが0＝無効の場合、「- -」と表示 * cccc:HUBによって異なり、「AUTO時の状態」または「000」となる場合があります。

●綴じしろモード（綴じしろ位置）

両面印刷のときの、綴じしろ方向と綴じしろモードの関係は次のとおりです。

（表綴じしろ量：a、裏綴じしろ量：b）

		綴じしろ位置			
		印刷方向　縦		印刷方向　横	
両面印刷	綴じしろモード	表	裏	表	裏
長辺綴じ	左／上綴じ	a	b	a	b
	右／下綴じ	a	b	a	b
短辺綴じ	左／上綴じ	a	b	a	b
	右／下綴じ	a	b	a	b

ESC/P コマンド（機能コード）一覧

ガイド
ESC/P コマンドを使用する場合、プリンタのメニューモードで「環境設定」の「エミュレーション設定」を「ESC/P」に変更してください。（初期値は「解除」）

以下に使用できるコマンドの一覧を示します。
表中の Pa、P1、P2、…、Pn は、パラメータを表します。
表中の D1、D2、…、Dn は、データを表します。
表中の sp は、スペース記号を示します。

ESC/P モードコマンドは、次の表のとおりです。

●書式設定・実行

機能名称	コマンド名	コード名
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC+C+Pa
	インチ単位ページ長設定	ESC+C+NUL+Pa
	ミシン目スキップ設定	ESC+N+Pa
	ミシン目スキップ解除	ESC+O
	右マージン設定	ESC+Q+Pa
	左マージン設定	ESC+L+Pa
改行量設定	1/8インチ改行量指定	ESC+0
	1/6インチ改行量指定	ESC+2
	n/180インチ改行量指定	ESC+3+Pa
	n/60インチ改行量指定	ESC+A+Pa
タブ設定	垂直タブ位置設定	ESC+B+P1+P2+…Pn+NUL
	水平タブ位置設定	ESC+D+P1+P2+…Pn+NUL
	VFUチャネル選択	ESC+／+Pa
	VFUタブ位置設定	ESC+b+Pa+P1+…Pn+NUL
印字・紙送り	印字復帰	CR
	改行	LF
	改ページ	FF
	n/180インチ順方向紙送り	ESC+J+Pa
	n/180インチ逆方向紙送り	ESC+j+Pa
印字位置設定	水平タブ実行	HT
	垂直タブ実行	VT
	後退	BS
	絶対位置指定	ESC+$+P1+P2
	相対位置指定	ESC+￥+P1+P2

●テキスト処理～ANK文字

機能名称	コマンド名	コード名
文字セット	12CPI指定	ESC+M
	10CPI指定	ESC+P
	15CPI指定	ESC+g
	プロポーショナル指定／解除	ESC+p+Pa
	国際文字選択	ESC+R+Pa
	スーパー/サブスクリプト指定	ESC+S+Pa
	スーパー/サブスクリプト解除	ESC+T
	文字品位選択	ESC+x+Pa
	書体選択	ESC+k+Pa
	文字コード表選択	ESC+t+Pa
文字定義	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC+%+Pa
	ダウンロード文字定義	ESC+&+NUL+P1+P2+｛Pa1+Pb1+Pc1+D1～Dn｝×n
	文字セットコピー	ESC+：+NUL+P1+P2
文字ピッチ調整	文字間スペース量設定	ESC+sp+Pa
位置揃え選択	位置揃え選択	ESC+a+Pa
装飾	縮小指定	SI
	縮小指定	ESC+SI
	縮小解除	DC2
	アンダーライン指定／解除	ESC+—+Pa
	縦倍拡大指定／解除	ESC+w+Pa

●テキスト処理～共通

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	自動解除付き倍幅拡大指定	SO
	自動解除付き倍幅拡大指定	ESC+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4
	倍幅拡大指定／解除	ESC+W+Pa
	強調指定	ESC+E
	強調解除	ESC+F
	二重印字指定	ESC+G
	二重印字解除	ESC+H
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS+SO
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS+DC4
	一括指定	ESC+！+Pa
	イタリック指定	ESC+4
	イタリック解除	ESC+5
	文字スタイル選択	ESC+q+Pa

●テキスト処理～漢字

機能名称	コマンド名	コード名
装飾	縦書き指定	FS+J
	横書き指定	FS+K
	半角縦書き２文字指定	FS+D
	４倍角指定／解除	FS+W+Pa
	漢字アンダーライン指定／解除	FS+―+Pa
	漢字一括指定	FS+！+Pa
文字セット	漢字モード指定	FS+&
	漢字モード解除	FS+.
	半角文字指定	FS+SI
	半角文字解除	FS+DC2
	１／４角文字指定	FS+r+Pa
	漢字書体選択	FS+k+Pa
文字定義	外字定義	FS+2+P1+P2+D1～D72
文字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS+S+P1+P2
	半角文字スペース量設定	FS+T+P1+P2
	半角文字スペース量補正	FS+U
	半角文字スペース量補正解除	FS+V

●イメージ処理

コマンド名	コード名
８ドット単密度ビットイメージ	ESC+K+P1+P2+D1～Dn
８ドット倍密度ビットイメージ	ESC+L+P1+P2+D1～Dn
８ドット倍速倍密度ビットイメージ	ESC+Y+P1+P2+D1～Dn
８ドット４倍密度ビットイメージ	ESC+Z+P1+P2+D1～Dn
ビットイメージ選択	ESC+＊+Pa+P1+ P2+D1～Dn
ビットイメージ変換	ESC+？+P1+P2

●補助機能

機能名称	コマンド名	コード名
初期化	初期化	ESC+@
データ入力制御	データ抹消	CAN
ＣＳＦ制御	カットシートフィーダ制御	ESC+EM+Pa

●エミュレーションチェンジ

コマンド名	コード名
プリンタモード移行	ESC+z+NUL+NUL
エミュレーション切替え	ESC+/+イ+@+DEL +ESC+ DEL+NUL+ NUL+SOH+Pa

ESC/P モードキャラクタコード一覧

ガイド

ESC/P コマンドを使用する場合、プリンタのメニューモードで「環境設定」の「エミュレーション設定」を「ESC/P」に変更してください。（初期値は「解除」）

●カタカナコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	‾	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			'	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		-	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F	SI		/	?	O	_	o		│	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

●拡張グラフィックコード

下位＼上位	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL		SP	0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	ß	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7			'	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö		╣	╔	┘	Θ	•
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	ⁿ
D	CR			–	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		/	?	O		o		Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	SP

●国際文字コード

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
フランス	#	$	à		ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
デンマークI	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@		＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインI	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{		}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマークII	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインII	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

国＼コード16進	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
フランス	#	$	à		ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
イギリス	£	$	@	[	＼	]	^	`	{		}	~
デンマークI	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@		＼	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペインI	Pt	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{		}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマークII	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペインII	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

JIS-90第一水準漢字一覧表

区＼点$	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
$		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
20	0																																
21	1		空白	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23	3																	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
24	4		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	5		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	6		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	7		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	8		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E	14																																
2F	15																																
30	16		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	17		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	18		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	19		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	20		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	21		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	22		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	23		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	24		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	25		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	26		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	27		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	28		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	29		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	30		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	31		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	32		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	33		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	34		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	35		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	36		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	37		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	38		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	39		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	40		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	41		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	42		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	43		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	44		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	45		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	46		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	47		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

点$ / 区$	区	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
		32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
20	0																																
21	1	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	2	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23	3		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
24	4	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	5	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26	6		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	7	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	8	╂																															
29	9																																
2A	10																																
2B	11																																
2C	12																																
2D	13	ミリ	キロ	センチ	メートル	グラム	トン	アール	ヘクタール	リットル	ワット	カロリー	ドル	セント	パーセント	ミリバール	ページ	mm	cm	km	mg	kg	cc	m^2									平成
2E	14																																
2F	15																																
30	16	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	17	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	18	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	19	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	20	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	21	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	22	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	23	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	24	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	25	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	26	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	27	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	28	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	29	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	30	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	31	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	32	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	33	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	34	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	35	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	36	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	37	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	38	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	39	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	40	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	41	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	42	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	43	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	44	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	45	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	46	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	47	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

区$	区	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
	点	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
20	0																															
21	1	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	2	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23	3		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	4	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	5	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26	6																															
27	7	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28	8																															
29	9																															
2A	10																															
2B	11																															
2C	12																															
2D	13	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E	14																															
2F	15																															
30	16	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	17	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	18	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	19	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	20	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	21	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	22	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	23	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	24	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	25	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	26	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	27	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	28	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	29	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	30	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	31	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	32	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	33	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	34	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	35	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	36	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	37	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	38	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	39	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	40	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	41	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	42	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	43	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	44	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	45	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	46	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F	47																															

JIS-90第二水準漢字一覧表

区 $	区	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
点 $	点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
50	48		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	49		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52	50		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	51		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	52		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	53		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	54		屐	屏	屙	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	55		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	56		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	57		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	58		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	59		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	60		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	61		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	62		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	63		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	64		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	65		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	66		癩	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	67		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	68		筐	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65	69		紆	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	70		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	71		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	72		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	73		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	74		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	75		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	76		譟	譬	譯	譫	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	77		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	78		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	79		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	80		陜	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	81		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	82		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	83		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	84		堯	槇	遙	瑤																											
75	85																																
76	86																																
77	87																																
78	88																																
79	89																																
7A	90																																
7B	91																																
7C	92																																
7D	93																																
7E	94																																

区 $ \ 点 $	40/32	41/33	42/34	43/35	44/36	45/37	46/38	47/39	48/40	49/41	4A/42	4B/43	4C/44	4D/45	4E/46	4F/47	50/48	51/49	52/50	53/51	54/52	55/53	56/54	57/55	58/56	59/57	5A/58	5B/59	5C/60	5D/61	5E/62	5F/63
50 48	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51 49	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52 50	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53 51	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54 52	埒	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55 53	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56 54	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57 55	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58 56	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59 57	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A 58	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B 59	杳	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C 60	楡	楞	楝	楏	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D 61	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E 62	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F 63	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	瀦	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60 64	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61 65	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62 66	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63 67	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64 68	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65 69	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66 70	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67 71	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68 72	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69 73	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A 74	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B 75	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C 76	貎	貊	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D 77	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E 78	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F 79	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70 80	雯	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71 81	餞	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72 82	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73 83	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74 84																																
75 85																																
76 86																																
77 87																																
78 88																																
79 89																																
7A 90																																
7B 91																																
7C 92																																
7D 93																																
7E 94																																

区 $ ＼ 点 $		60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
		64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
50	48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	52	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	53	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	54	巫	巳	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幣	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	56	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	67	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	69	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	74	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	77	轢	轤	轜	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	79	閨	閠	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	80	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

ＪＩＳ漢字コードについてのご注意

●JIS C6234-1983 の字体との違い

このプリンタが印刷する漢字は、JIS X0208-1983（情報交換用漢字符号系：旧 JIS C6226-1983）に準拠していますが、JIS X9052-1983（ドットプリンタ用 24 ドット字形：旧 JIS C6234-1983）は採用していません。したがって、パソコン本体の表示画面の文字および記号などと必ずしも一致いたしませんのでご了承ください。

JIS X9052-1983 の字体との違いは、おおむね次の表のとおりです。

区 $	区 \ 点 $	60 64	61 65	62 66	63 67	64 68	65 69	66 70	67 71	68 72	69 73	6A 74	6B 75	6C 76	6D 77	6E 78	6F 79	70 80	71 81	72 82	73 83	74 84	75 85	76 86	77 87	78 88	79 89	7A 90	7B 91	7C 92	7D 93	7E 94
50	48	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	49	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	50	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	51	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	52	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	53	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	54	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	55	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	56	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	57	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	58	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	59	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	61	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	62	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	63	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	64	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	65	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	66	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	67	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	68	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	69	縲	縺	繧	繃	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	70	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	71	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	72	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	73	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	74	袱	袿	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	75	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	76	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	77	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	78	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	79	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	80	鞋	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	81	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	82	鰰	鰊	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	83	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74	84																															
75	85																															
76	86																															
77	87																															
78	88																															
79	89																															
7A	90																															
7B	91																															
7C	92																															
7D	93																															
7E	94																															

ネットワーク用語の解説

●BPP（Business Printer Protocol）

富士通独自の双方向ネットワークプリンタ通信プロトコル（TCP/IP を使用）です。プリンタとの双方向通信によりPrintianaviのエラー通知やページリカバリ機能をサポートしているので、LPR印刷に比べて信頼性の高いシステムを構築できます。

●DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

IP アドレスの自動割り付けシステムです。クライアントが TCP/IP 通信を行うときに、必要に応じてサーバから IP アドレスをもらい、通信終了後はサーバに IP アドレスを戻します。

●DNS（Domain Name System）

ホスト名から IP アドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。

●HTTP（HyperText Transfer Protocol）

インターネット上のWWWサーバからデータを送受信するために使用される通信プロトコルです。HTML（HyperText Markup Language）文書や、文書に関連付けされた画像や音声ファイルなどをやり取りすることができます。
IETF（Internet Engineering Task Force）によって RFC として規格化されています。XL シリーズの IPP 対応機種では、HTTP/1.1 をサポートしています。

●IPP（Internet Printing Protocol）

RFC として規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。ファイル転送のプロトコル HTTP（HyperText Transfer Protocol）を使用しており、LAN を超えた環境でもアクセスできることが特徴です。XL シリーズでサポートしている IPP は、標準の IPP を拡張することで Printianavi を使用した双方向通信が可能となっています。

●LPR（Line Printer Remote）

TCP/IP標準の印刷制御プロトコルです。Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 では、UNIX用印刷サービスまたはTCP/IP印刷サービスとして標準添付されています。ただし、双方向通信はサポートしていないため、LPR印刷ではPrintianavi 機能は使用できません。

●MIB

SNMP では、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータを MIB（Management Information Base : 管理情報ベース）といいます。
本プリンタはMIB-IIおよびPrinterMIBをサポートしています。プリンタに添付されているCD-ROMにはPrinterMIBに対応したASN.1形式の「XLprtmib.my」が「MIB」ディレクトリに収録されています。これを SNMP 管理マネージャソフトにインストールして使用してください。

●RFC（Request For Comments）

インターネットの研究開発機関 IETF（Internet Engineering Task Force）がとりまとめている文書群を指します。一般的には TCP/IP の規格書として知られています。

●SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器が SNMP をサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用の SNMP 管理マネージャソフトから、SNMP メッセージを使用することでその接続機器の設定情報である MIB（Management Information Base : 管理情報ベース）を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

・SNMP メッセージ
SNMP によるエージェントの管理は以下の 5 種類のメッセージを使って行われます。
なお、本プリンタでは SetRequest はサポートしていません。

メッセージ種別	説 明	メッセージの送信方向
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ→エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント→マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント→マネージャ

●プロキシサーバ（Proxy Server）

インターネットとの接続時にセキュリティを確保するために設置されるサーバであり、ネットワーク内のコンピュータの代理で外部へのアクセスを行う機能を持ちます。
ファイアウォールによって外部から守られたネットワーク環境においては、ネットワーク内部から外部へのアクセスを行えないという問題があります。この問題を解決するために、プロキシサーバは、外部へのアクセス要求を受け付け、その作業を代理に行います。この処理によって、内部から外部へのアクセスが行えるようになると共に、ネットワーク内部のセキュリティを確保することが可能となっています。
また、セキュリティ機能以外にもプロキシサーバの中には、WWW アクセス時の HTML データをキャッシュする機能をサポートするものもあり、同じ WWW サーバへアクセスがあった場合はキャッシュしているデータを返すことで、WWW アクセスを高速に行うことができるようにすることもできます。

Printianavi の機能概要

Printianavi は、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の Printia XL ドライバに対応した双方向プリンティングシステムです。
また、ネットワークソフトウェアをあわせてインストールすることにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタを管理することができます。
ここでは、Printia XL ドライバおよびネットワークソフトウェアの Printianavi 機能の概要を説明します。

●Printia XL ドライバ動作環境

OS	Windows 95/98/Me/NT4.0(SP3 以降)/2000/XP/Windows Server 2003
パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	16MB 以上（64MB 以上を推奨）
解像度	800x600 以上（1024x768 以上を推奨）
ハードディスク容量	空き容量 8MB（印刷時にはデータ作成のために空き容量が必要です）

●ネットワークソフトウェア動作環境

OS	Windows 95/98/Me/NT4.0(SP3 以降)/2000/XP/Windows Server 2003 ネットワークマネージャ、IP アドレス設定ユーティリティ 2 は Windows 95 をサポートしていません。
パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	16MB 以上（64MB 以上を推奨）
解像度	800x600 以上
ハードディスク容量	空き容量 4MB（全てのモジュールのインストール時。インストール時は、さらに作業域として 10MB 必要）

●Printia XL ドライバ

機能	概要
ステータス表示	印刷前のプリンタの状態や、印刷中の状態をパソコンから確認することができます。
印刷中止操作	印刷を途中で中止することができます。
印刷自動再開	紙づまりなどのエラー解除後に、エラーが発生したページから自動的に印刷を再開します。 （再開不可能なエラーの場合は、印刷を打ち切ります。）
印刷ログの採取	印刷結果をログに記録します。 （参照や詳細設定は、同時にインストールされる印刷ログビューアから行えます。）
オプション情報の自動設定	プリンタメモリや両面ユニットなど、プリンタに装着されているオプションの情報を取得し、プリンタドライバに自動で設定します。
消耗品ログの採取・E メールの送信	消耗品の交換時期を記録（ログ）します。また、必要に応じて指定した送信先に消耗品の交換時期を E メールで通知します。（ログの参照や詳細設定は、同時にインストールされる消耗品ログビューアから行えます。）

参照 Printia XL ドライバがもつ Printianavi 機能の詳細については、オンラインヘルプまたは「第 10 章　プリンタドライバの機能と利用方法」（219 ページ）参照

●ネットワークソフトウェア

・Printianavi ネットワークポートモニタ

機　能	概　要
LAN 直結印刷	Printia XL ドライバの持つ Printianavi 機能をサポートしたまま LAN ケーブルで接続したプリンタに直接印刷することができるようになります。LAN（TCP/IP）環境およびインターネット接続（IPP）での印刷をサポートしています。
ポートの管理	Printianavi ネットワークポートモニタのポートの設定や追加／削除を専用ツールから行うことができます。

・Printianavi ネットワークマネージャ
ネットワークに接続された複数のプリンタ管理を、パソコン上から一括して行えるようにします。

機　能	概　要
ステータス表示	プリンタの状態を参照することができます。
プリンタのネットワーク設定	プリンタのネットワーク設定を行うことができます。

Printianavi ネットワークマネージャについての詳細は、
「第 12 章　プリンタ管理機能(Printianavi ネットワークマネージャ)」（269 ページ）参照

・Printianavi　IP アドレス設定ユーティリティ 2
プリンタに IP アドレスを設定します。
参照　設定方法については、「IP アドレスの設定」（130 ページ）参照

HyperPrint の概要

「HyperPrint」を使用すると、印刷機能を持つアプリケーションであれば、種類を問わず、印刷データを利用したさまざまな機能を利用できるようになります。
「HyperPrint」による印刷機能を利用することにより、印刷コストの削減と、効率的な印刷を実現できます。

●特　長

・印刷コストの削減
- プレビュー上で詳細確認と不要なページのカット
- 両面印刷、縮小印刷による印刷用紙の削減
- 印刷データのファイル保存

・アプリケーション導入コストの削減
- データを確認するためのアプリケーションが不要
- アプリケーションのバージョン/レベルなどの整合性への意識不要

・業務の効率化
- E-Mail による資料配布の電子化
- 送付先のパソコン環境を意識することが不要
- 帳票作成時と同様の鮮明度

●動作環境

・対応 OS
- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003

・対応パソコン
- FMV シリーズ、AT 互換機およびレガシーレス PC

●「HyperPrint お試し版」の機能制限

・プレビュー左下に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。

・プレビュー表示 30 回で製品購入を促すメッセージを表示します。

RepoAgent の概要

「RepoAgent」は、ビジネス帳票を作成、印刷するためのソフトウェアです。
さまざまなビジネス帳票をワープロを使用する感覚でビジュアルに作成できます。
また、帳票の印刷はアプリケーションから制御できます。

●特　長

・帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上
ワープロを使用する感覚で手軽に帳票設計ができ、帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上します。また、運用中に会社のロゴを変更するといった作業も、帳票印刷プログラムを変更することなく対応できます。

・多彩な帳票設計
以下の多彩な表現手段の提供により、複雑な帳票もかんたんに設計できます。
罫線、網かけ、文字装飾、バーコード(11 種)、画像、
データ内容に応じた小計/見出し/改ページの自動挿入など

・容易なアプリケーション連携
アプリケーション側では、帳票に埋め込むデータを CSV テキスト形式で出力し、RepeAgent を呼び出すだけで帳票印刷を実現できます。CSV テキストは Unicode にも対応しています。
また、アプリケーションからの呼び出しインタフェースには、コマンド、API、ActiveX コントロール、Java クラスの 4 種類を用意しています。お使いの開発環境や運用形態に応じて選択できます。

●動作環境

対応 OS	Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003
対応パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	64MB 以上
ディスプレイ	解像度 800×600 以上(1024×768 以上を推奨)
ハードディスク	空き容量 23MB 以上
プリンタ	Windows から印刷できるプリンタ (バーコード印刷時は印刷解像度 300dpi 以上を推奨)

●「RepoAgent お試し版」の機能制限

・お試し版で作成したレポート定義ファイルは、RepoAgent では使用できません。

・用紙の背景に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。

かんたんバーコード Lite の概要

「かんたんバーコード Lite」は、パソコンでバーコードを簡単に作成するためのソフトウェアです。

●特　長

以下のバーコードを作成することができます。

・JAN 標準
　国際的規格の POS シンボルです。多くの商品に使用されています。

・JAN 短縮
　JAN の短縮版です。標準版を印刷できないような小さな商品向けです。

・NW-7
　各種会員カードの管理用として使用されています。

・カスタマ
　平成 10 年から導入されている郵便番号用です。

●動作環境

対応 OS	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003
対応パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	32MB 以上(推奨)

プリンタドライバの入手方法

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「FMWORLD.NET」からダウンロードすることができます。「FMWORLD.NET」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。
下記に示した URL よりプリンタドライバをダウンロードしてください。
FMWORLD.NET URL: http://www.fmworld.net/

ガイド

- 「FMWORLD.NET」をご利用になる際は、Web ブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- 添付の CD-ROM には、製品出荷時での最新版ドライバが収められおり、「FMWORLD.NET」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。
- 本製品に添付されているプリンタドライバは、MetaFrame に対応していません。MetaFrame に対応したプリンタドライバを入手したい場合は「FMWORLD.NET」よりダウンロードしてください。

プリンタドライバのバージョンを確認する方法

プリンタドライバのバージョンは、以下の方法で確認できます。

●Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合

1. [スタート]-［設定］-［プリンタ］の順に選択する
2. 使用するプリンタのアイコンをクリックする
3. プリンタのプロパティを表示する
   - Windows 95/98/Me
     ［ファイル］メニュー-［プロパティ］をクリックする
   - Windows NT4.0
     ［ファイル］メニュー-［ドキュメントの既定値］をクリックする
   - Windows 2000
     ［ファイル］メニュー-［印刷設定］をクリックする
4. 「印刷オプション」タブを表示し、［バージョン］をクリックする

●Windows XP/Windows Server 2003 の場合

1. ［スタート］－［プリンタと FAX］を選択する
2. 使用するプリンタアイコンをクリックする
3. ［ファイル］メニュー-［印刷設定］の順に選択する
4. 「印刷オプション」タブを表示し、［バージョン］ボタンをクリックする

アフターサービスについて

・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。

・保証書は日本国内のみで有効です。

・無償保証期間は、お買い上げ日より６ケ月です。詳細は保証書をご覧ください。

・保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後６年です。ご了承ください。

・分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。

・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。

・故障の際は下記にご連絡ください。
『ハードウェア修理相談センター』
フリーダイヤル：0120-422-297
受付時間：平日 9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

・プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。
『富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口』
フリーダイヤル：0120-950-222
受付時間：平日 9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く）

●使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。
『エコ受付センター』
フリーダイヤル：0120-30-0693
平日 8:40～12:00 および 13:00～17:30
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

●修理装置の返却準備 ～お客様へ～

「ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、以下の手順で準備いただきますようお願い申し上げます。

設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、設定を復元するために必要な情報を印刷します。

① 印刷可能状態

↓「メニュー」スイッチ押下

メニュー
▶ システム　インサツ　▼

②

↓「▼」スイッチ押下

システム インサツ
▶ セッテイ ノ インサツ　▲

↓「設定」スイッチ押下

↓

③ 印刷終了

システム インサツ
▶ セッテイ ノ インサツ　▲

2 拡張給紙ユニットを取り外す

参照 「拡張給紙ユニットを取り外す」（96 ページ）参照

⚠ 注意	けが	・必ず２人で行ってください。 ・プリンタの電源スイッチを切り、ケーブル類（電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、LAN ケーブル）を外してから行ってください。

索引

N

O

P

R

S

T

U

あ

い

う

え

お

か

き

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

は

ひ

ふ

へ

ほ

め

も

ゆ

よ

ら

り

ろ

Printia LASER プリンタユーティリティ
オンラインマニュアル

B5WY-0561-03　　Z0-00

発行日　　　2004年4月

発行責任　　富士通株式会社